

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第58集

かみ の はる い せき  
上 ノ 原 遺 跡

(第 I 分冊 旧石器時代編)

東九州自動車道建設 (西都～清武間)  
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書XIV

2002

宮崎県埋蔵文化財センター

## 上ノ原遺跡 正誤表

### 第 I 分冊

誤	正
挿図目次 第117図 石器実測図(石錐)	挿図目次 第117図 石器実測図(扶入石器)
45頁 スケール 0 5cm	45頁 スケール 0 5m
170頁 第117図 石器実測図(石錐)	170頁 第117図 石器実測図(扶入石器)

### 第 II 分冊

誤	正																
216頁 16行 (2)集積遺構	216頁 16行 (2)集石遺構																
219頁 18行 明確な集中は	219頁 18行 明確な焼土の集中は																
237頁 上ノ原遺跡・炉穴一覧表 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">番号</th> <th style="width: 85%;">遺構番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">SO2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">SO3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">SO4</td> </tr> </tbody> </table>	番号	遺構番号	4	SO2	5	SO3	6	SO4	237頁 上ノ原遺跡・炉穴一覧表 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">番号</th> <th style="width: 85%;">遺構番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;"><u>SP2</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;"><u>SP3</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;"><u>SP4</u></td> </tr> </tbody> </table>	番号	遺構番号	4	<u>SP2</u>	5	<u>SP3</u>	6	<u>SP4</u>
番号	遺構番号																
4	SO2																
5	SO3																
6	SO4																
番号	遺構番号																
4	<u>SP2</u>																
5	<u>SP3</u>																
6	<u>SP4</u>																
292頁 下から1行目 釉剥ぎが	292頁 下から1行目 釉剥ぎが																
293頁 2行目 外面に線描蓮弁文を	293頁 2行目 外面に線描蓮弁文を																

### 報告書抄録

誤	副書名	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う埋蔵文化財報告書
	シリーズ名	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書XIV
正	副書名	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書XIV
	シリーズ名	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書

## 序

宮崎県教育委員会では、東九州自動車道西都～清武間建設予定地にかかる埋蔵文化財の発掘調査を平成7年度から10年度にかけて実施してまいりました。本書は、東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書であります。

本書に掲載した上ノ原遺跡は平成8年度から平成10年度にかけて発掘調査を行い、旧石器時代から中世にかけての遺構・遺物を確認することができました。特に旧石器時代の資料はナイフ形石器などの石器群のほか、石器の製作技術を復元できるような多くの接合資料がみられ、今後の旧石器時代研究に大きく寄与するものと思われます。

ここに報告する内容が、学術資料としてだけでなく、学校教育や生涯学習の場などで活用され、また、埋蔵文化財保護に対する理解の一助になることを期待しています。

最後になりましたが、調査にあたって御協力いただいた関係諸機関・地元の方々、並びにご指導・ご助言を賜った先生方に対して、厚くお礼申し上げます。

平成14年3月

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 矢野 剛

## 例 言

- 1 本書は、東九州自動車道（西都～清武間）建設に伴い、宮崎県教育委員会が実施した佐土原町所在の上ノ原遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、日本道路公団の依頼により宮崎県教育委員会が調査主体となり、宮崎県埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 現地での実測等の記録は、木本剛と日高裕司が行った。
- 4 本書で使用した写真については、木本剛と日高裕司が撮影した。空中写真については（株）スカイサーベイに委託した。
- 5 自然科学分析は、（株）古環境研究所に委託した。石器実測の一部は、株式会社アジア航測に委託した。
- 6 土層断面及び土器の色調については、「新版標準土色帖」に拠った。
- 7 石材同定は、松田清孝が行った。
- 8 本書に使用した位置図は、国土地理院発行の5万分の1図をもとに、また、遺跡周辺地形図等は、日本道路公団宮崎工事事務所から提供の1000分の1図をもとに作成した。
- 9 整理作業は、埋蔵文化財センターで行い、図面の作成、遺物実測、トレースは整理作業員の協力を得て、日高裕司・木本剛ほかが行った。
- 10 本書に使用した記号は以下の通りである。  
SC……土坑    SI……集石遺構
- 11 本書に使用した方位は、主に磁北（M. N）であり、位置図などの一部は、座標北（G. N）である。また、レベルは海拔絶対高である。
- 12 出土遺物・その他諸記録類は、宮崎県埋蔵文化財センターで保管している。
- 13 本書の執筆は、第Ⅰ章第1・2・3節を長津宗重と山田洋一郎が、第Ⅰ章第4・5節、第Ⅱ章、第Ⅳ章を日高裕司と木本剛が行い、編集を谷口武範と山田洋一郎が行った。

ナイフ形石器類の分類

- I 二側縁加工ナイフ
  - A 切出形ナイフ
    - ① 狸谷型
    - ② 狸谷型以外
  - B 二側縁加工ナイフ
    - ① 厚みがある・基部を尖らせる傾向がある・鋸歯縁状のプランティング
    - ② 比較的厚みがない通常のプランティング・基部が丸みを帯びるが極端に尖ることはない
    - ③ 基部が極端に丸みを帯びる・通常にプランティングを施す

- II 一側縁加工ナイフ
  - A 縦長剥片素材
  - B 横長剥片素材
    - ① 基部調整がないもの
    - ② 少しだけ基部調整があるもの
  - C 横剥ぎ 瀬戸内系の可能性もある・背面に底面を残す

- III 部分加工ナイフ
  - A 先端加工
  - B 基部加工

- IV その他のナイフ
  - A 部分加工 基部加工 (片側) 未製品の可能性あり
  - B 部分加工 基部+先端加工 未製品の可能性あり
  - C 部分加工 ナイフの先端を再加工 基部+先端に加工
  - D その他 二側縁+下縁の三縁加工

- V 台形石器
  - A 刃部が軸に垂直
  - B 刃部が軸に斜交する

- VI 剥片尖頭器
  - A 基部両サイド抉り
    - ① 基部両サイド抉りのみ
    - ② 基部両サイド抉り+先端加工
    - ③ 基部両サイド抉り+一側縁加工
  - B 基部片面抉り 一側縁加工が施されている
  - C その他

- VII 三稜尖頭器
  - A 紡錘形
    - ① 一面加工
    - ② 二面加工
    - ②' 局二面加工
    - ③ 三面加工
    - ③' 局三面加工
    - ④ 周縁加工
    - ④' 周縁加工+一部裏面加工
  - B 菱形
  - C 矮小 角錐状で黒曜石製

- VIII 欠損品
  - I ~ VII に分類不能のもの
    - A ナイフ
      - ① 先端
      - ② 中間 (三稜尖頭器を含む可能性)
      - ③ 基部 (三稜尖頭器を含む可能性)
    - B 剥片尖頭器
      - ① 先端
      - ② 中間
      - ③ 基部
    - C 三稜尖頭器
      - ① 先端
      - ② 中間
      - ③ 基部
    - D 不明

表3 石器石材分類表(流紋岩系)

穴戸章氏作成に加筆 1999. 9. 20

分類	肉眼的手法による特色						実体顕微鏡による特色	備考
	色		表面の模様	手ざわり		その他		
	表面	割れ口		表面	割れ口			
流紋岩 a	褐灰 7.5YR6/1	新鮮部黒 7.5YR2/1 割れ口も風化が進み表面と同じ色の場合が多い	汚れた感じの斑点状～雲状～縞	風化の度合いによるがなめらかなものが多い	なめらか	割れ口の断口には鋭さがありフィッシャーが多めに入る フィッシャーが珪質に見える場合あり	表面は一見砂岩様に見えるが黒や白の鉱物やガラスの粒を含んでいる	祖母系とみられる無斑晶流紋岩ホルンフェルス化(熱変成)を受けている  表面の風化の度合いで流紋岩 a～g のなかで最も白っぽい
	鈍い黄橙 10YR7/3～7/4	新鮮部黒褐	濃淡の雲状の模様があることがある	ややざらつく	ややざらつく		鏡下で微妙な凹凸風化褐色の風化鉱物が多い 黒の鉱物やガラスが少量見られる	鏡下では堆積岩のように見えたこともあるが黒や白の鉱物やガラスを含んでいる
	橙褐 7.5YR6/4～5/4		灰白部(7.5YR8/2)が雲状に見られることあり	なめらかなものが多い	なめらか	円礫表面は褐色(7.5YR5/6～5/7)に風化	円礫表面はガスが抜けたような小穴が見られる場合もある	
	褐灰 10YR6/1～4/1	新鮮部黒(ホルンフェルス様)	濃淡(褐灰～灰白)縞～白斑状	なめらか	なめらか	粗粒子(白～キラキラ)が見えるものあり	左の粗粒子は鏡下では堆積岩の粒子のような見かけ	
流紋岩 b	暗赤褐～極暗赤褐 5YR3/2～2.5YR2/2		明褐灰色部が雲状～縞状をなすものあり黒褐色斑点状(ミミズ状)の模様	河床円礫の場合表面はきわめてなめらか	なめらか		アメ色がかかった石基 やや緻密 晶洞状斑あり	流紋岩 aの一部と類似、ホルンフェルス化の程度の差 まだら模様で茶色系統
流紋岩 c	褐灰～黒褐 10YR4/1～3/1	割れた面に艶がない(シルト岩類似)	黒褐色斑点を持つものもあり暗青灰色(5PB4/1)が雲状に混ざった色の部分あり	円礫表面はなめらか	流紋岩 bに比べるとややざらつきあり	流紋岩 a～g の中で最も粗粒に見える粗粒子(白～キラキラ)が見えるものあり	晶洞状斑があるものが多い	流紋岩 b と同一岩体の別部分か?(冷却速度の違い?) 茶色系統で表面が粗い
流紋岩 d	灰 7.5Y4/1～10Y4/1	割れた面に珪質の白っぽい部分が見える	片状岩石(片理?)	なめらか	なめらか?		白黒のゴマシオ状ガラス質石基	サンプル数が少ない
流紋岩 e	暗オリーブ灰 2.5～5GY4/1～3/1	表面と同じ色が多い 割れた面に珪質の白っぽい部分が見える	濃淡(オリーブ灰～暗オリーブ灰)縞状	なめらか	なめらか	緻密でちりめんじわ状断口 珪質でフィッシャーが多い フィッシャーは白っぽいものが多い	珪質でチャートに似ている 小さい黒色や白色、透明の鉱物・ガラス粒を少量含む	珪質頁岩に似る
流紋岩 f	暗灰 N3/0	割れた面に艶がない	灰白色部が雲状をなすものがある 汚れた感じの濃淡(黒白)模様がある場合がある 黄褐色の汚れ付着	円礫表面はきわめてなめらか	ややざらつく	一見頁岩に似る	白色円形斑(特に晶洞様)がある	流紋岩 c と類似するが色が黒に近い 頁岩のホルンフェルスがまぎれている可能性あり まだら模様で黒色系統
流紋岩 g	暗灰 N3/0	新鮮な面は黒い	雲状に灰白色部を持つものあり 表面に艶がなく黄褐～赤褐色(5YR5/8～4/8)の汚れ状あり(黄鉄鉱の風化物)	円礫表面はきわめてなめらか 爪形穴	なめらか	雲状の灰白色風化が目立つ	白色円形斑(特に晶洞様)があるものが多い 黒色のガラス質石基に白っぽい風化部が混ざり全体として暗灰色鉱物粒やその風化物が見られる	無斑晶安山岩とすべきものかも?  雲状の灰白色部に特徴づけられる
	黒 N2/0	真っ黒に見える	表面に艶がなく黄褐～赤褐色(5YR5/8～4/8)の汚れ状あり(黄鉄鉱の風化物)	円礫表面はきわめてなめらか	なめらか	最も頁岩に似るが黒色緻密断面は曲面で稜も曲線	黒色のガラス質石基の中に白色の鉱物粒が見られる	最も黒っぽい

# 本文目次

第 I 章	はじめに	
第 1 節	調査に至る経緯	1
第 2 節	調査の組織	1
第 3 節	遺跡の位置と環境	2
	1. 遺跡の位置	2
	2. 歴史的環境	2
第 II 章	調査の概要	6
第 1 節	調査区の設定と調査の概要	6
第 2 節	地層の状態	9
第 III 章	旧石器時代の遺構と遺物	17
第 1 節	旧石器時代後期 I 石器文化の遺構と遺物	17
	(1) 遺構	17
	(2) 遺物	19
第 2 節	旧石器時代後期第 II 石器文化の遺構と遺物	25
	(1) 遺構	25
	(2) 遺物	68
第 3 節	旧石器時代終末第 III 石器文化の遺構と遺物	202
	(1) 遺構	202
	(2) 遺物	202

# 挿 図 目 次

第 1 図	遺跡分布図 (1/25,000)	5
第 1 図	周辺地形図及び調査区 (1:1000)	7
第 2 図	グリッド図及び土層断面配置図	8
第 3 図	土層図	11
第 4 図	土層断面図	12
第 5 図	土層断面図	13
第 6 図	土層断面図	14
第 7 図	土層断面図	15
第 8 図	土層断面図	16
第 9 図	土坑実測図	17
第 10 図	始良・丹沢火山灰残存範囲及び XI 層調査範囲	18
第 11 図	遺構配置図及び遺物分布図 (旧石器時代後期第 I 石器文化)	20
第 12 図	第 26 ブロック	21
第 13 図	遺物分布図 (ナイフ形石器、スクレイパー、敲石兼磨石、敲石、使用痕のある剥片)	23
第 14 図	石器実測図	24
第 15 図	遺構配置図 (旧石器時代後期第 II 石器文化)	26
第 16 図	礫群実測図	27
第 17 図	礫群実測図	28
第 18 図	礫群実測図	29
第 19 図	礫群実測図	30
第 20 図	礫群実測図	31
第 21 図	礫群実測図	32
第 22 図	礫群実測図	33
第 23 図	遺構出土石器実測図	34
第 24 図	遺構出土石器実測図	35
第 25 図	遺構出土石器実測図	36
第 26 図	遺物分布図 (旧石器時代後期第 II 石器文化)	38
第 27 図	第 1 ブロック	45
第 28 図	第 2 ブロック	46
第 29 図	第 3 ブロック	47

第30図	第 4ブロック	48
第31図	第 5ブロック	49
第32図	第 6ブロック	50
第33図	第 7ブロック	51
第34図	第 8ブロック	52
第35図	第 9ブロック	53
第36図	第10ブロック	54
第37図	第11ブロック	55
第38図	第12ブロック	56
第39図	第13ブロック	57
第40図	第14ブロック	58
第41図	第15ブロック	59
第42図	第16ブロック・第20ブロック	60
第43図	第17ブロック	61
第44図	第18ブロック	62
第45図	第19ブロック	63
第46図	第20ブロック	64
第47図	第21ブロック	65
第48図	第23ブロック	66
第49図	第24ブロック	67
第50図	接合資料(1)	75~76
第51図	接合資料(1)分割1 ㉓	77
第52図	接合資料(1)分割1 ㉔	78
第53図	接合資料(1)分割1 ㉕	79~80
第54図	接合資料(1)分割1 ㉖	81~82
第55図	接合資料(1)分割1 ㉗	85
第56図	接合資料(1)分割1 ㉘	83~84
第57図	接合資料(2)	86
第58図	接合資料(5)	87~88
第59図	接合資料(6)	89
第60図	接合資料(7)	91~92
第61図	接合資料(10)	90
第62図	接合資料(12)	93
第63図	接合資料(18)	94
第64図	接合資料(21)	95~96
第65図	接合資料(28)	97~98
第66図	接合資料(28)分割28 ㉓, ㉔	99~100
第67図	接合資料(28)分割28 ㉕, ㉖	101~102
第68図	接合資料(29)分割8	103~104
第69図	接合資料(29)分割6, 7	105
第70図	接合資料(30)	107~108
第71図	接合資料(31)分割31 ㉓, ㉔	106
第72図	接合資料(33)分割33 ㉓, ㉔	109~110
第73図	接合資料(33)分割33 ㉕	111~112
第74図	接合資料(34)分割34 ㉓, ㉔	113~114
第75図	接合資料(35)	115~116
第76図	接合資料(38)	117~118
第77図	接合資料(39)	119
第78図	接合資料(43)	121~122
第79図	接合資料(45)分割45 ㉓, ㉔	120
第80図	接合資料(48)	123
第81図	接合資料(55)	124
第82図	遺物分布図 (ナイフ形石器)	135
第83図	遺物分布図 (台形石器)	136

第 84図	遺物分布図	(剥片尖頭器)	137
第 85図	遺物分布図	(三稜尖頭器)	138
第 86図	遺物分布図	スクレイパー (搔器、削器、抉入石器)	139
第 87図	遺物分布図	(石錐)	140
第 88図	遺物分布図	(敲石兼唐石、敲石、磨石、台石)	141
第 89図	遺物分布図	(二次加工のある剥片)	142
第 90図	遺物分布図	(使用痕のある剥片)	143
第 91図	遺物分布図	(石核)	144
第 92図	石器実測図	(ナイフ形石器)	145
第 93図	石器実測図	(ナイフ形石器)	146
第 94図	石器実測図	(ナイフ形石器)	147
第 95図	石器実測図	(ナイフ形石器)	148
第 96図	石器実測図	(ナイフ形石器)	149
第 97図	石器実測図	(ナイフ形石器)	150
第 98図	石器実測図	(台形石器)	151
第 99図	石器実測図	(台形石器)	152
第100図	石器実測図	(剥片尖頭器)	153
第101図	石器実測図	(剥片尖頭器)	154
第102図	石器実測図	(剥片尖頭器)	155
第103図	石器実測図	(剥片尖頭器)	156
第104図	石器実測図	(剥片尖頭器)	157
第105図	石器実測図	(剥片尖頭器)	158
第106図	石器実測図	(剥片尖頭器)	159
第107図	石器実測図	(三稜尖頭器)	160
第108図	石器実測図	(三稜尖頭器)	161
第109図	石器実測図	(三稜尖頭器)	162
第110図	石器実測図	(三稜尖頭器)	163
第111図	石器実測図	(搔器)	164
第112図	石器実測図	(搔器)	165
第113図	石器実測図	(搔器)	166
第114図	石器実測図	(削器)	167
第115図	石器実測図	(削器)	168
第116図	石器実測図	(削器)	169
第117図	石器実測図	(石錐)	170
第118図	石器実測図	(石錐)	170
第119図	石器実測図	(敲石兼磨石)	171
第120図	石器実測図	(敲石兼磨石、敲石)	172
第121図	石器実測図	(敲石、磨石、台石)	173
第122図	石器実測図	(二次加工のある剥片)	174
第123図	石器実測図	(二次加工のある剥片)	175
第124図	石器実測図	(使用痕のある剥片)	176
第125図	石器実測図	(使用痕のある剥片)	177
第126図	石器実測図	(石核)	178
第127図	石器実測図	(石核)	179
第128図	石器実測図	(石核)	180
第129図	石器実測図	(石核)	181
第130図	石器実測図	(石核)	182
第131図	石器実測図	(石核)	183
第132図	遺構配置図	(旧石器時代終末第Ⅲ石器文化)	204
第133図	土坑実測図		206
第134図	土坑実測図		207
第135図	土坑実測図		208
第136図	土坑実測図		209
第137図	土坑実測図		210

第138図	土坑実測図	.....	211
第139図	遺物分布図 (細石核、細石刃、敲石兼磨石)	.....	212
第140図	石器実測図 (敲石兼磨石、剥片、細石核、細石刃)	.....	213

# 第I章 はじめに

## 第1節 調査に至る経緯

東九州自動車道延岡～清武間は平成元年2月に基本計画がなされ、平成3年12月には西都～清武間は整備計画路線となった。西都～清武間は、平成5年11月に建設大臣から日本道路公団へ施工命令が出され、公団では平成6年度から事業に着手している。その間、県教育委員会では、平成3年度に西都～清武間の遺跡詳細分布調査を行い、それに基づき埋蔵文化財の保護について関係機関と協議した結果、工事施工によって影響を受ける部分について講じ着手前に発掘調査を実施することとなった。調査は、平成7年度については文化課で行ったが、平成8年度は埋蔵文化財センターの総合博物館からの分離・独立に伴って、埋蔵文化財センターで行っている。

佐土原町大字西上那珂字上ノ原の工事区内には東に突き出た台地上に上ノ原遺跡がある。本調査に先立ち確認調査を行ったが、作付けの関係で2回にわたって行った。第一次確認調査が平成8年6月4日～6月19日のうちの5日間である。トレンチ調査で小林軽石層やAT層などの旧石器時代の包含層を確認している。出土遺物としては土器片や剥片などが検出された。第二次確認調査が、平成8年8月20日～同年9月4日の内の9日間である。出土遺物としては、土器片や石器・剥片などが検出されたことから本調査を実施することとなった。平成8年度は、調査対象区の南東部(3,502.5㎡)をA区として平成8年9月24日に着手し、平成9年3月26日に終了した。平成9年度は、残りのB～D区(7,500㎡)を平成9年4月1日に着手し、平成10年3月26日に終了した。

## 第2節 調査の組織

上ノ原遺跡の調査組織は次のとおりである。

調査主体 宮崎県教育委員会

教育長

田原直廣(平成8年度)  
岩切重厚(平成9年度)  
笹山竹義(平成10年度～平成12年度)  
岩切正憲(平成13年度)

文化課長

江崎富治(平成8年度)  
仲田俊彦(平成9年度～平成11年度)  
黒岩正博(平成12年度・平成13年度)

埋蔵文化財係長

面高哲郎(平成8年度)  
北郷泰道(平成9年度～平成11年度)  
石川悦雄(平成12年度)

主査(調整担当)

永友良典(平成8年度)  
柳田宏一(平成9年度)

主任主事(調整担当)

重山郁子(平成10年度・平成11年度)  
飯田博之(平成12年度)

主査(調整担当)

飯田博之(平成13年度)

宮崎県埋蔵文化財センター

所長	藤本健一（平成8年度・平成9年度） 田中 守（平成10年度～平成11年度） 矢野 剛（平成12年度・平成13年度）
副参事	木幡文夫（平成8年度）
副所長	岩永哲夫（平成8年度・平成9年度・平成12年度・平成13年度） 江口京子（平成11年度） 菊地茂仁（平成12年度・平成13年度）
調査第一課長	面高哲郎（平成12年度・平成13年度）
調査第一係長	岩永哲夫（平成8年度兼務） 面高哲郎（平成9年度～平成11年度・平成12年度兼務） 谷口武範（平成13年度）
調査第二係長	長津宗重（平成12年度・平成13年度）
総務係長	亀井維子（平成12年度・平成13年度）
主任主事	上野広宣（平成12年度・平成13年度）
主事（調整担当）	飯田博之（平成8年度）
主査（調整担当）	菅付和樹（平成9年度～平成11年度）
主査（整理作業調整担当）	倉永英季（平成12年度）
主任主事（整理作業調整担当）	小山 博（平成13年度）
主査（調査・報告書担当）	日高裕司（平成7年度～平成11年度）
主任主事（調査・報告書担当）	木本 剛（平成8年度～平成11年度）

### 第3節 遺跡の位置と環境

#### 1 遺跡の位置

上ノ原遺跡は佐土原町の北西部の標高約90mの台地上に立地し、南北に谷、小河川がある。谷間を挟んで南には下屋敷遺跡があり、そこから東約3.5kmの台地上に船野遺跡（昭和45年、別府大学調査）所在している。

#### 2 歴史的環境

佐土原町は地形上、船野台地・一ツ瀬低地・佐土原丘陵・年亥居原台地・広瀬海岸低地・鹿野田上田島丘陵に分かれ、遺跡は点在する。遺跡の発掘調査は短期間の小規模な緊急調査に限られていたが、近年の開発や東九州自動車道（西都～清武間）建設に伴う発掘調査によって面的な調査が行われ、各時代のことが次々と明らかにされている。

#### 旧石器時代

町内においては従来、船野型細石核で有名な船野遺跡（大字西上那珂）が知られていた。船野遺跡は標高84m～87mの台地に立地し、細石器を伴わない小型のナイフ形石器とスクレイパーからなる第一文化層、黒曜石製の細石器に流紋岩製の細石器が伴い、ナイフ形石器・台形様石器・尖頭器からなる第二文化層、そして流紋岩製の細石器と小型のナイフ形石器が主体となる文化層に変化した。ナイフ形石器文化から細石器文化へ移行する過渡期に遺跡は形成されたと考えられている。

東九州自動車道建設に伴って船野台地では当遺跡以外にも、下屋敷遺跡・長藪原遺跡・上ノ迫遺跡（大字西上那珂）、都於群・仲間原台地の別府原遺跡（西都市大字鹿野田）などで調査されている。下屋敷遺跡ではAT層（Ⅷ）上層のⅥ・Ⅶ層でブロックが33基検出されて、ナイフ形石器・剥片尖頭器・三稜尖頭器・剥片等が検出されている。長藪原遺跡では小林軽石層（Ⅴ層）下でブロック7基検出され、Ⅵ層からナイフ形石器・剥片等、Ⅶ層からナイフ形石器・剥片尖頭器・三稜尖頭器・剥片等が出土している。特にナイフ形石器・台形石器・スクレイパー等が出土したブロックには、剥片・石核等が共伴しているので石器製作の場が想定される。別府原遺跡では、AT層（Ⅸ層）下位のⅩ～ⅩⅠ層上面で礫群5基が検出され、石核・剥片等が出土している。小林軽石風成二次堆積層（Ⅵb層）下位のⅦ層では礫群14基、配石遺構1基、ブロック7基が検出され、ナイフ形石器・台形様石器・三稜尖頭器・スクレイパー・石核・剥片・台石等が出土している。Ⅵa層では陥穴状遺構18基、土坑4基、礫群1基、配石遺構2基等が検出され細石核（船野型・野岳型）・細石刃等が出土している。Ⅹ～ⅩⅠ層がナイフ形石器文化期Ⅰに、Ⅶ層がナイフ形石器文化期Ⅱに、Ⅵa層が細石器文化期に比定されている。以上のように別府原遺跡では、AT層下位の文化層が確認され、他の遺跡でも小林軽石層の上下で文化層が確認されるなど、後期旧石器時代の遺跡の様相が明らかになりつつある。

### 縄文時代

草創期は県内でも最近調査例が増え、隠山遺跡（大字上田島）では爪形文を口縁部近くの隆帯文に施した土器が出土している。早期になると県内では遺跡の数が増大するが、町内でも同様である。別府原遺跡では竪穴状遺構15基、集石遺構58基、炉穴約300基、土坑約40基、配石遺構19基などが検出され、貝殻状痕文土器・打製石鏃・打製石斧・磨製石斧・磨石等が出土している。また、石器組成では打製石鏃や局部磨製石斧が主体を占めている。特に炉穴の数の多さ、多種にわたる遺構が検出されたことから早期の集落の様相を知る上では重要である。

約6,400年前の鬼界カルデラの火山活動によるアカホヤ火山灰が降った後、県内の遺跡は激減し中期も希薄であり、後期になってようやく県内全域的に遺跡が増加し、大規模な環状集落も出現する。しかし町内においては前期から後期の良好な遺跡の調査例がないため集落の様相を述べることはできない。晩期になる隠山遺跡では未貫通の孔列文土器が出土している。

### 弥生時代

県内の前期の遺跡は数少なく、後期に遺跡の数が増大するが町内でも後期になってようやく遺跡が見られる。特に下那珂遺跡（大字下那珂字城ヶ峰）は複雑に蛇行しながら東流する石崎川左岸の標高54mの丘陵上に位置し、昭和42年の調査によって貝塚・土坑1基・方形の竪穴住居1軒が検出され後期後半の土器とともに石包丁・石皿・磨石・磨製石鏃・鉄鏃・軽石製浮子などが出土した。特に絵画・記号文土器の中の「飛鳥（龍）」の線刻が施された壺が有名である。なお平成11年・12年の調査で後期後半の方形プランの拠点集落である竪穴住居が100軒以上検出された。特に竪穴住居から出土した前漢鏡であるき龍文鏡の破鏡はマツリの役割を終えた後、竪穴住居に廃棄されたと推定され、畿内地方や大分県の大野川上・中流域に見られるもので、県内では3例目で注目される。また宮崎平野部では浮城遺跡（宮崎市吉村町）で中期後半～後期前半の水田は調査されたが、調査

範囲が狭かったため水田1枚の区画までは把握できなかったが、海岸低地に位置する伊賀給遺跡（大字下那珂）では後期の小区画水田が検出され、弥生時代の水田の様相が一部明らかにされた。

### 古墳時代

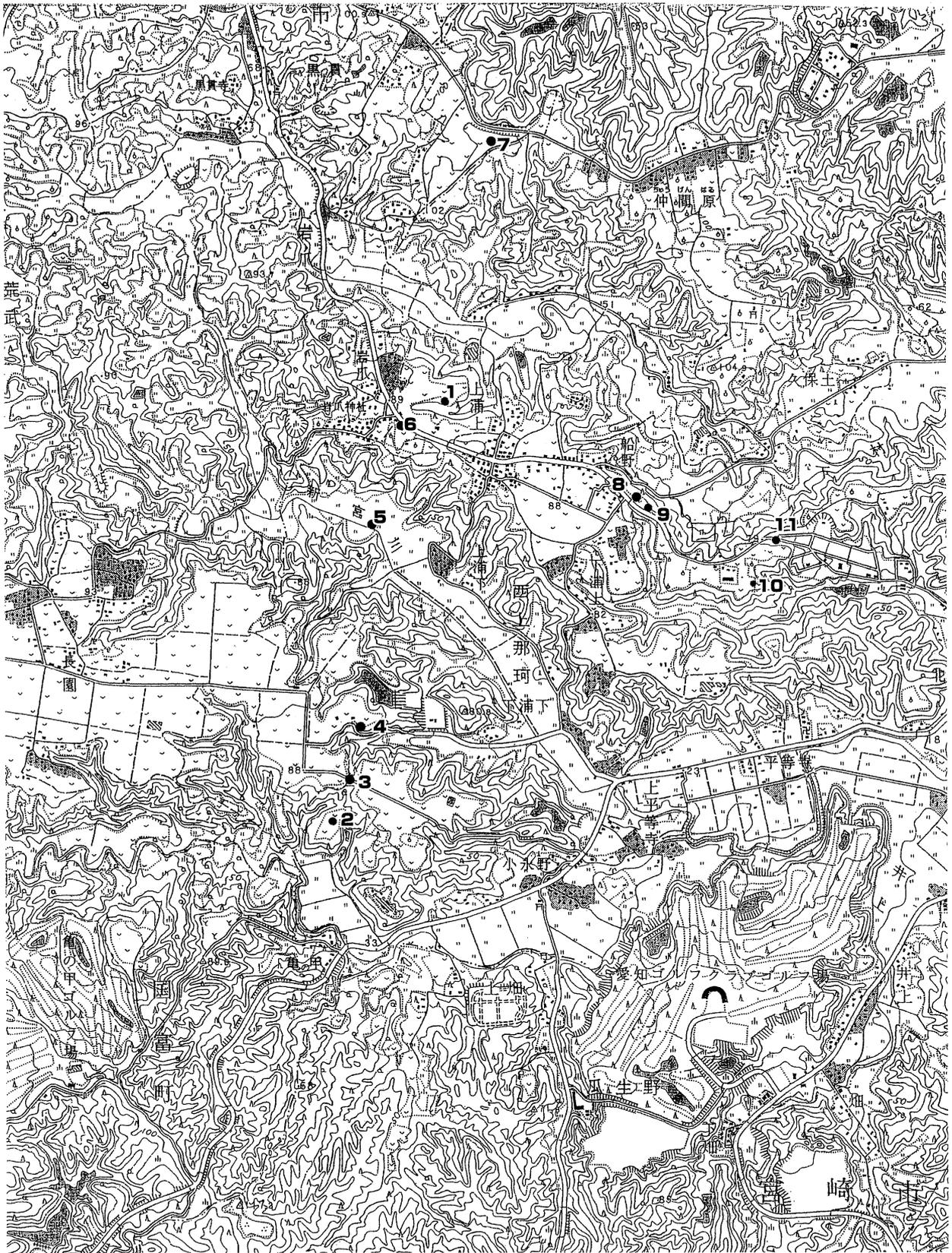
町内には前方後円墳・円墳・横穴墓が分布しており、特に6～7世紀の横穴墓が年居原台地周辺部、佐土原丘陵南端部、鹿野田・上田島丘陵周辺部に分布している。その中でも土器田横穴墓群が数量的には調査されている。特に装飾横穴墓で有名な土器田東1号横穴墓は玄室の奥壁に馬2・魚（鳥・イルカ）2・人物2などを、奥・左・右壁にも5～7段の連続三角文を線刻し、6世紀中頃～7世紀前半に比定されるが、形象と三角文は時期差の可能性もある。東九州自動車道で調査された平田迫1号横穴墓（大字上田島）は丘陵の楕円状の高まりの裾に立地し、7世紀前半に造営されている。以上のように6～7世紀の後期から終末期の時期については明らかになりつつあるが、前方後円墳・円墳が主体である前期・中期の時期については不明であり、造墓集団である集落についても未解明である。

### 古代

佐土原丘陵の周縁に位置する下村窯跡群（大字東上那珂）は、8世紀後半～9世紀後半の10基の瓦陶兼業窯跡が調査され、ここで生産された瓦や須恵器が日向国衙・国分寺に供給されていることから、粘土という原料に立地して政治的に設置されたと推定される。このことは須恵器・瓦の蛍光X線分析からも裏付けられている。平田迫遺跡は畝幅約30cm、畝間幅約50cm、深さ約10cmの畝跡が検出され、植物珪酸体分析の結果、稲が検出され、陸稲の可能性もある。畝跡からは古代の土師器・須恵器が出土しており、放射性炭素年代測定から9世紀後半の時期に比定されている。また石帯や凸面縄目叩きの瓦も出土して注目された。梅ヶ島遺跡（大字西上那珂）では新宮川の自然堤防と思われる微高地から低地へ下る傾斜を利用した区画の小さい棚田状の水田が検出された。報告書によると、平安時代から中世の水田である。以上のように、古代の生産の様相は明らかになりつつあるが、集落の様相は不明である。

### 註

- (1) 佐土原町教育委員会「佐土原町遺跡詳細分布調査報告書」『佐土原町文化財調査報告書』第5集 1991
- (2) 橘昌信「宮崎県船野遺跡における細石器文化」『考古学論叢』3 1975
- (3) ～(6) 宮崎県埋蔵文化財センター「東九州自動車道関係埋蔵文化財調査概要報告書II」『宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書』第12集 1997
- (7) 佐土原町教育委員会「隠山遺跡概要報告書」『佐土原町文化財調査報告書』第8集 1993
- (8) 石川恒太郎・栗原文蔵「宮崎県佐土原町下那珂弥生遺跡」『九州考古学』33・34 1968
- (9) 宮崎県埋蔵文化財センターの甲斐貴充氏より教示。
- (10) 宮崎市教育委員会「浮ノ城遺跡」『吉村第2土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』1986
- (11) 佐土原町教育委員会「伊賀給遺跡」『佐土原町文化財調査報告書』第14集 1999
- (12) 佐土原町教育委員会「土器田横穴古墳」『佐土原町文化財調査報告書』第1集 1981



- 1.上ノ原遺跡 2.上ノ迫遺跡 3.長菌原遺跡 4.待居廻遺跡 5.梅ヶ島遺跡  
 6.下屋敷遺跡 7.別府原・西ヶ迫遺跡 8.船野遺跡第1地点 9.南学原第1遺跡  
 10.南学原第2遺跡 11.船野遺跡第2地点

第1図 遺跡分布図 (1/25,000)

## 第Ⅱ章 調査の概要

### 第1節 調査区の設定と調査の概要

上ノ原遺跡は、西都市都於郡に隣接する宮崎郡佐土原町の北西部、西上那珂に所在する。遺跡は、下村川と新宮川によって開析された谷が複雑に入り込む標高85～90mの舌状の台地に立地し、南側には小さな谷を挟んで下屋敷遺跡が隣接する。また、本遺跡の北側には湧水点があるなど、立地的には良好な環境にある。東九州自動車道建設路線が南北に横断するため、路線にかかる11,100㎡全域を調査対象とした。

発掘調査に入る時点では、一帯は主に耕作地として利用されており、未買収地が残されていた。農道が中央（東西）に走り、作物等の諸事情により、調査対象区域を南東部（A区）、南西部（B区）、北西部（C区）、北東部（D区）に四分割し（第1図）、調査を進めることにした。各調査区内には、東西方向にA～Q、南北方向に1～17の10m×10mグリッドを設定し、国土座標の北を軸にしたグリッド法による調査を行った（第2図）。

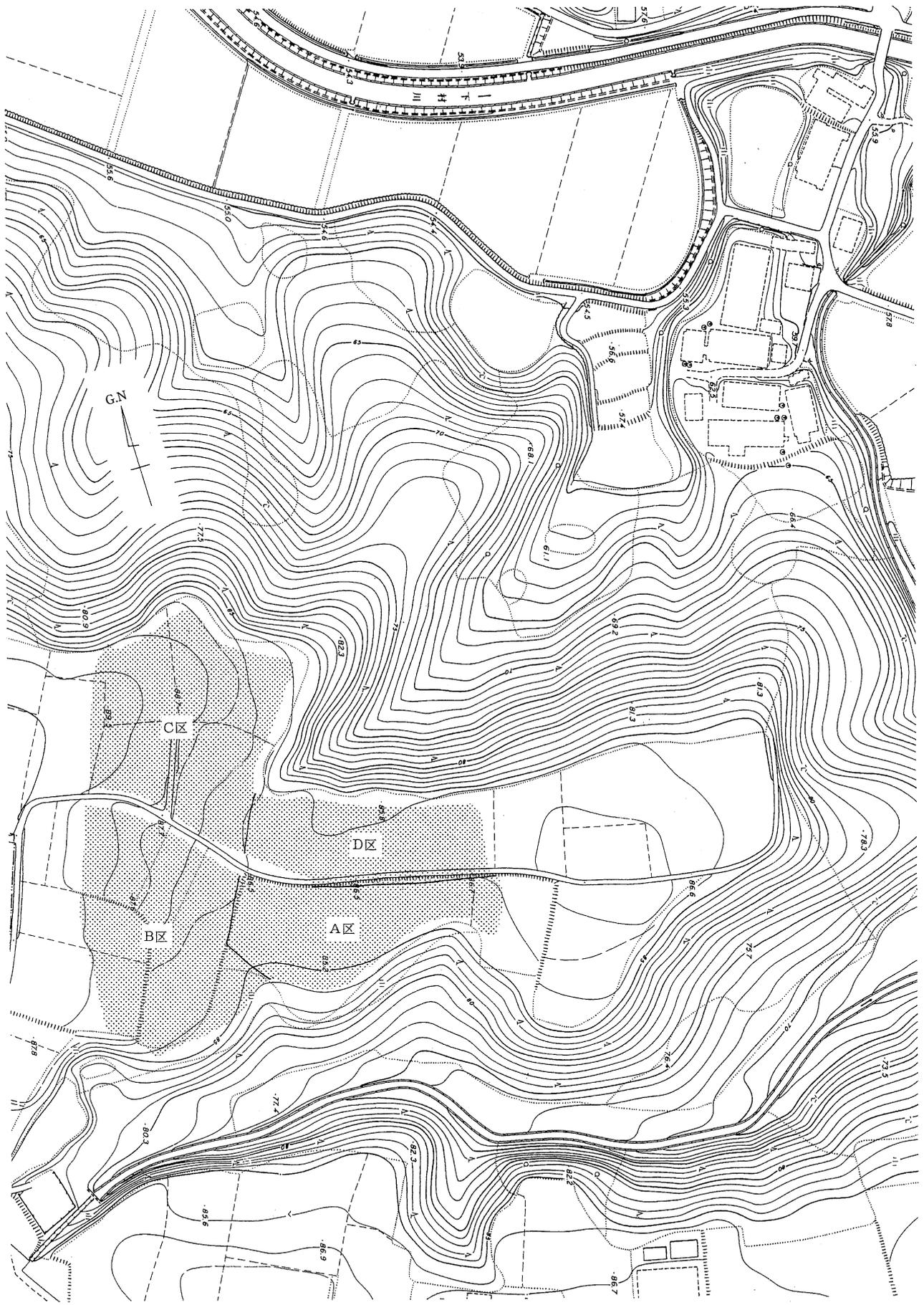
確認トレンチの結果、埋没した谷地形であることやかなり削平を受けていることなどを確認した。

調査は、まず、重機を使用して、層の残存状況を見て表土のみを除去した。調査区全体にゴボウ作付けのトレンチャーによりⅧ層前後まで攪乱を受けており、また、調査区のおよそ5分の2に及ぶ範囲は、Ⅶ層から下が削平されていた。地形測量は、Ⅶ層直上で行い、20cm間隔で等高線を記録した。

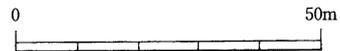
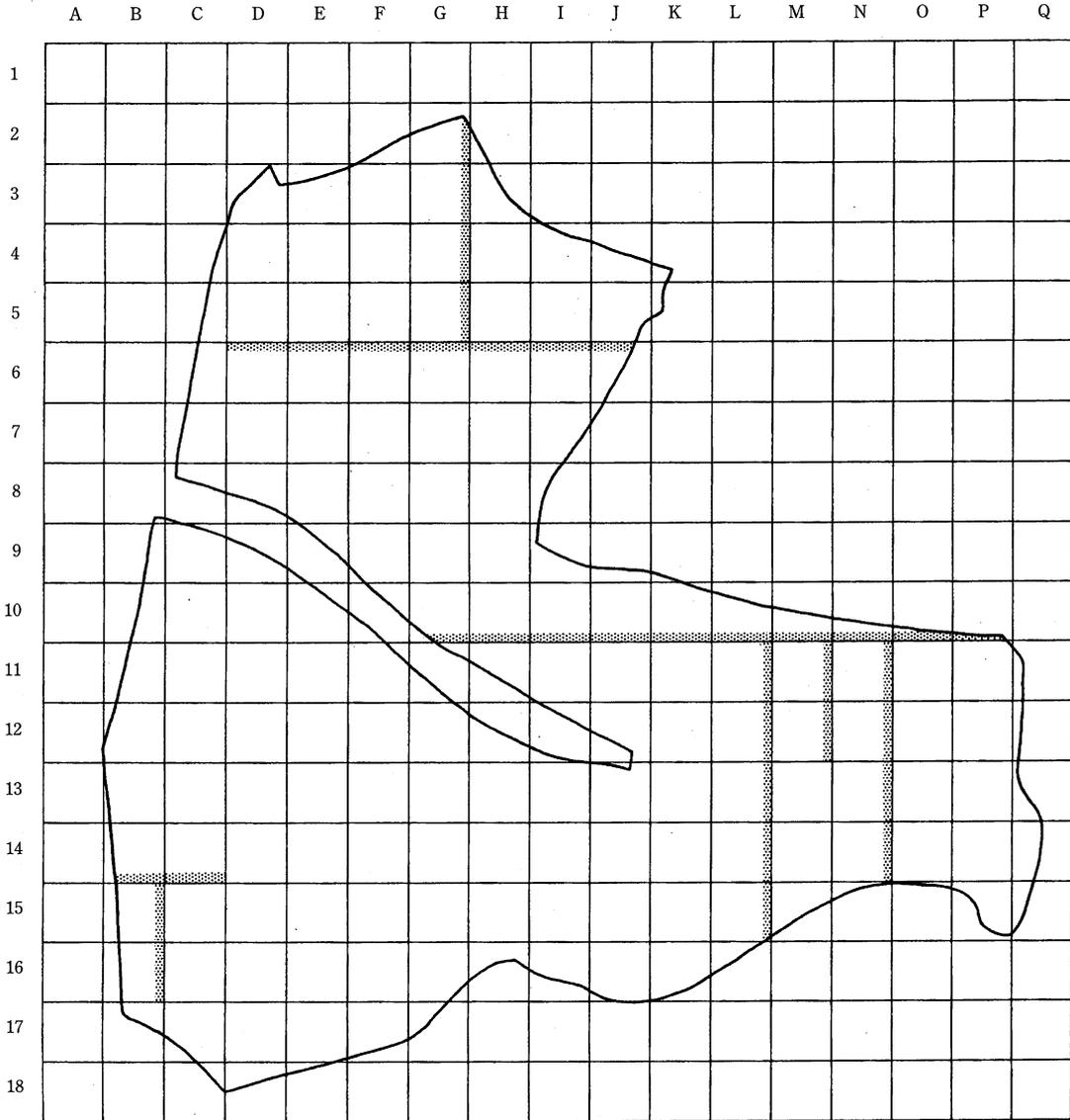
調査は、縄文時代前期以降、縄文時代早期、旧石器時代の包含層を人力で掘り下げた。旧石器時代の包含層において、作業の効率化を図るため、D区のⅦ層・X層の無遺物層の一部は、重機を使用して除去した。A区の谷部とB区の一部を除いては、Ⅸ層までを全面的に掘り下げ、D区は、さらにXI層上部まで掘り下げた。

旧石器時代においては、旧石器時代後期第Ⅰ石器文化層（始良・丹沢火山灰降灰以前のXI層上部）、旧石器時代後期第Ⅱ石器文化層（始良・丹沢火山灰降灰以降～小林軽石火山灰降灰以前までのⅧ層からⅨ層上部にかけて）、旧石器時代終末第Ⅲ石器文化層（小林軽石火山灰降灰以降～細石器文化期までのⅥb層）の3つの文化層それぞれから、遺構と遺物を確認した。その内容は、第Ⅰ石器文化では、土坑1基と石器ブロック1群の遺構を検出し、ナイフ形石器、スクレイパー（搔器・削器）、敲石兼磨石、敲石、使用痕のある剥片、剥片、碎片等の遺物が出土した。第Ⅱ石器文化では、礫群22基と石器ブロック25群の遺構を検出し、ナイフ形石器、台形石器、剥片尖頭器、三稜尖頭器、スクレイパー（搔器・削器・抉入石器）、石錘、敲石兼磨石、敲石、磨石、台石、二次加工のある剥片、使用痕のある剥片、石核、剥片、碎片等の遺物が出土した。第Ⅲ石器文化では、土坑26基の遺構を検出し、細石核、細石刃、敲石兼磨石、剥片等の遺物が出土した。

縄文時代早期においては、集石遺構16基、炉穴38基（うち切り合32基）、土坑8基の遺構を検出し、前平系土器や押型文土器を主体とした土器片や石鏃、スクレイパー（搔器・削器）、異形石器、石錘、垂飾品、敲石兼磨石、敲石、磨石、台石、石皿、二次加工のある剥片、使用痕のある剥片、



第1図 周辺地形図及び調査区 (1 : 1,000)



第2図 グリッド図及び土層断面配置図

石核、剥片、碎片等の遺物が出土した。

縄文時代前期以降においては、土坑11基、溝状遺構3条、掘建柱跡18軒、近世墓1基の遺構を検出し、縄文時代中期から中世にかけての土器片や石鏃、スクレイパー（削器）、石斧、石錘、垂飾品、砥石、敲石、磨石、二次加工のある剥片、使用痕のある剥片、石核、剥片、碎片等の遺物が出土した。これらの遺物は、主に、アカホヤ火山灰の二次的な堆積層から地形の傾斜に沿うように混在して出土した。

## 第2節 地層の状態

上ノ原遺跡で確認された層序は、概ね第3図の基本土層柱状図に集約される。各層位が削平・再堆積・水性堆積が認められる場合、その都度層位比較を行った。調査区の大部分は、丘陵上からの流出土によって埋設したと思われる谷地形で、各層が傾斜に沿って流れており、場所によって層の厚みが様々である。以下、各層ごとに説明をしていく。なお、土層断面配置は第2図を、それらの土層断面図は第4図～第8図を参照のこと。

### I層 表土（耕作土）

### II層 褐色土

非常に軟らかく、パサパサとしてしまりが無い。遺跡の谷部のグリッドH15・16、I15・16にわずかに残存し、耕作などによってかなり削平を受けている。縄文時代中期から古代までの遺物が混在する。

### III層 黒色土

やや軟らかく、やや粘性を帯び、しまりが無い。径1mm以下の白色鉱物粒をわずかに含む。遺跡の谷部のグリッドH14・15、I14・15・16にわずかに残存して、耕作などによってかなり削平を受けている。縄文時代中期から古代までの遺物が混在する。

IV層 約6,300年前に噴出した鬼界カルデラ起源のアカホヤ火山灰層とそれに起因する風化層で、次の2層に細分される。

### IV a層 黄褐色火山灰

土壌化したアカホヤ火山灰の二次的な堆積によるものと考えられ、遺跡の谷部を中心に分布している。縄文時代中期から中世までの遺物が混在する。

### IV b層 黄橙色火山灰

アカホヤ火山灰の一次堆積層で、やや硬く、ざらざらしており、層の最下部に径1～2mmの火山豆石を多く含む。遺跡のほぼ全域に分布しているが、耕作などによってかなり削平されている。無遺物層である。

### V層 黒色土

やや軟らかく、わずかに粘性を帯び、しまりが無い。全体に径1mm以下の白色鉱物粒を多く含む。縄文時代早期の包含層である。

VI層 小林軽石火山灰降灰から縄文時代早期にかけての層で、次の2層に細分される。

### VI a層 黒褐色土

硬質で、粘性が弱く、全体に径1mm以下の白色鉱物粒を含む。縄文時代早期最下部の包含層である。

#### VI b層 暗褐色土

硬質で、粘性が弱く、黒褐色土をブロック状に含みまだら模様を呈する。旧石器時代終末（細石器文化期）の包含層である。

#### VII層 暗褐色土

約15,000年前に噴出した韓国岳を起源とする小林軽石火山灰を含む層である。非常に硬く、しまりがあり、ざらざらとした砂質で、全体に橙色軽石、白色粒、青色岩片を含む。場所によっては残存しない部分がある。無遺物層である。

#### VIII層 暗褐色土

やや軟らかく、粘性を帯びている。やや硬い黒褐色土を径1～2cmのブロック状に、また、径1mm程の橙色軽石を散点的に含む。旧石器時代後期の包含層である。

#### IX層 にぶい黄褐色土

やや硬く、粘性を帯びざらざらしており、径1～2mmの黄橙色軽石、径1mm以下の白色鉱物粒を含む。X層への漸移層であり、上部は旧石器時代後期の包含層である。

X層 約22,000年前に噴出した始良カルデラ起源の始良・丹沢火山灰層（A・T層）とそれに起因する風化層で、次の3層に細分される。

#### X a層 褐色軽石

始良・丹沢火山灰の二次的な堆積層で、やや軟らかく、ざらざらしている。石英粒が多く、径1～1.5mmの軽石が成層している。無遺物層である。

#### X b層 明黄褐色軽石

始良・丹沢火山灰の二次的な堆積層で、やや硬く、やや粘性を帯びざらざらしている。径1mm以下の白色粒を層の下部に含む。無遺物層である。

#### X c層 黄橙色軽石

始良・丹沢火山灰の一次堆積層で、硬くしまりがあり、粘性を帯びざらざらしている。粗粒軽石が密に堆積している。無遺物層である。

#### X I層 黒褐色土

ブラックバンド層とよばれ、非常に硬く、ざらざらしている。全体に径1mm以下の多くの白色粒や径1～3mmの赤褐色粒・青灰色岩片を多く含む。上部は旧石器時代後期の包含層である。

#### X II層 赤褐色土

やや軟らかく、粘性を帯びざらざらしている。径2～3mmの赤褐色スコリア粒と青灰色岩片を多く含む。

#### X III層 極暗褐色スコリア

アワオコシスコリア層とよばれ、非常に硬く、ざらざらしている。径2～3mmの赤褐色スコリア粒と青灰色岩片が密集堆積している。

#### X IV層 明褐色土

非常に硬く、やや粘性を帯びざらざらしている。全体に径1～2mmの赤褐色粒、径5mm程の青灰

色岩片、径5mm以下の橙色軽石を多く含む。

**XV層 赤褐色軽石**

イワオコシスコリア層とよばれ、非常に硬く、ざらざらしている。径1cm程の赤褐色軽石、径1mm程の白色鉱物粒を多く含む。

C区は、VIII層までは基本層序と同様であるが、年代推定のキー層となる始良・丹沢火山灰層、アワオコシスコリア層、イワオコシスコリア層等は層をなしては残存しておらず、それらは混在した状態であった。VIII層以下は次の通りである。

**⑨層 明黄褐色土**

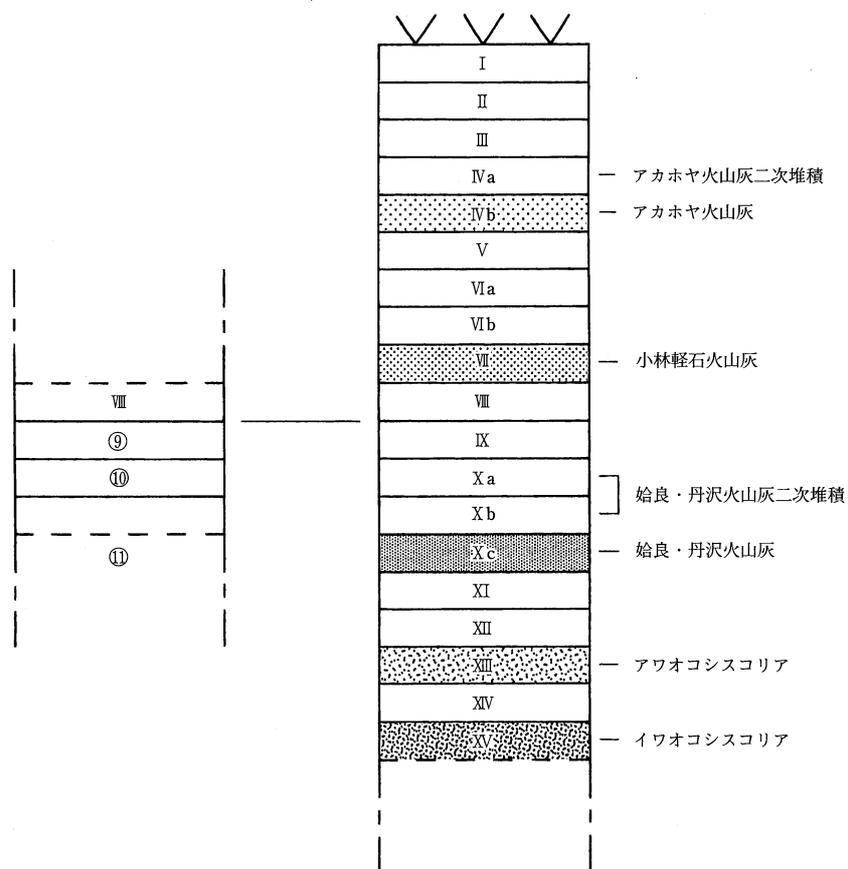
やや硬く、粘性を帯びている。全体にアワオコシスコリア、イワオコシスコリアと思われる赤褐色軽石、青灰色岩片を含む。

**⑩層 にぶい黄褐色土**

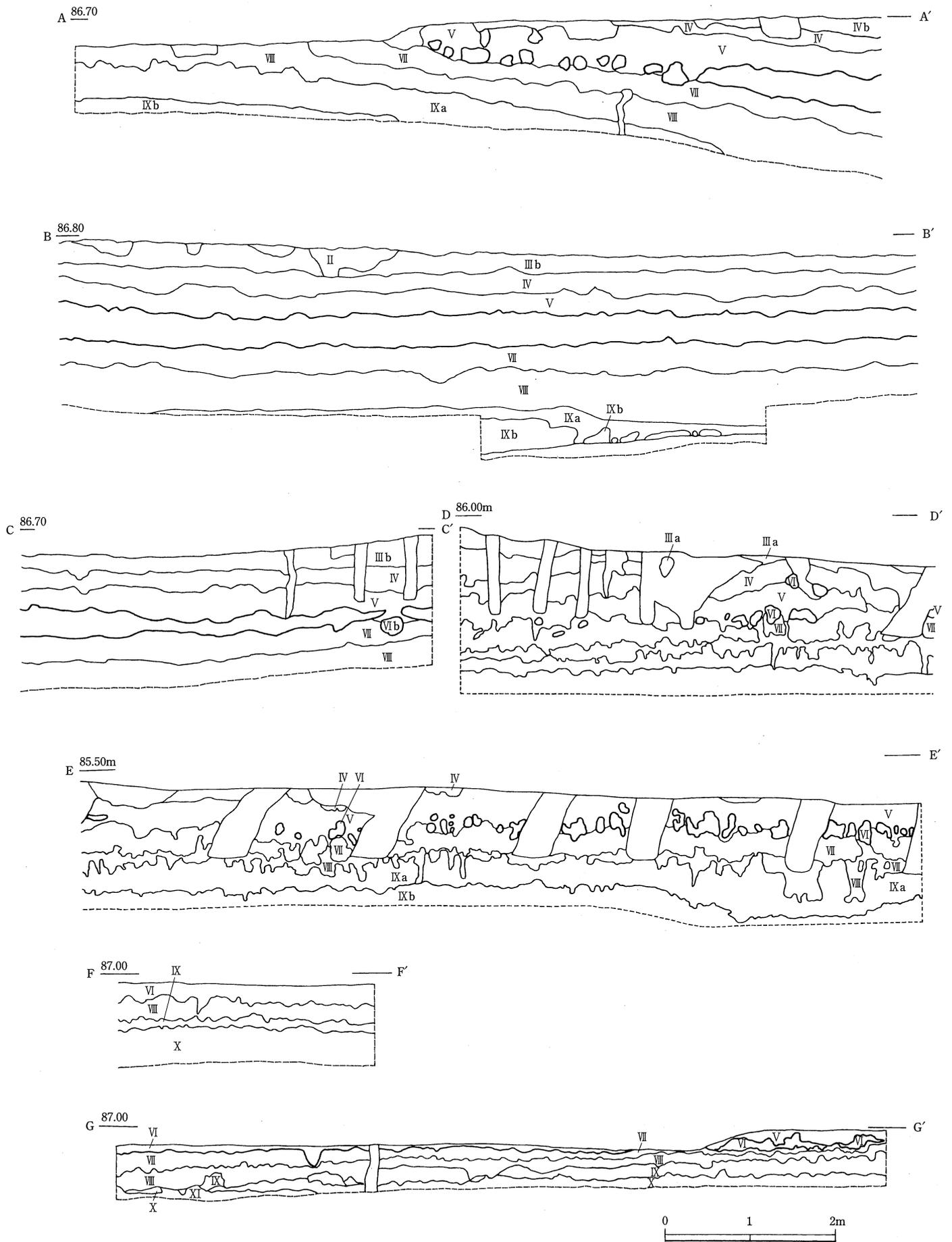
やや硬く、粘性が強い。全体に径1mm以下の白色鉱物粒を含む。

**⑪層 褐色土**

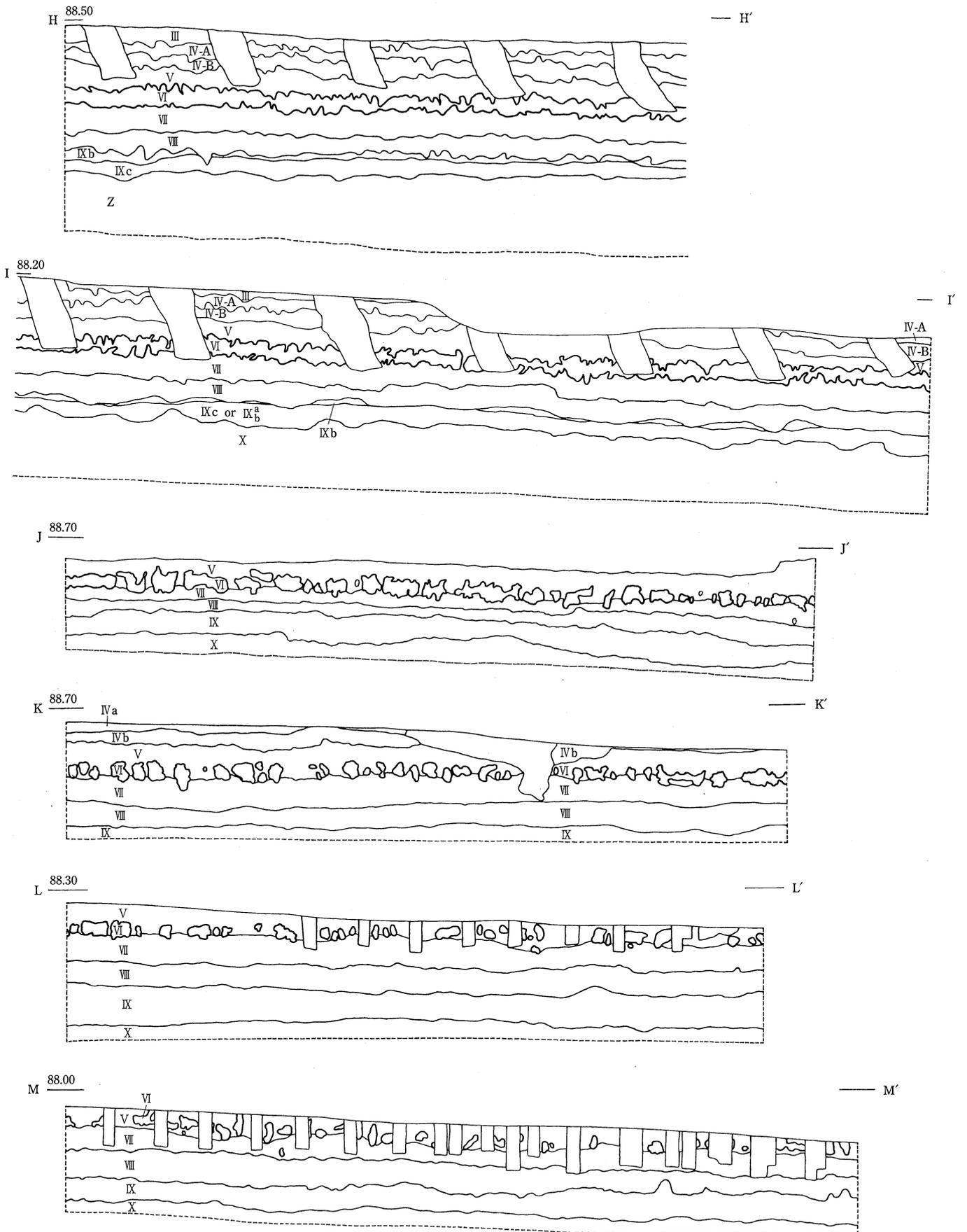
やや硬く、砂状にざらざらしている。全体に径1mm程の白色鉱物粒を含む。



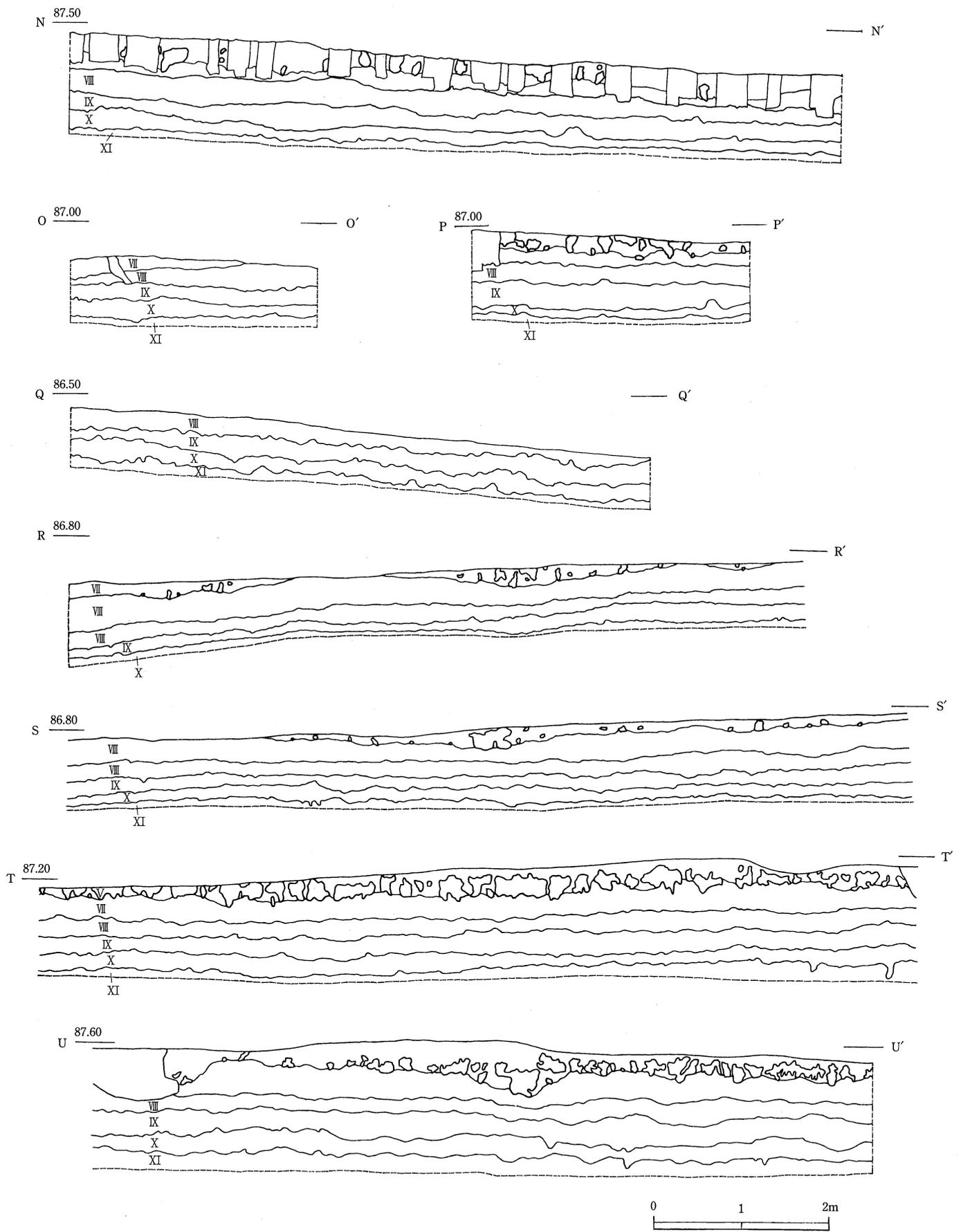
第3図 土層図



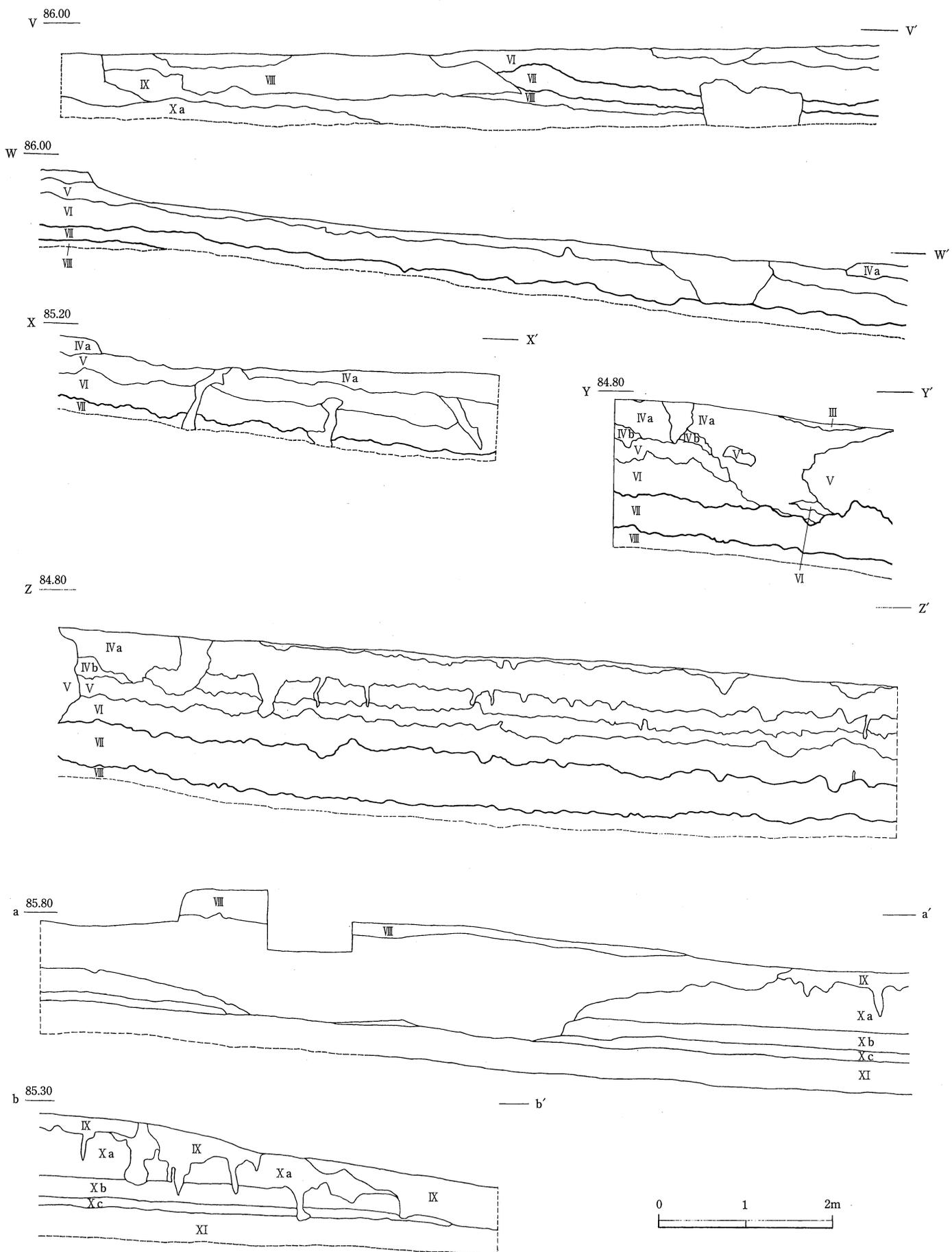
第4图 土层断面图



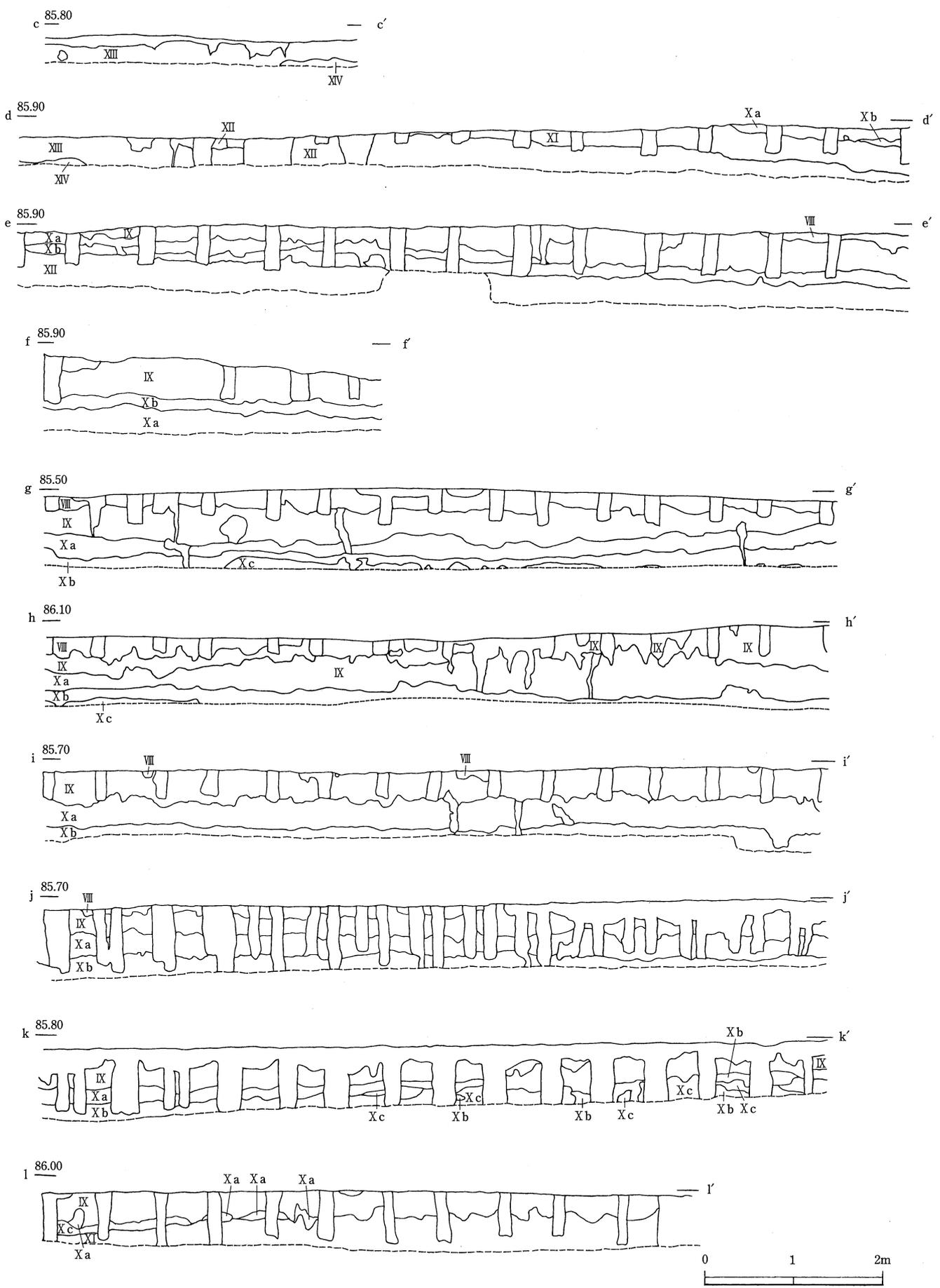
第5图 土层断面图



第6图 土层断面图



第7图 土层断面图



第8图 土层断面图

### 第三章 旧石器時代の遺構と遺物

旧石器時代においては、第1節で既に述べたように、三つの石器文化が確認された。それぞれの遺構・遺物の内容は次の通りである。

なお、遺物について、ナイフ形石器、台形石器、剥片尖頭器、三稜尖頭器は、ナイフ形石器類として取り扱い、石器の加工技術や形態の違いによって、それぞれが分類され、さらに細分される。その詳細は、凡例で前述した通りである。

#### 第1節 旧石器時代後期I石器文化の遺構と遺物

旧石器時代後期I石器文化の調査は、始良・丹沢火山灰の一次堆積層残存範囲において、遺跡の北東部(D区)のXI層を行った(第10図)。

後期I石器文化の文化層は、XI層上部にあたり、始良・丹沢火山灰降灰直前の時期と考えられる。

遺構としては、土坑1基と石器ブロック1群を検出し、遺物としては、ナイフ形石器、スクレイパー、敲石兼磨石、敲石、使用痕のある剥片、剥片、碎片等の石器類が出土した。

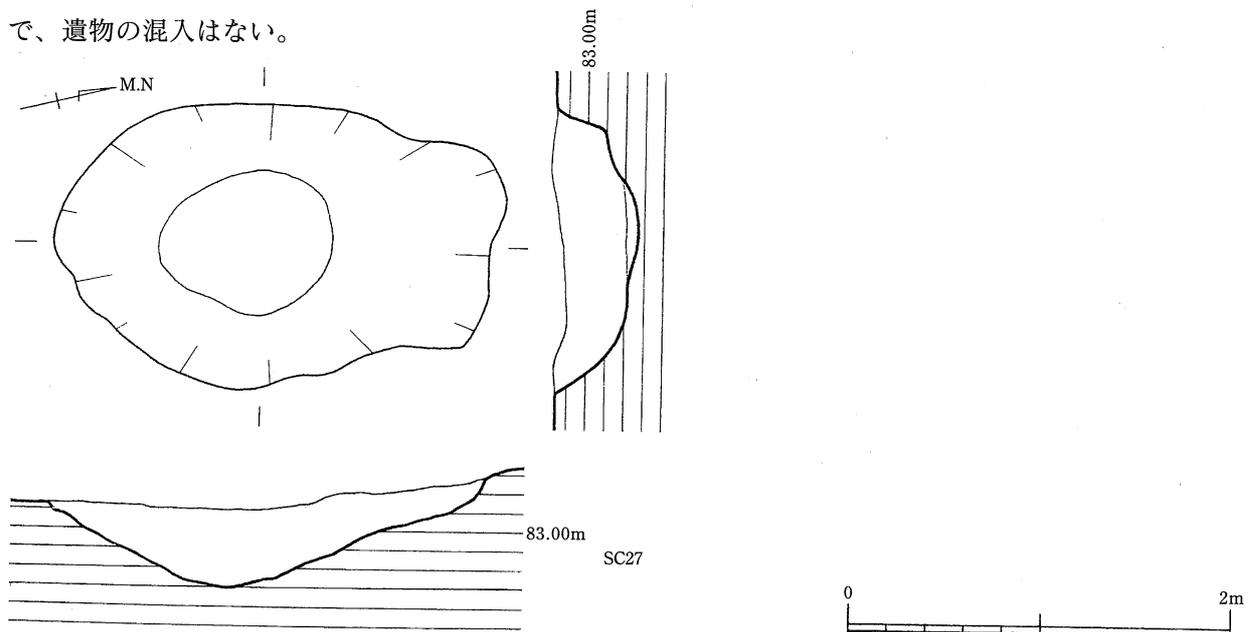
##### (1)遺構

##### 土坑

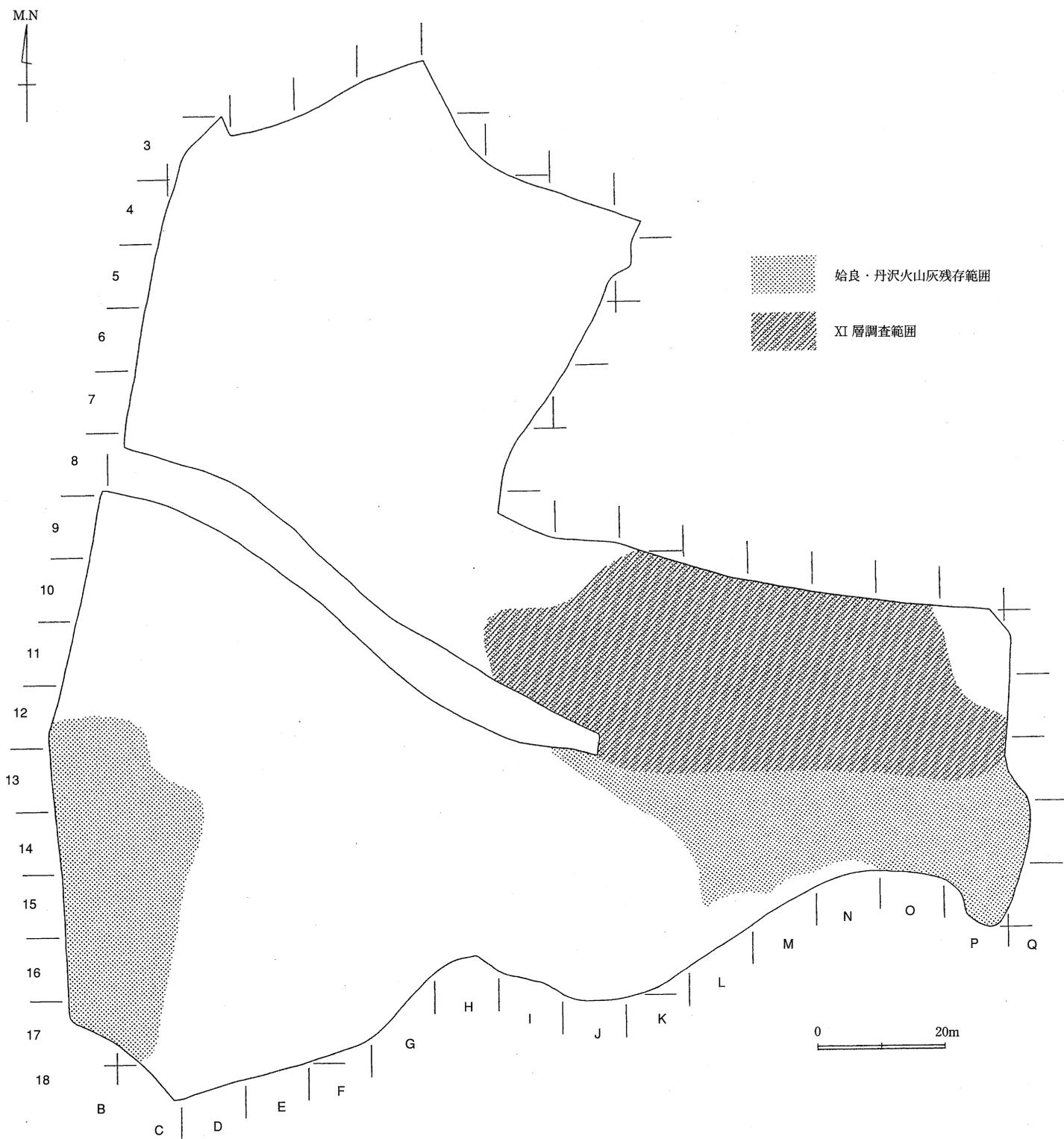
土坑は、1基検出した。土坑は、遺跡中央からやや北東部に位置し、始良・丹沢火山灰一次堆積層を除去したXI層上面で検出された。

##### SC27(第9図、第11図)

グリッドL11の北西から南東へ傾斜する地点で検出した土坑で、230cm×149cm×41cmで、平面は不整楕円形、底面は楕円形、断面は皿状の形態をとる。土坑の埋土は、XI層の始良・丹沢火山灰で、遺物の混入はない。



第9図 土坑実測図



第10図 始良・丹沢火山灰残存範囲及びXI層調査範囲

## ブロック

ブロックは、遺跡の北東部（D区）の北から南へと尾根筋に向かう傾斜面で、1郡を確認した。

### 第26ブロック（第11図、第12図）

グリッドN11に位置する。長径2m、短径1.3m程の範囲に、18点の石器が集中して出土した。その内訳は、ナイフ形石器1点、敲石1点、使用痕のある剥片1点、剥片15点である。石材は、流紋岩fが多い。ナイフ形石器・・・Ⅱ類B①

### (2)遺物

出土した遺物は全て石器で、総数47点である（第1表）。その内訳は、ナイフ形石器1点、スクレイパー3点、敲石兼磨石1点、敲石1点、使用痕のある剥片2点、剥片・碎片39点である。石材は、流紋岩fが多い。剥片・碎片以外は、全て図示してある（第2表、第14図）。

これらの石器の分布は、北から南へと尾根筋に向かって傾斜するグリッドN11に集中する（第11図、第13図）。

### 接合資料

得られた接合資料は、剥片3点の接合が2個体、剥片2点の接合が2個体の合計4個体、剥片の点数にして10点を確認した。石材は、流紋岩f7点、黒曜石3点である。それらは図示していない。

### ナイフ形石器（第14図1）

#### Ⅱ類B①

1は、縦長剥片を素材とし、その一側縁に刃潰し加工が施されており、基部調整がない切出し型ナイフである。石材は、流紋岩fである。

### スクレイパー（第14図2、3、5）

搔器1点、削器2点が出土した。

### 搔器

5は、幅広剥片を素材とし、剥片の長軸上の一端から両側縁にかけて、裏面側からの細かな調整加工を施して刃部を作り出している。石材は、流紋岩fである。

### 削器

2、3は、縦長剥片を素材とし、剥片の一側縁に、裏面側からの細かな調整加工を施して刃部を作り出している。石材は、2が石英、3が流紋岩bである。

### 敲石兼磨石・敲石（第14図7、8）

#### 敲石兼磨石

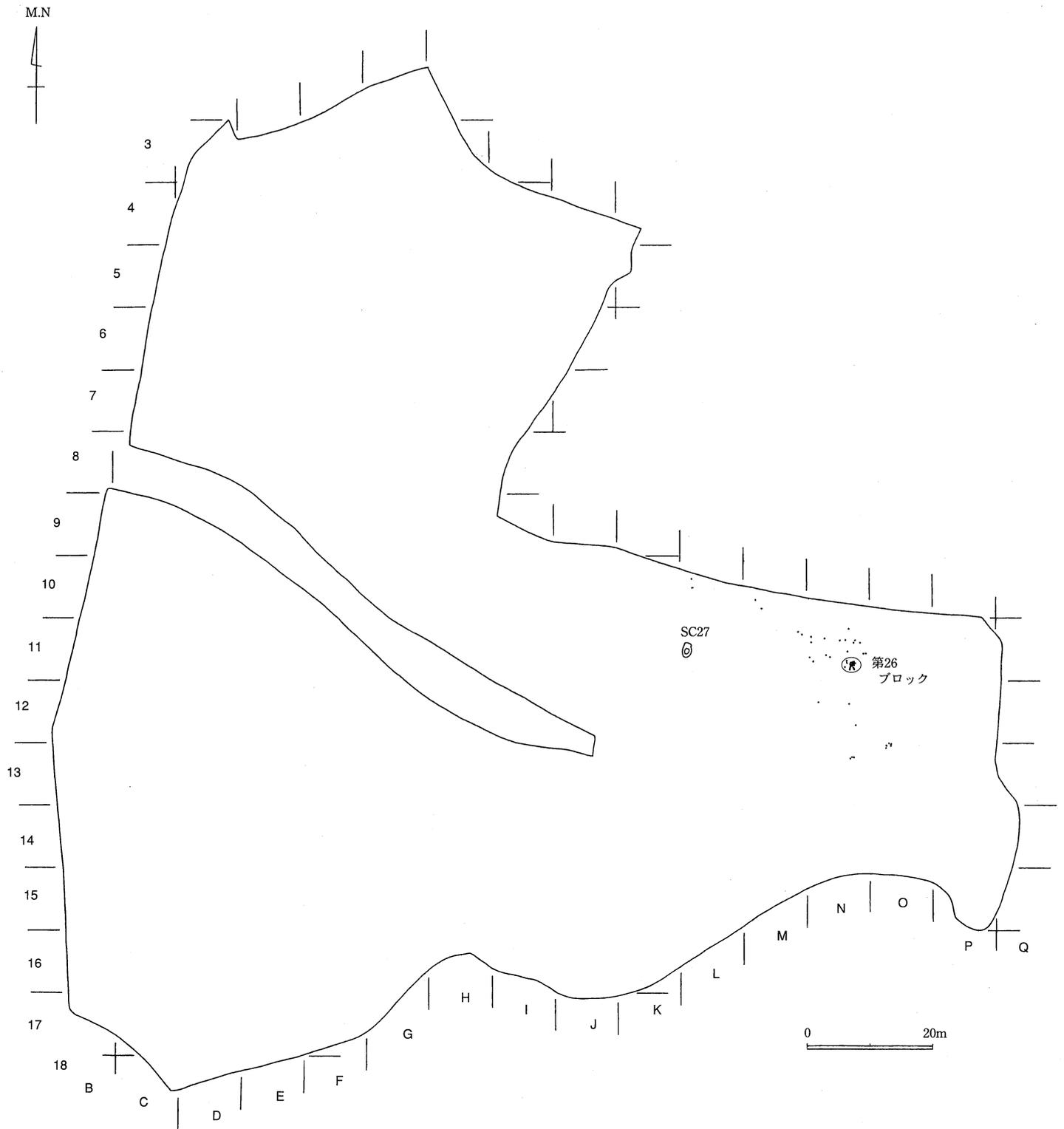
8は、石器の形状が扁平な長方形を呈し、敲打痕が礫の縁辺の四隅に観察され、磨痕が礫の表面から縁辺部にかけて観察される。石材は、尾鈴酸性岩である。

#### 敲石

7は、石器の形状が不整形で、敲打痕が礫の両端に観察される。石材は、砂岩である。

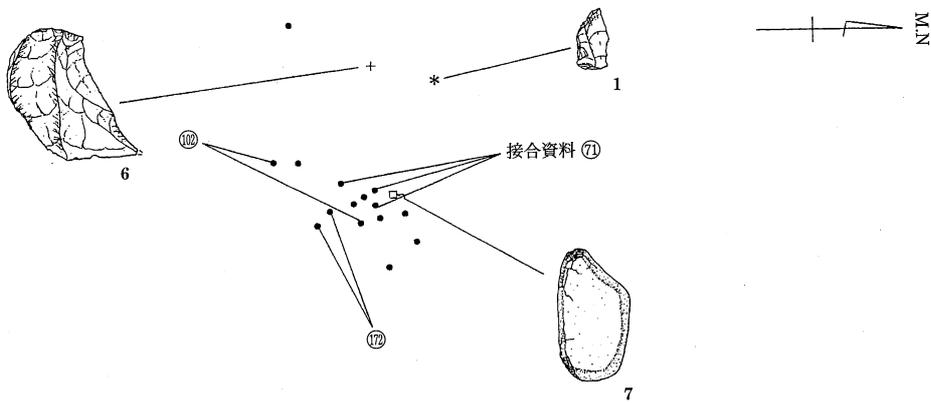
### 使用痕のある剥片（第14図4、6）

4、6は、縦長剥片を素材とし、剥片の一端から一側縁にかけて使用痕が観察される。石材は流紋岩fである。

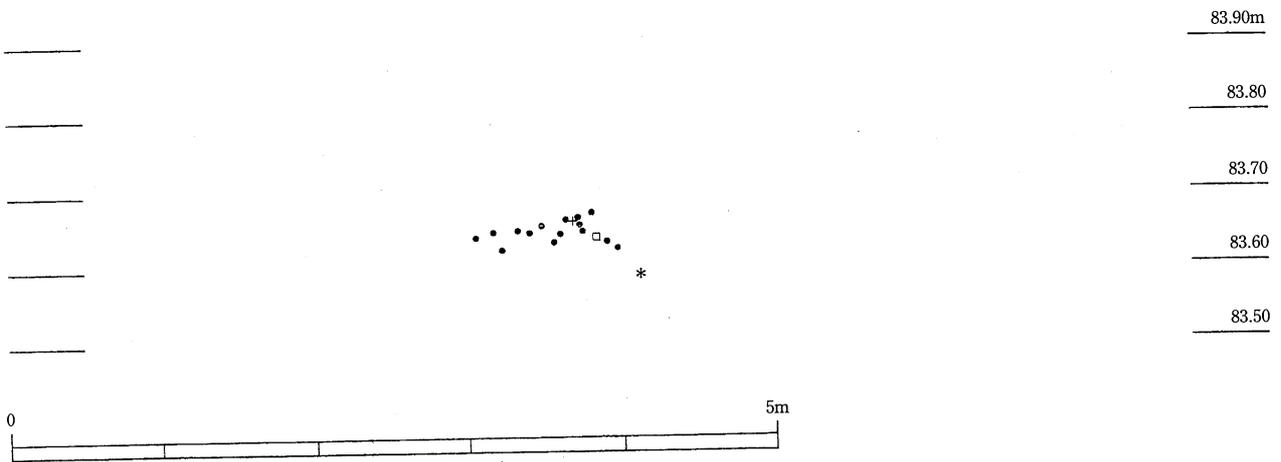


第11図 遺構配置図及び遺物分布図（旧石器時代後期第Ⅰ石器文化）

- \* ナイフ形石器
- 敲石
- + 使用痕のある剥片
- 剥片・碎片



N12	N11
O12	O11



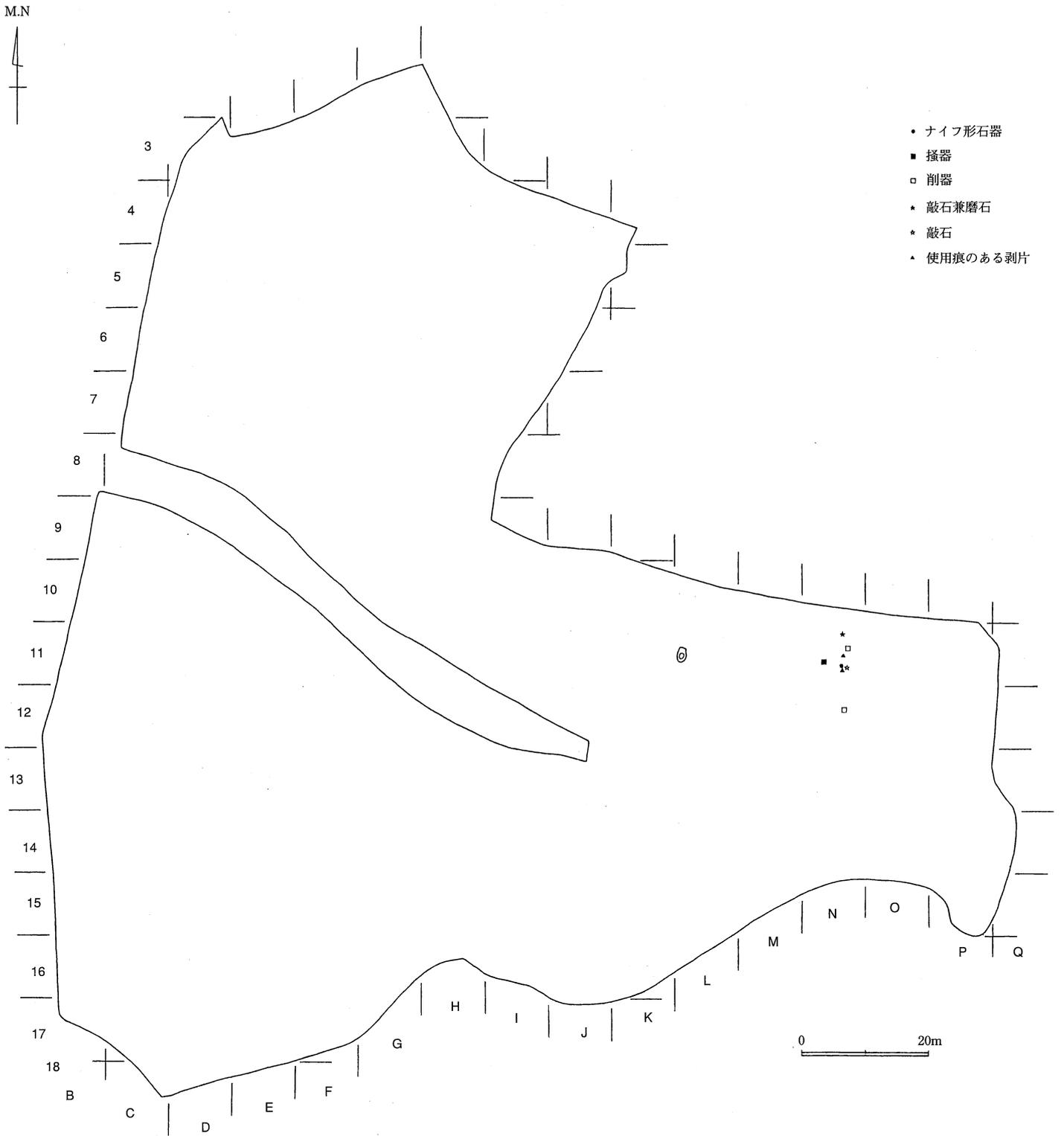
第12図 第26ブロック

表1 旧石器時代後期Ⅰ石器文化石材別数量

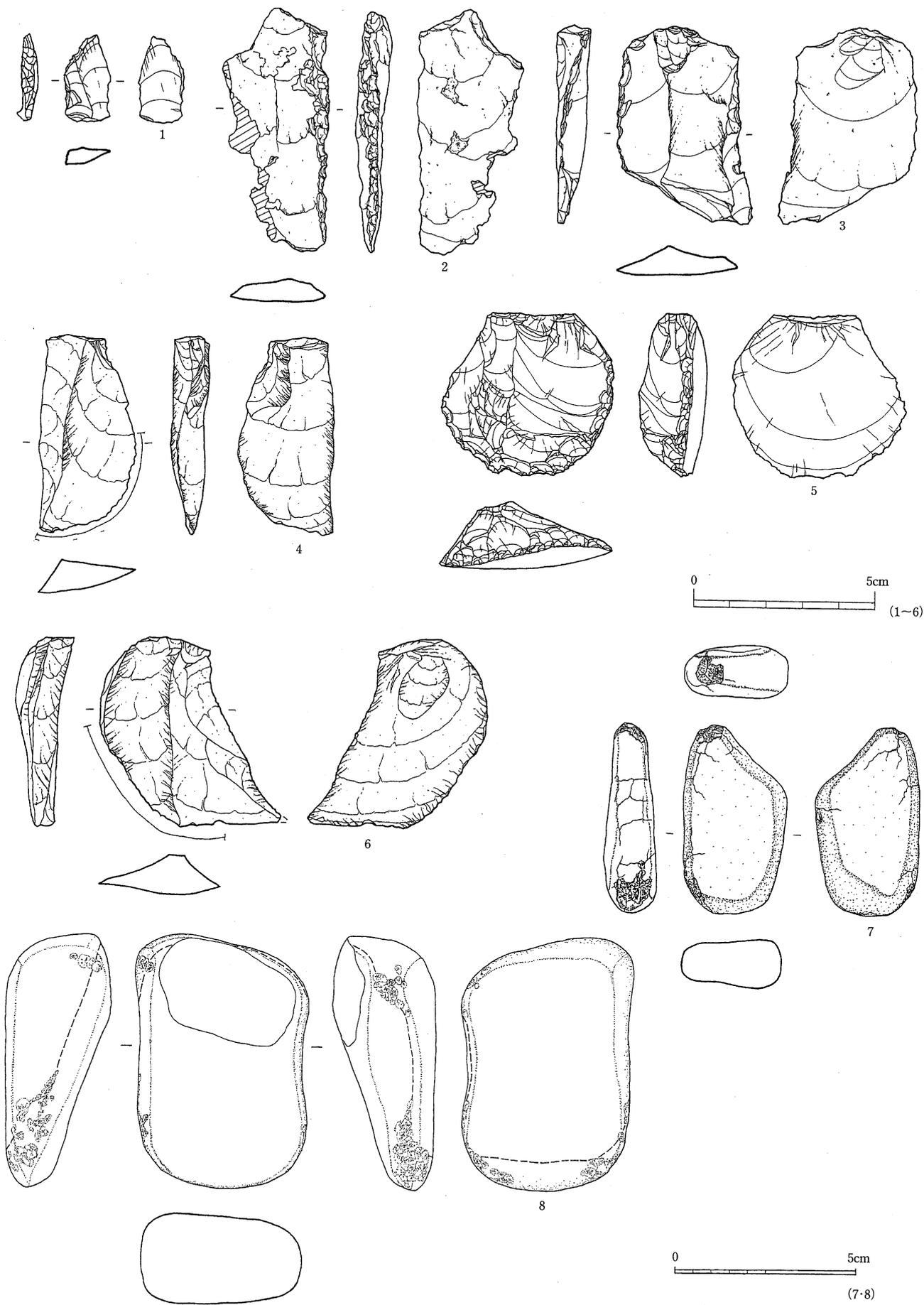
器種	計(%)	流紋岩							ホルンフェルス	砂岩	黒曜石	チャート	尾鈴酸性岩	珪質頁岩	石英
		a	b	c	d	e	f	g							
ナイフ形石器	1(12.5)	1(100)							0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
スクレイパー	3(37.5)	0	1	0	0	0	1	0	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(33.3)	
敲石・磨石	2(25.0)	0(0)							0(0)	1(50.0)	0(0)	0(0)	1(50.0)	0(0)	
使用痕のある剥片	2(25.0)	2(100)							0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
石器総計	8(17.0)	5(62.5)							0(0)	1(12.5)	0(0)	0(0)	1(12.5)	0(0)	
剥片・碎片	39(83.0)														
総計	47														

表2 石器計測表

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
1	ナイフ形石器	Ⅱ	B	①	D	XI	N-11	流紋岩f	2.50	1.30	0.60	1.30		26	892
2	スクレイパー	削器			D	XI	N-12	石英	6.80	2.90	0.95	16.60			918
3	スクレイパー	削器			D	XI	N-11	流紋岩b	5.50	3.75	0.90	16.90			876
4	使用痕剥片				D	XI	N-11	流紋岩f	5.55	2.65	1.00	12.20			878
5	スクレイパー	搔器			D	XI	N-11	流紋岩f	4.60	4.80	1.90	37.00			900
6	使用痕剥片				D	XI	N-11	流紋岩f	5.30	5.00	1.55	19.30		26	893
7	敲石				D	XI	N-11	砂岩	10.64	5.75	3.00	231.00		26	905
8	敲石兼磨石				D	XI	N-11	尾鈴酸性岩	14.30	9.60	5.80	1063.40			925



第13図 遺物分布図 (ナイフ形石器、スクレイパー、敲石兼磨石、敲石、使用痕のある剥片)



第14图 石器实测图

## 第2節 旧石器時代後期Ⅱ石器文化の遺構と遺物

始良・丹沢火山灰降灰以降～小林軽石火山灰降灰以前までの文化層で、Ⅷ層からⅨ層上部にあたる。遺構としては、礫群22基を検出し、石器ブロック25群を確認した。遺物としては、ナイフ形石器、台形石器、剥片尖頭器、三稜尖頭器、スクレイパー、石錘、敲石兼磨石、敲石、磨石、台石、二次加工のある剥片、使用痕のある剥片、石核、剥片、碎片等の石器類が出土した。

### (1)遺構

#### 礫群（第3表・第15図～第22図）

22基の礫群を検出した。礫群は、遺跡の中央部分は削平されているため不明であるが、主に遺跡の北端と南西端の谷際に集中して分布し、Ⅷ層下～Ⅸ層上面で検出された。それらは、全て掘り込みはなく、ほとんどが砂岩を用いている。礫の大半は赤化し、破碎していることから、熱を受け、繰り返し使用された可能性があると考えられる。SI13とSI14の2基に炭化物を確認した。SI8（第18図）については、削平を受けている状態で検出し、精査の段階で誤って礫をはずした部分がある。

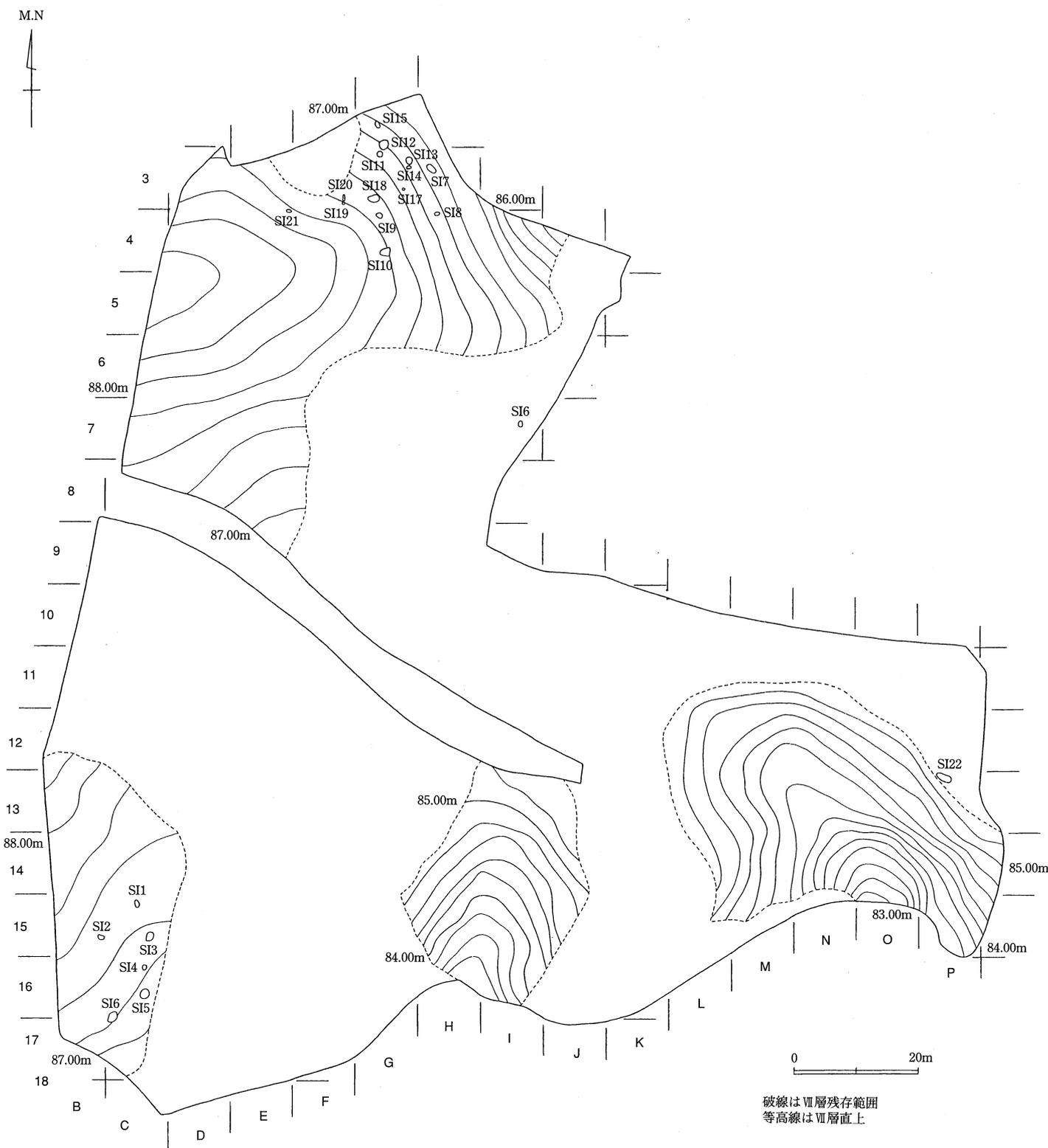
礫群に伴って出土した遺物は石器19点で、そのうちの17点を図示している（第23図9～第25図25）。その内容は、台形石器1点、剥片尖頭器2点、三稜尖頭器1点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片1点、剥片11点である（第23図9～25）。

それらの中で、SI13内で出土した剥片1点と礫群周辺の剥片1点と接合したことから、SI13とその周辺の石器群とは、同時期に使用された可能性が高い。また、遺物分布図（第23図）において、SI6の範囲内に60点程の石器が重なっているが、これらは、SI6の精査後、その直下から出土しており、SI16が構築される直前のものと考えられる。

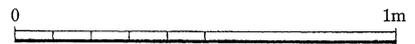
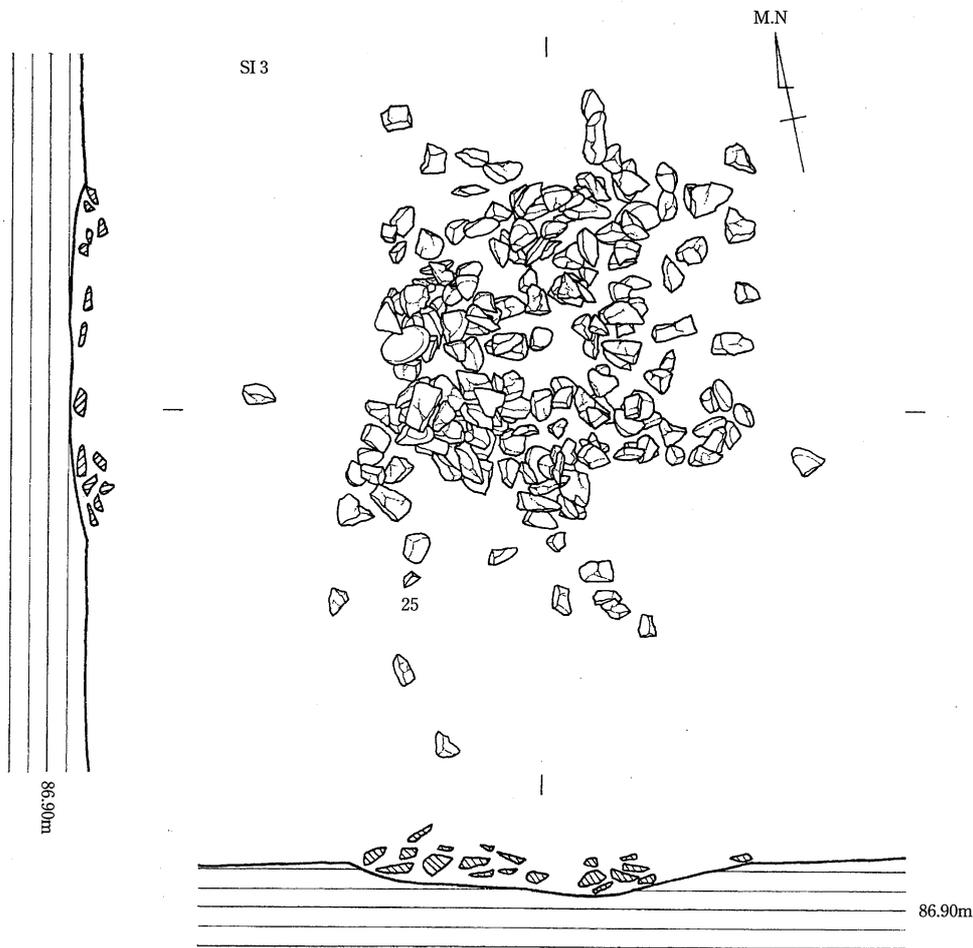
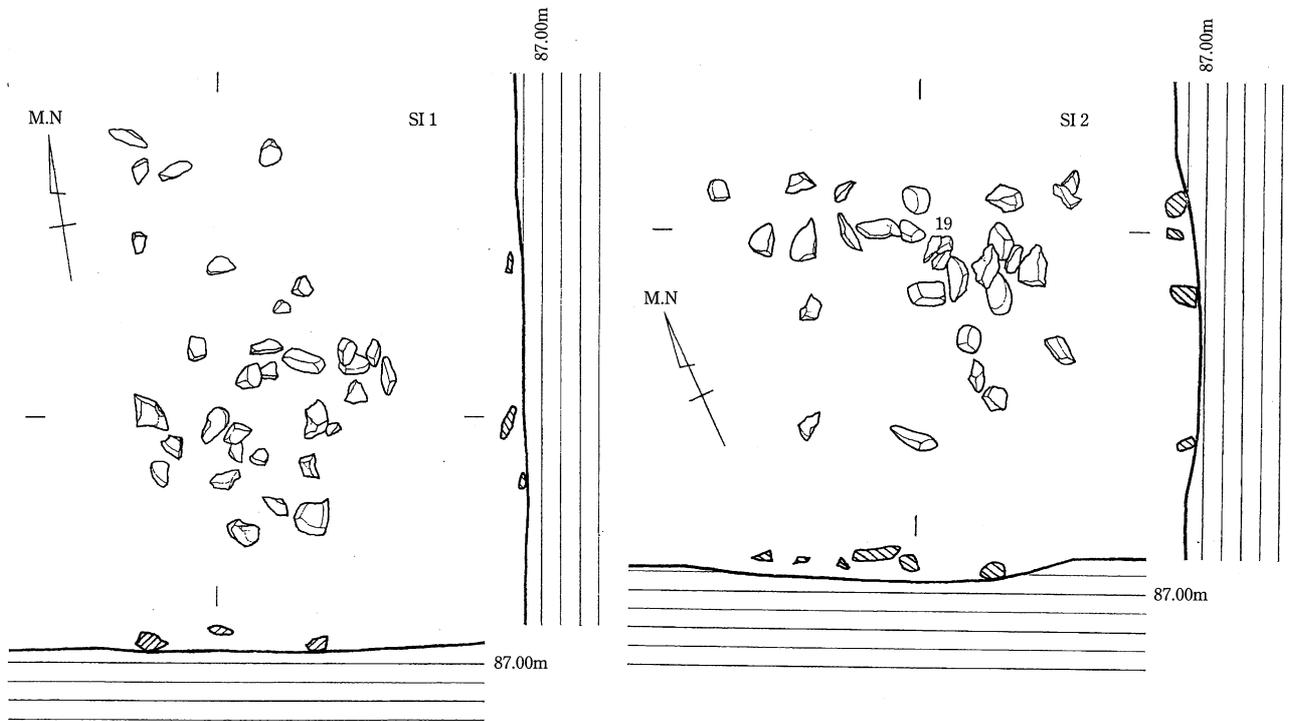
なお、SI1～SI22の詳細は第3表、礫群内出土遺物の詳細は第4表の通りである。

表3 礫群計測表

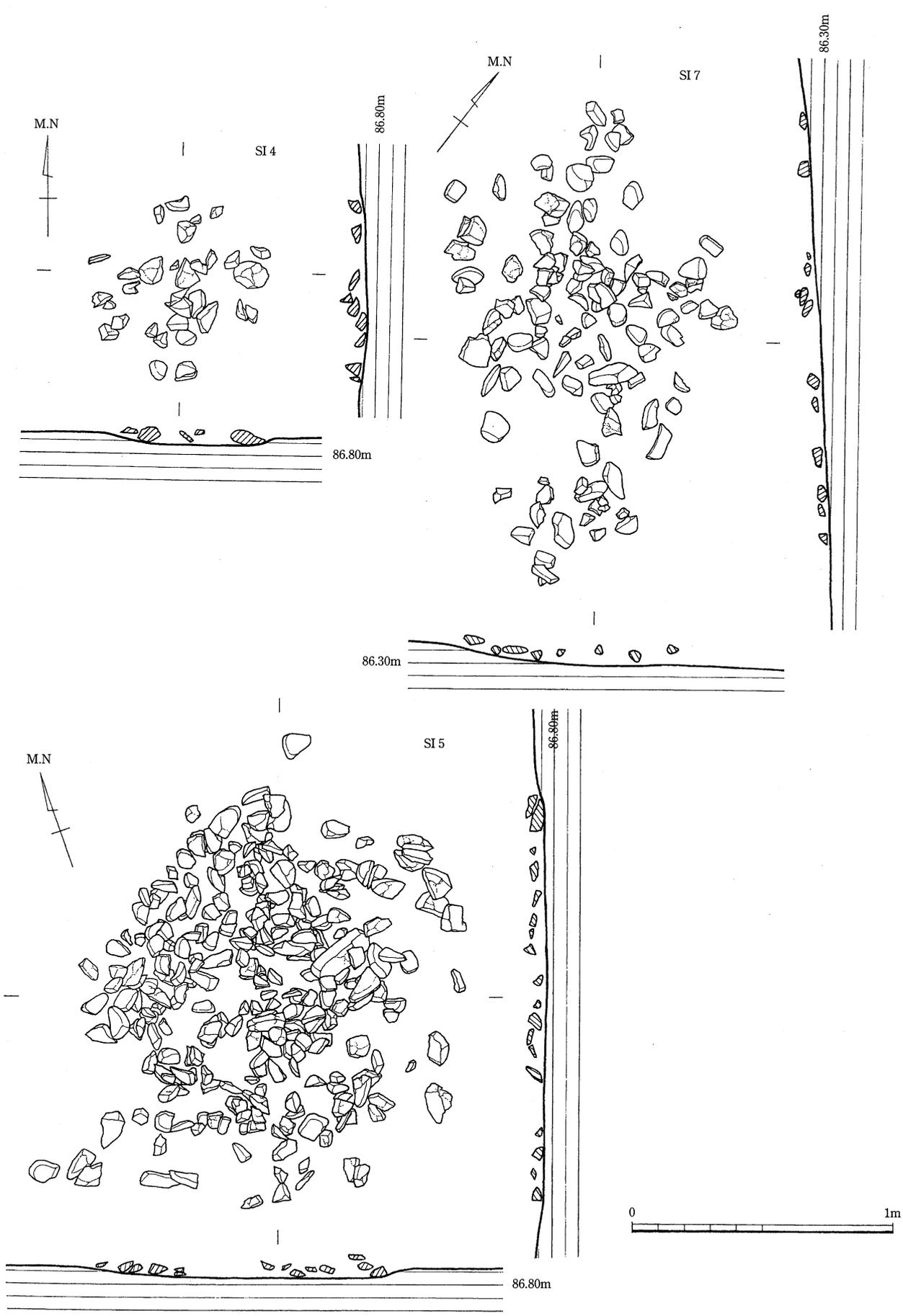
遺構番号	グリッド名	検出面	長径(cm)	短径(cm)	掘込の有無	石材	礫数(個)	円礫(%)	礫の密度	礫の赤化	炭化物	遺物混入	備考
SI1	C15	Ⅷ層下部	110	70	なし	砂岩	32	0	疎	有り	なし	なし	
SI2	B15	Ⅷ層下部	100	74	なし	砂岩	28	0	疎	有り	なし	有り	
SI3	C15	Ⅷ層下部	178	153	なし	砂岩	184	0.5	密	有り	なし	有り	
SI4	C16	Ⅷ層下部	72	70	なし	砂岩	33	0	疎	有り	なし	なし	
SI5	C16	Ⅷ層下部	200	154	なし	砂岩	249	0	密	有り	なし	なし	
SI6	C16～17	Ⅷ層下部	214	156	なし	砂岩	209	0	密	有り	なし	有り	
SI7	H3	Ⅷ層下部	188	112	なし	砂岩	110	0	やや密	有り	なし	なし	
SI8	H4	Ⅷ層下部	80	62	なし	砂岩	24	0	疎	有り	なし	なし	一部破壊
SI9	G4	Ⅷ層下部	110	84	なし	砂岩	49	0	疎	有り	なし	なし	
SI10	G10	Ⅷ層下部	214	173	なし	砂岩	147	0	やや密	有り	なし	有り	
SI11	G3	Ⅷ層下部	98	86	なし	砂岩	56	0	密	有り	なし	なし	
SI12	G2～3	Ⅷ層下部	175	165	なし	砂岩	87	0	疎	有り	なし	なし	
SI13	G3	Ⅷ層下部	152	116	なし	砂岩	153	1.3	密	有り	有り	有り	
SI14	G3	Ⅷ層下部	75	54	なし	砂岩	38	0	疎	有り	有り	なし	
SI15	G2	Ⅷ層下部	112	60	なし	砂岩	60	0	密	有り	なし	なし	
SI16	I7	Ⅷ層下部	120	92	なし	砂岩	37	0	疎	有り	なし	なし	
SI17	G3	Ⅷ層下部	43	33	なし	砂岩	25	4	密	有り	なし	なし	
SI18	G3	Ⅷ層下部	192	158	なし	砂岩	62	1.6	疎	有り	なし	有り	
SI19	F3	Ⅷ層下部	48	44	なし	砂岩	30	0	密	有り	なし	なし	
SI20	F3	Ⅷ層下部	128	44	なし	砂岩	36	2.8	密	有り	なし	なし	
SI21	E3～4	Ⅷ層下部	82	46	なし	砂岩	44	0	密	有り	なし	有り	
SI22	P13	Ⅷ層下部	258	145	なし	砂岩	145	0	密	有り	なし	有り	



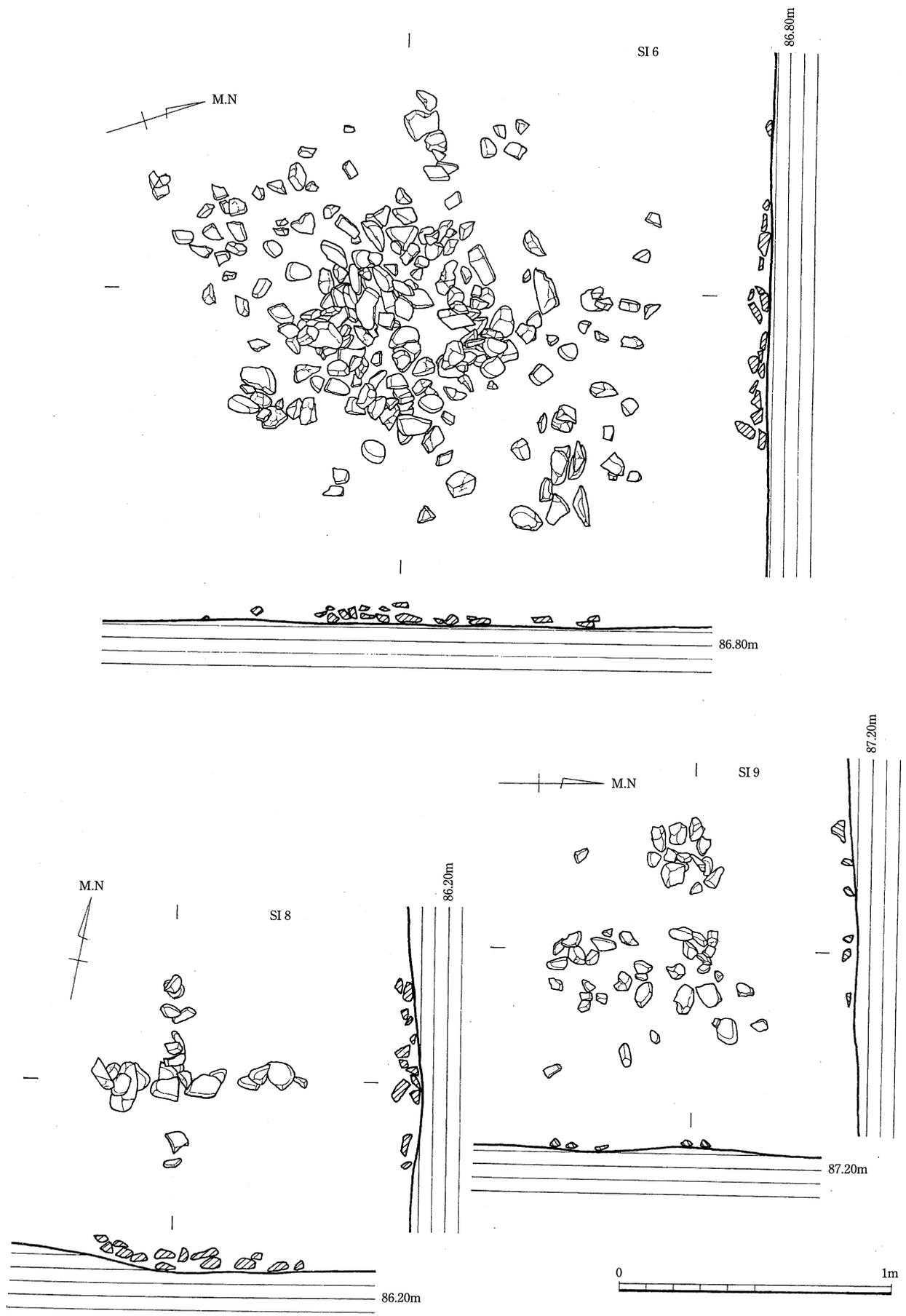
第15図 遺構配置図（旧石器時代後期第Ⅱ石器文化）



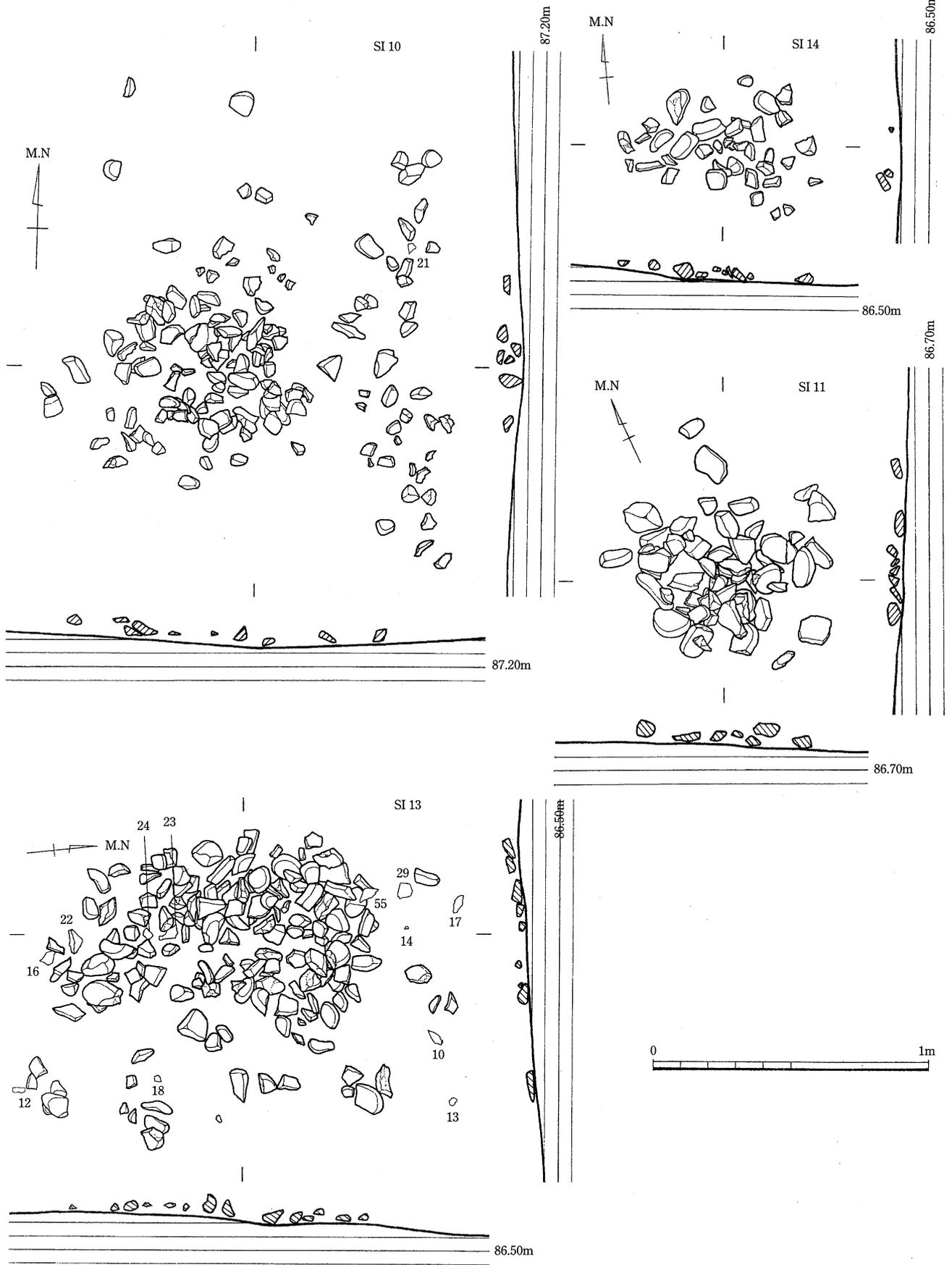
第16図 礫群実測図



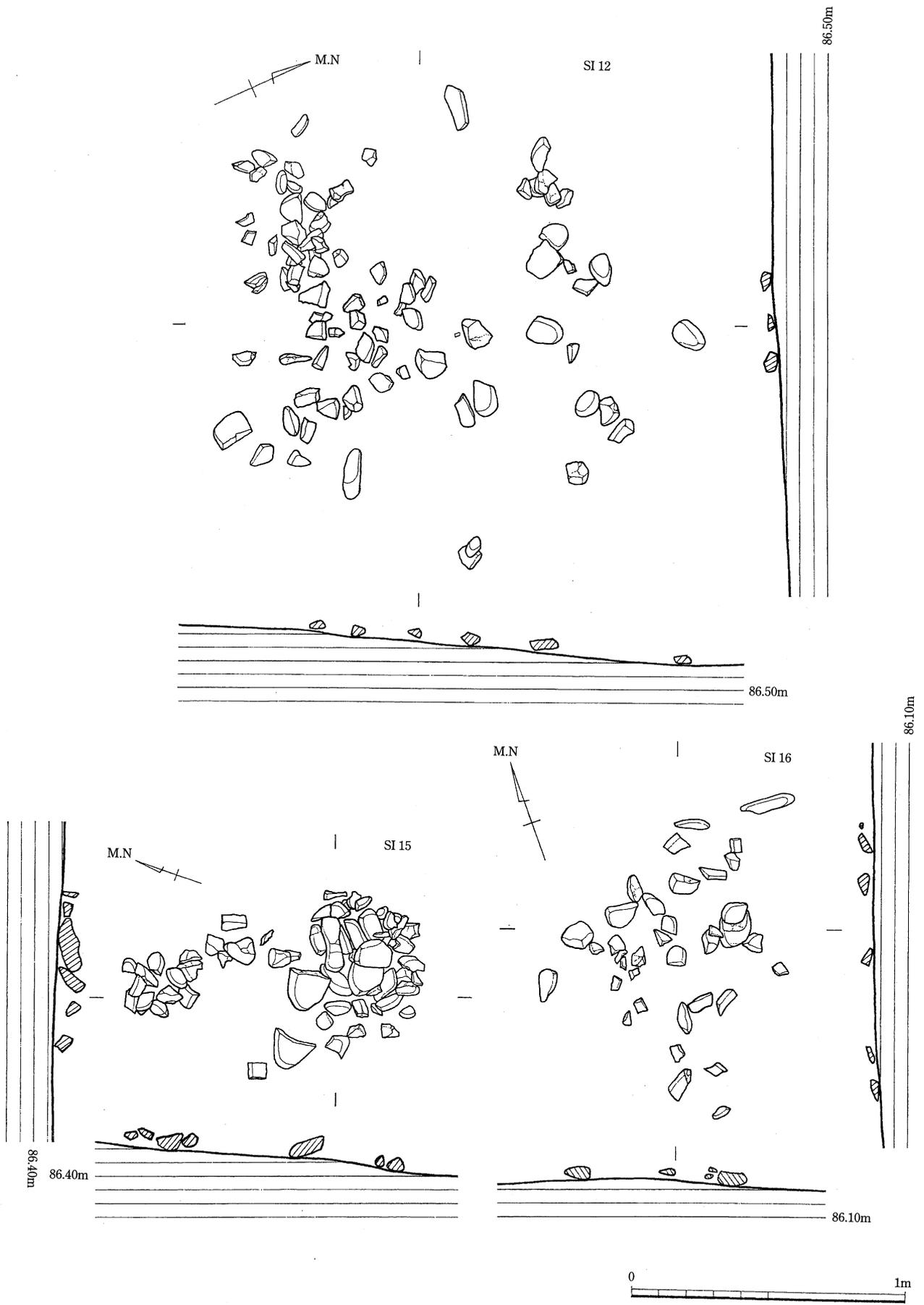
第17図 礫群実測図



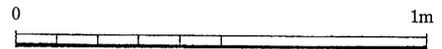
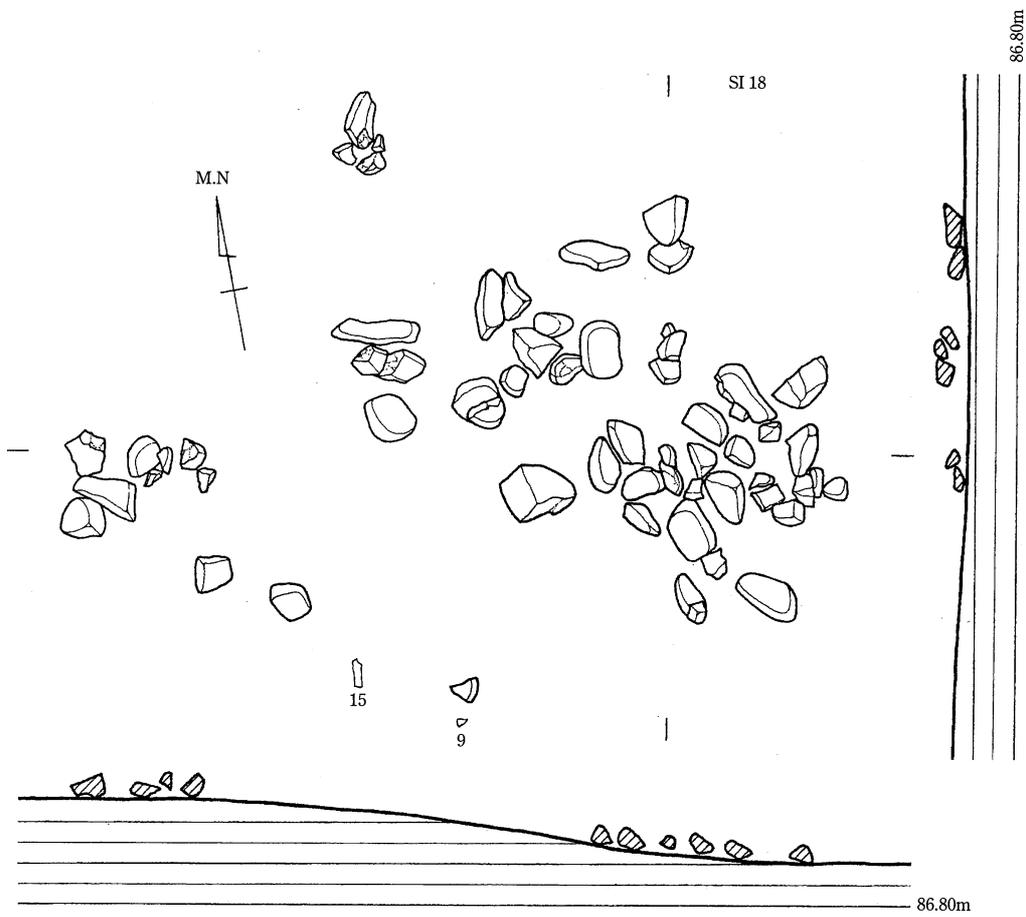
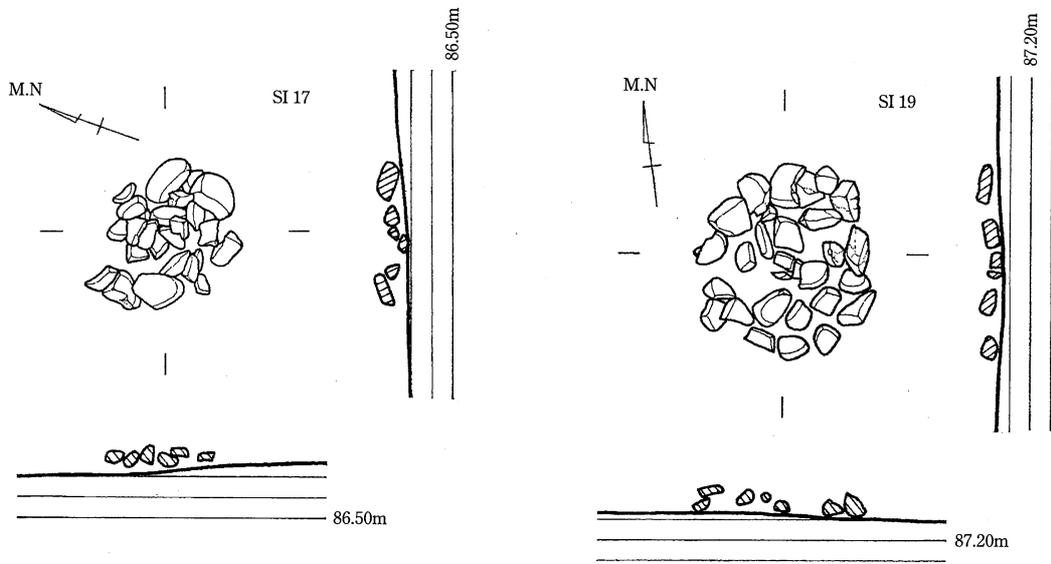
第18図 礫群実測図



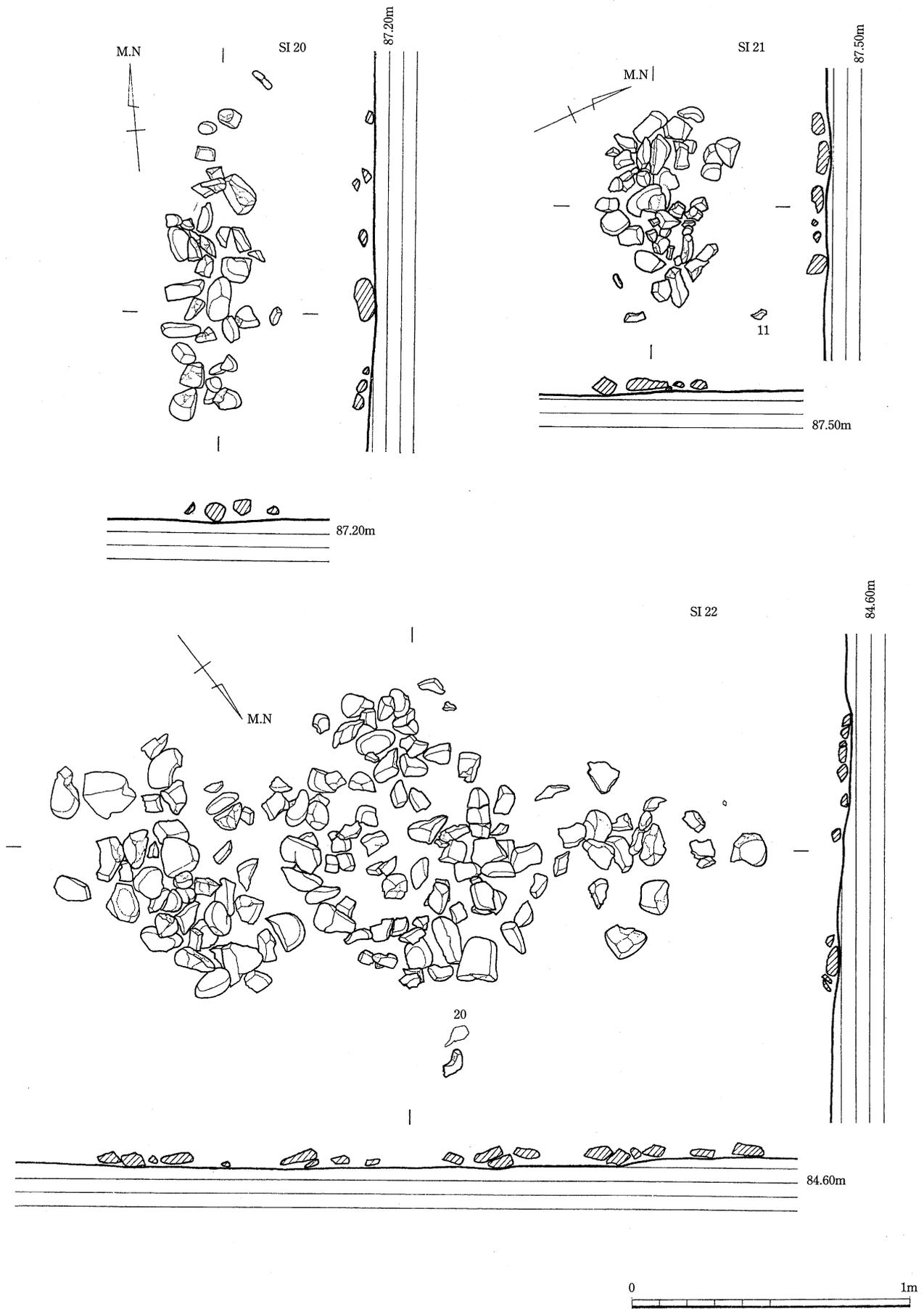
第19図 礫群実測図



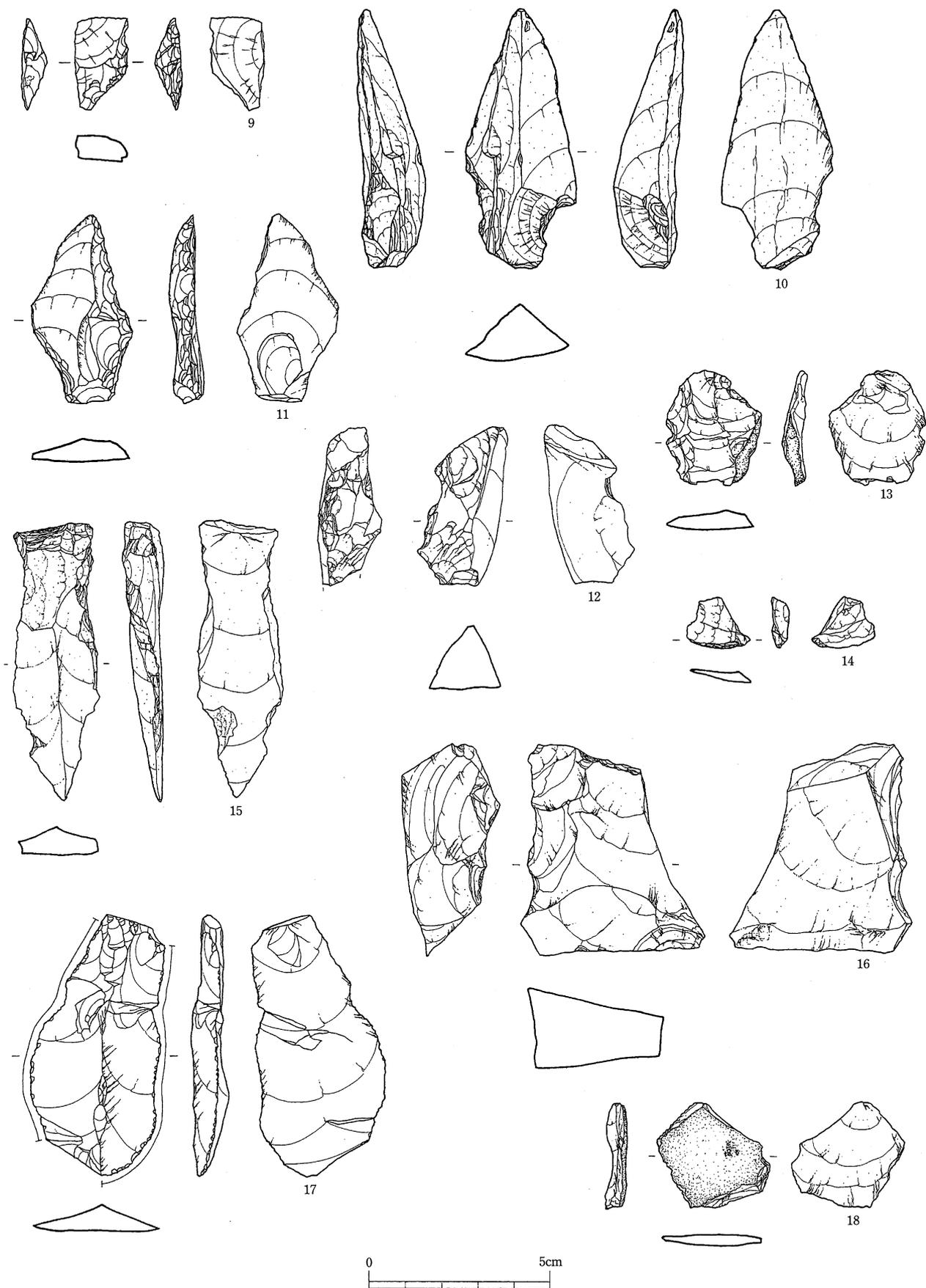
第20図 礫群実測図



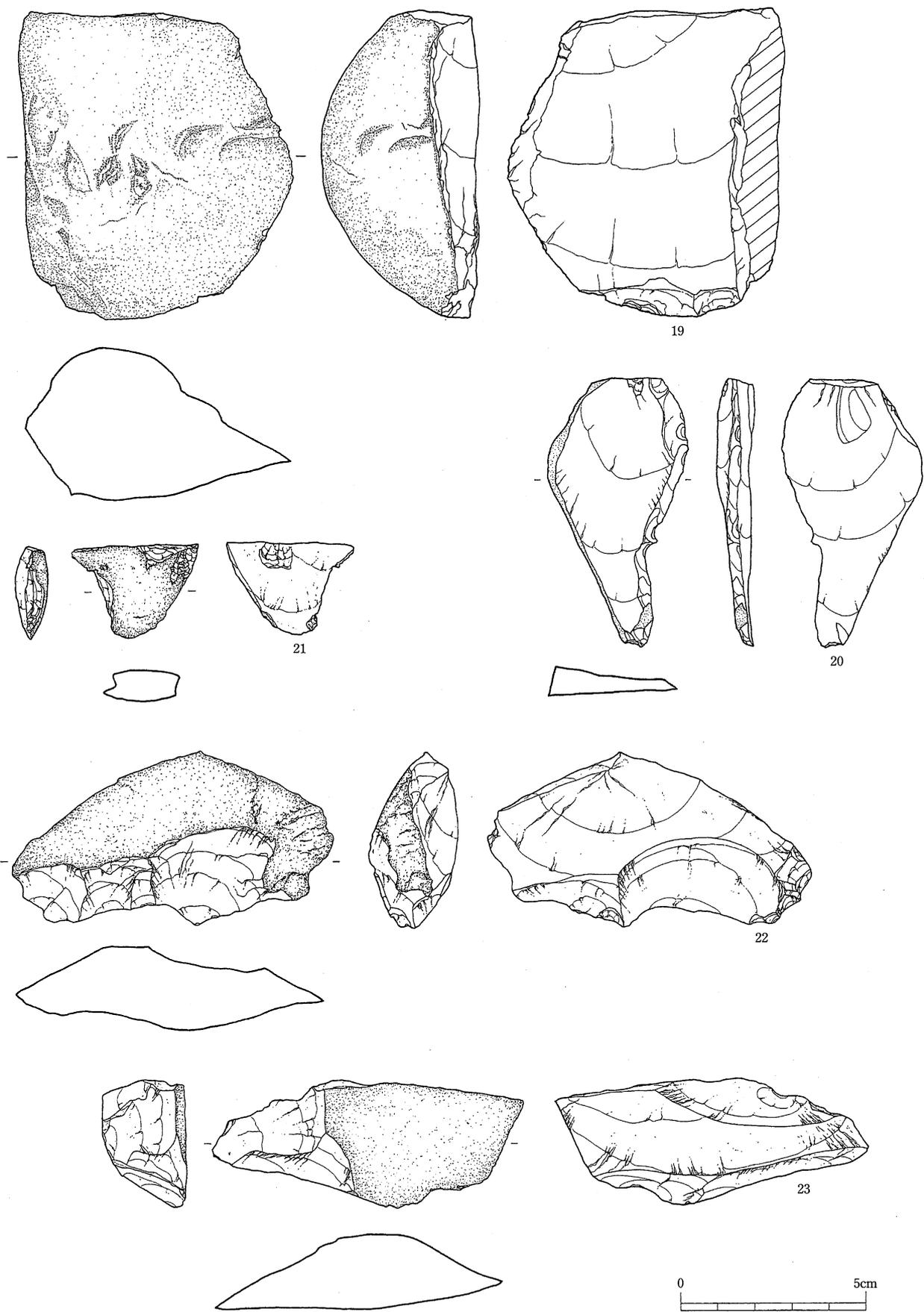
第21図 礫群実測図



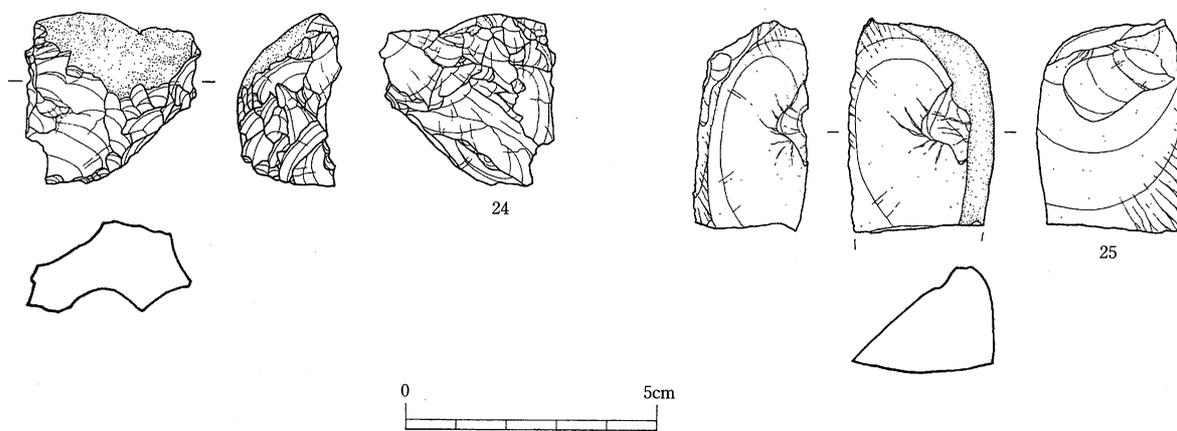
第22図 礫群実測図



第23图 遺構出土石器実測図



第24图 遺構出土石器実測図



第25図 遺構出土石器実測図

表4 遺構出土石器計測表

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	遺構	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
9	台形石器	V	A	—	C	SI18	G-3	黒曜石	2.60	1.50	1.75	2.70			SI18①
10	剥片尖頭器	VI	A	①	C	SI13	G-3	ホルンフェルス	7.35	3.00	1.90	26.20			SI13②
11	剥片尖頭器	VI	A	③	C	SI21	E-4	流紋岩f	5.35	2.80	9.50	9.00			SI21①
12	三稜尖頭器	VIII	C	③	C	SI13	G-3	流紋岩b	4.45	2.50	1.75	15.60			SI13②
13	剥片				C	SI13	G-3	流紋岩f	3.25	2.65	0.65	4.30			SI13①
14	剥片				C	SI13	G-3	チャート	1.40	1.75	0.50	0.60			SI13⑤
15	二次加工剥片	—	—	—	C	SI18	G-3	流紋岩a	7.85	2.40	1.15	16.60			SI18②
16	剥片				C	SI13	G-3	流紋岩b	5.95	5.10	2.75	65.40			SI13⑩
17	使用痕剥片	—	—	—	C	SI13	G-3	流紋岩f	7.40	3.70	1.00	20.40			SI13③
18	剥片				C	SI13	G-3	流紋岩b	2.95	3.15	0.60	3.90			SI13⑦
19	剥片				B	SI2	C-15	流紋岩f	8.55	7.50	4.30	29.50			SI2①
20	剥片				D	SI22	P-13	流紋岩e	7.50	3.80	1.00	18.70			SI22①
21	剥片				C	SI10	G-4	流紋岩f	2.60	3.50	0.95	6.90			SI10①
22	剥片				C	SI13	G-3	流紋岩b	4.85	8.80	2.40	78.80			SI13⑩
23	剥片				C	SI13	G-3	流紋岩a	3.50	8.45	2.30	56.70			SI13⑧
24	剥片				C	SI13	G-3	チャート	3.50	3.50	2.10	21.10			SI13⑨
25	剥片				B	SI3	C-15	流紋岩c	4.30	2.90	2.30	30.80			SI3①
29	剥片				C	SI13	G-3	流紋岩g	6.15	6.02	2.30	86.40	1		SI13④
55	剥片				C	SI13	G-3	流紋岩g	8.30	4.20	3.92	82.40	2		SI13⑥

### ブロック (第26図)

25群のブロックを確認した。ブロックは、遺跡の中央部分は削平されていたため不明であるが、主に遺跡の北端と南端の礫群周辺に集中して分布する。

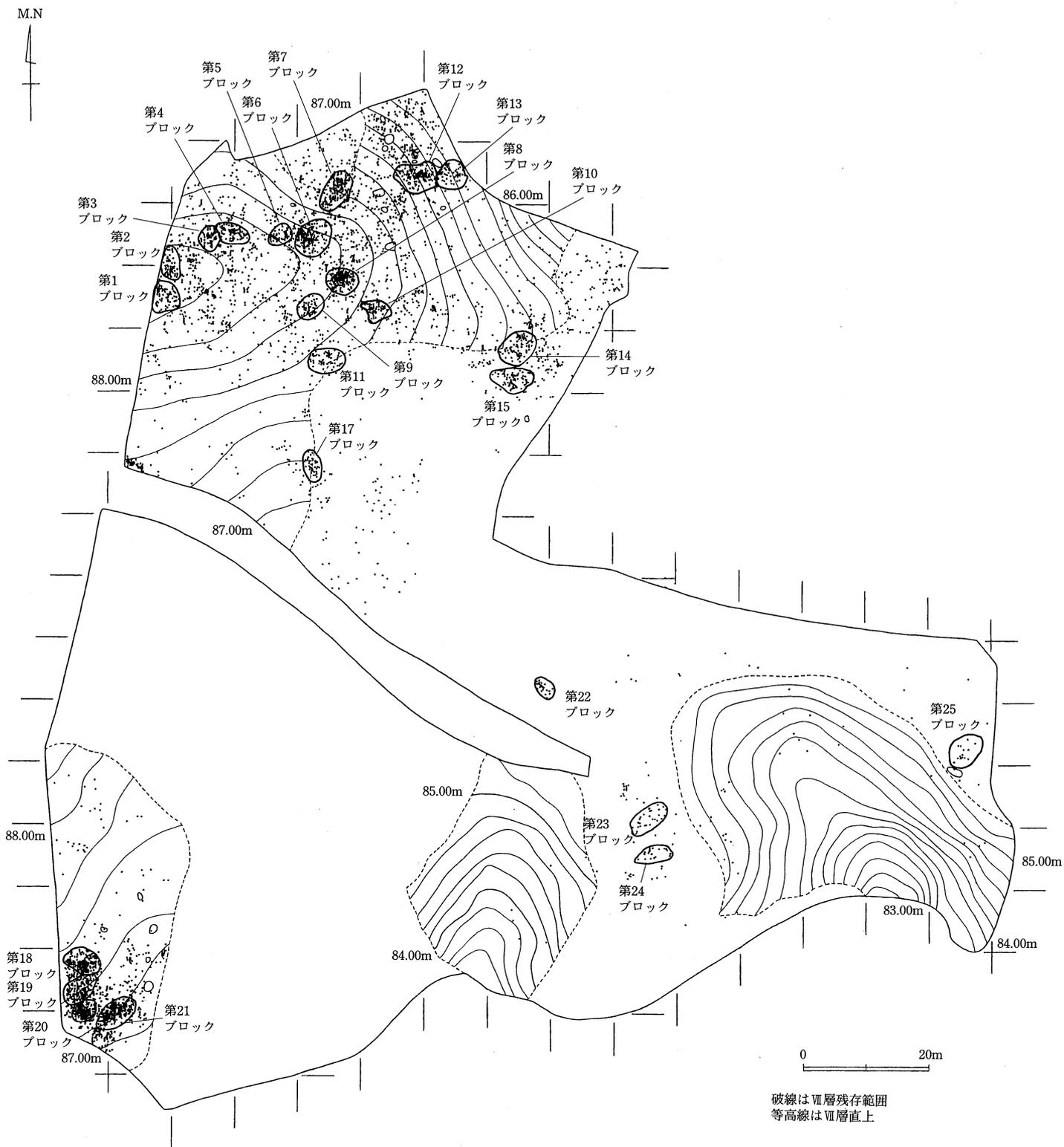
ブロック内で出土した遺物は、全て石器で、その総数は、2,277点である (第5表)。その組成は、ナイフ形石器32点、台形石器12点、剥片尖頭器7点、三稜尖頭器16点、スクレイパー16点、石錘2点、敲石兼磨石6点、敲石5点、二次加工のある剥片22点、使用痕のある剥片49点、石核83点、剥片・碎片2,027点である。これらの石材は、流紋岩 f が特に多く、次いで、流紋岩 b と流紋岩 g、そして、流紋岩 a が多く見られる。

遺跡全体で得られた接合資料は全部で194例、石器の点数にして657点を数えるが、ブロック内での接合資料は、146例、石器点数435点である。その組成は、ナイフ形石器3点、スクレイパー1点、使用痕のある剥片17点、石核45点、剥片369点である。

以下、ブロックごとに説明していく。

表5 ブロック別石器組成表

ブロックNo.	ナイフ形	台形	剥片尖頭	三稜尖頭	スクレイ	石錘	敲兼磨石	敲石	二次加工	使用痕	石核	剥片・碎片	計
1	2			2				1	1	2	1	54	63
2	3	1									3	48	55
3	2								1	1	4	56	64
4	4				1						1	71	77
5	1		1						1	1	3	38	45
6	2	1	2	1	2	2			3	4	4	182	203
7			1	3	1				1	1	1	127	135
8			1	4	1				2	6	5	165	184
9	1			1	4		1		1	1	3	34	46
10	5			4	3				1	2		43	58
11	1										1	49	51
12	1		2		1				1	5	20	119	149
13		1			1					8		48	58
14	3								1	1	2	65	72
15	1				1		1	2	3		1	51	60
16					1		1			2		28	32
17												33	33
18		3					1	1	4	5	7	184	205
19							1	1		3	13	151	169
20	3	1							1	3	4	165	177
21	3	5					1		1	4	7	238	259
22				1								20	21
23											3	24	27
24												19	19
25												15	15
計	32	12	7	16	16	2	6	5	22	49	83	2027	2277



第26図 遺物分布図（旧石器時代後期第Ⅱ石器文化）

### 第1ブロック(第27図)

グリッドC5～D5に位置する。長径5m、短径4m程の範囲に、63点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器2点、三稜尖頭器2点、敲石1点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片2点、石核1点、剥片・碎片54点である。石材は流紋岩aと流紋岩fが多い。

ナイフ形石器… I類B①、II類B①

三稜尖頭器… II類A①、II類A②

接合資料が3例ある。その内容は、個体(13)に剥片6点、個体(35)に石核2点と剥片3点、個体(82)に剥片3点が接合した。

### 第2ブロック(第28図)

グリッドC4～C5～D4～D5にまたがる位置にある。長径5m、短径3m程の範囲に、55点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器3点、台形石器1点、石核3点、剥片・碎片48点である。石材は、流紋岩bが多く、次いで流紋岩aと流紋岩fが多い。

ナイフ形石器… II類B①2点、VIII類A①1点

台形石器… V類B

接合資料が9例ある。その内容は、個体(10)に剥片5点、個体(16)に石核1点と剥片1点、個体(37)に剥片3点、個体(136)に剥片2点、個体(137)に剥片1点、個体(147)に石核1点と剥片1点、個体(148)に剥片1点、個体(154)に剥片1点、個体(165)に剥片1点が接合した。

### 第3ブロック(第29図)

グリッドD4に位置する。長径4m、短径2.5m程の範囲に、64点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器2点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片1点、石核4点、剥片・碎片56点である。石材は、流紋岩gが多く、次いで流紋岩bと流紋岩fが多い。

ナイフ形石器… II類B①

接合資料が5例ある。その内容は、個体(34)に石核1点と剥片6点、個体(68)に剥片1点、個体(143)に剥片1点、個体(150)に剥片2点、個体(162)に剥片1点が接合した。

### 第4ブロック(第30図)

グリッドD4～E4に位置する。長径4.5m、短径3m程の範囲に、77点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器4点、スクレイパー1点、石核1点、剥片・碎片71点である。石材は、流紋岩bと流紋岩gが多い。

ナイフ形石器… II類B①

スクレイパー… 削器

接合資料が5例ある。その内容は、個体(19)に剥片3点、個体(95)に剥片1点、個体(103)に剥片1点、個体(143)に剥片1点、個体(163)に剥片2点が接合した。

### 第5ブロック(第31図)

グリッドE4に位置する。長径3.5m、短径2.6m程の範囲に、45点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器1点、剥片尖頭器1点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片1点、石核3点、剥片・碎片38点である。石材は、流紋岩cと流紋岩fが多い。

ナイフ形石器… I類B②

剥片尖頭器… VI類A②

接合資料が6例ある。その内容は、個体(45)に石核1点と剥片3点、個体(46)に剥片3点、個体(141)に石核1点と剥片1点、個体(144)に剥片2点、個体(146)に剥片2点、個体(164)に剥片1点が接合した。

#### 第6ブロック(第32図)

グリッドE4～F4に位置する。長径6m、短径4.7m程の範囲に、203点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器2点、台形石器1点、剥片尖頭器2点、三稜尖頭器1点、スクレイパー2点、石錘2点、二次加工のある剥片3点、使用痕のある剥片4点、石核4点、剥片・碎片182点である。石材は、流紋岩a、流紋岩b、流紋岩f、黒曜石が多い。

ナイフ形石器… II類B①、IV類D

台形石器… V類A

剥片尖頭器… VI類A②、VI類A③

三稜尖頭器… VII類C

スクレイパー… 削器

接合資料が14例ある。その内容は、個体(11)に石核1点と剥片4点、個体(22)に剥片1点、個体(25)に石核1点と剥片3点、個体(54)に剥片1点、個体(83)に剥片3点、個体(134)に剥片2点、個体(140)に剥片2点、個体(152)に剥片2点、個体(153)に剥片2点、個体(167)に剥片1点、個体(168)に剥片1点、個体(169)に剥片2点、個体(182)に剥片1点、個体(205)に剥片1点が接合した。

#### 第7ブロック(第33図)

グリッドF3～F4に位置する。長径6.6m、短径3.8m程の範囲に、135点の石器が集中して出土した。その組成は、剥片尖頭器1点、三稜尖頭器3点、スクレイパー1点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片1点、石核1点、剥片・碎片127点である。石材は、流紋岩fが多い。

剥片尖頭器… VI類A①

三稜尖頭器… VII類A①、VII類A②、VII類A③

スクレイパー… 削器

接合資料が1例ある。その内容は、個体(158)に剥片2点が接合した。

#### 第8ブロック(第34図)

グリッドF5に位置する。径4m程の範囲に、184点の石器が集中して出土した。その組成は、剥片尖頭器1点、三稜尖頭器4点、スクレイパー1点、二次加工のある剥片2点、使用痕のある剥片6点、石核5点、剥片・碎片165点である。石材は、黒曜石が多く、次いで流紋岩aと流紋岩bが多い。

剥片尖頭器… VI類A③

三稜尖頭器… VII類A②2点、VII類A④1点、VIII類C①1点

スクレイパー… 削器

接合資料が7例ある。その内容は、個体(12)に使用痕のある剥片1点と石核1点と剥片1点、個体(21)に剥片3点、個体(48)に使用痕のある剥片1点、個体(85)に剥片3点、個体(138)に剥片2点、個体(149)

に石核1点と剥片1点、個体(151)に使用痕のある剥片1点と剥片1点が接合した。

#### 第9ブロック(第35図)

グリッドF5に位置する。長径3.7m、短径3.1m程の範囲に、46点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器1点、三稜尖頭器1点、スクレイパー4点、敲石兼磨石1点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片1点、石核3点、剥片34点である。石材は、流紋岩fが多い。

ナイフ形石器…Ⅷ類A①

三稜尖頭器…Ⅶ類A②

スクレイパー…搔器

接合資料が5例ある。その内容は、個体(84)に使用痕のある剥片1点と剥片1点、個体(90)に剥片1点、個体(139)に剥片2点、個体(145)に石核1点と剥片1点、個体(178)に剥片1点が接合した。

#### 第10ブロック(第36図)

グリッドG5に位置する。長径4.4m、短径3.4m程の範囲に、58点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器5点、三稜尖頭器4点、スクレイパー3点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片2点、剥片43点である。石材は、流紋岩bが多い。

ナイフ形石器…Ⅰ類B①1点、Ⅰ類B②2点、Ⅱ類B①1点、Ⅳ類D1点

三稜尖頭器…Ⅶ類A②2点、Ⅶ類A④2点

スクレイパー…搔器1点、削器2点

接合資料が7例ある。その内容は、個体(18)に剥片2点、個体(29)に剥片2点、個体(38)にスクレイパー(削器)1点と剥片2点、個体(48)に剥片2点、個体(161)に剥片1点、個体(184)に剥片1点、個体(199)に剥片2点が接合した。

#### 第11ブロック(第37図)

グリッドF6に位置する。長径4.8m、短径3.5m程の範囲に、51点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器1点、石核1点、剥片49点である。石材は、流紋岩fが多い。

ナイフ形石器…Ⅱ類B①

接合資料が5例ある。その内容は、個体(52)に石核1点、剥片2点、個体(7)に剥片3点、個体(185)に剥片2点、個体(189)に剥片1点、個体(195)に剥片2点が接合する。

#### 第12ブロック(第38図)

グリッドG3～H3に位置する。長径6m、短径4m程の範囲に、149点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器1点、剥片尖頭器2点、スクレイパー1点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片5点、石核20点、剥片・碎片119点である。石材は、流紋岩fと流紋岩gが多い。

ナイフ形石器…Ⅰ類B②

剥片尖頭器…Ⅵ類A①、Ⅶ類A③

スクレイパー…削器

接合資料が16例ある。その内容は、個体(1)に使用痕のある剥片2点と石核5点と剥片16点、個体(2)に剥片1点、個体(17)に剥片4点、個体(20)に石核2点と剥片2点、個体(28)に石核3点と剥片7点、個体(33)に使用痕のある剥片1点と剥片5点、個体(42)に剥片2点、個体(51)に剥片4点、個

に石核1点と剥片1点、個体(62)に石核1点と剥片1点、個体(64)に剥片2点、個体(93)に石核1点、個体(94)に石核1点と剥片1点、個体(96)に石核1点と剥片1点、個体(173)に剥片1点、個体(180)に剥片2点が接合した。

#### 第13ブロック(第39図)

グリッドH3に位置する。長径4.9m、短径3.5m程の範囲に、58点の石器が集中して出土した。その組成は、台形石器1点、スクレイパー1点、使用痕のある剥片8点、剥片・碎片48点である。石材は、流紋岩fと流紋岩gが多い。

台形石器……………V類B

スクレイパー…削器

接合資料が10例ある。その内容は、個体(1)に使用痕のある剥片1点、個体(17)に剥片1点、個体(20)に剥片1点、個体(28)に剥片8点、個体(33)に使用痕のある剥片1点と剥片3点、個体(42)に剥片2点、個体(61)に剥片1点、個体(62)に剥片1点、個体(64)に剥片1点、個体(93)に剥片1点が接合した。

#### 第14ブロック(第40図)

グリッドI6に位置する。長径5.3m、短径3.8m程の範囲に、72点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器3点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片1点、石核2点、剥片・碎片65点である。石材は、流紋岩a、流紋岩e、流紋岩fが多い。

ナイフ形石器……………I類B①1点、II類B①2点

接合資料が6例ある。その内容は、個体(56)に石核1点と剥片1点、個体(67)に剥片1点、個体(99)に使用痕のある剥片1点と剥片1点、個体(186)に剥片2点、個体(187)に剥片2点、個体(190)に剥片1点が接合した。

#### 第15ブロック(第41図)

グリッドI6に位置する。長径5.8m、短径3.6m程の範囲に、60点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器1点、スクレイパー1点、敲石兼磨石1点、敲石2点、二次加工のある剥片3点、石核1点、剥片51点である。石材は、流紋岩fが多い。

ナイフ形石器… I類B②

スクレイパー…搔器

接合資料が4例ある。その内容は、個体(188)に剥片2点、個体(192)に剥片2点、個体(194)に剥片2点、個体(206)に剥片2点が接合した。

#### 第16ブロック(第42図)

グリッドC8に位置する。長径3.5m、短径1.4m程の範囲に、32点の石器が集中して出土した。その組成は、スクレイパー1点、敲石兼磨石1点、使用痕のある剥片2点、剥片28点である。石材は、流紋岩aと流紋岩gが多い。

スクレイパー…搔器

接合資料が2例ある。その内容は、個体(88)に剥片2点、個体(193)に剥片2点が接合した。

#### 第17ブロック(第43図)

グリッドF7～F8に位置する。長径4.1m、短径2m程の範囲に、33点の石器が集中して出土した。そ

の組成は、剥片・碎片33点である。石材は、ほとんどが黒曜石である。

#### 第18ブロック(第44図)

グリッドB16に位置する。長径5.3m、短径3.7m程の範囲に、205点の石器が集中して出土した。その組成は、台形石器3点、敲石兼磨石1点、敲石1点、二次加工のある剥片4点、使用痕のある剥片5点、石核7点、剥片・碎片184点である。石材は、流紋岩 f とチャートが多い。

##### 台形石器・・・V類A

接合資料が12例ある。その内容は、個体(3)に石核2点と剥片6点、個体(4)に使用痕のある剥片1点と剥片1点、個体(6)に石核1点と剥片2点、個体(31)に石核1点と剥片8点、個体(41)に石核1点と剥片3点、個体(49)に剥片3点、個体(50)に剥片1点、個体(55)に使用痕のある剥片1点と剥片1点、個体(72)に剥片3点、個体(78)に剥片1点、個体(109)に剥片2点、個体(130)に剥片1点が接合した。

#### 第19ブロック(第45図)

グリッドB16に位置する。長径5.5m、短径3m程の範囲に、169点の石器が集中して出土した。その組成は、敲石兼磨石1点、敲石1点、使用痕のある剥片3点、石核13点、剥片・碎片151点である。石材は、流紋岩 a、流紋岩 b、流紋岩 f が多い。

接合資料が19例ある。その内容は、個体(3)に剥片1点、個体(5)に剥片1点、個体(7)に使用痕のある剥片1点と剥片1点、個体(36)に石核1点と剥片4点、個体(40)に石核1点と剥片2点、個体(49)に剥片1点、個体(50)に剥片3点、個体(55)に剥片1点、個体(75)に剥片1点、個体(76)に剥片3点、個体(79)に剥片2点、個体(80)に剥片2点、個体(81)に剥片1点、個体(112)に剥片2点、個体(120)に剥片1点、個体(122)に剥片2点、個体(126)に剥片2点、個体(127)に剥片1点、個体(129)に剥片2点が接合した。

#### 第20ブロック(第46図)

グリッドB16～B17に位置する。径3m程の範囲に、177点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器3点、台形石器1点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片3点、石核4点、剥片・碎片165点である。石材は、流紋岩 b が多く、次いで流紋岩 f が多い。

##### ナイフ形石器・・・II類B①

##### 台形石器・・・V類B

接合資料が8例ある。その内容は、個体(5)にナイフ形石器1点と使用痕のある剥片1点と石核1点と剥片6点、個体(7)にナイフ形石器2点と使用痕のある剥片1点と石核1点と剥片8点、個体(15)に剥片1点、個体(32)に剥片1点、個体(40)に剥片1点、個体(75)に剥片1点、個体(116)に剥片1点、個体(127)に剥片1点が接合した。

#### 第21ブロック(第47図)

グリッドB16～B17～C16～C17にまたがる位置にある。長径6.8m、短径3m程の範囲に、259点の石器が集中して出土した。その組成は、ナイフ形石器3点、台形石器5点、敲石兼磨石1点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片4点、石核7点、剥片・碎片238点である。石材は、流紋岩 f が多く、次いで流紋岩 a と流紋岩 g が多い。

ナイフ形石器…Ⅱ類B①2点、Ⅱ類C-1点

台形石器…Ⅴ類A 3点、Ⅴ類B 2点

接合資料が21例ある。その内容は、個体(8)に剥片6点、個体(9)に剥片4点、個体(14)に石核2点と剥片5点、個体(15)に剥片7点、個体(30)に剥片6点、個体(32)に石核1点と剥片2点、個体(39)に石核1点と剥片5点、個体(43)に使用痕のある剥片1点と石核1点と剥片3点、個体(73)に剥片3点、個体(74)に剥片3点、個体(77)に剥片1点、個体(81)に剥片1点、個体(108)に剥片1点、個体(114)に剥片1点、個体(115)に剥片2点、個体(119)に使用痕のある剥片1点、個体(121)に剥片2点、個体(123)に剥片1点、個体(128)に剥片2点、個体(132)に剥片2点、個体(133)に剥片2点が接合した。

#### 第22ブロック(第42図)

グリッドI11~J11に位置する。長径3m、短径1.5m程の範囲に、21点の石器が集中して出土した。その組成は、三稜尖頭器1点、剥片・碎片20点である。石材は、ほとんどが黒曜石である。

三稜尖頭器…Ⅶ類A②

#### 第23ブロック(第48図)

グリッドK13~K14に位置する。長径6.1m、短径2.7m程の範囲に、27点の石器が集中して出土した。その組成は、石核3点、剥片・碎片24点である。石材は、流紋岩fとホルンフェルスが多い。

接合資料が3例ある。その内容は、個体(27)に石核1点と剥片4点、個体(66)に剥片3点、個体(104)に石核1点と剥片1点が接合した。

#### 第24ブロック(第49図)

グリッドK14に位置する。長径5.3m、短径1.2m程の範囲に、19点の石器が集中して出土した。その組成は、全て剥片・碎片である。石材は、黒曜石が多い。

#### 第25ブロック(第49図)

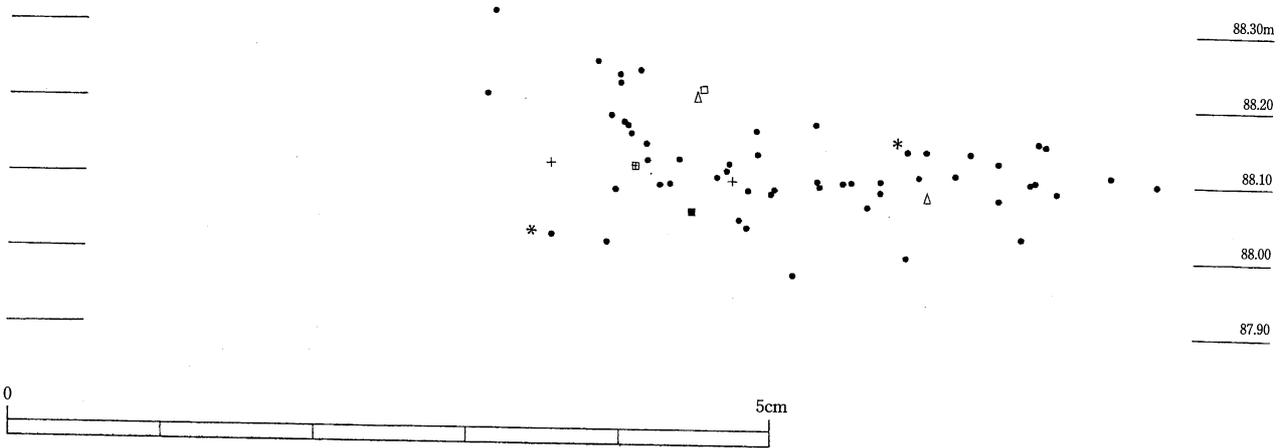
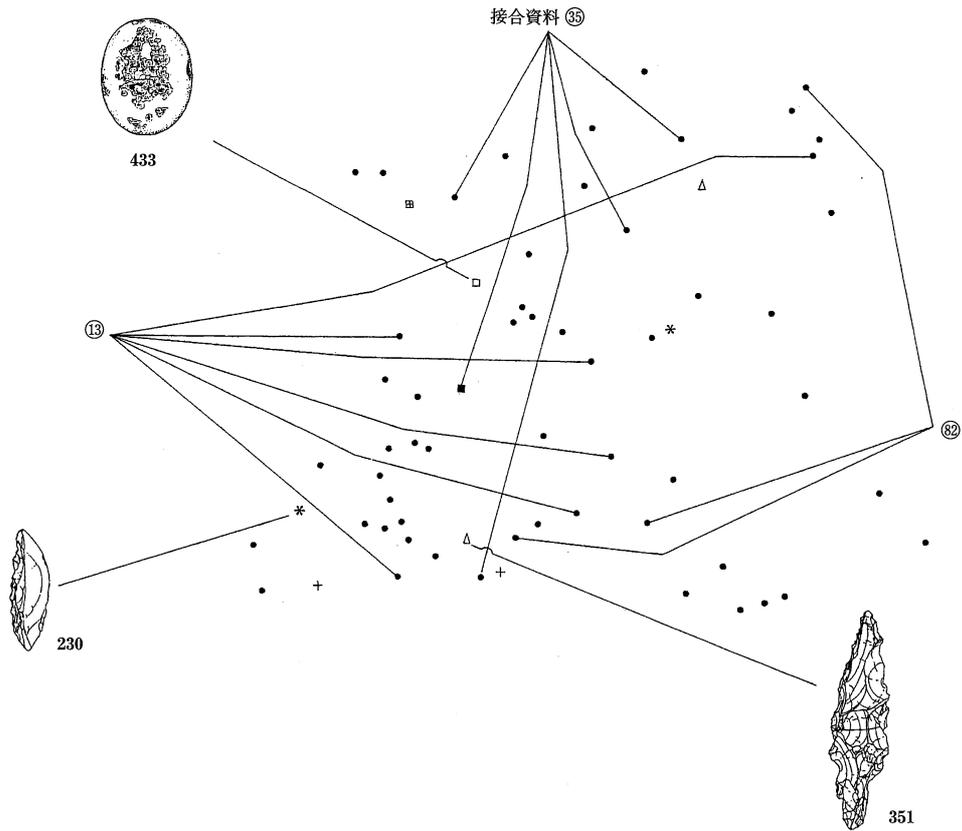
グリッドP12に位置する。長径4.4m、短径2.6m程の範囲に、15点の石器が集中して出土した。その組成は、全て剥片である。石材は、流紋岩eとホルンフェルスが多い。

接合資料が2例ある。その内容は、個体(110)に剥片2点、個体(155)に剥片2が接合した。



- \* ナイフ形石器
- △ 三稜尖頭器
- 敲石
- 田 二次加工のある剥片
- + 使用痕のある剥片
- 石核
- 剥片・碎片

D4	D5
C4	C5

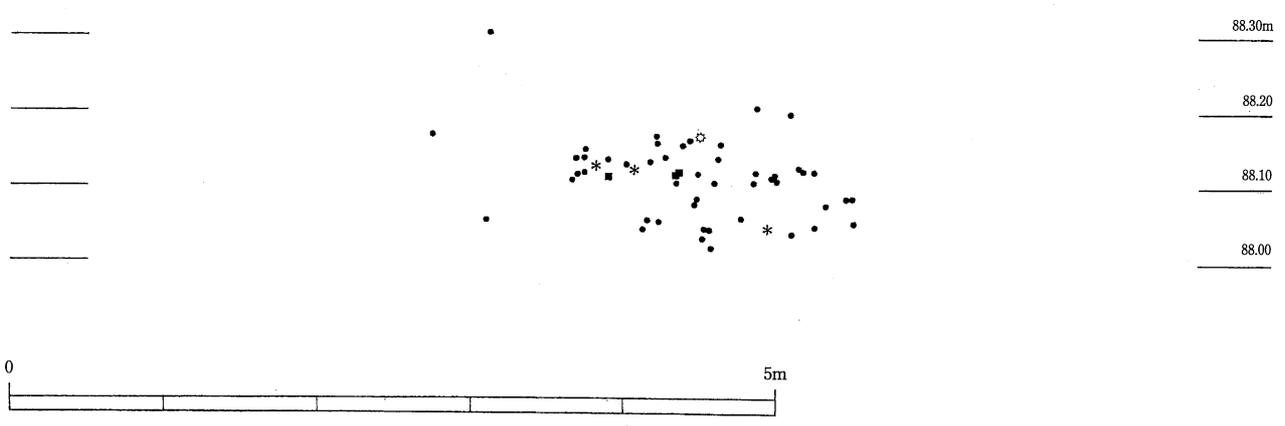
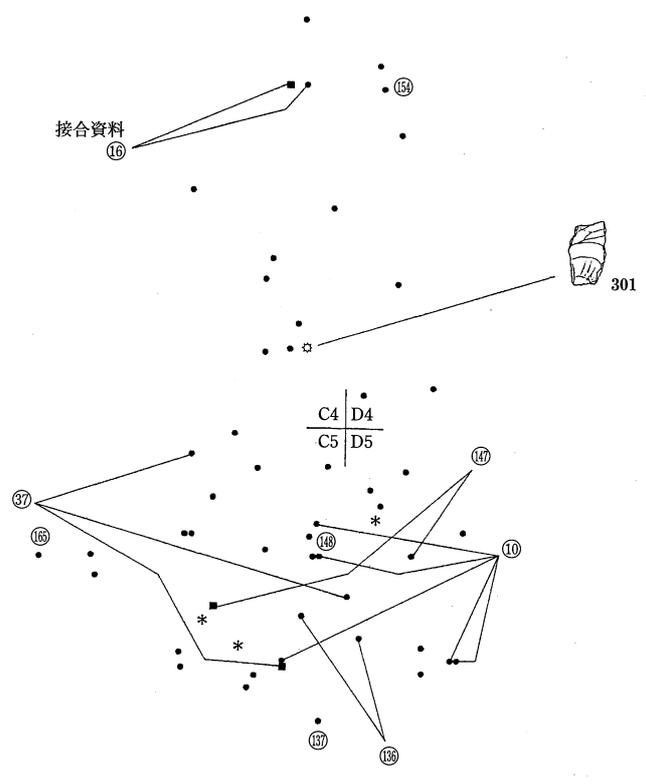


第27図 第1ブロック

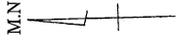
M.N



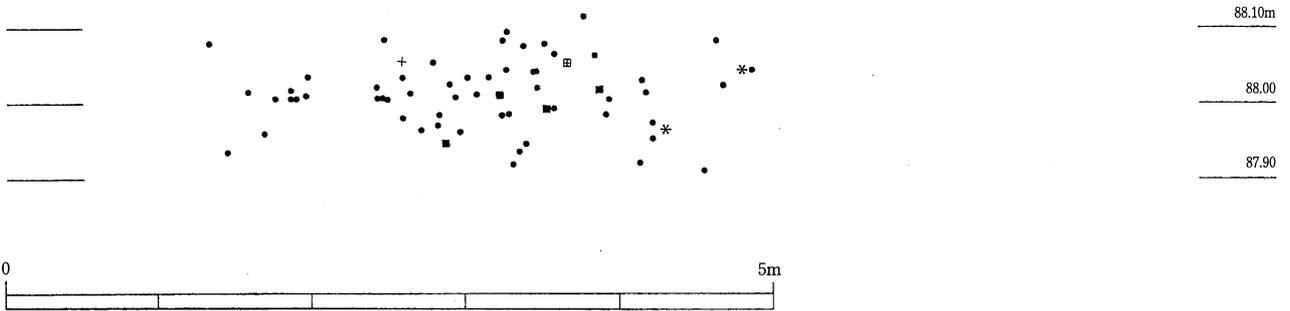
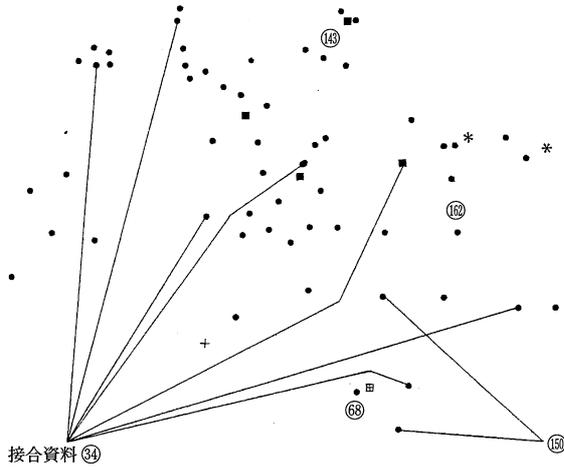
- \* ナイフ形石器
- ◊ 台形石器
- 石核
- 剥片・碎片



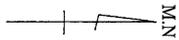
第28図 第2ブロック



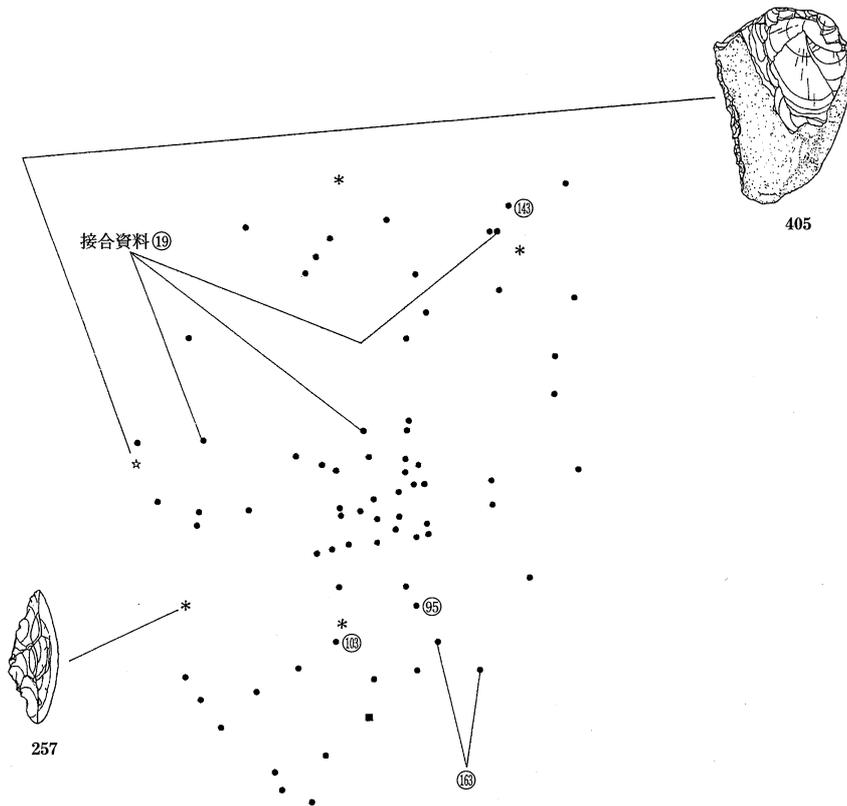
*	ナイフ形石器	E4	E5
田	二次加工のある剥片		
+	使用痕のある剥片		
■	石核	D4	D5
●	剥片・碎片		



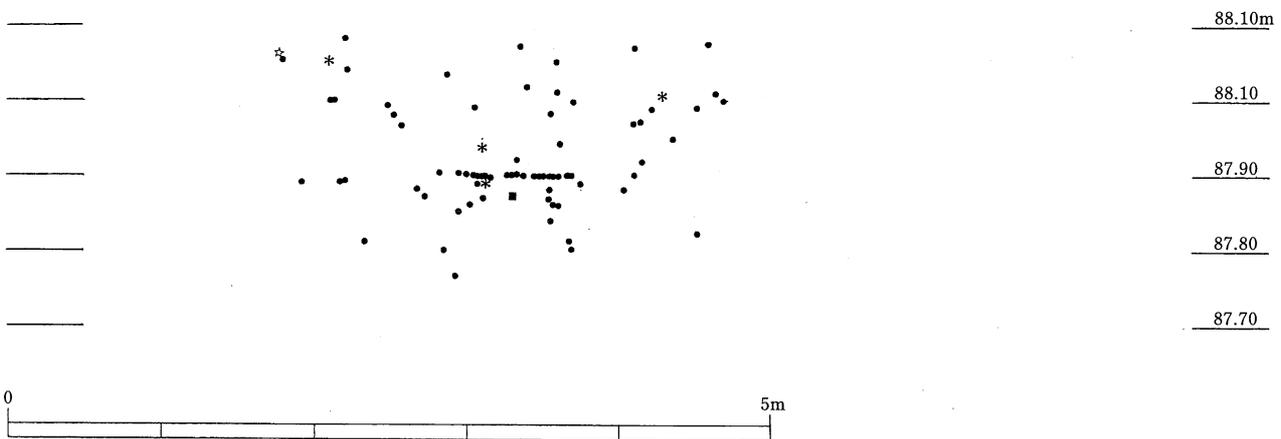
第29図 第3ブロック



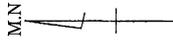
- \* ナイフ形石器
- ☆ スクレイパー (削器)
- 石核
- 剥片・碎片



D4	D3
E4	E3

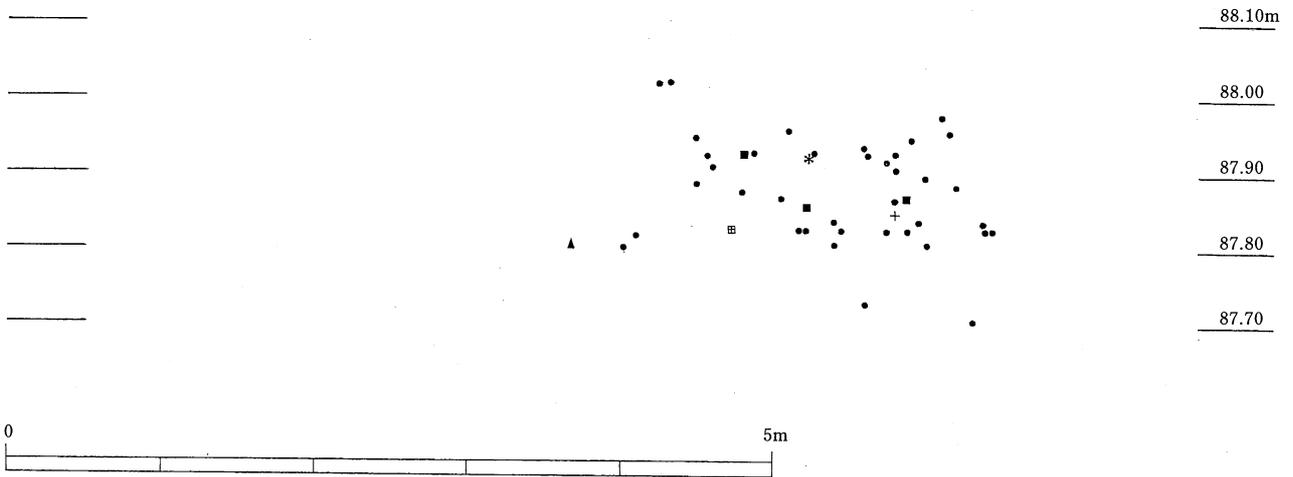
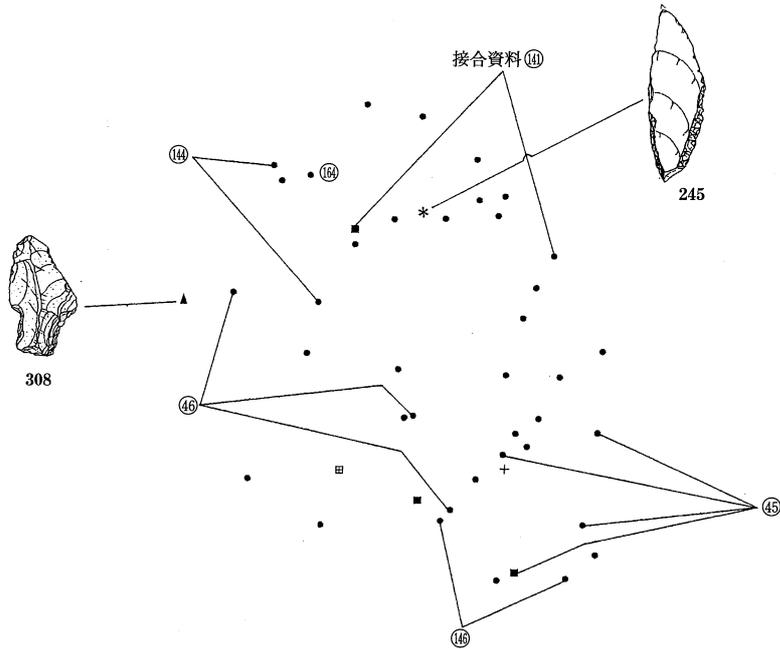


第30図 第4ブロック

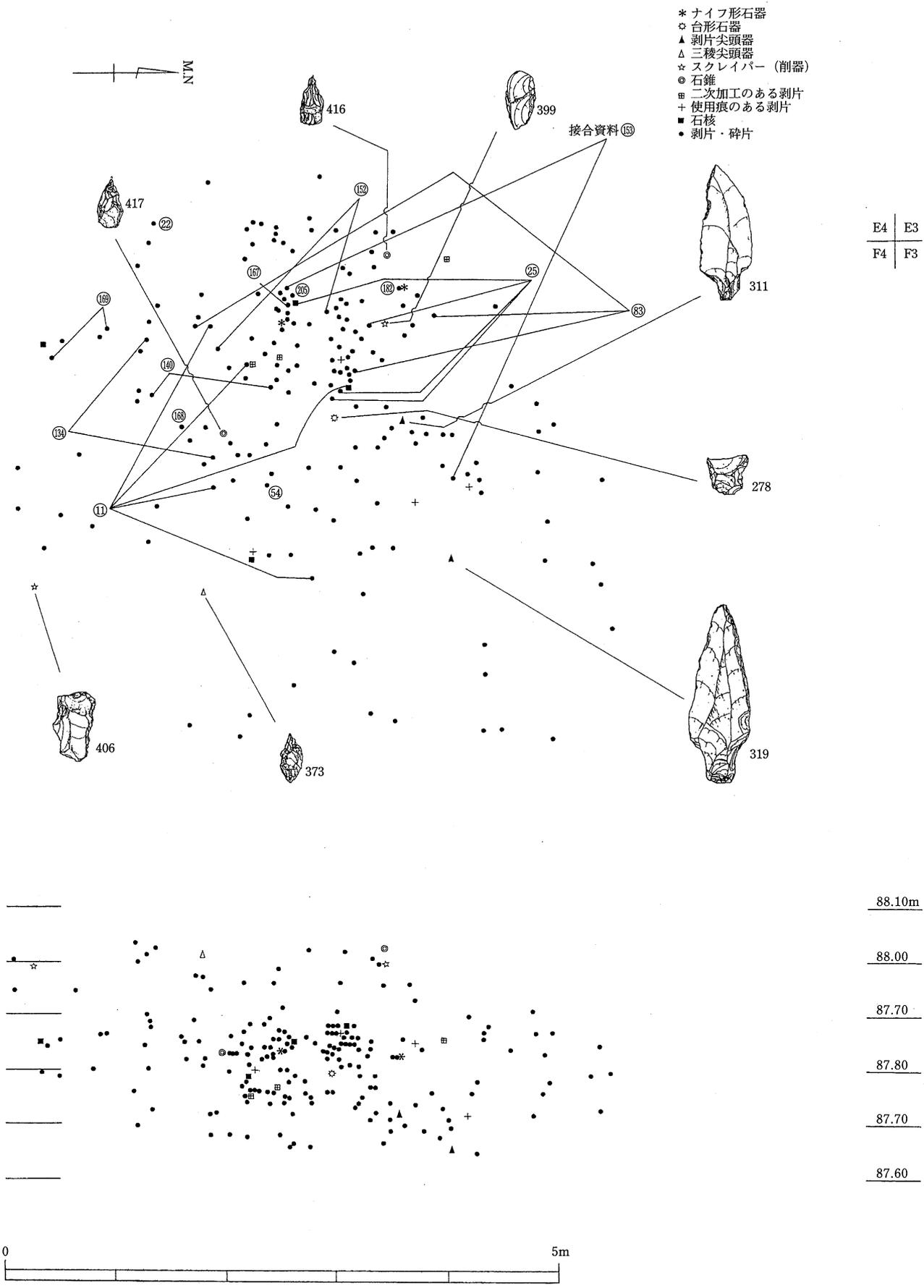


- \* ナイフ形石器
- ▲ 剥片尖頭器
- ⊞ 二次加工のある剥片
- + 使用痕のある剥片
- 石核
- 剥片・碎片

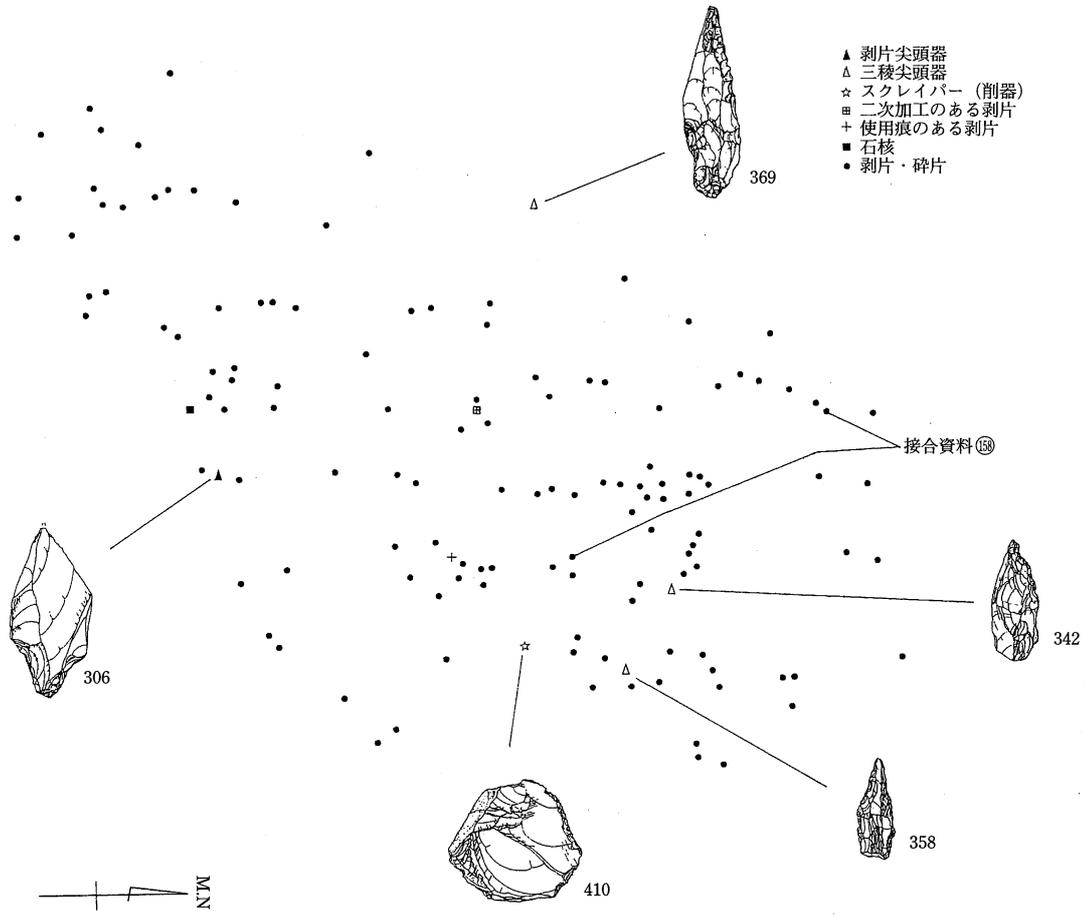
F3	F4
E3	E4



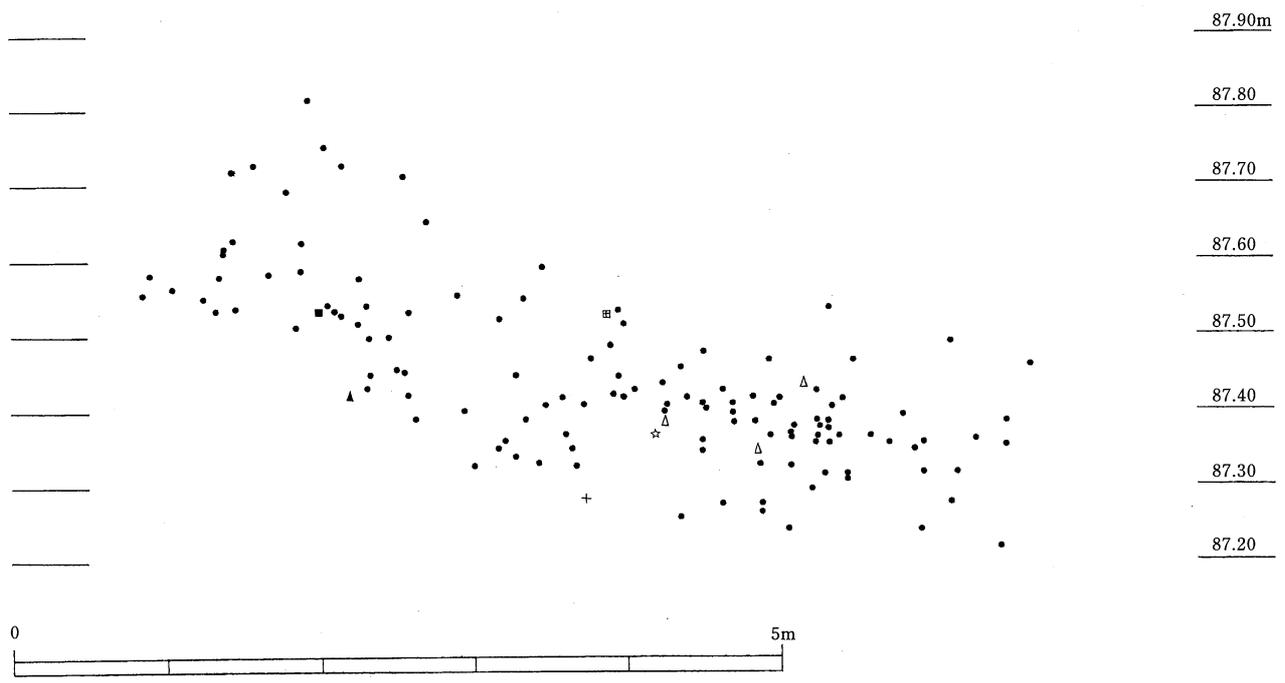
第31図 第5ブロック



第32図 第6ブロック



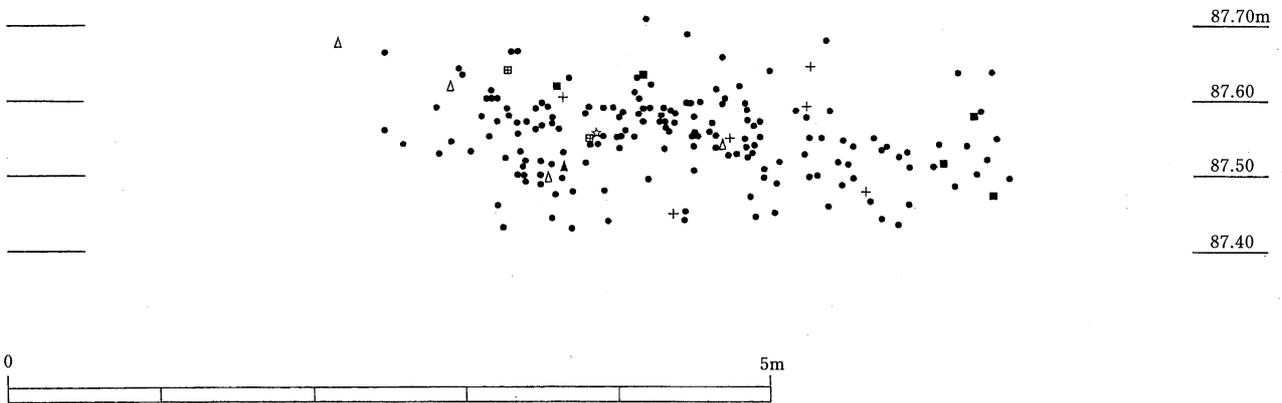
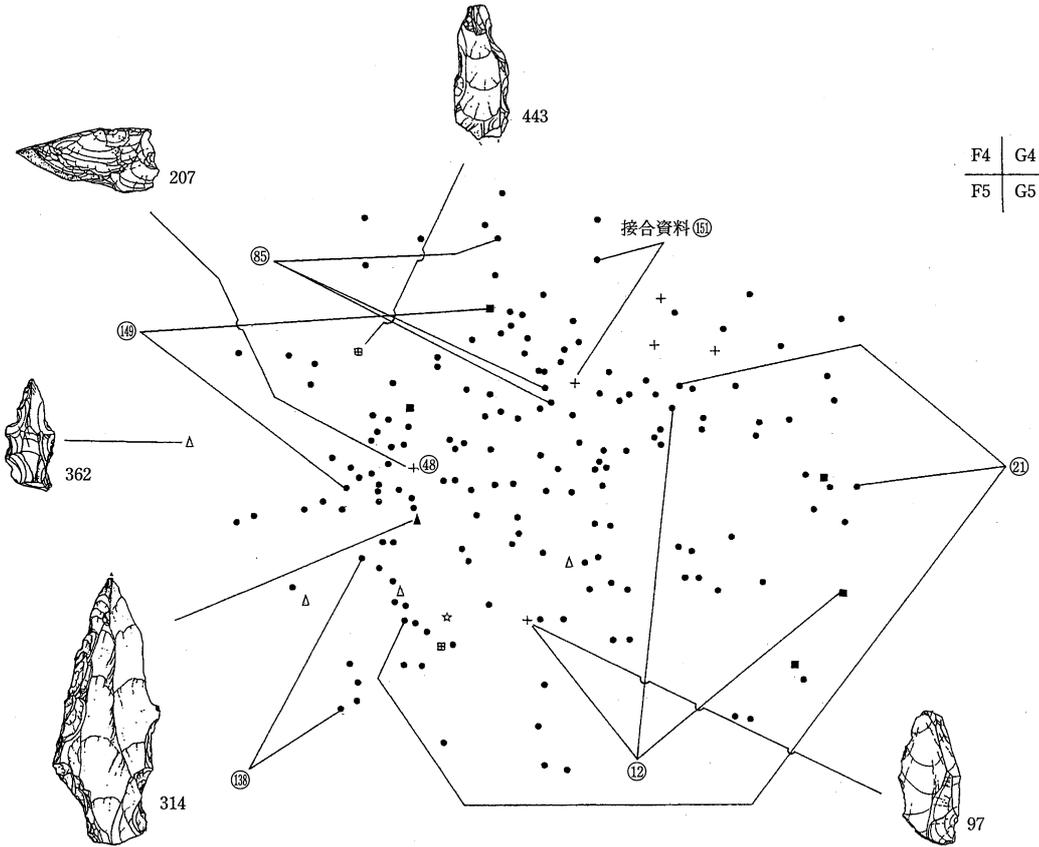
F4	F3
G4	G3



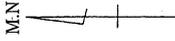
第33図 第7ブロック



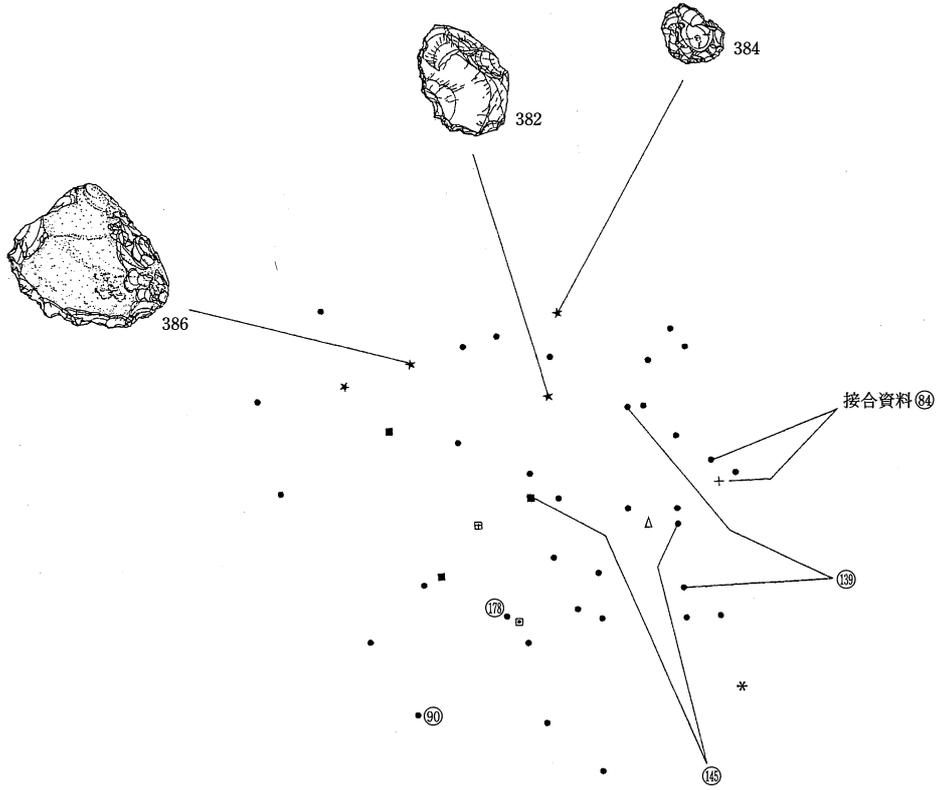
- ▲ 剥片尖頭器
- △ 三稜尖頭器
- ☆ スクレイパー
- 田 二次加工のある剥片
- + 使用痕のある剥片
- 石核
- 剥片・碎片



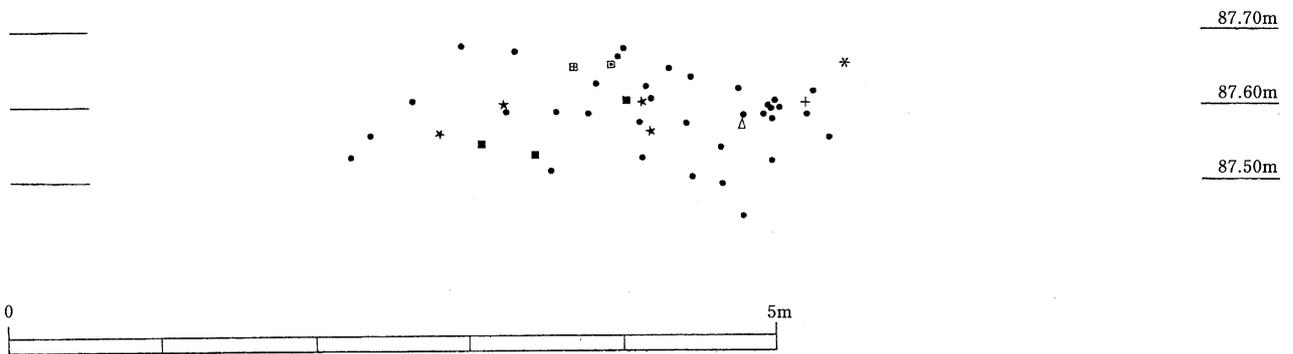
第34図 第8ブロック



- \* ナイフ形石器
- △ 三稜尖頭器
- ★ スクレイパー (搔器)
- ▣ 敲石兼磨石
- ▢ 二次加工のある剥片
- + 使用痕のある剥片
- 石核
- 剥片・碎片

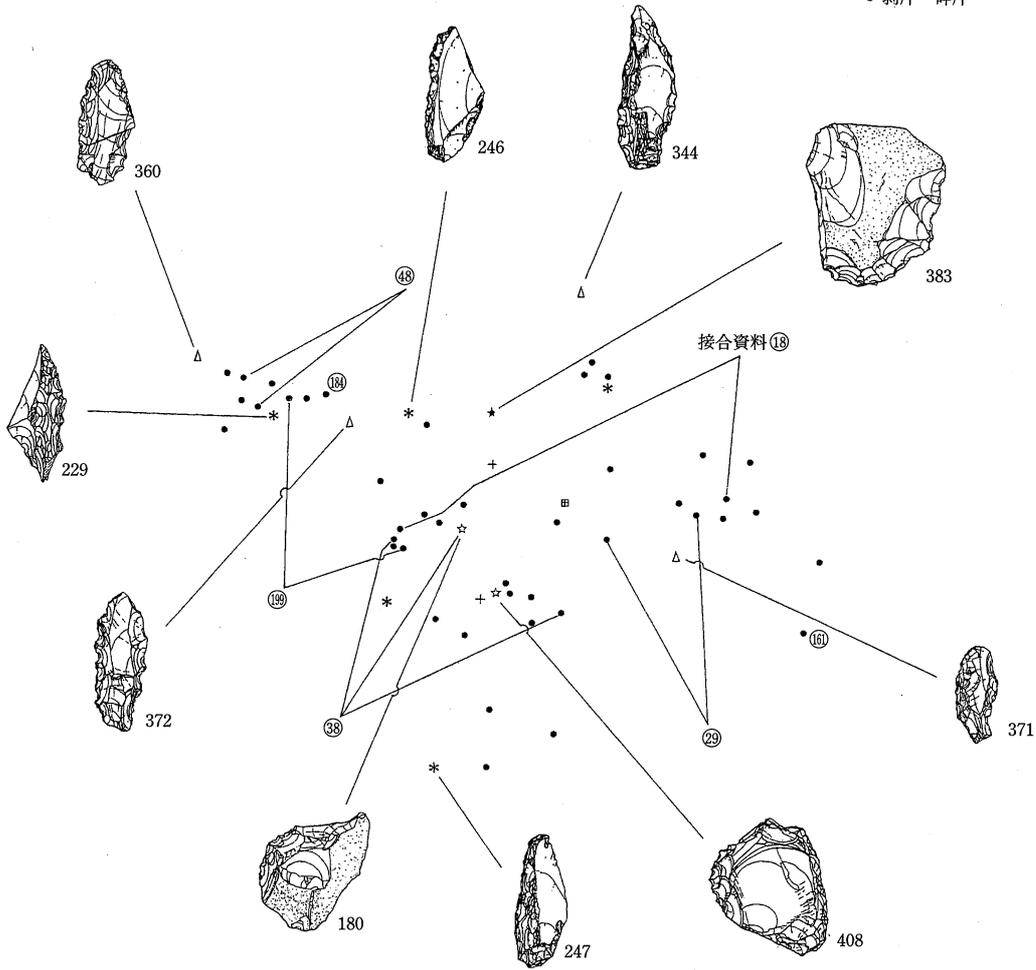


F5	F6
E5	E6

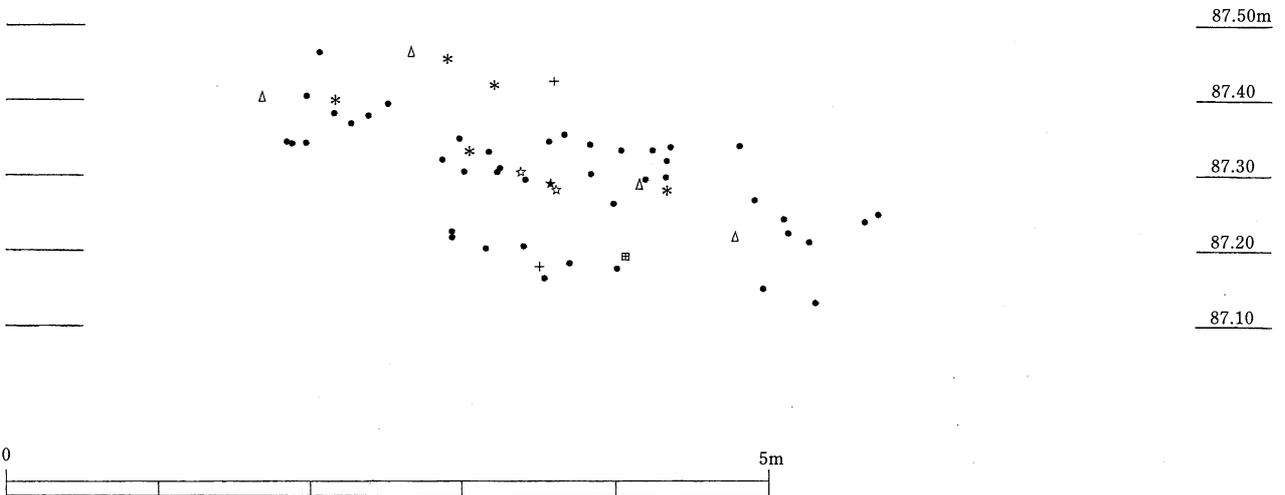


第35図 第9ブロック

- \* ナイフ形石器
- △ 三稜尖頭器
- ★ スクレイパー (搔器)
- ☆ スクレイパー (削器)
- 二次加工のある剥片
- + 使用痕のある剥片
- 剥片・碎片



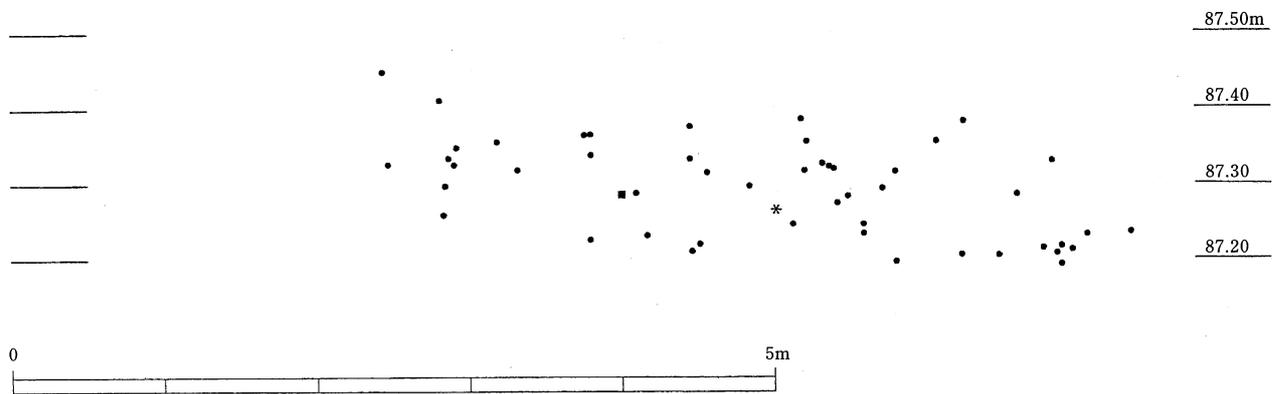
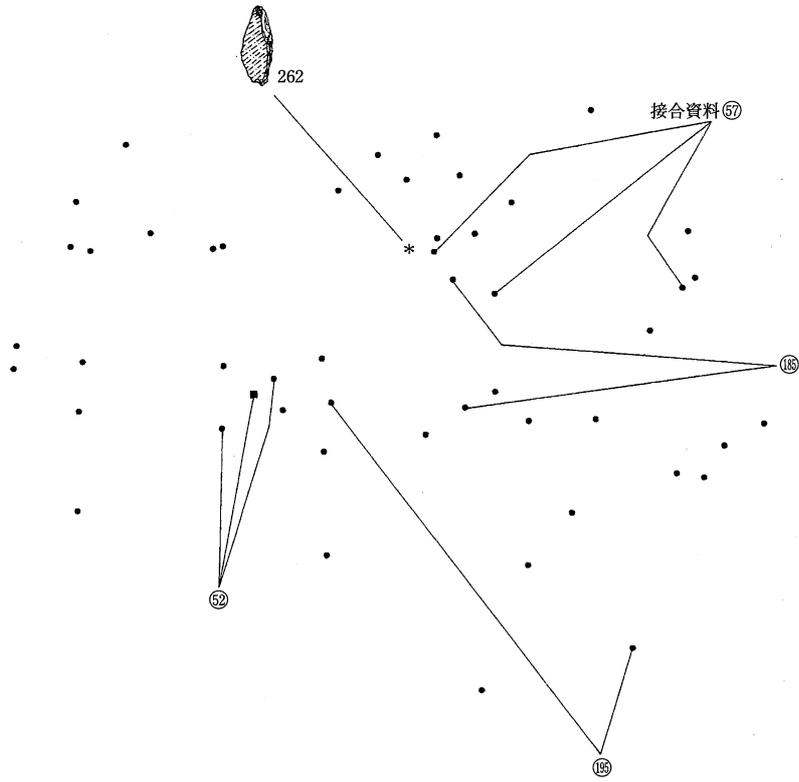
F5	G5
F6	G6



第36図 第10ブロック

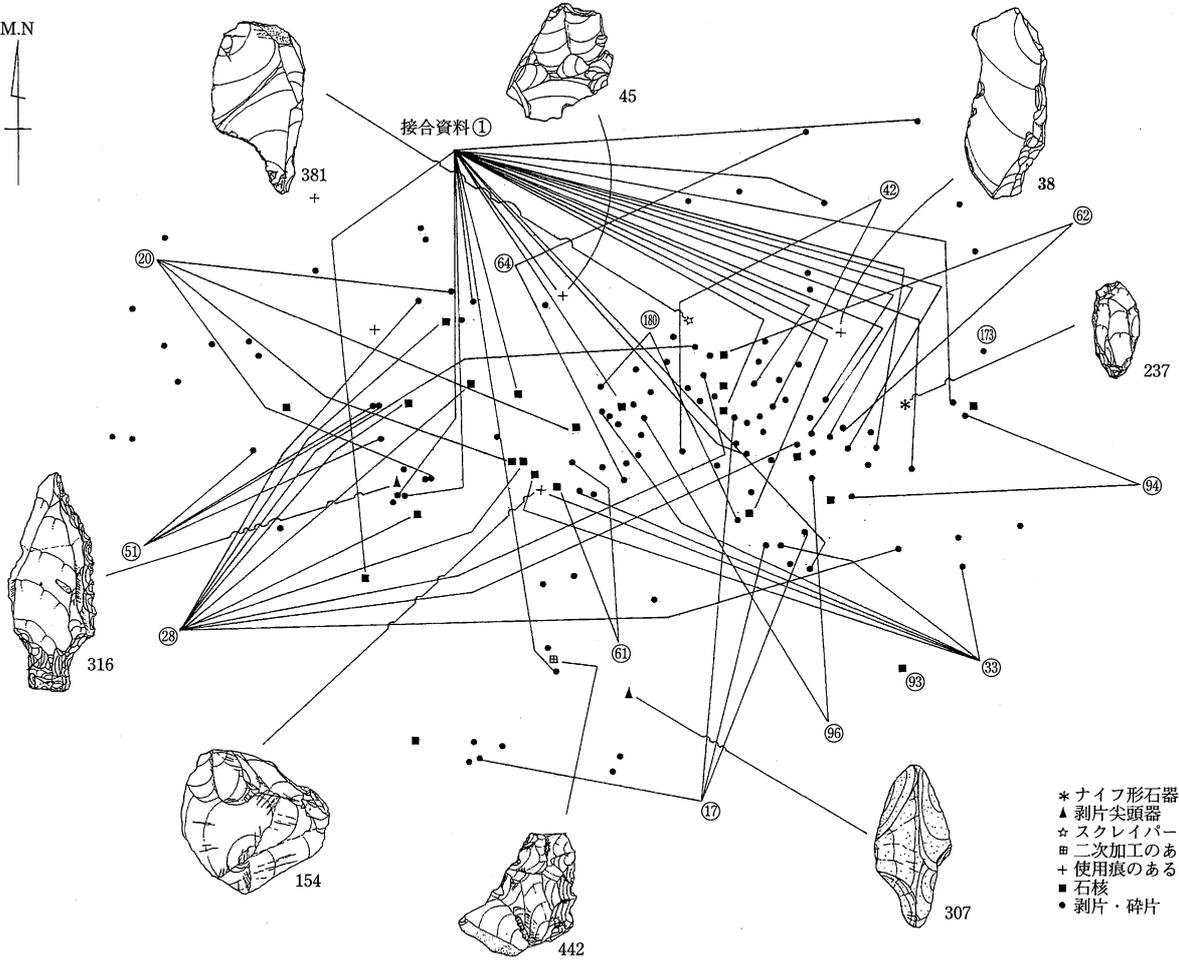
E5	F5
E6	F6

\* ナイフ形石器  
 ■ 石核  
 ● 剥片・碎片



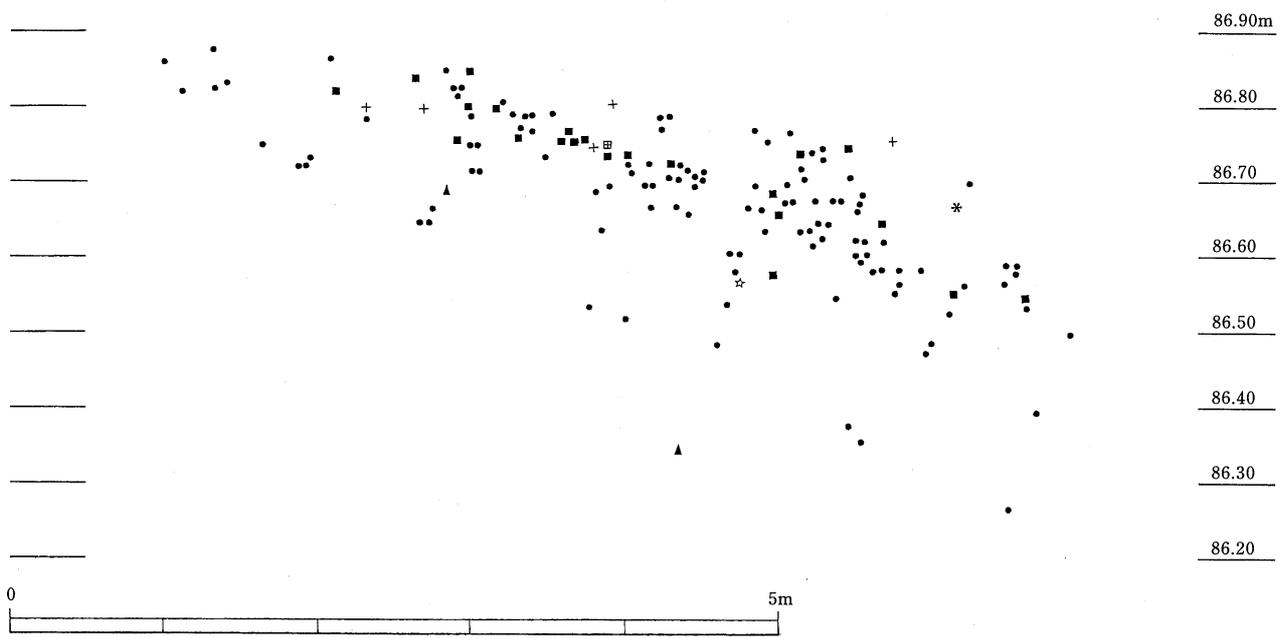
第37図 第11ブロック

M.N

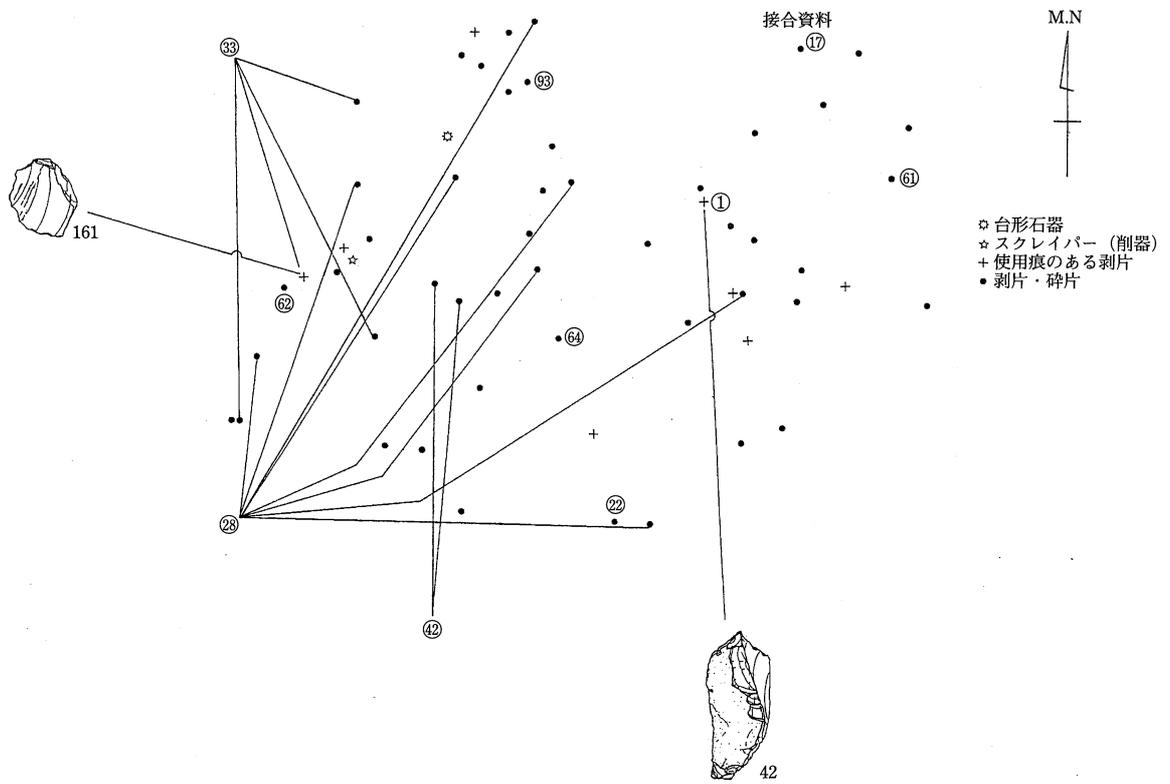


- \* ナイフ形石器
- ▲ 剥片尖頭器
- ☆ スクレイパー (削器)
- ▣ 二次加工のある剥片
- + 使用痕のある剥片
- 石核
- 剥片・碎片

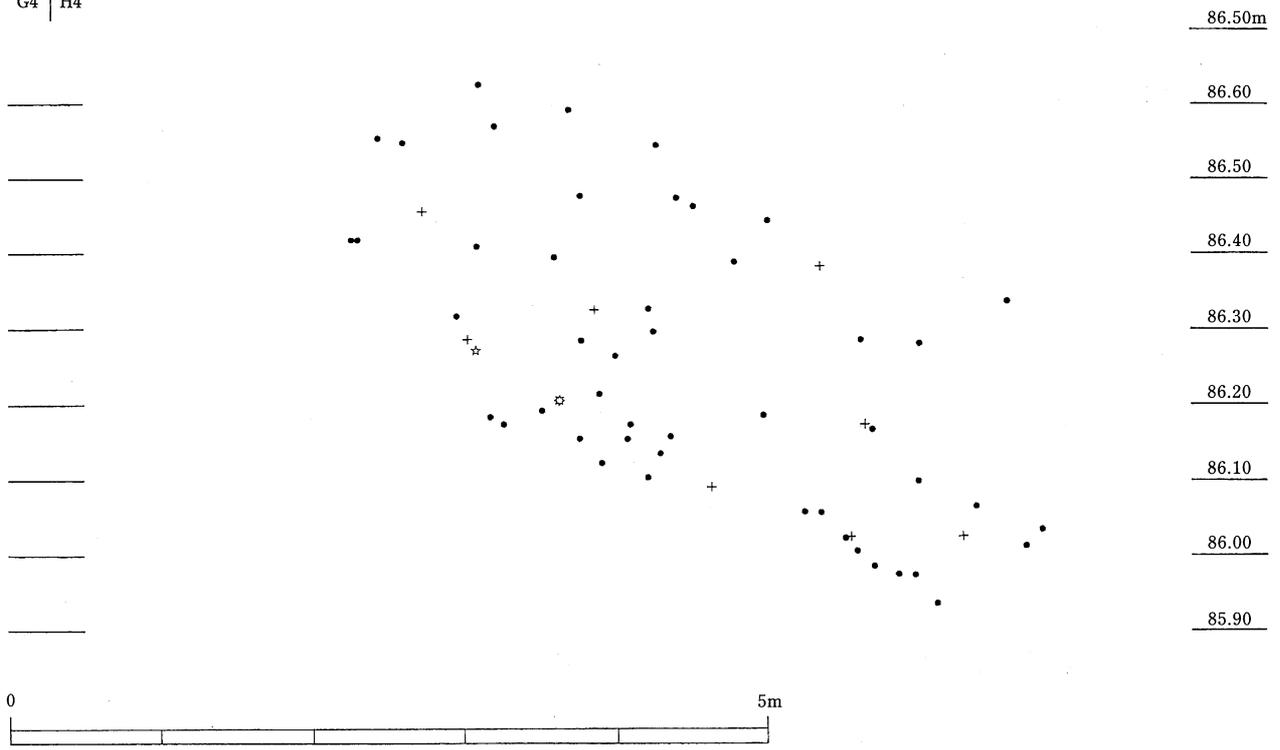
G3	H3
G4	H4



第38図 第12ブロック

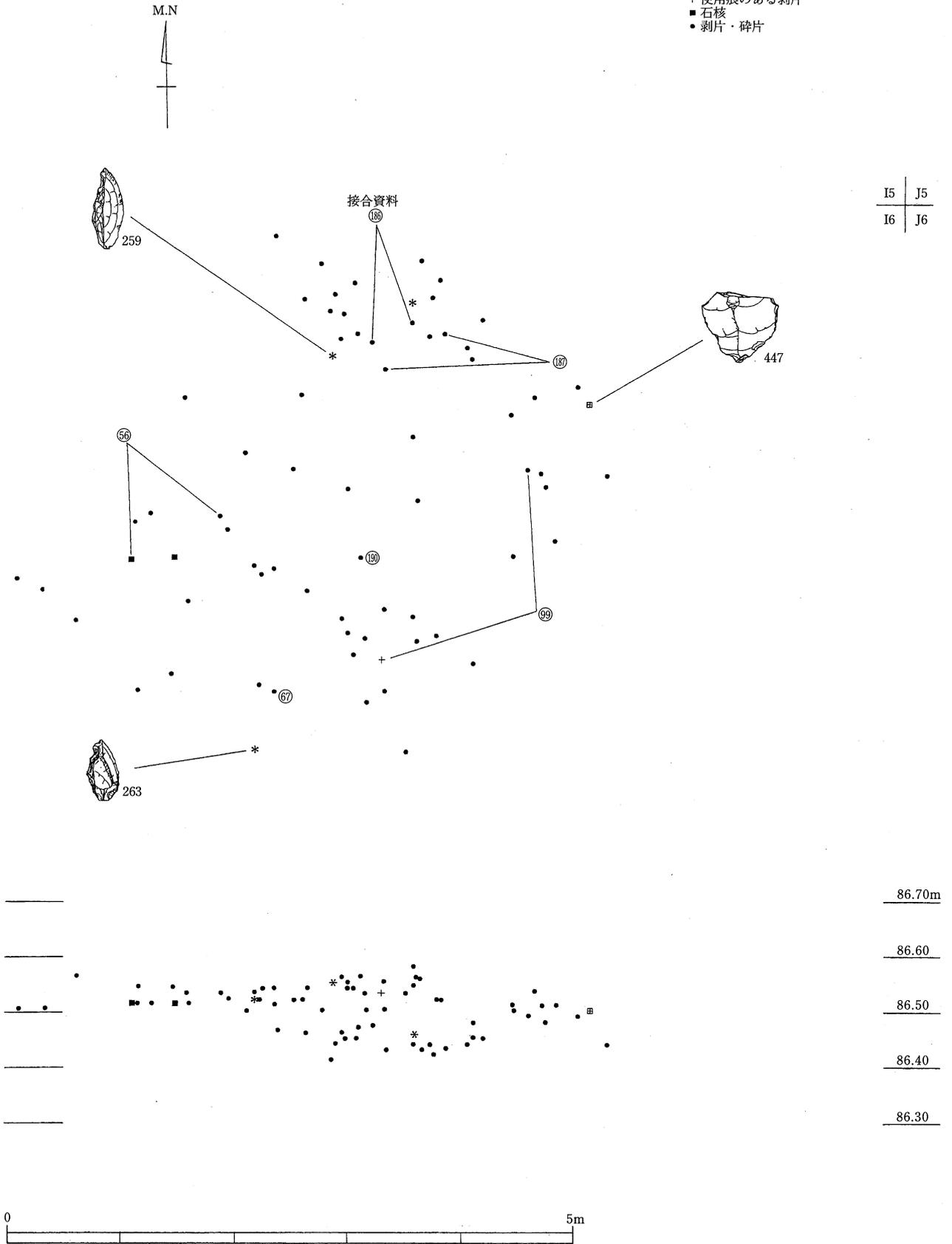


G3	H3
G4	H4



第39図 第13ブロック

- \* ナイフ形石器
- ▣ 二次加工のある剥片
- + 使用痕のある剥片
- 石核
- 剥片・碎片

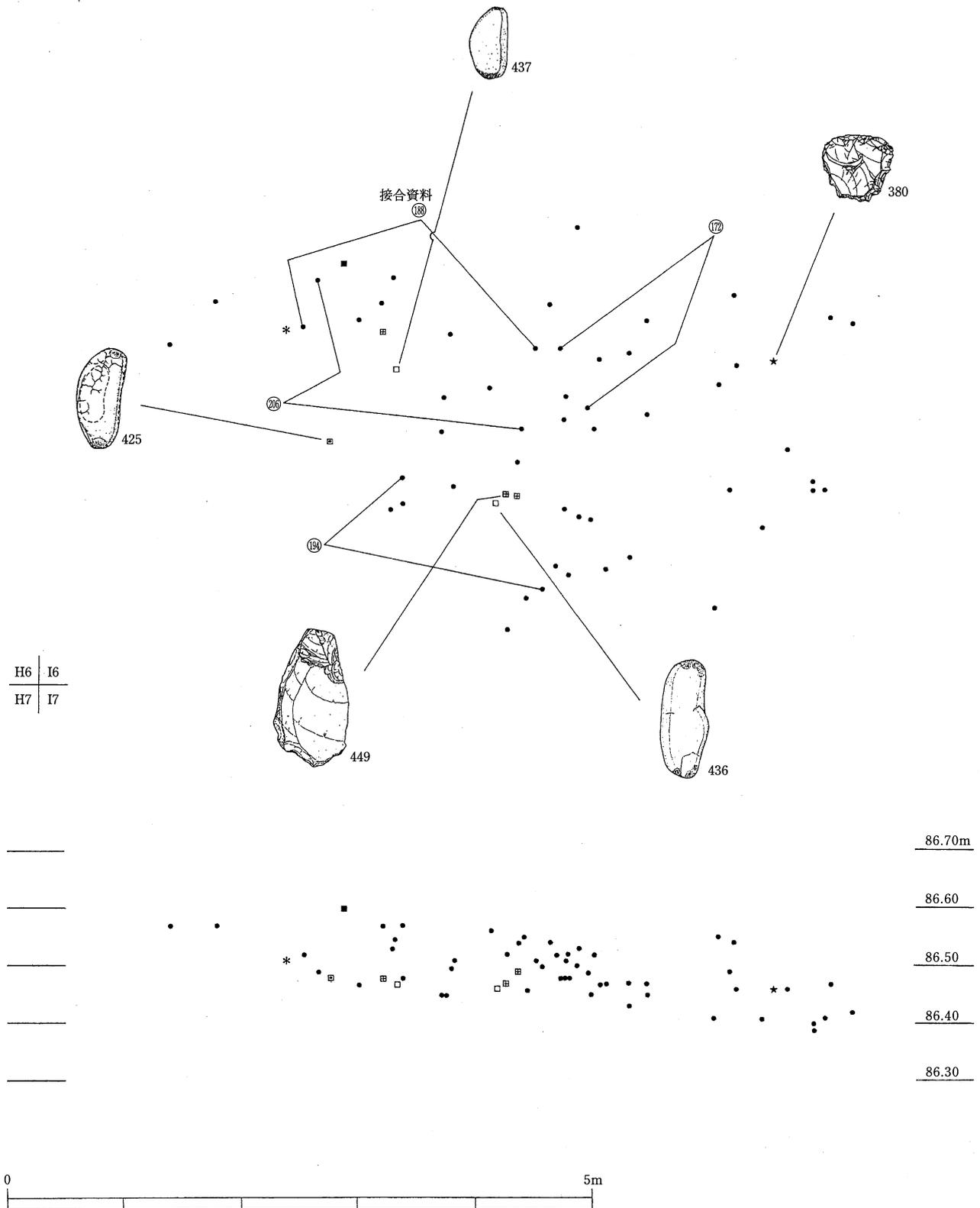


第40図 第14ブロック

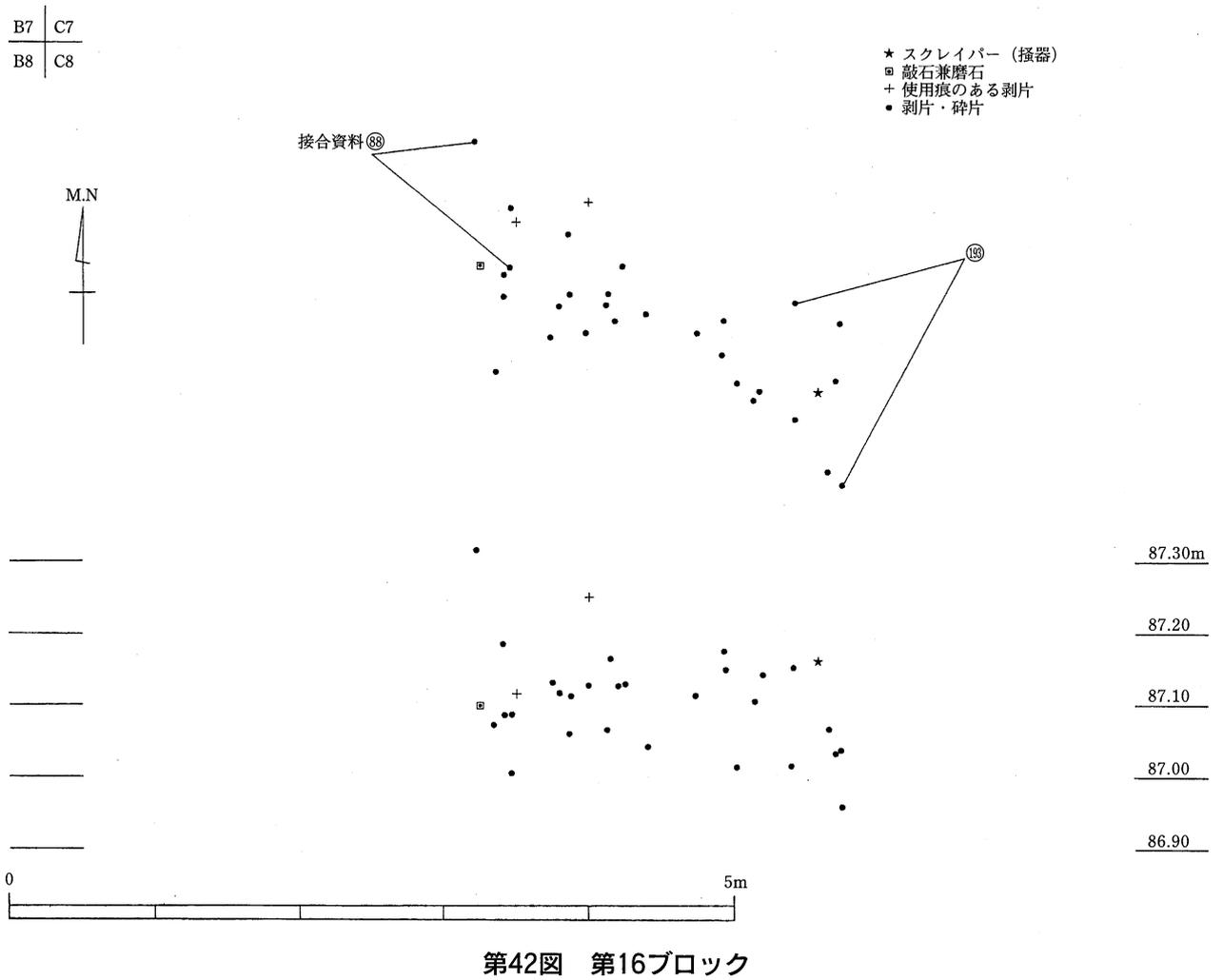
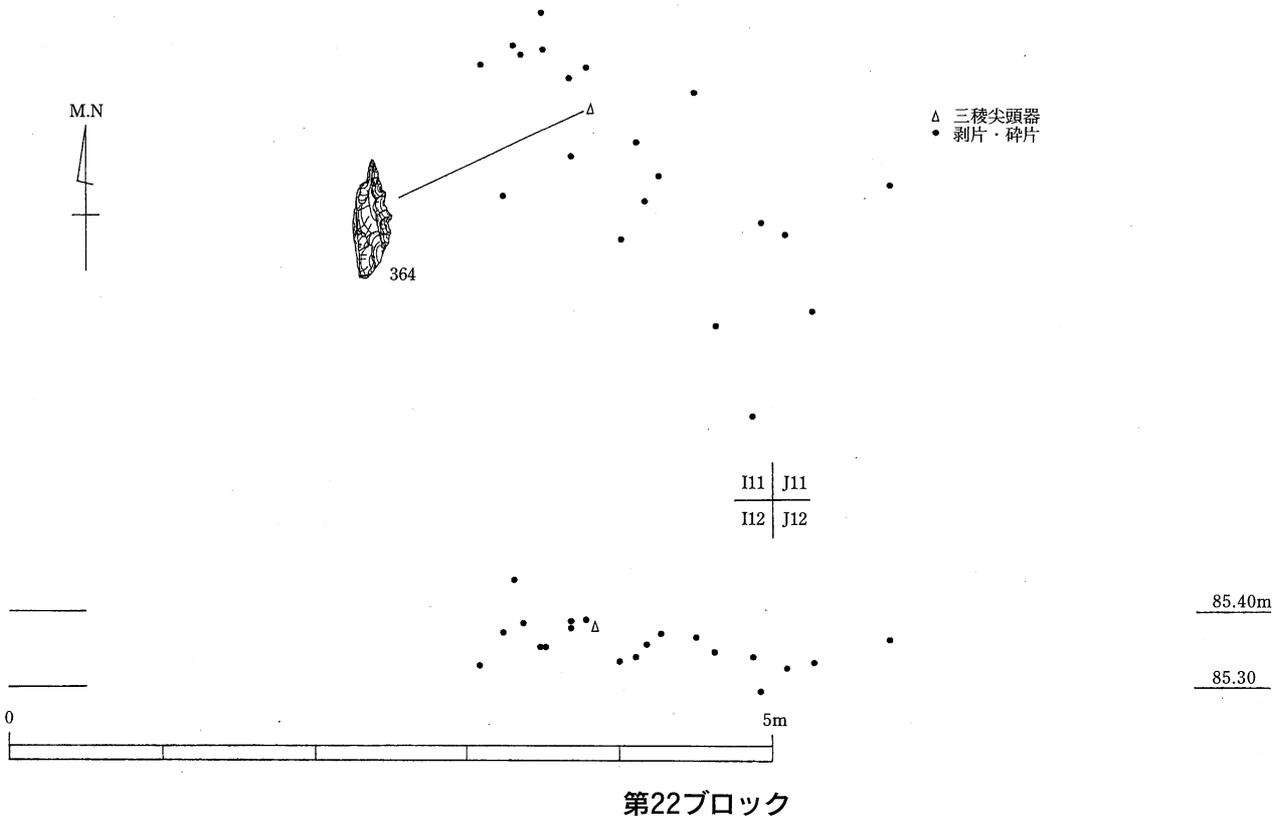
M.N



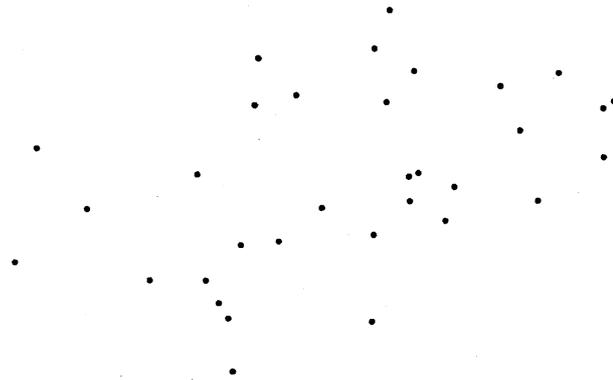
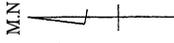
- \* ナイフ形石器
- \* スクレイパー (搔器)
- ▣ 敲石兼磨石
- 敲石
- ▩ 二次加工のある剥片
- 石核
- 剥片・碎片



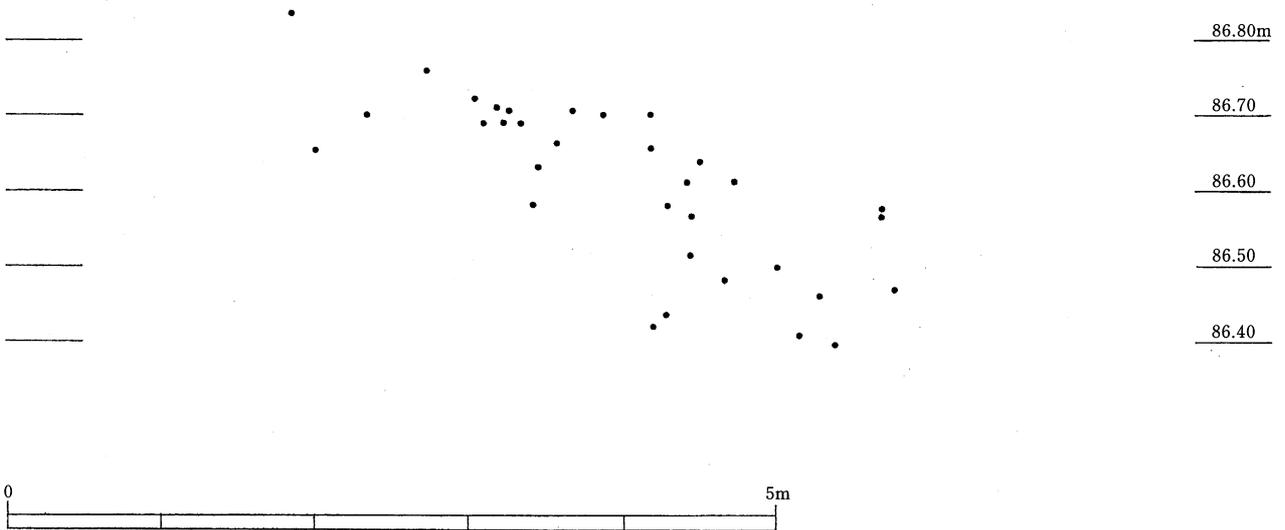
第41図 第15ブロック



• 剥片・碎片

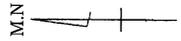


F7	F8
E7	E8

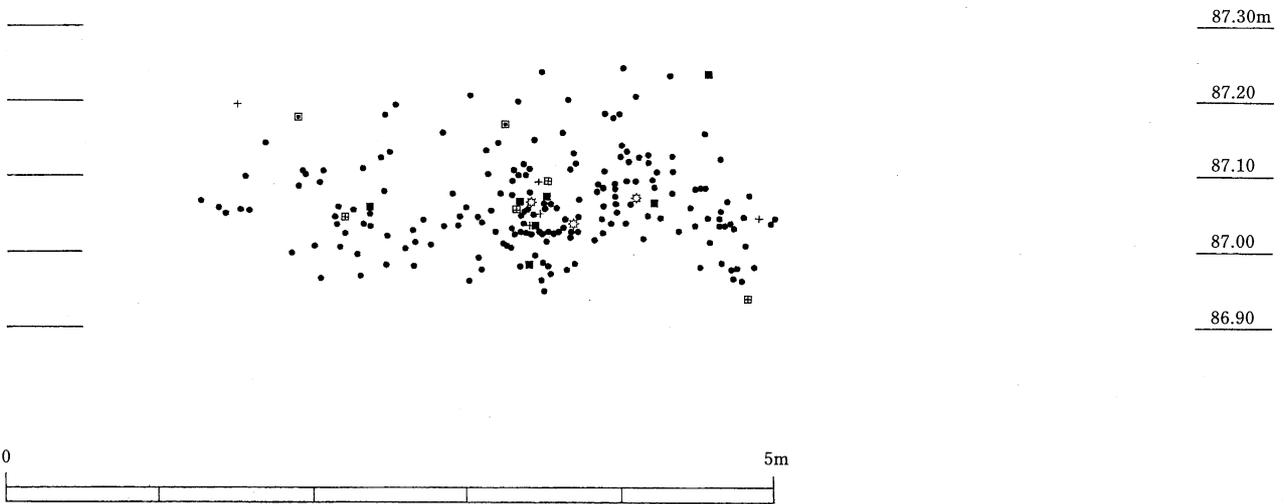
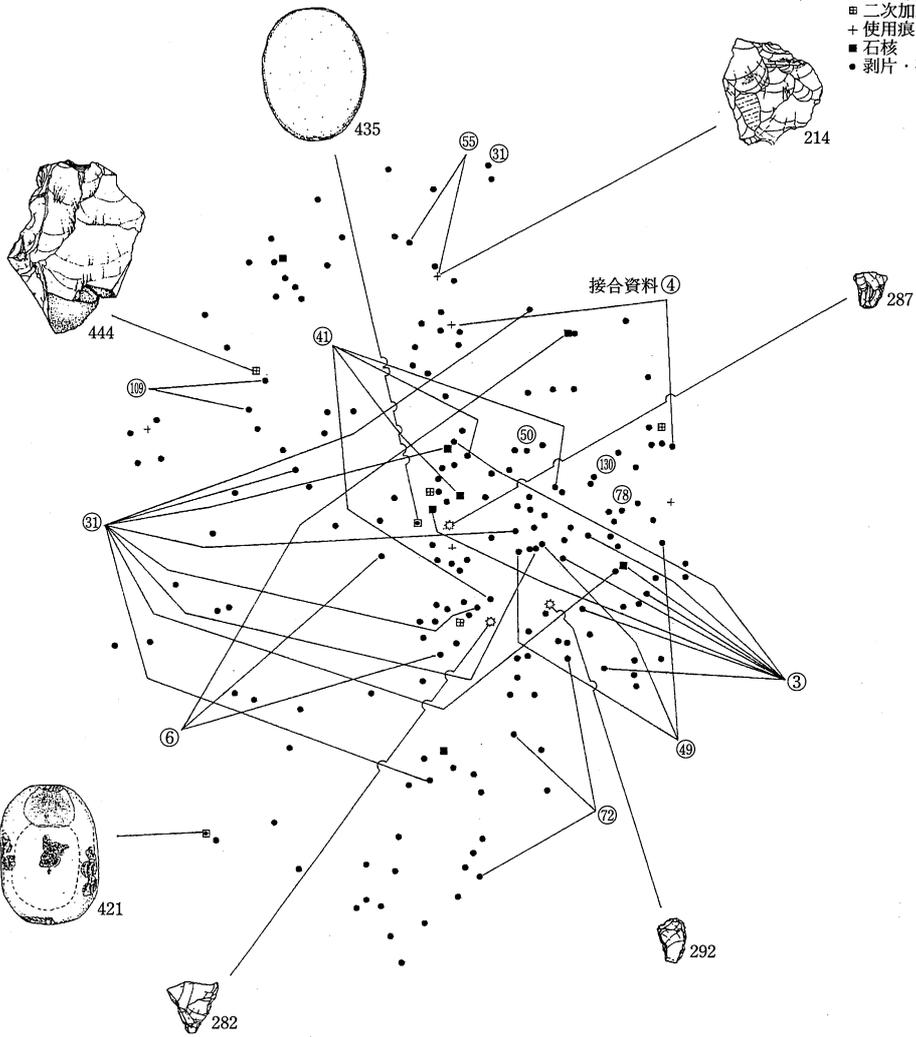


第43図 第17ブロック

C15 | C16  
B15 | B16



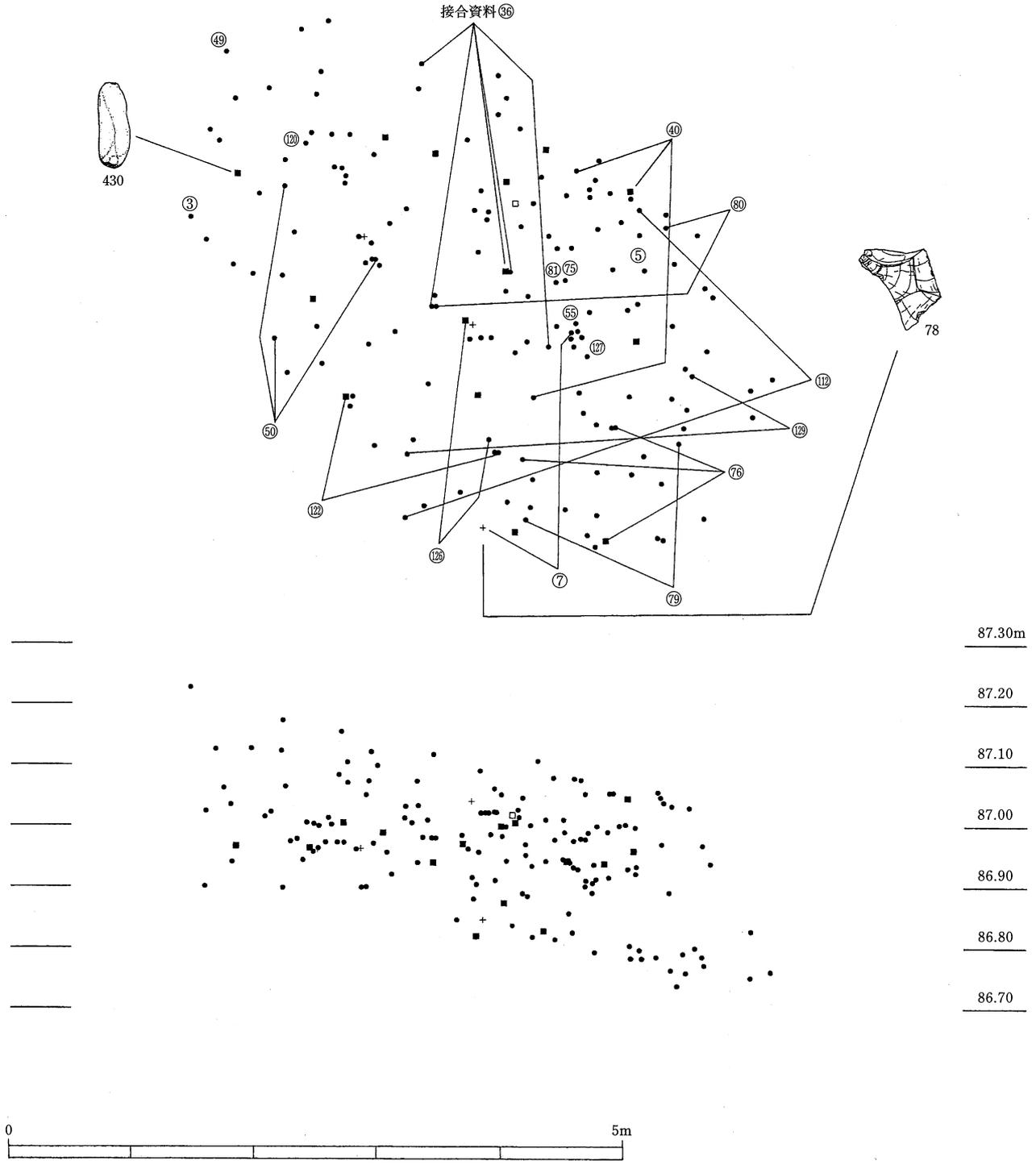
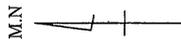
- ◇ 台形石器
- ▣ 敲石兼磨石
- ▢ 二次加工のある剥片
- + 使用痕のある剥片
- 石核
- 剥片・碎片



第44図 第18ブロック

C16	C17
B16	B17

- ▣ 敲石業磨石
- 敲石
- + 使用痕のある剥片
- 石核
- 剥片・碎片

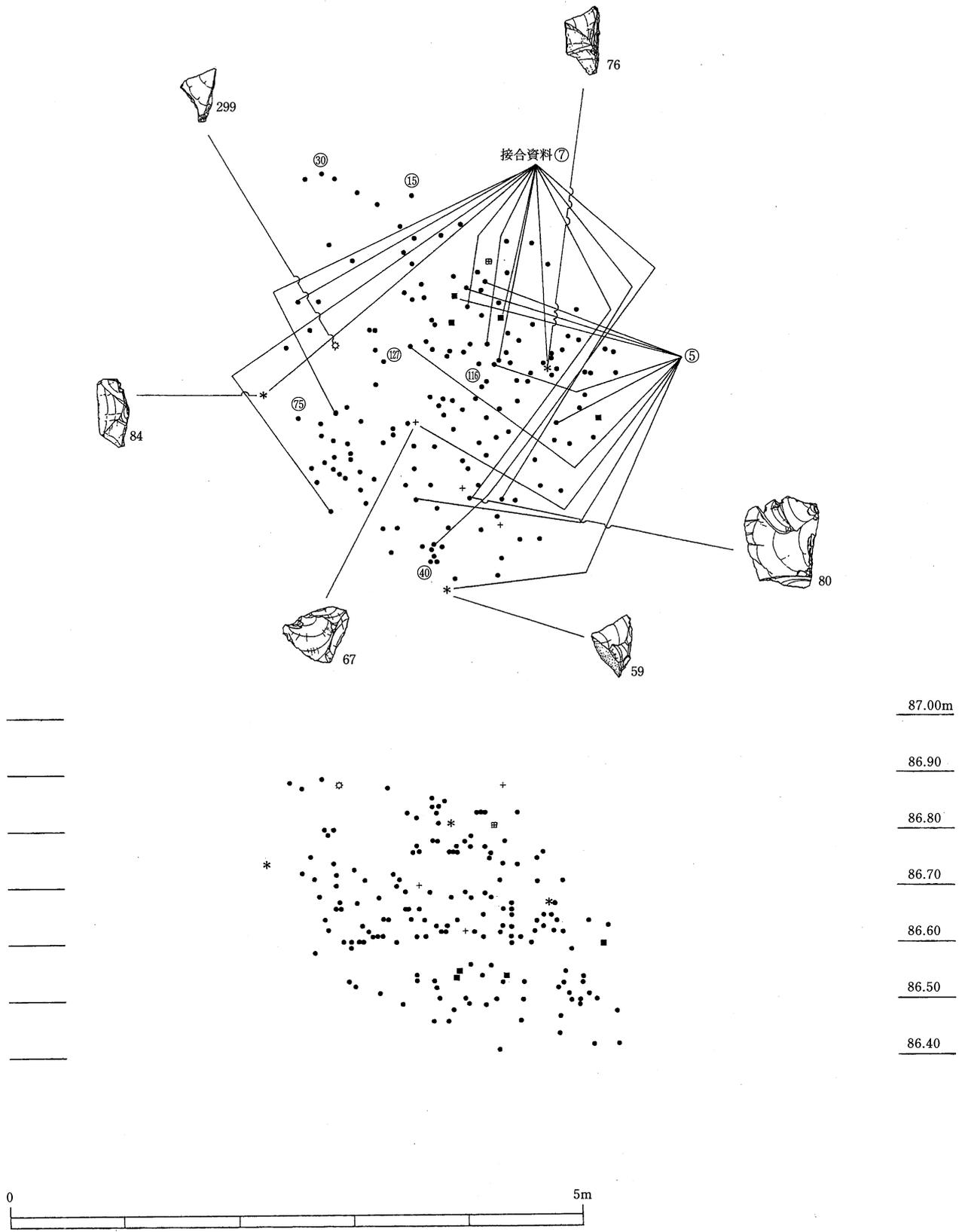


第45図 第19ブロック

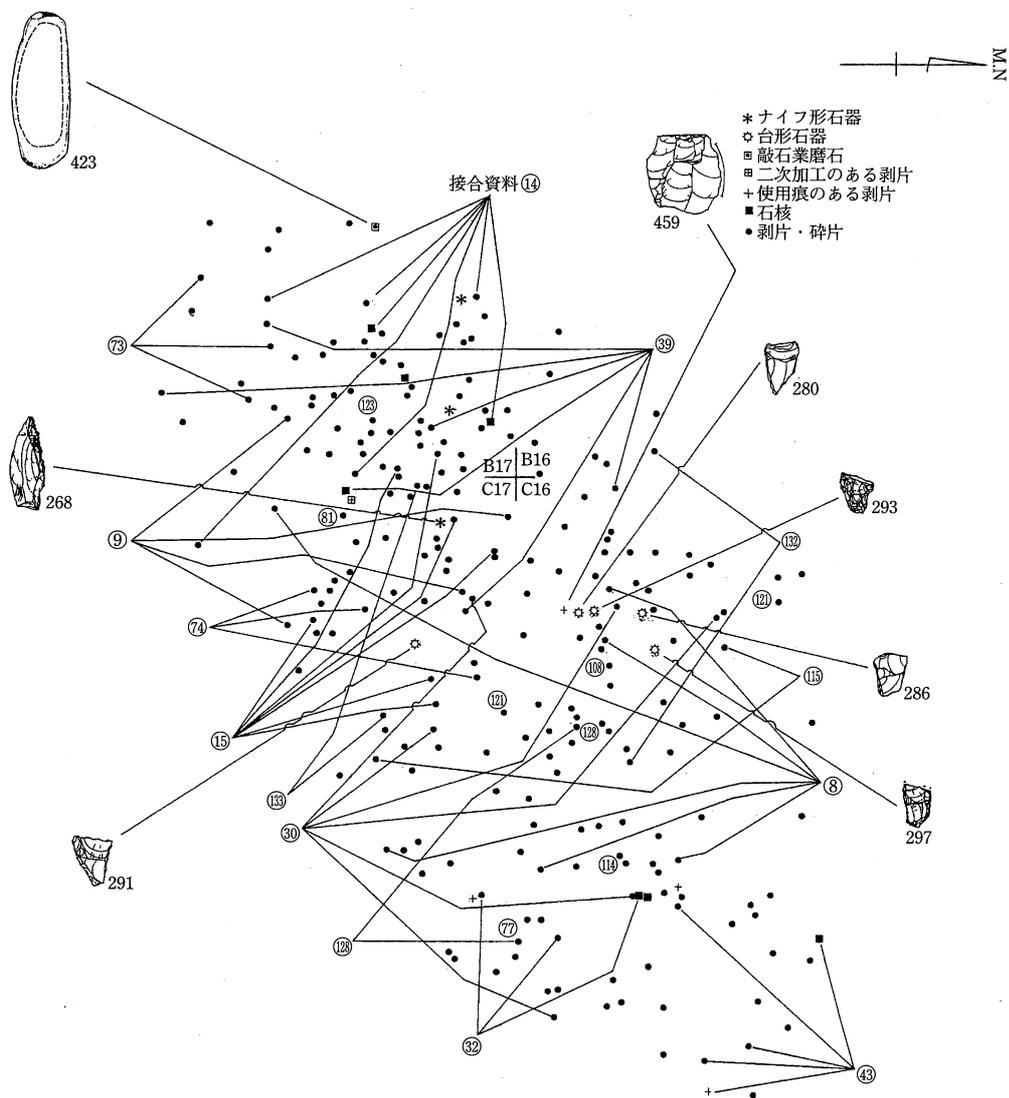
M N

C16	C17
B16	B17

- \* ナイフ形石器
- ◇ 台形石器
- ▣ 二次加工のある剥片
- + 使用痕のある剥片
- 石核
- 剥片・碎片



第46図 第20ブロック



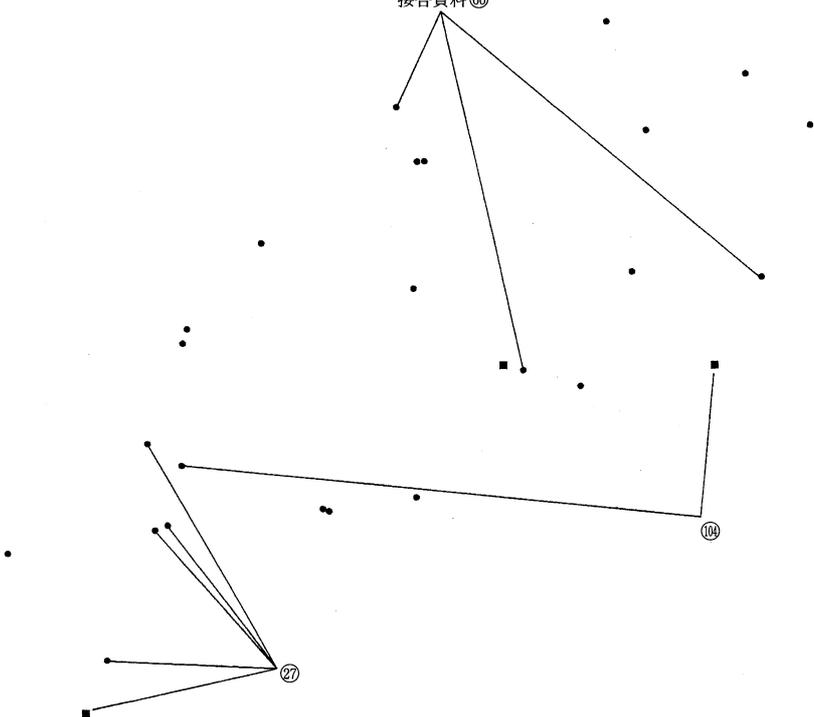
第47図 第21ブロック

M.N

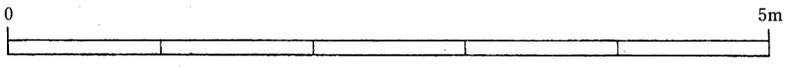
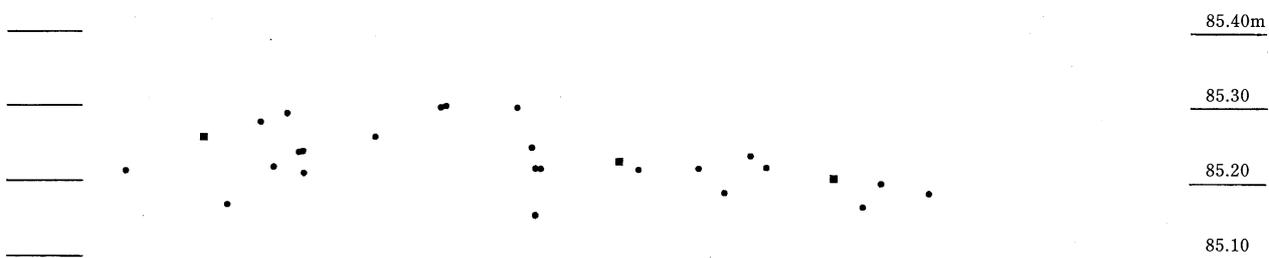


■ 石核  
● 剥片・碎片

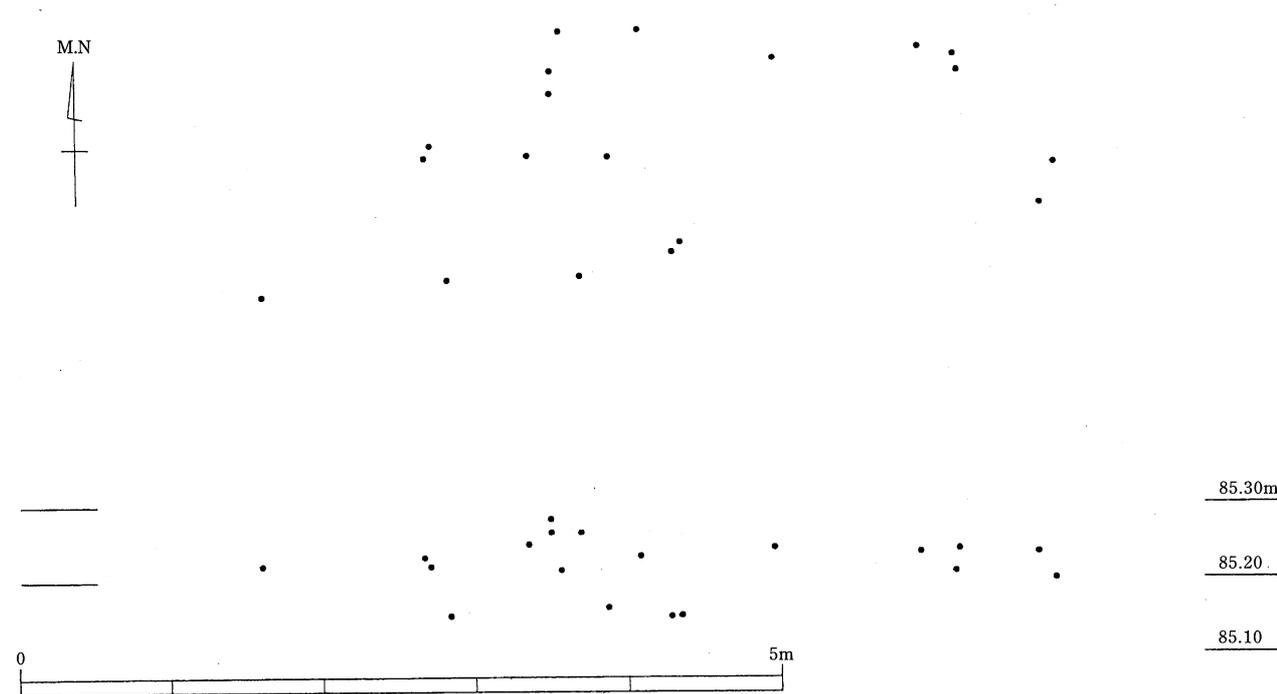
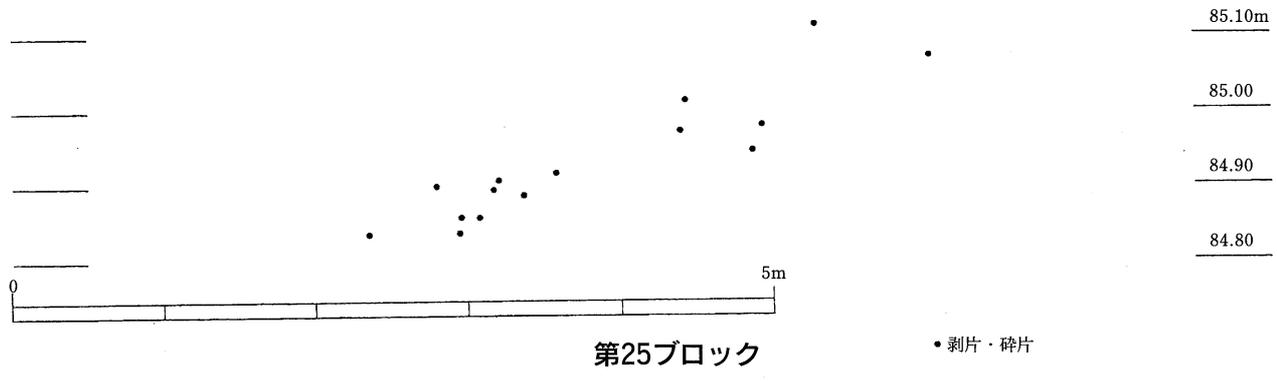
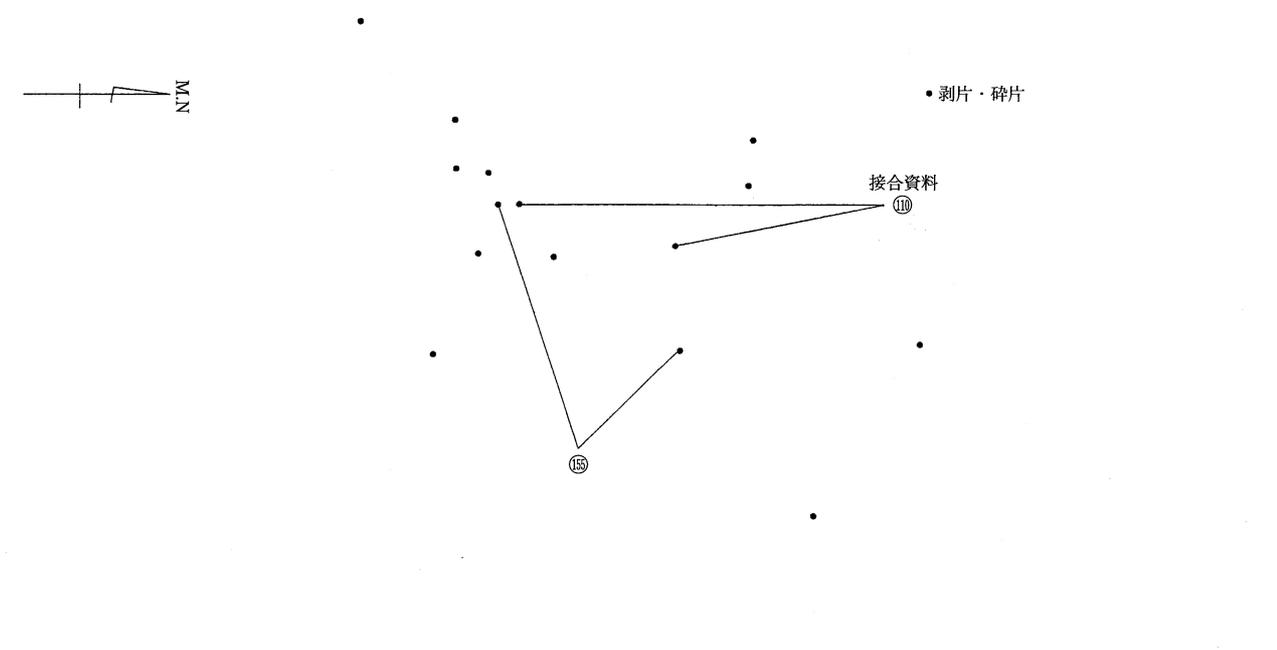
接合資料⑥⑥



K13 | L13  
K14 | L14



第48図 第23ブロック



第49図 第24ブロック

## (2)遺物

出土した遺物は、全て石器であり、それらの総数は4,464点である（第6表）。その内訳は、ナイフ形石器108点、台形石器33点、剥片尖頭器45点、三稜尖頭器57点、スクレイパー66点、石錘7点、敲石兼磨石14点、敲石13点、磨石3点、台石1点、二次加工のある剥片64点、使用痕のある剥片118点、石核118点、剥片・碎片3,817点である。石核、剥片・碎片を除く石器は529点で、それらの石材は、流紋岩410点（流紋岩 a 47点、流紋岩 b 90点、流紋岩 c 30点、流紋岩 e 11点、流紋岩 f 200点、流紋岩 g 32点）、ホルンフェルス46点、砂岩28点、黒曜石23点、チャート15点、尾鈴酸性岩5点、珪質頁岩2点で、流紋岩が卓越している。剥片・碎片の中にシルト岩が見られる。

これらの石器の分布は、遺跡の中央部分は削平されていたため不明であるが、主に遺跡の北部と南西端に広がり、礫群周辺に集中する（第26図）。

### 接合資料（第7表～第11表、第50図26～第80図215）

得られた接合資料は、194個体、石器の点数にして657点を確認した。その石材は、流紋岩557点（流紋岩 a 84点、流紋岩 b 124点、流紋岩 c 34点、流紋岩 e 9点、流紋岩 f 206点、流紋岩 g 100点）、ホルンフェルス5点、チャート33点、尾鈴酸性岩7点、砂岩4点、珪質頁岩2点、シルト岩2点で、流紋岩が卓越している。これらのうち図示したものは、22個体、石器点数190点で、その中には、ナイフ形石器4点、スクレイパー（削器）2点、使用痕のある剥片18点の石器が接合した。図示している接合個体は第7表～第11表の通りで、図には、個体ごとに、剥離工程を復元し、進行した順序を番号で記してある。以下、個体別に説明を行う。

表6 石材別統計表

器種	計(%)	流紋岩							ホルンフェルス	砂岩	黒曜石	チャート	尾鈴酸性岩	珪質頁岩	石英
		a	b	c	d	e	f	g							
ナイフ形石器	108(20.4)	101(93.5)							2(1.9)	0(0)	2(1.9)	3(2.8)	0(0)	0(0)	0(0)
		11	28	9	0	1	44	8							
台形石器	33(6.2)	21(63.6)							0(0)	0(0)	3(9.1)	9(27.3)	0(0)	0(0)	0(0)
		1	4	1	0	0	14	1							
剥片尖頭器	45(8.5)	22(48.9)							17(37.8)	4(8.9)	0(0)	1(2.2)	0(0)	1(2.2)	0(0)
		6	5	3	0	0	8	0							
三稜尖頭器	57(10.8)	42(73.7)							6(10.5)	1(1.8)	6(10.5)	2(3.5)	0(0)	0(0)	0(0)
		6	10	6	0	1	17	2							
スクレイパー	66(12.5)	53(80.3)							10(15.2)	0(0)	3(4.5)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		1	12	5	0	2	26	7							
石錘	7(1.3)	1(14.3)							0(0)	0(0)	6(85.7)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		1	0	0	0	0	0	0							
敲石・磨石・台石	31(5.9)	4(12.9)							0(0)	22(71.0)	0(0)	0(0)	5(16.1)	0(0)	0(0)
		3	0	1	0	0	0	0							
二次加工のある剥片	64(12.1)	55(85.9)							5(7.8)	0(0)	3(4.7)	0(0)	0(0)	1(1.6)	0(0)
		10	14	1	0	3	25	2							
使用痕のある剥片	118(22.3)	111(94.1)							6(5.1)	1(0.8)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		8	17	4	0	4	66	12							
石器総計	529(11.9)	410(77.5)							46(8.7)	28(5.3)	23(4.4)	15(2.8)	5(0.9)	2(0.4)	0(0)
		47	90	30	0	11	200	32							
石核	118(2.6)	102(86.4)							5(4.2)	1(0.9)	2(1.7)	6(5.1)	2(1.7)	0(0)	0(0)
		10	16	5	0	3	43	25							
剥片・碎片	3817(85.5)														
総計	4464														

表7 接合資料個体観察表

接合個体No.	石材	ナイフ形石器	スクレイパー(削器)	使用痕のある剥片	剥片	石核(残核)	合計
1	流紋岩g			3	20	6	29
2	流紋岩g				2		2
5	流紋岩b	2		1	8	1	12
6	流紋岩c				2	1	3
7	流紋岩b	2		2	13	1	18
10	流紋岩a			1	5		6
12	流紋岩g			1	1	1	3
18	流紋岩b		1		3		4
21	流紋岩b			1	4	1	6
28	流紋岩g				15	3	18
29	流紋岩b				9	2	11
30	流紋岩f				8	1	9
31	チャート				8	1	9
33	流紋岩f			2	7	1	10
34	流紋岩g				6	2	8
35	流紋岩f				5	1	6
38	流紋岩b		1	1	5		7
39	流紋岩g				6	1	7
43	ホルンフェルス			2	4	1	7
45	流紋岩c				4	1	5
48	流紋岩b			2	3		5
55	流紋岩 f			2	3		5
合計		4	2	18	141	25	190

個体1 (第50図、第51図26～第56図54)

個体1は、使用痕のある剥片3点、剥片20点、残核6点の合計29点が接合し、接合点数が最も多い資料である。石材は流紋岩gである。これらは、表皮が多く残っており、その接合状況から、母岩は大型の円礫と推測される。打面の観察により、剥片剥離に先立つ最初の粗割りとして、6つ(1(a)～1(f))の分割を確認した。

分割1(a) (第51図26～28)

分割1(a)は、剥片2点、残核1点の3点である。剥離工程を復元すると、1→2の順序で剥離が進行した。3は残核で、階段状剥離が観察される。

分割1(b) (第52図29～31)

分割1(b)は、剥片2点、残核1点の3点である。剥離工程を復元すると、1→2の順序で剥離が進行した。3は残核である。

#### 分割1(c) (第53図32~39)

分割1(c)は、使用痕のある剥片1点、剥片6点、残核1点の8点である。剥離工程を復元すると、まず1を剥離し、その後、打面を90° 転移し、2を剥離して打面設定を行った。そして、3→4→5→6→7の順序で剥離が進行した。8は残核である。7は使用痕のある剥片として用いられた。

#### 分割1(d) (第54図40~44)

分割1(d)は、使用痕のある剥片1点、剥片3点、残核1点の5点である。これは、打面設定が行われた段階のもので、剥離工程を復元すると、1→2→3→4の順序で剥離が進行した。5は残核で、階段状剥離が観察される。3は使用痕のある剥片として用いられた。

#### 分割1(e) (第55図45~48)

分割1(e)は、使用痕のある剥片1点、剥片2点、残核1点である。剥離工程を復元すると、1→2→3の順序で剥離が進行した。4は残核で、階段状剥離が観察される。1は使用痕のある剥片として用いられた。

#### 分割1(f) (第56図49~54)

分割1(f)は、剥片4点、残核1点の5点である。剥離工程を復元すると、まず打面設定を行うために1を剥離し、打面を90° 転移し、2→3→4→5の順序で剥離が進行した。5は残核である。

#### 個体2 (第57図55、56)

個体2は、SI13内で出土した剥片1点と礫群周辺の剥片1点の接合で、2点ともに表皮が残る資料である。石材は流紋岩gである。この接合は、SI13とその周辺の石器群とは同時期に使用された可能性が高いことを証明している。1→2の順序で剥離が進行した。

#### 個体5 (第58図57~68)

個体5は、ナイフ形石器2点、使用痕のある剥片1点、剥片8点、残核1点の合計12点が接合し、6点に表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材は流紋岩bである。剥離工程を復元すると、まず、1→2と剥離し、打面設定が行われた。次に、3→4→5→6の順序で剥離し、その後、裏面の7→8→9と剥離が進行した。さらに表面の10が剥離され、再度裏面の11が剥離されている。12は残核である。このように、この資料は、表裏両面交互に剥片剥離が進行したことが理解される。2と3はナイフ形石器に、11は使用痕のある剥片に用いられた。

#### 個体6 (第59図69~71)

個体6は、剥片2点と残核1点の3点が接合し、3点ともに表皮が残る資料である。石材は流紋岩cである。剥離工程を復元すると、まず、打面設定を行うために1を剥離し、次に、打面を90° 転移し、2を剥離した。3は残核である。

#### 個体7 (第60図72~89)

個体7は、ナイフ形石器2点、使用痕のある剥片2点、残核1点、剥片13点の合計18点が接合し、剥片2点と残核1点に表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材は流紋岩bである。この資料は、剥離面の観察から、打面を90°、180° と転移しながら、表裏両面交互に剥離が進行

した。剥離工程を復元すると、まず、1→2→3の剥離により、打面設定が行われた。2の段階で1回の剥離で2つ(2-a、2-b)に割れたと思われる。次に、打面を90°転移し、4→5と剥離した。5の段階でも1回の剥離で2つ(5-a、5-b)に割れたと思われる。そして、裏面の6を剥離した後、表面に打面を180°転移し、7→8と剥離した。その後、打面を90°転移し、裏面の9を剥離した。10は打面を90°転移し剥離された。さらに表面の11→12と剥離し、裏面の13、表面の14、裏面の15と表裏両面交互に剥離した。16は残核である。4と11はナイフ形石器に、5-②と7は使用痕のある剥片に用いられた。

#### 個体10(第61図90~95)

個体10は、使用痕のある剥片1点と剥片5点の合計6点が接合し、それらには表皮は残らず、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材は流紋岩aである。打面を90°、180°と転移しながら剥離が進行した。剥離工程を復元すると、まず、1を剥離し、次に、打面を90°転移し、2を剥離した。さらに、打面を90°転移し、3→4→5の順序で剥離が進行した。そして、打面を180°転移し、6を剥離した。3は、使用痕のある剥片に用いられた。

#### 個体12(第62図96~98)

個体12は、使用痕のある剥片1点、剥片1点、残核1点の合計3点が接合し、それら全てに表皮が残る資料である。石材は流紋岩gである。剥離工程を復元すると、1→2の順序で剥離された。2は、打面設定後、打面を90°転移し剥離され、使用痕のある剥片に用いられた。3は残核で、階段状剥離が観察され、打面を90°、180°と転移しながら、周縁を巡るように縦長剥片や幅広剥片が剥離されたことが理解できる。

#### 個体18(第63図99~102)

個体18は、スクレイパー(削器)1点と剥片3点の合計4点が接合し、それら全てに表皮が残る資料である。石材は流紋岩bである。剥離工程を復元すると、1→2→3の順序で、打面を180°転移しながら剥片剥離が進行し、最後に4が剥離された。4は、スクレイパー(削器)に用いられた。

#### 個体21(第64図103~108)

個体21は、使用痕のある剥片1点、剥片4点、残核1点の合計6点が接合し、剥片1点と残核1点に表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材は流紋岩bである。剥離工程を復元すると、まず、1が剥離された後、打面設定が行われた。次に、打面を90°転移し、2→3と剥離を行った。そして、打面を180°転移し、4を剥離し、さらに、打面を180°転移し、5を剥離した。6は残核で、階段状剥離が観察される。3は、使用痕のある剥片に用いられた。

#### 個体28(第65図、第66図109~第67図126)

個体28は、剥片13点と残核5点の合計18点が接合し、剥片7点と残核2点に表皮が残る資料である。石材は流紋岩gである。打面や節理面の観察により、4つ(28(a)~28(d))の分割を確認した。

#### 分割28(a)(第66図109、110)

分割28(a)は、剥片2点である。1を剥離し、2は残核である。残核には階段状剥離が観察され、打面を90°、180°と転移しながら剥離が進行したことが理解できる。

#### 分割28(b) (第66図111、112)

分割28(b)は、剥片2点である。1を剥離し、2は残核である。28(a)と同様、残核には階段状剥離が観察され、打面を転移しながら剥離が進行したことが理解できる。

#### 分割28(c) (第67図113~116)

分割28(c)は、剥片4点である。剥離工程を復元すると、1→2→3の順序で剥離が進行した。1の段階で、1回の剥離で2つ(1-a、2-b)に割れたと思われる。

#### 分割28(d) (第67図117~126)

分割28(d)は、剥片9点、残核1点で、打面90°、180°と転移しながら剥離が進行した。剥離工程を復元すると、まず、1を剥離した後、打面を90°転移し、2→3の順序で剥離を行った。次に、打面を180°転移し、4→5→6の順序で剥離し、その後、打面を180°転移し、7→8→9の順序で剥離が進行した。9は内部に接合しており、図面では見えない。10は残核である。

#### 個体29 (第68図127~第69図137)

個体29は、剥片9点と残核2点の合計11点が接合し、剥片5点と残核2点に表皮が残る資料である。石材は流紋岩bである。この資料は、剥片剥離が進行していく過程で、分割が行われ、それぞれを剥離していったものである。剥離工程を復元すると、まず、1→2→3→4の順序で剥離が進行し、打面設定を行うため、打面を90°転移し、5を剥離した。次に、6→7→8の順序で3つに分割され、その後、それぞれ剥離が進行した。それぞれに節理面が観察される。

#### 分割6 (第69図136、137)

分割6は、剥片1点と残核1点で、6-①を剥離し、6-②が残核である。残核には階段状剥離が観察され、この段階で分割6の剥離は終わったと思われる。

#### 分割7 (第69図134、135)

分割7は、剥片1点と残核1点で、7-①を剥離し、7-②が残核である。分割6と同様、残核には階段状剥離が観察され、この段階で分割7の剥離は終わったと思われる。

#### 分割8 (第68図127、128)

分割8は、剥片2点で、8-①→8-②の順序で剥離が行われた。

#### 個体30 (第70図138~146)

個体30は、剥片8点と残核1点の合計9点が接合し、剥片4点と残核1点に表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材は流紋岩fである。打面を90°、180°と転移しながら剥離が進行した。剥離工程を復元すると、まず、1を剥離し、打面を180°転移し、2を剥離した。2の段階で、1回の剥離で2つ(2-a、2-b)に割れたと思われる。次に、打面を90°転移し、3→4の順序で剥離を行い、さらに、打面を90°転移し、5→6→7の順序で剥離が進行した。8は残核で、階段状剥離が観察される。

#### 個体31 (第71図147~155)

個体31は、剥片8点、残核1点の合計9点が接合し、これら全てに表皮が残る資料である。石材はチャートである。打面の観察から、剥片剥離に先立つ最初の粗割りとして、2つ(31(a)~31(b))の分割を確認した。それぞれに節理面が観察される。

#### 分割31 (a) (第71図147~150)

分割31 (a) は、剥片4点である。打面の観察から、1の段階で、1回の剥離で3つ (1-a、1-b、1-c) に割れたと思われる。その後、2を剥離した。

#### 分割31 (b) (第71図151~155)

分割31 (b) は、剥片4点と残核1点である。打面を90°、180°と転移しながら剥離が進行した。剥離工程を復元すると、まず、1を剥離し、次に、打面を180°転移し、2を剥離した。そして、打面を90°転移し3→4の順序で剥離を行った。5は残骸で、階段状剥離が観察される。

#### 個体33 (第72図156~第72図165)

個体33は、使用痕のある剥片2点、剥片7点、残核1点の合計10点が接合し、使用痕のある剥片1点、剥片6点、残核1点の8点に表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材は流紋岩fである。打面や節理面の観察により、2つ (33 (a) ~33 (b)) の分割を確認した。

#### 分割33 (a) (第72図156)

分割33 (a) は、剥片1点で、節理面が観察される。

#### 分割33 (b) (第72図157~第73図165)

分割33 (b) は、使用痕のある剥片2点、剥片6点、残核1点である。打面を90°、180°と転移しながら剥離が進行した。剥離工程を復元すると、まず、1を剥離し、次に、打面を180°転移し、2を剥離した。そして、打面を90°転移し、3を剥離し、さらに打面を90°転移し、4を剥離した。続いて、打面を90°転移し、5→6の順序で剥離を行い、打面設定のために打面を90°転移し、7 (7a、7b) を剥離した。これは、1回の剥離で2つに割れたと思われる。8は残核である。3と5は使用痕のある剥片に用いられた。

#### 個体34 (第74図166~173)

個体34は、剥片6点と残核2点の合計8点が接合し、剥片1点以外に表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材は流紋岩gである。打面や節理面の観察により、2つ (34 (a) ~34 (b)) の分割を確認した。

#### 分割34 (a) (第74図166~170)

分割34 (a) は、剥片4点と残核1点である。剥離工程を復元すると、まず、1→2の順序で剥離し、次に、打面を180°転移し、3→4の順序で剥離が行われた。5は残核である。

#### 分割34 (b) (第74図171~173)

分割34 (b) は、剥片2点と残核1点である。剥離工程を復元すると、まず、1を剥離し、打面設定を行った。その後、2を剥離した。3は残核である。

#### 個体35 (第75図174~179)

個体35は、剥片5点と残核1点の合計6点が接合し、剥片1点以外に表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。この資料は、瀬戸内技法に類似するものと思われる。石材は流紋岩fである。打面を90°、180°と転移しながら剥離が進行した。剥離工程を復元すると、まず、1→2の順序で剥離し、次に、打面を180°転移し、3→4の順序で剥離を行った。そして、打面設定のために5を剥離し、その後、剥離は進行した。6は残核で、階段状剥離が観察される。

#### 個体38 (第76図180~186)

個体38は、スクレイパー (削器) 1点、使用痕のある剥片1点、剥片5点の合計7点が接合し、剥片1点以外に表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材は流紋岩bである。剥離工程を復元すると、1→2→3→4の順序で剥離が行われ、次に、打面を90° 転移し、5→6→7の順序で剥離が進行した。1はスクレイパー (削器) に、5は使用痕のある剥片に用いられた。

#### 個体39 (第77図187~193)

個体39は、剥片6点と残核1点の合計7点が接合し、剥片3点と残核1点に表皮が残り、幅広片を多く剥離した資料である。この資料は、瀬戸内技法に類似するものと思われる。石材は流紋岩gである。剥離工程を復元すると、まず、1→2の順序で剥離し、次に、打面を90° 転移し、3→4→5→6の順序で同じ方向からの剥離が進行した。7は残核である。

#### 個体43 (第78図194~200)

個体43は、使用痕のある剥片2点、剥片4点、残核1点の合計7点が接合し、使用痕のある剥片1点と剥片1点の2点以外は表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材はホルンフェルスである。打面を90° 転移しながら剥離が進行した。剥離工程を復元すると、まず、1→2の順序で剥離し、これは打面設定のための剥離と思われる。次に、打面を90° 転移し、3を剥離した。さらに、打面90° 転移し、4→5→6の順序で剥離が進行した。7は残核である。1と3は使用痕のある剥片に用いられた。

#### 個体45 (第79図201~205)

個体45は、剥片4点と残核1点の合計5点が接合し、剥片1点以外は表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材は流紋岩cである。打面や節理面の観察により、2つ (45 (a)、45 (b)) の分割を確認した。

##### 分割45 (a) (第79図201~203)

分割45 (a) は、剥片3点である。1→2の順序で剥離したが、1の段階で、1回の剥離で2つ (1-a、1-b) に割れたと思われる。

##### 分割45 (b) (第79図204、205)

分割45 (b) は、1を剥離し、2が残核である。

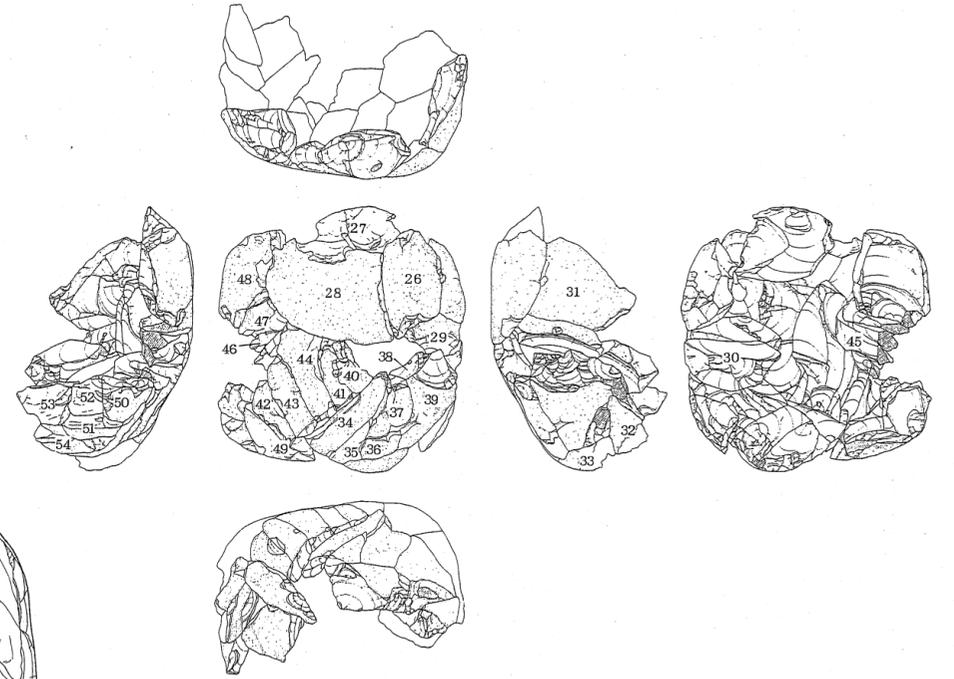
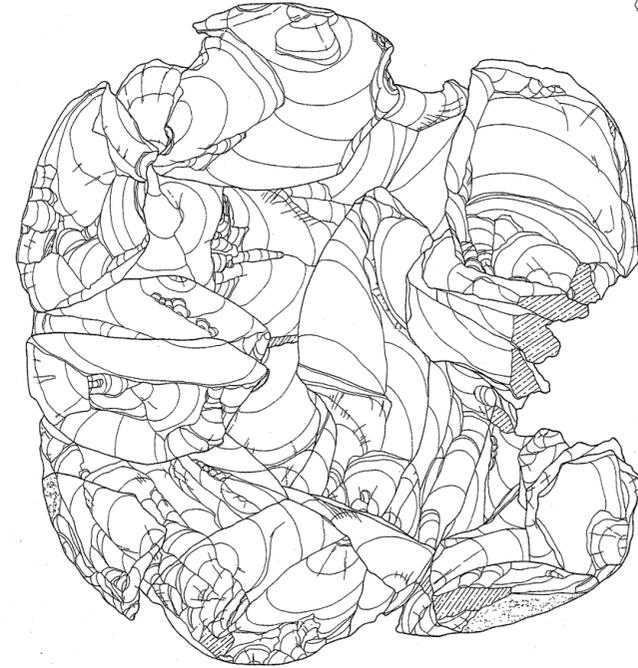
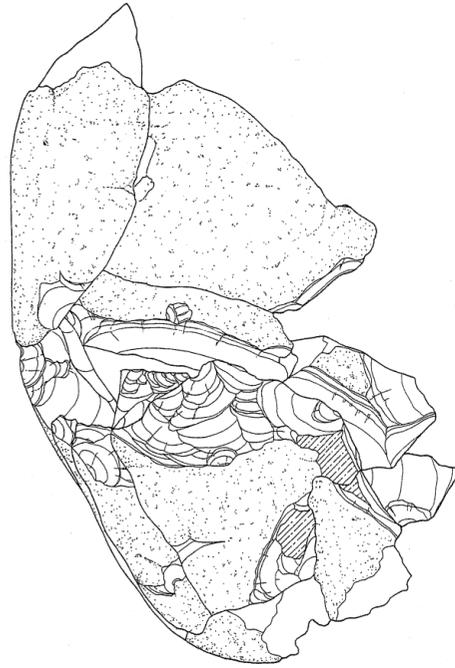
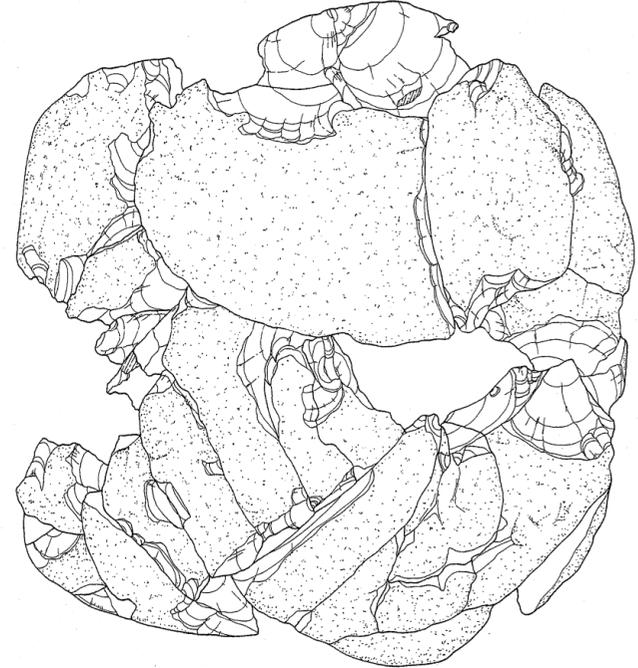
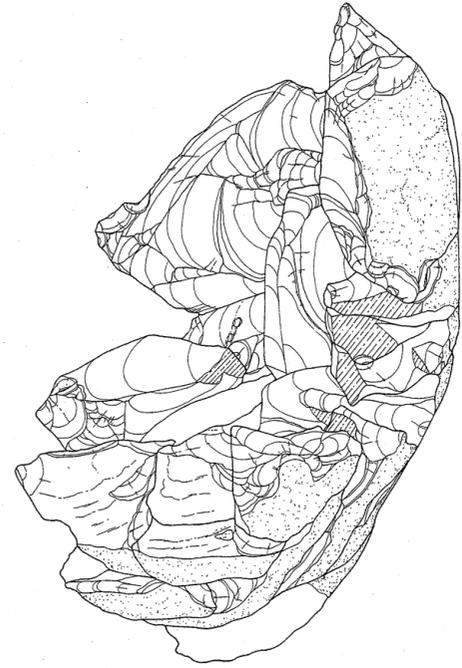
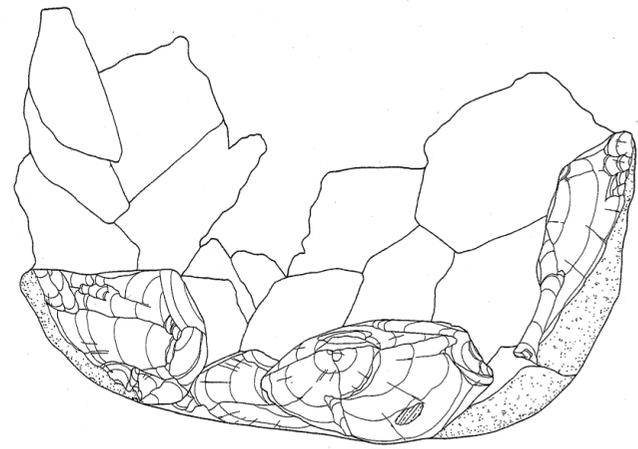
#### 個体48 (第80図206~210)

個体48は、使用痕のある剥片2点と剥片3点の合計5点が接合し、使用痕のある剥片1点以外は表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。石材は流紋岩bである。剥離工程を復元すると、まず、1→2→3の順序で剥離が行われ、次に、打面を90° 転移し、4→5の順序で剥離が進行した。2と4は、使用痕のある剥片に用いられた。

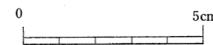
#### 個体55 (第81図211~215)

個体55は、使用痕のある剥片2点と剥片3点の合計5点が接合し、使用痕のある剥片1点に表皮が残り、幅広剥片を多く剥離した資料である。剥離工程を復元すると、1→2→3→4→5の順序で同じ方向から剥離が進行した。4と5は、使用痕のある剥片に用いられた。

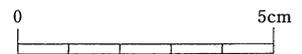
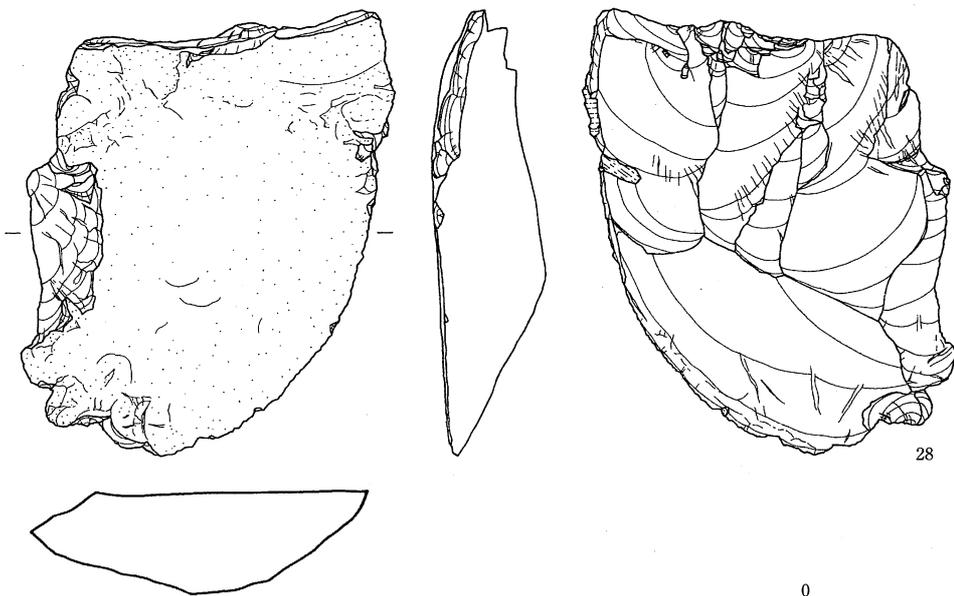
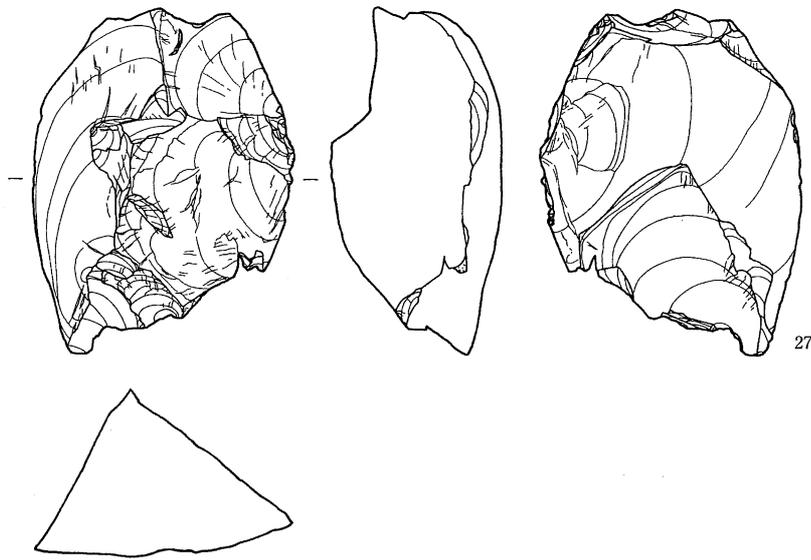
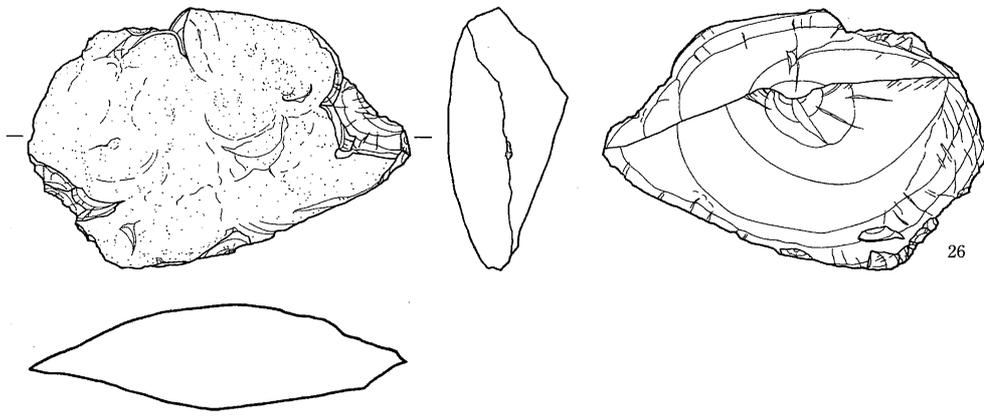
個体1



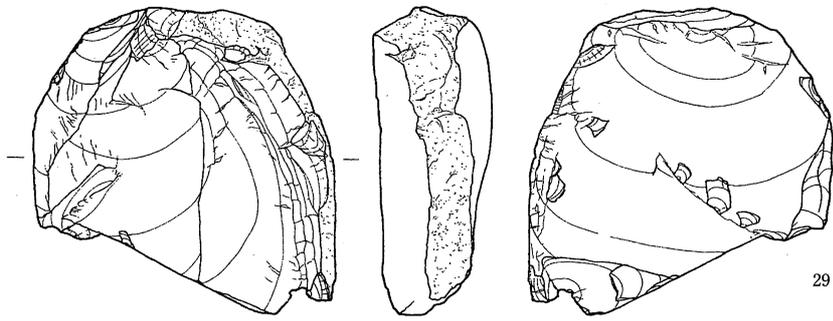
(26+27+28+(29+30)+31+32+33+34+35+36+37+38+39+40+41+42+43+44+45+46+47+48+49+50+51+52+53+54)



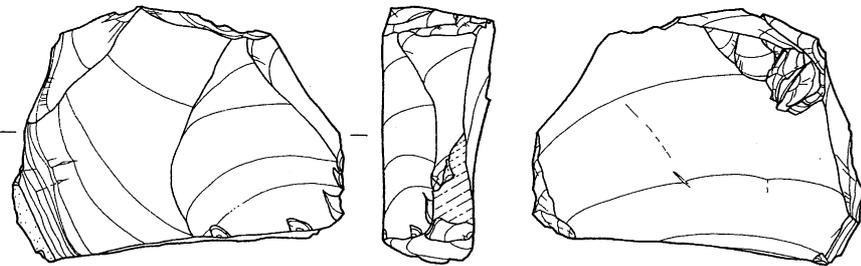
第50図 接合資料 (1)



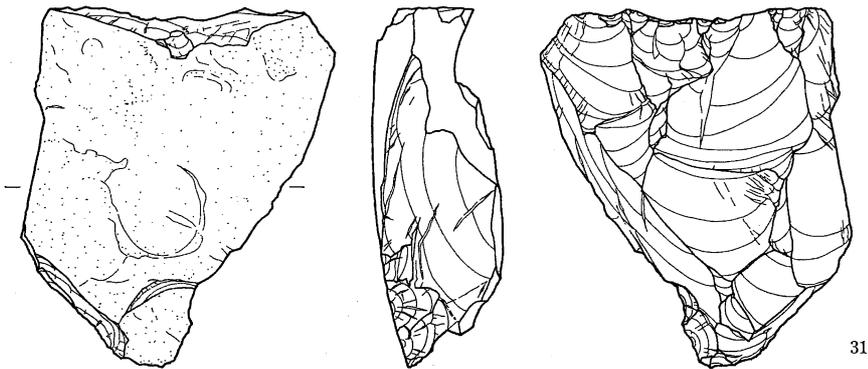
第51図 接合資料 (1) 分割1③



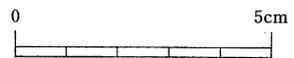
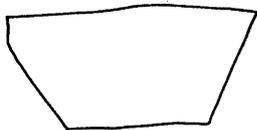
29



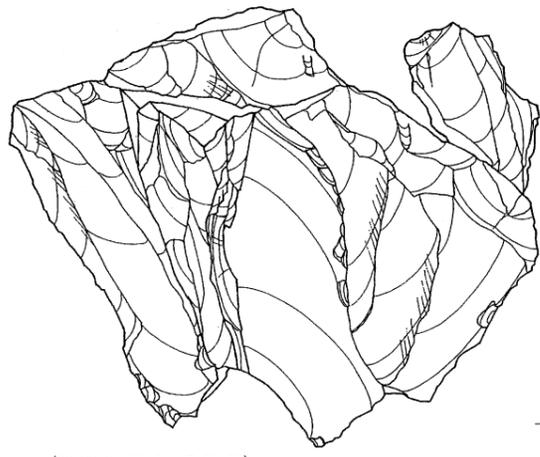
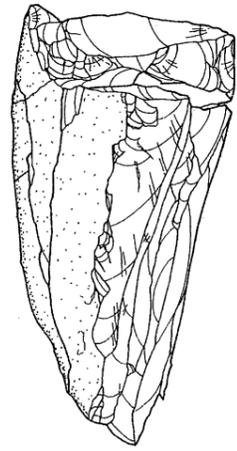
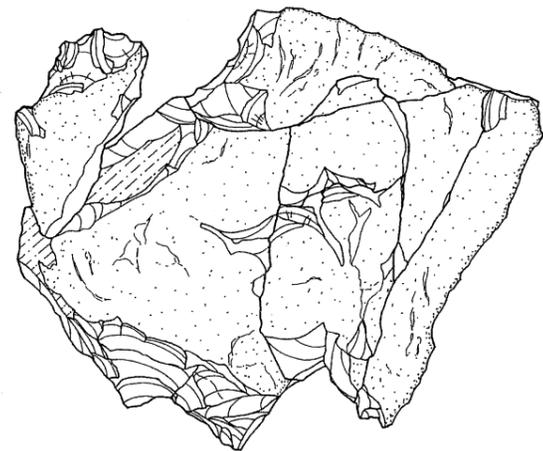
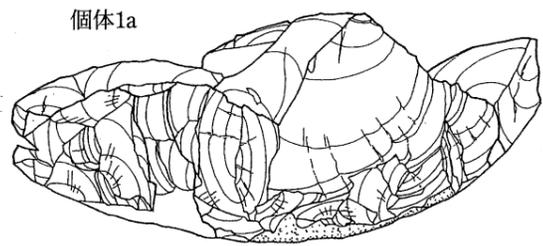
30



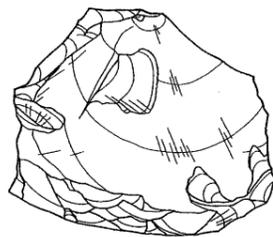
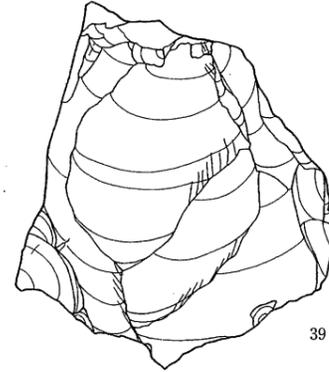
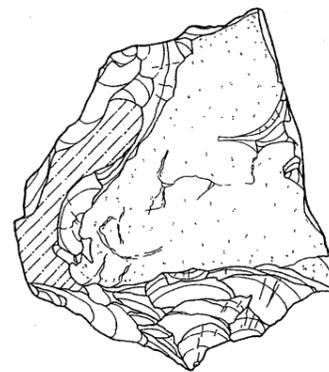
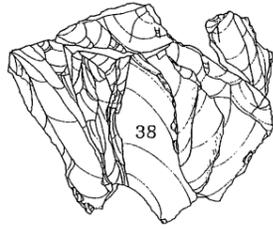
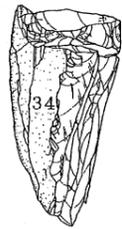
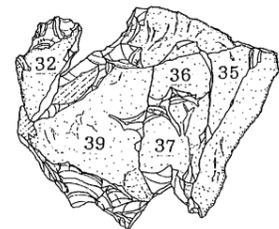
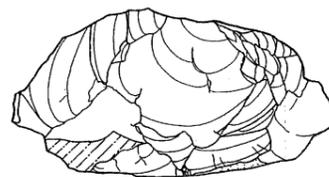
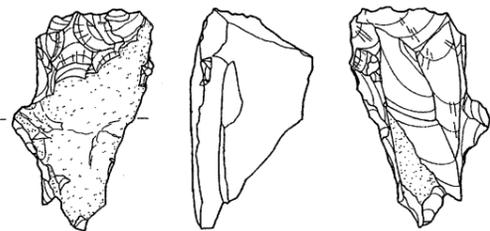
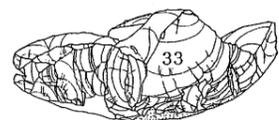
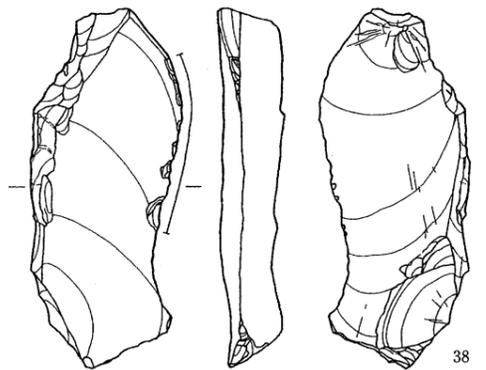
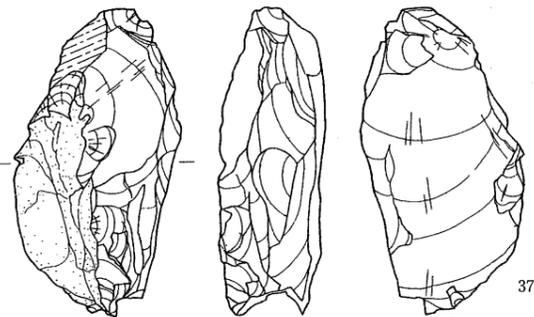
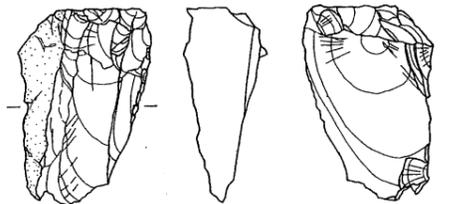
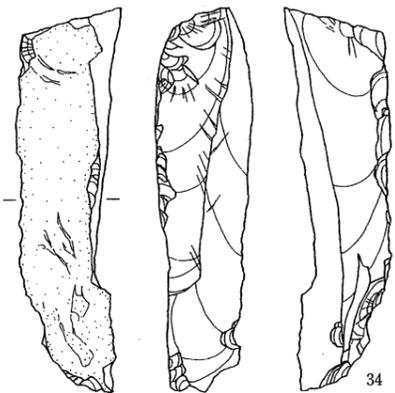
31



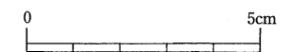
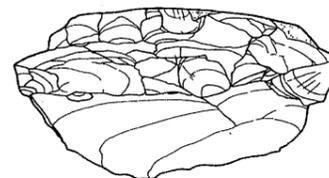
第52図 接合資料 (1) 分割1⑥



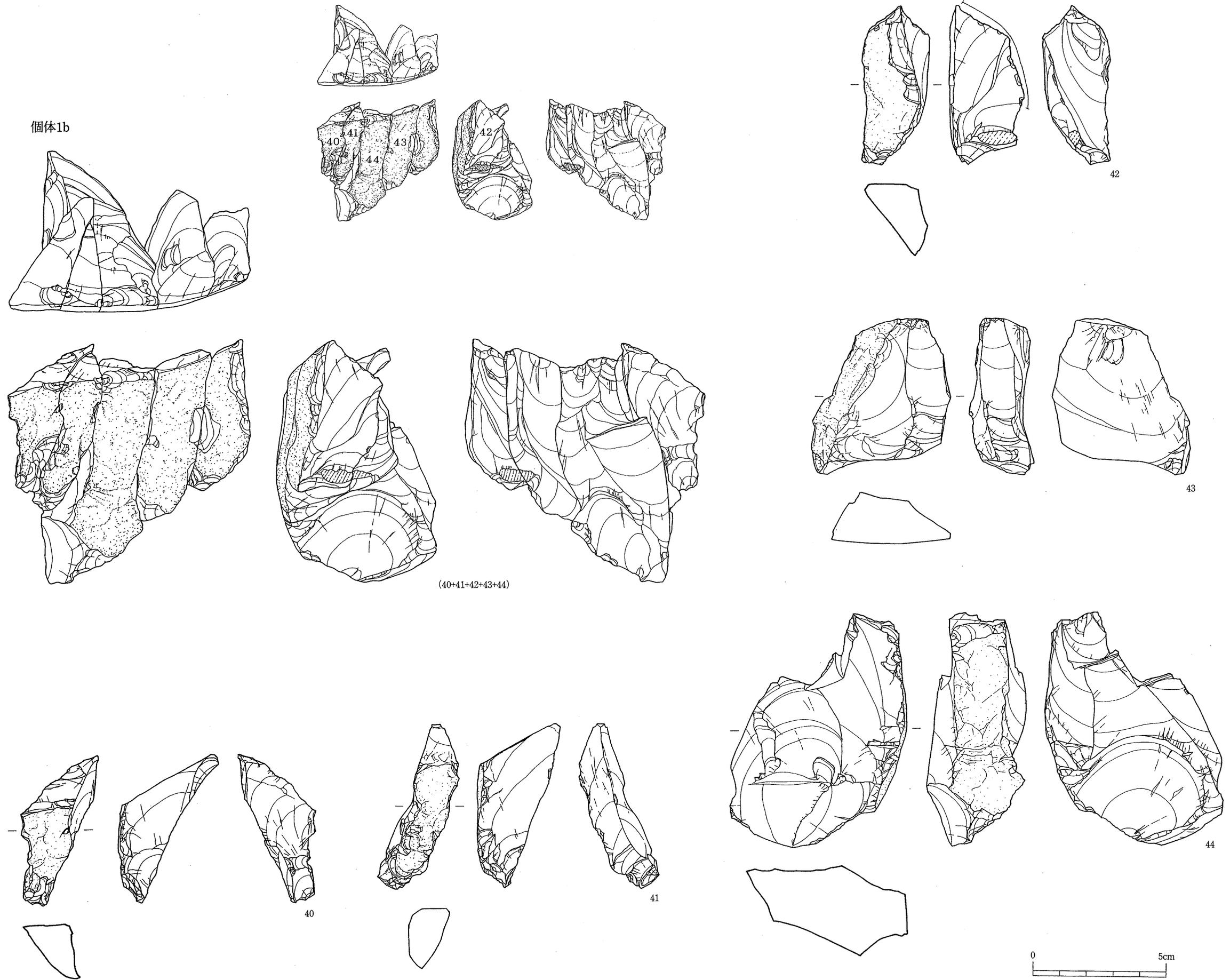
(32+33+34+35+36+37+38+39)



33

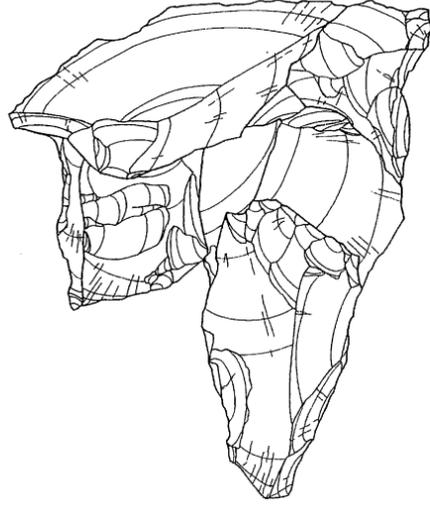
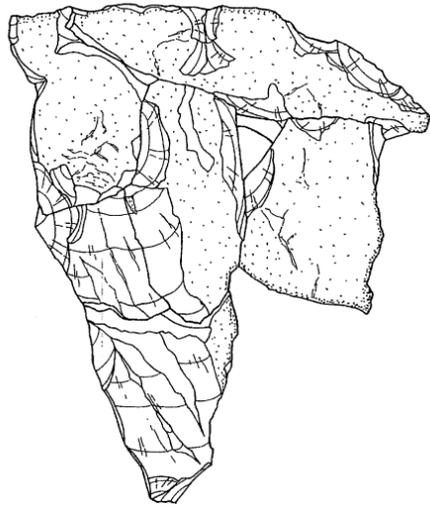
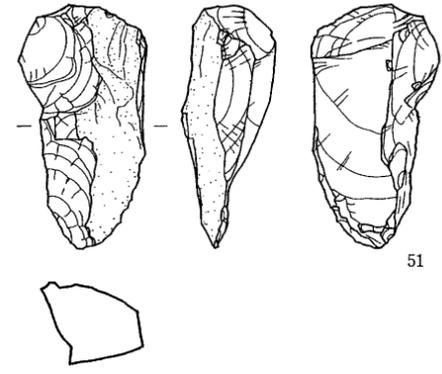
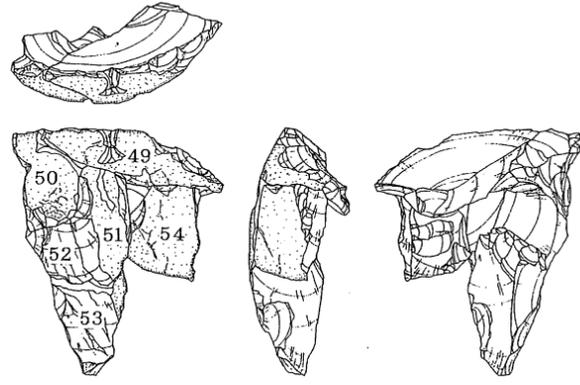
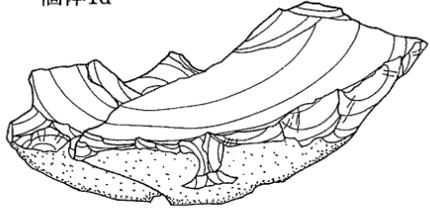


第53図 接合資料(1) 分割1©

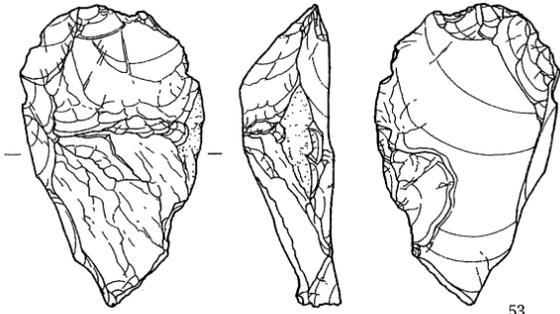
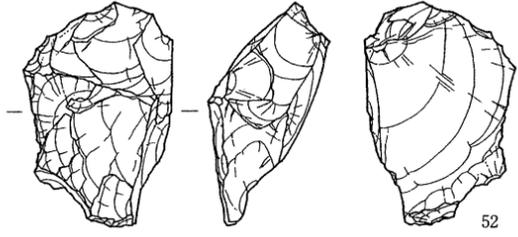


第54図 接合資料 (1) 分割1@

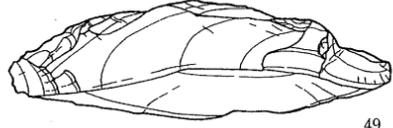
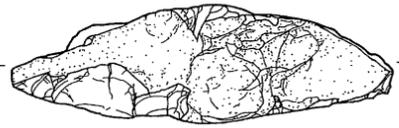
個体1d



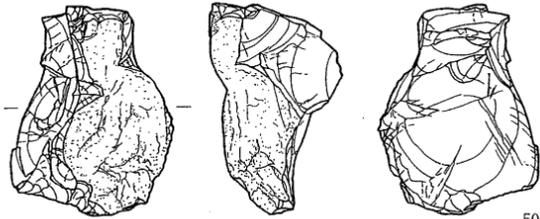
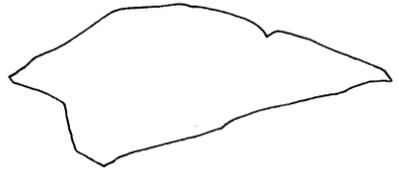
(49+50+51+52+53+54)



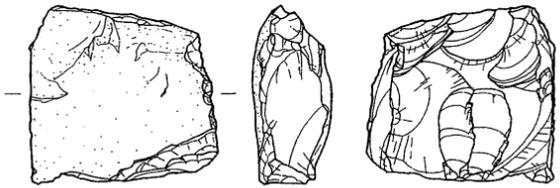
53



49



50

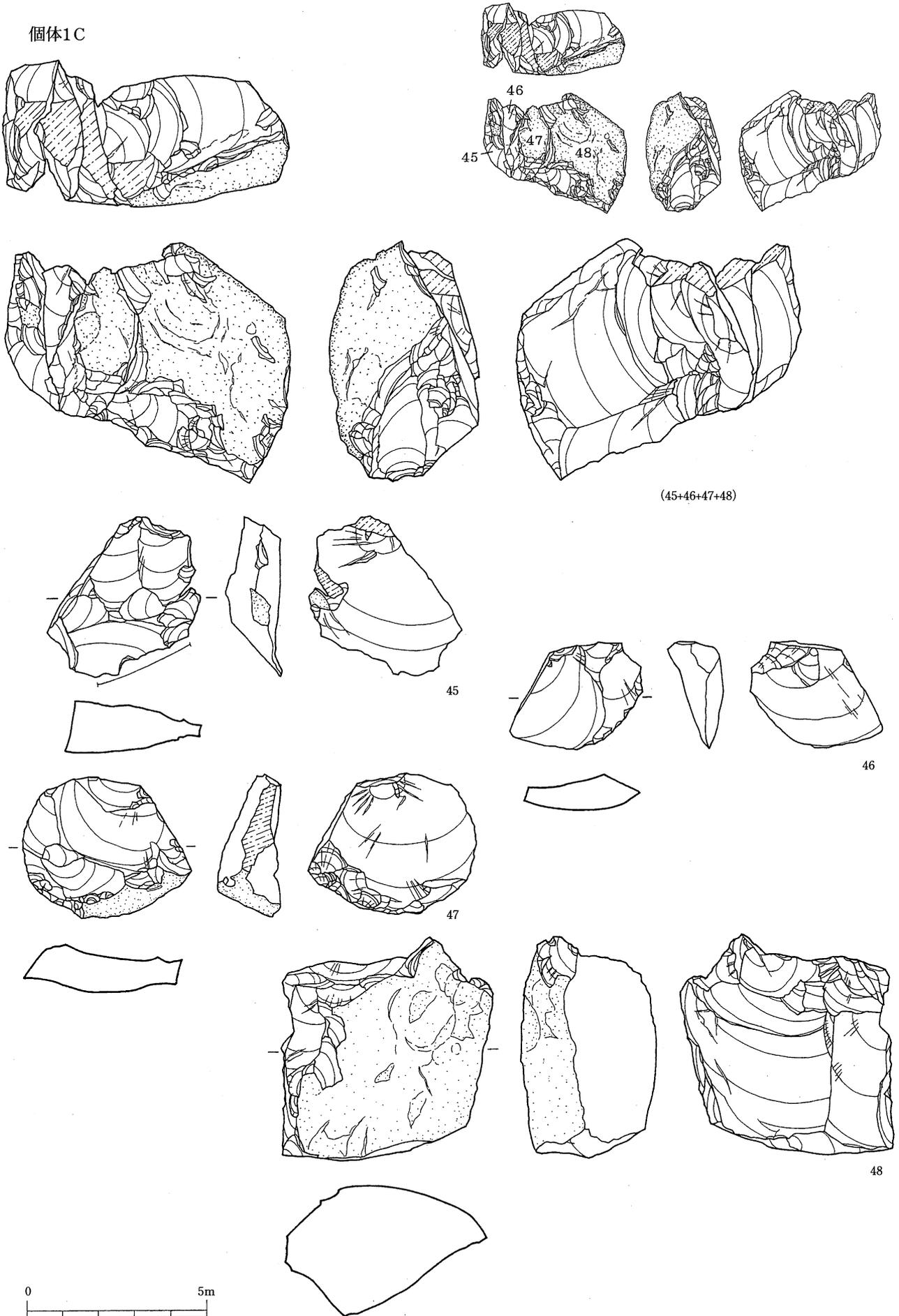


54



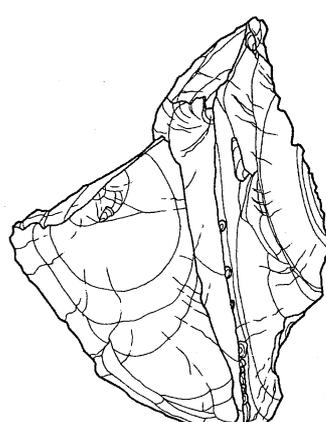
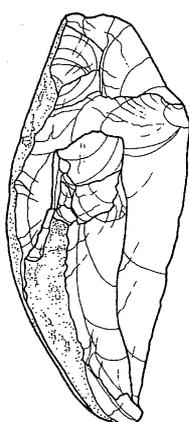
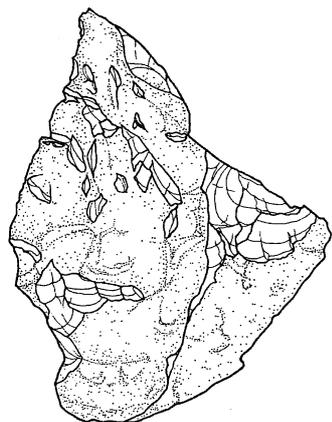
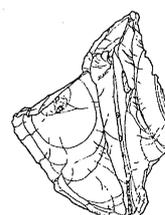
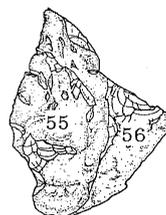
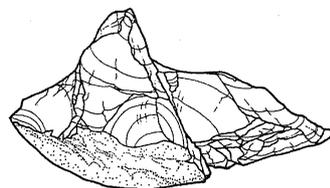
第56図 接合資料 (1) 分割1⓪

個体1C

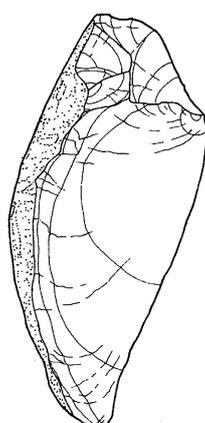
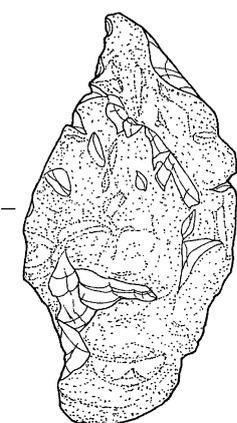


第55図 接合資料 (1) 分割1©

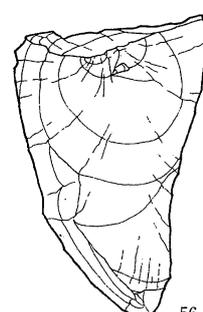
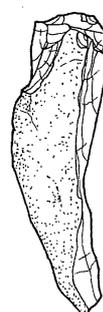
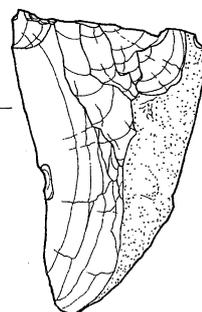
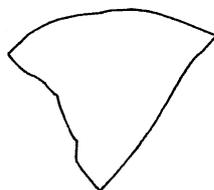
個体2



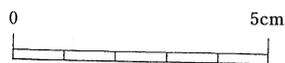
(55+56)



55

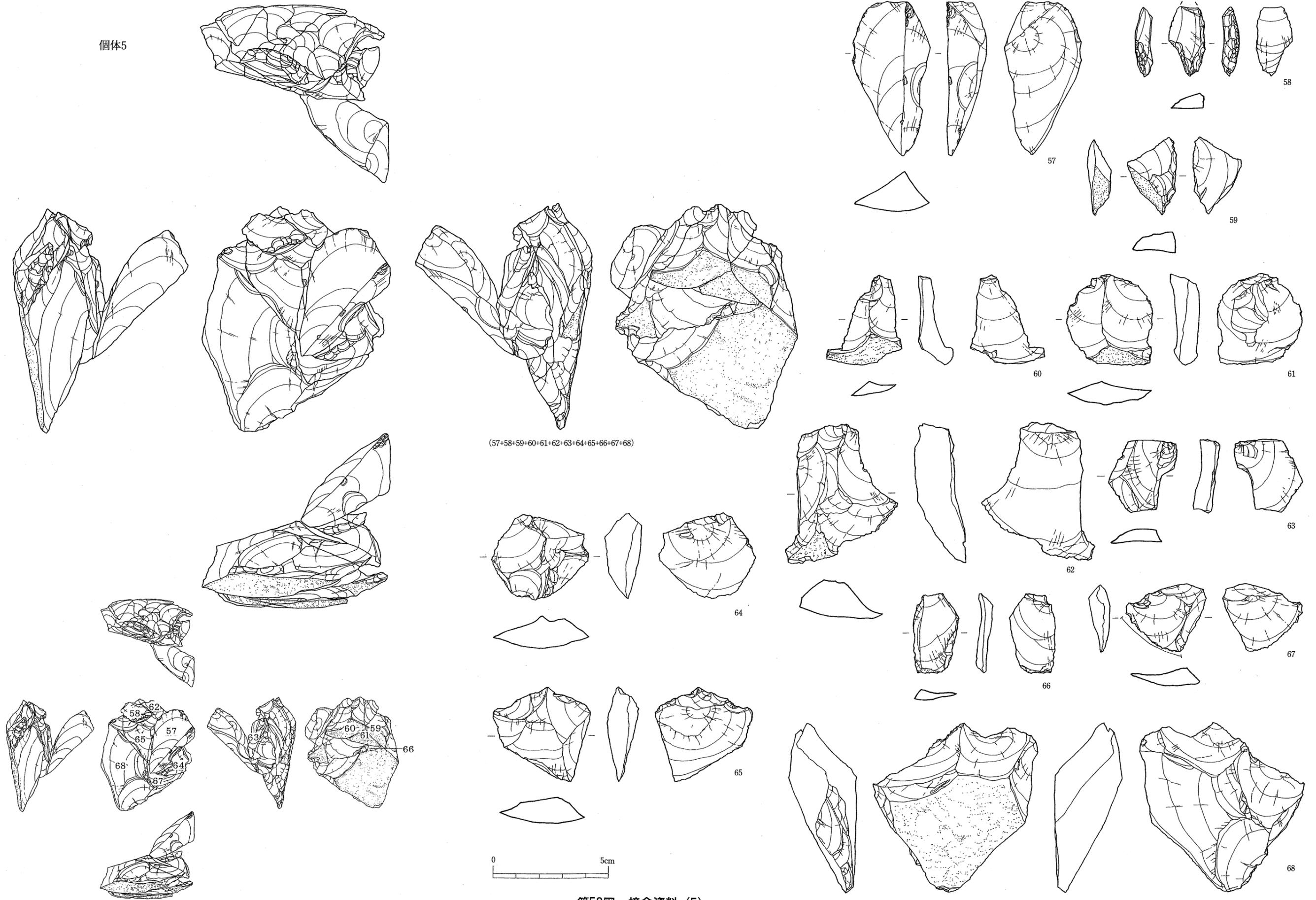


56



第57図 接合資料 (2)

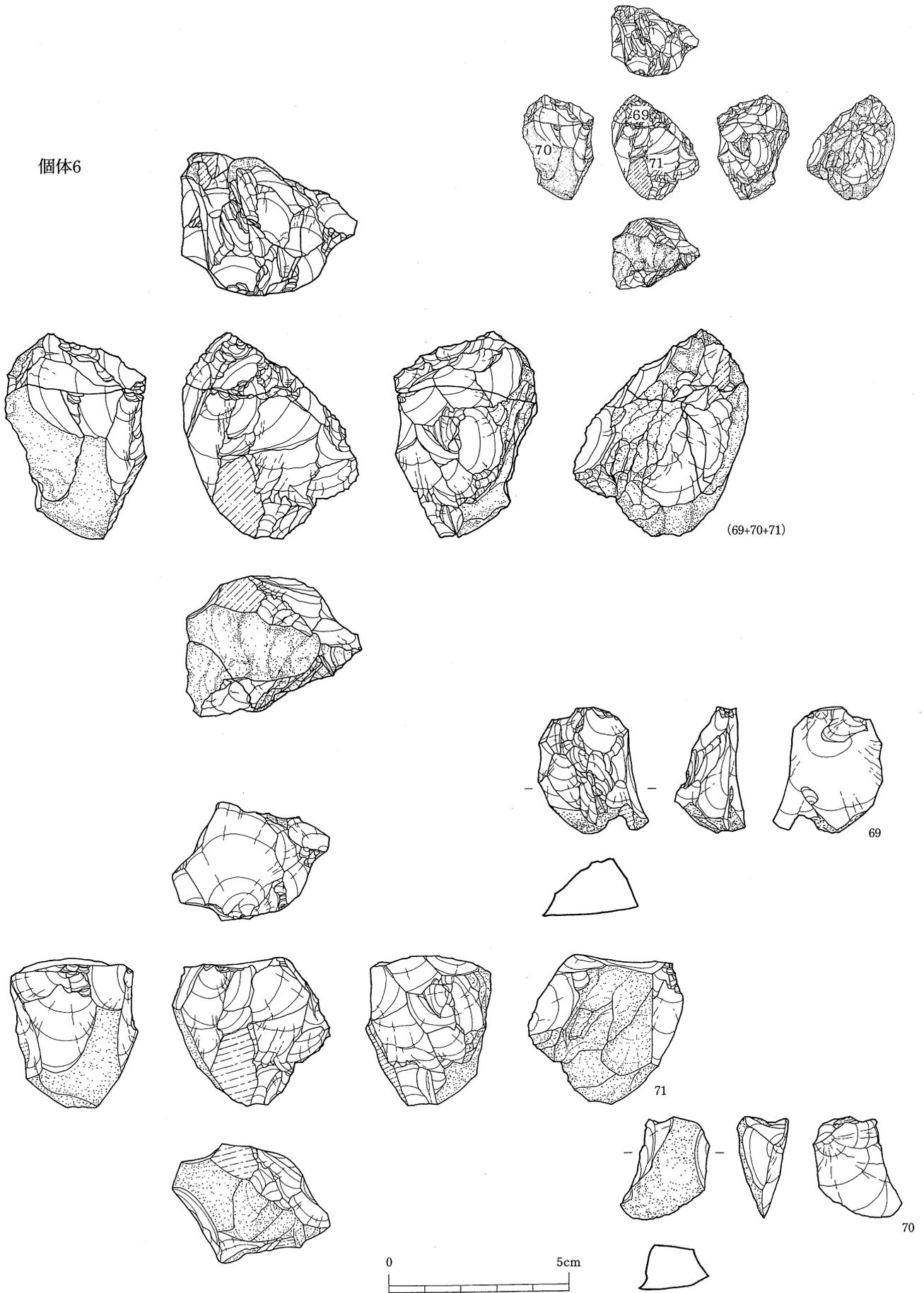
個体5



(57+58+59+60+61+62+63+64+65+66+67+68)

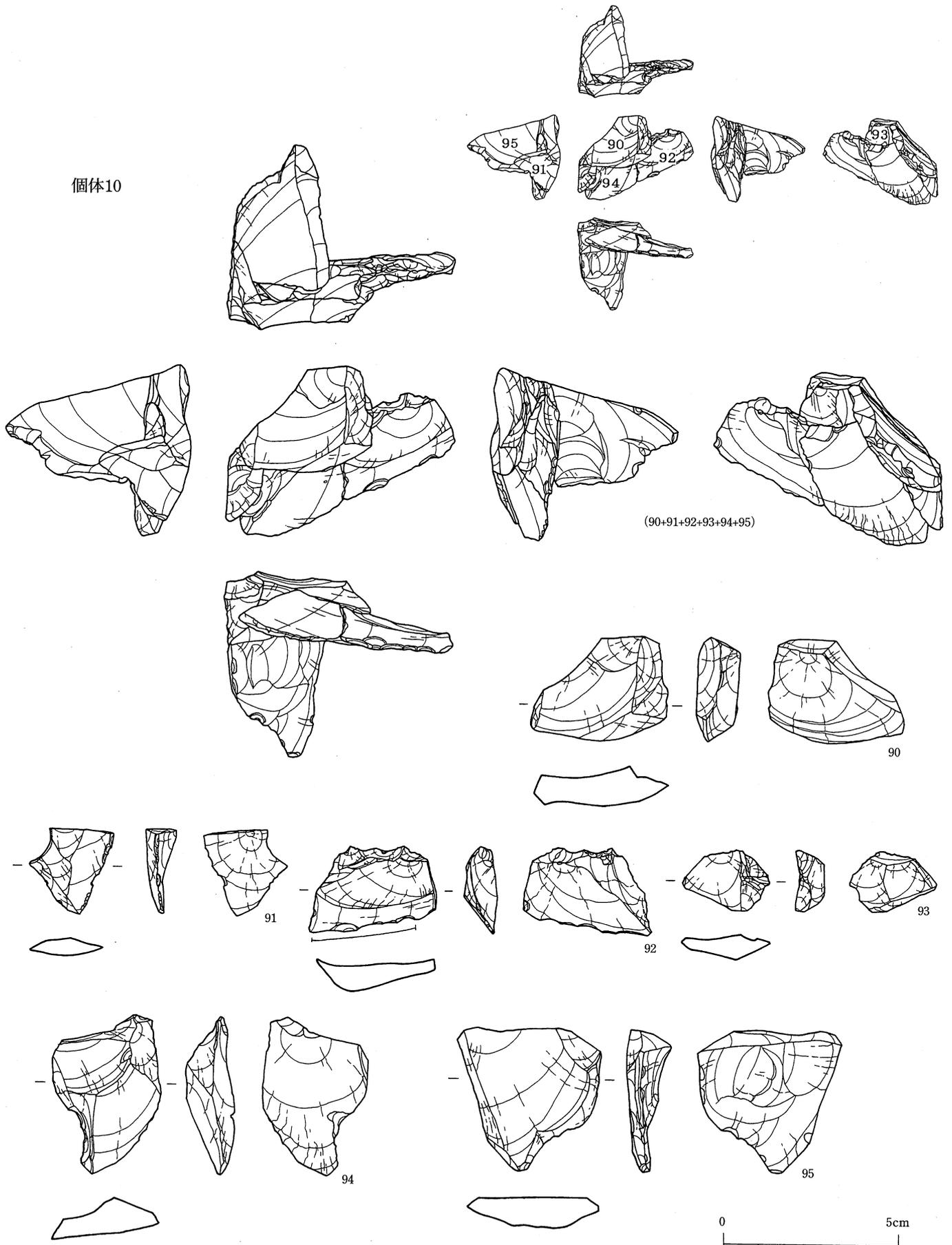
第58図 接合資料 (5)

個体6



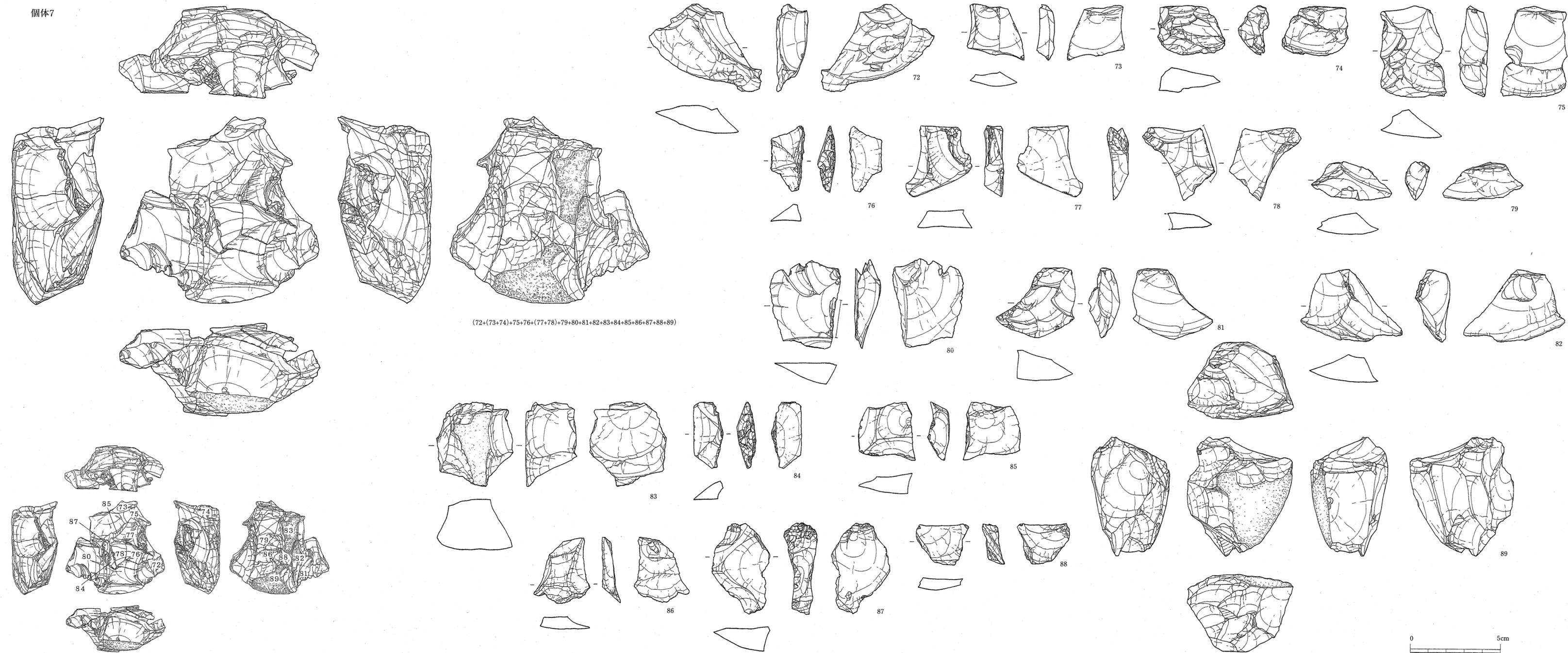
第59図 接合資料 (6)

個体10



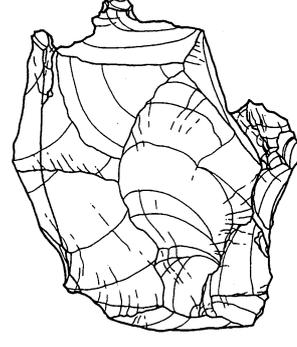
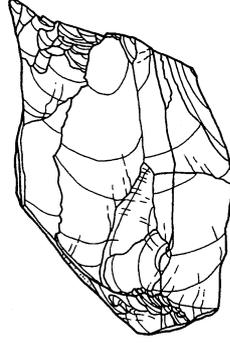
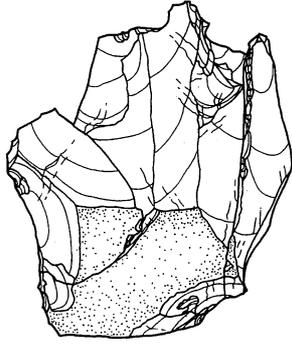
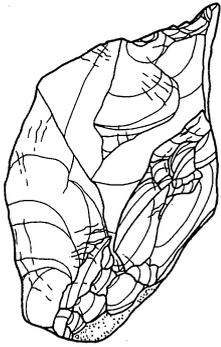
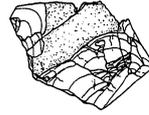
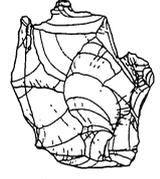
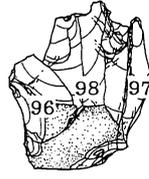
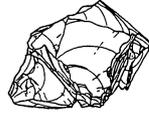
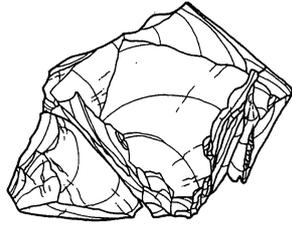
第61図 接合資料 (10)

個体7

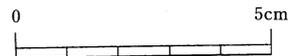
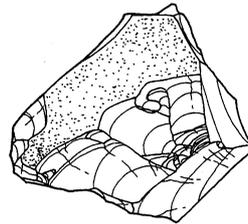
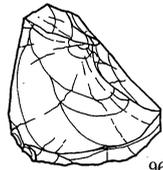
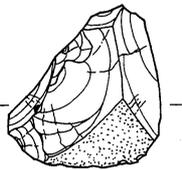
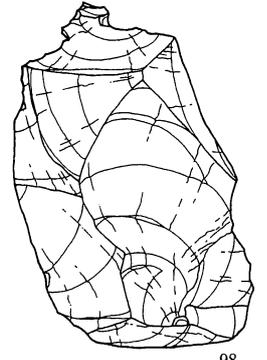
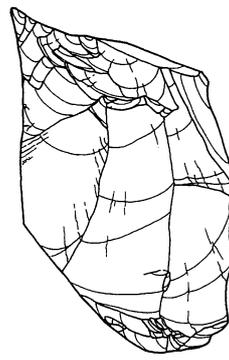
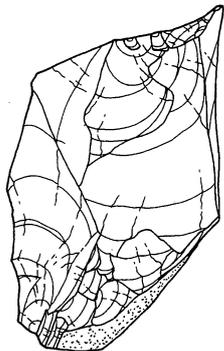
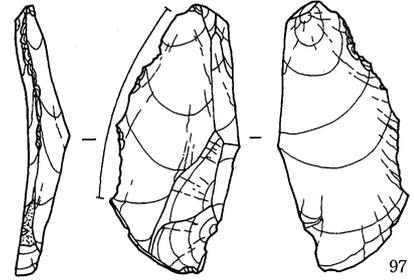
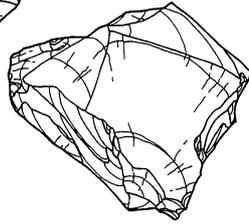
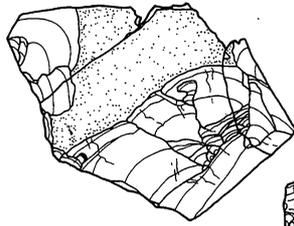


第60図 接合資料 (7)

個体12

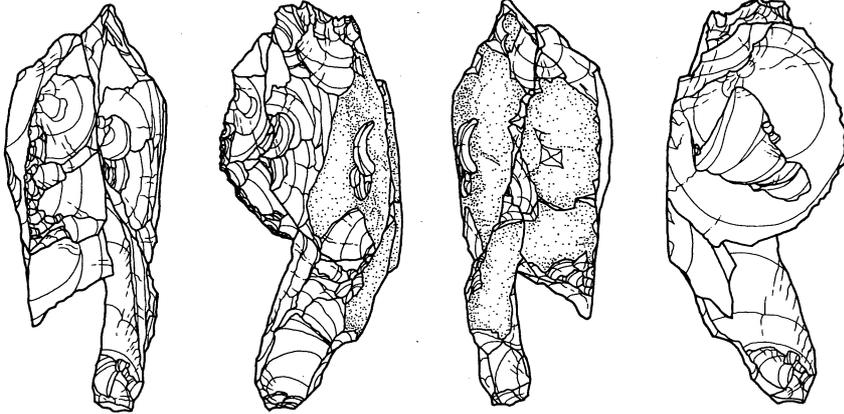
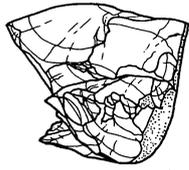


(96+97+98)

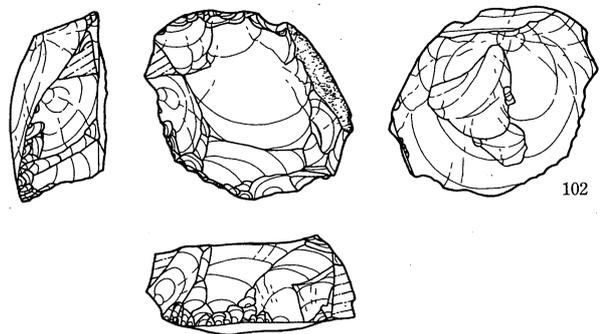
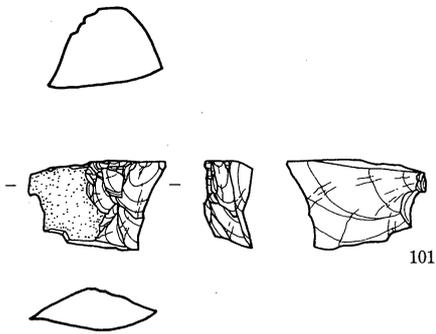
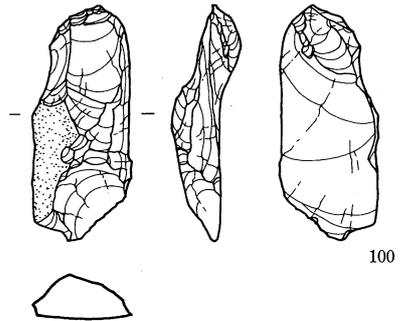
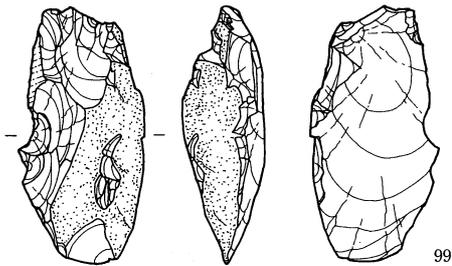


第62図 接合資料 (12)

個体18

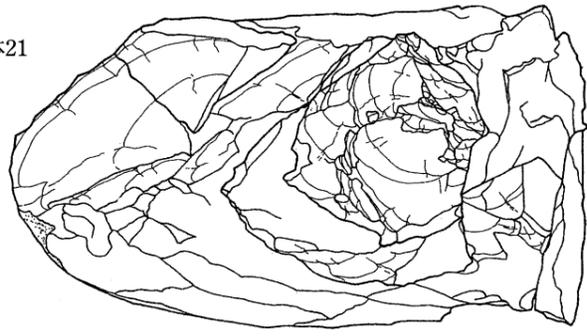


(99+100+101+102)

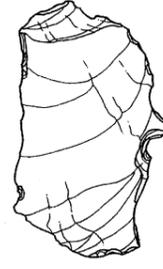
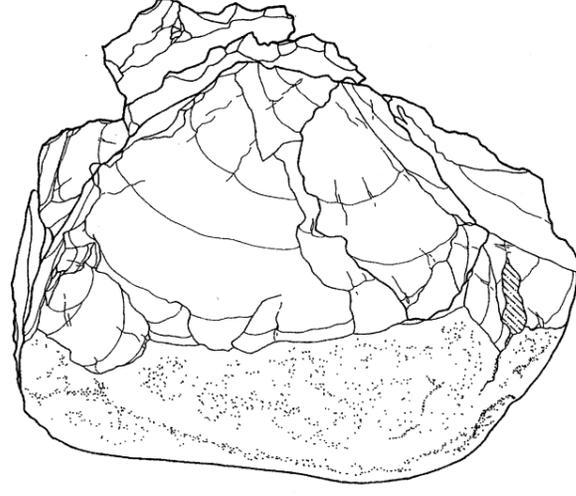
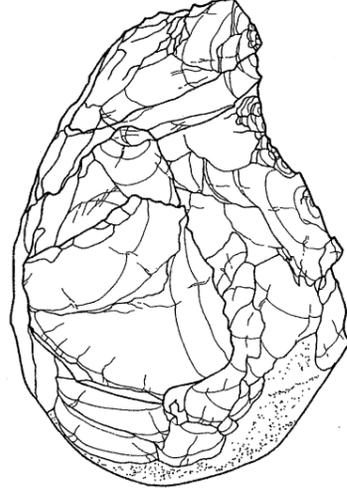
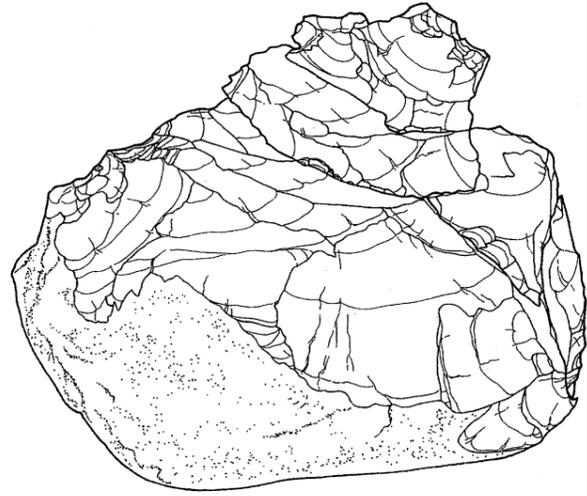
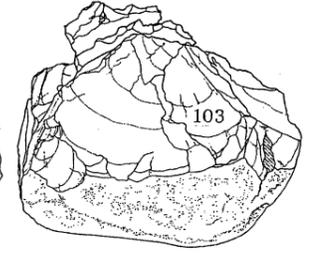
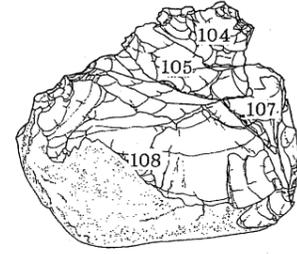
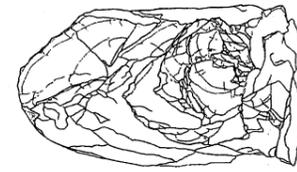


第63図 接合資料 (18)

個体21



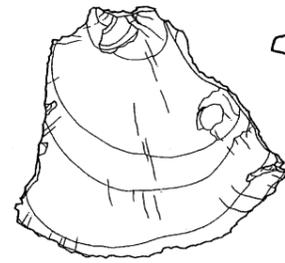
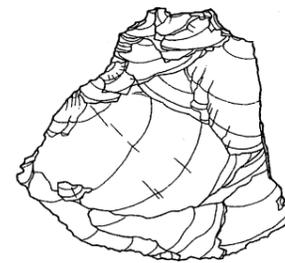
(103+104+105+106+107+108)



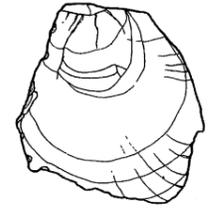
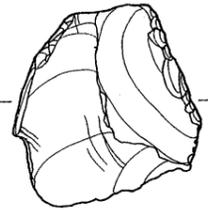
103



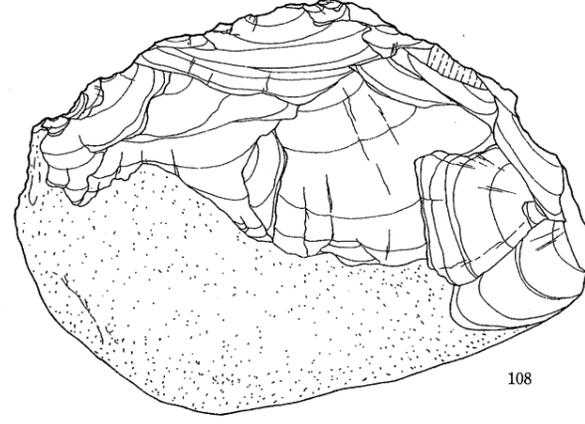
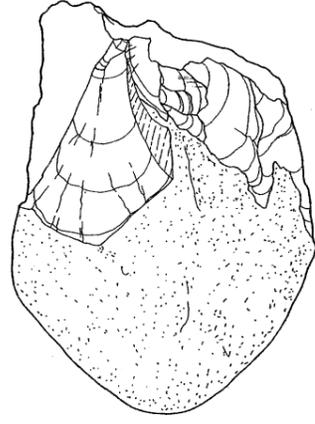
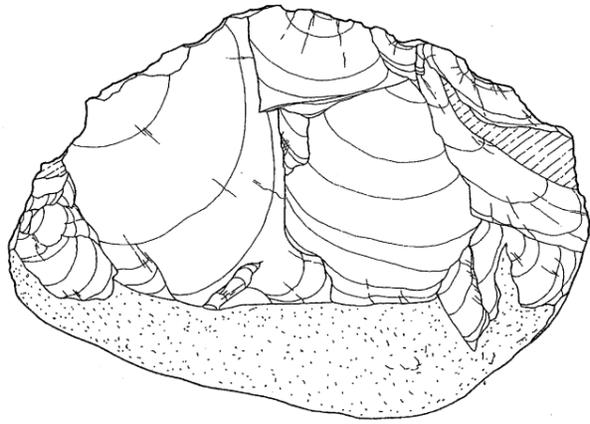
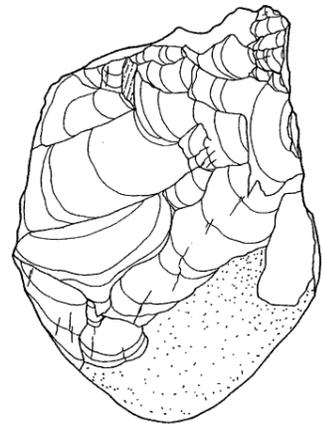
104



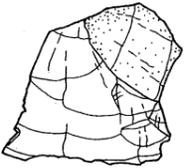
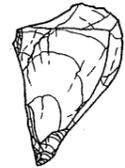
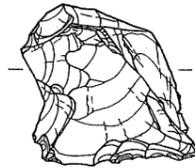
105



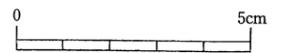
106



108

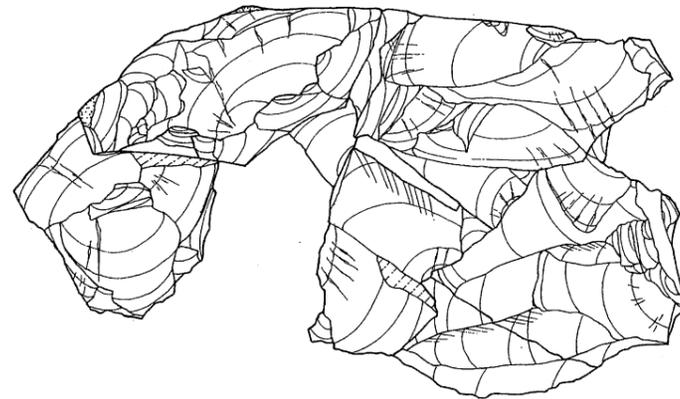
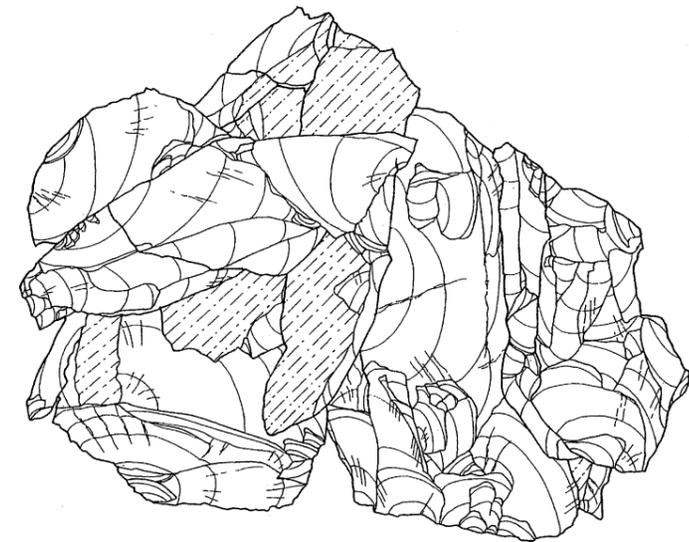
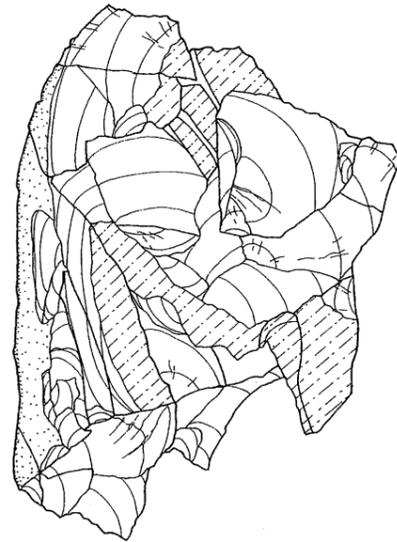
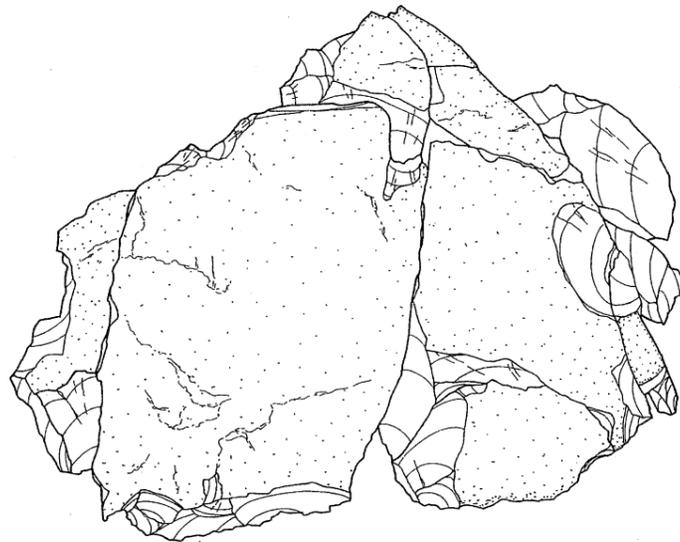
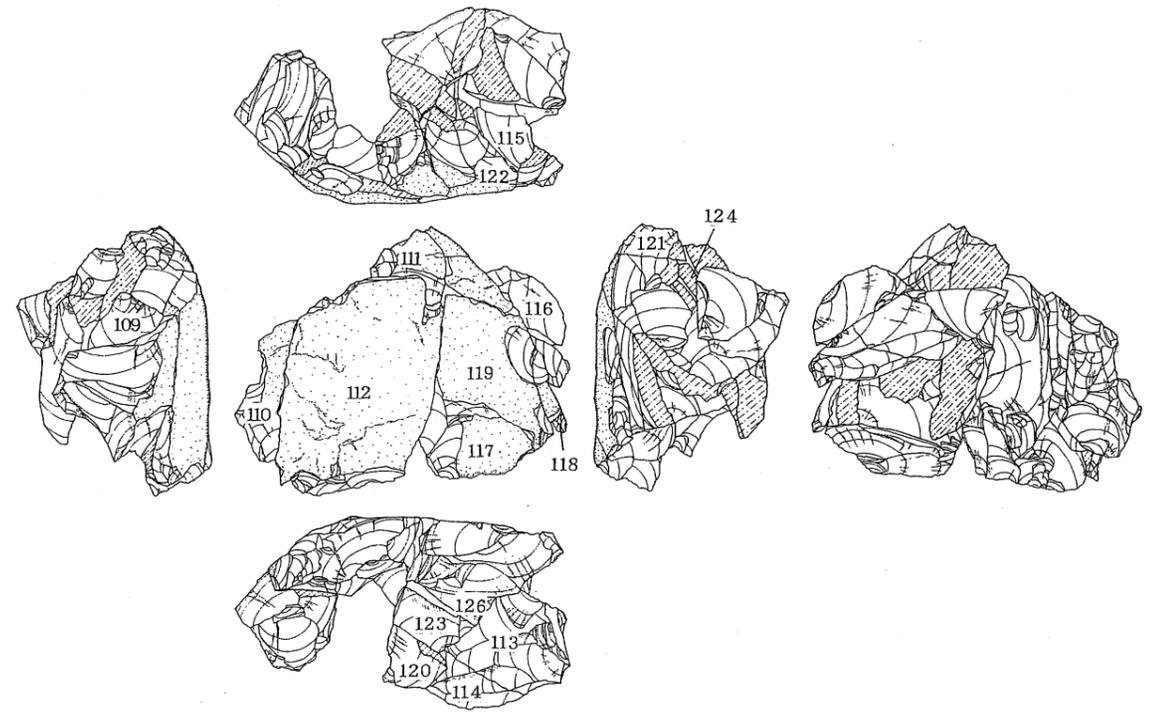
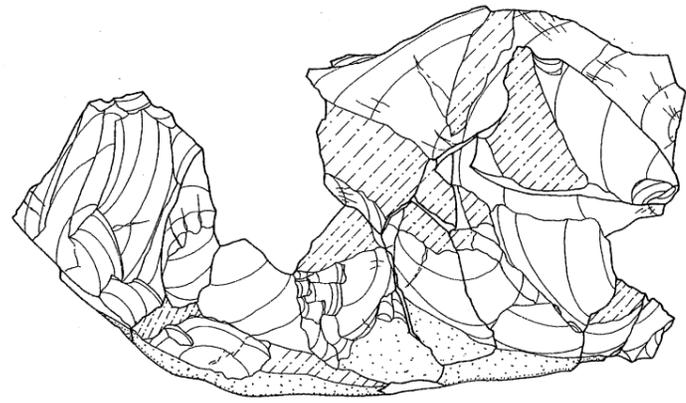


107

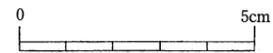


第64図 接合資料 (21)

個体28

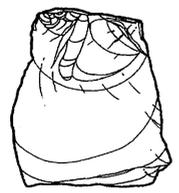
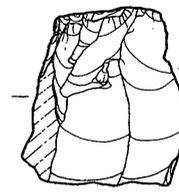
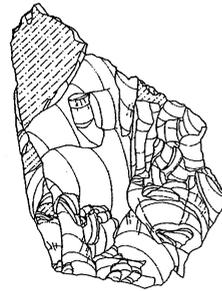
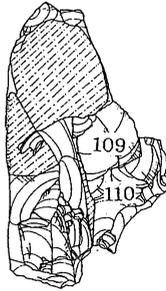
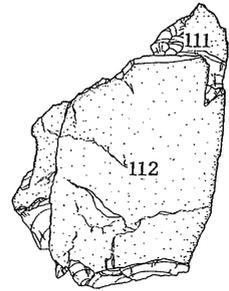
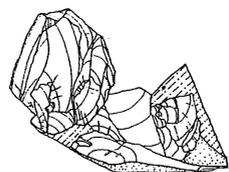
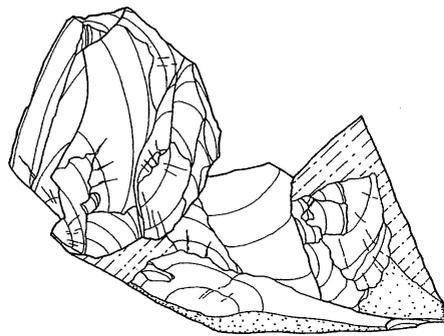


(109+110+111+112+ (113+114) +115+116+117+118+119+120+121+122+123+124+125+126)

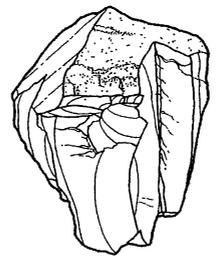
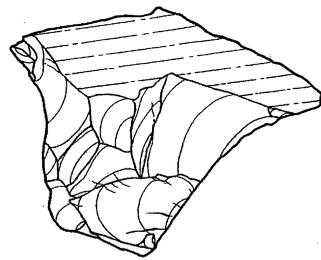
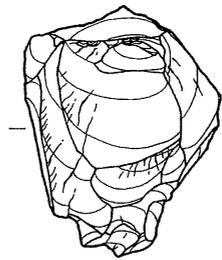
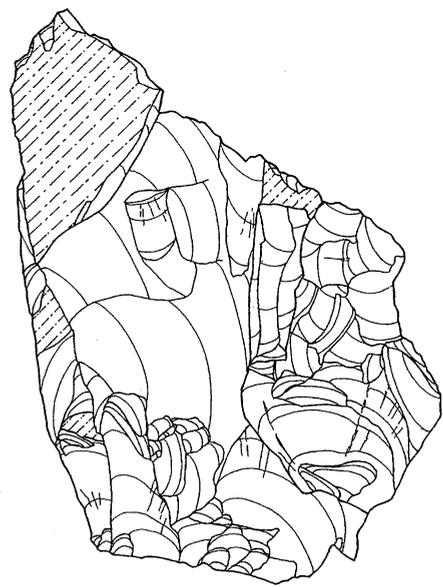
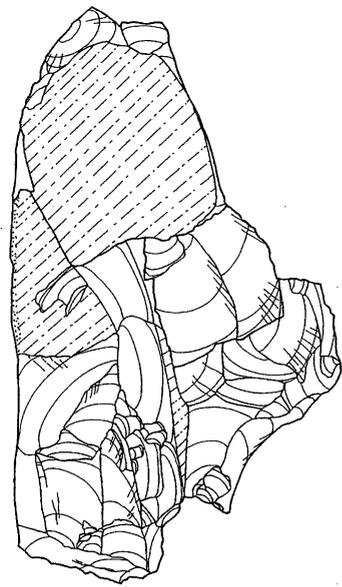
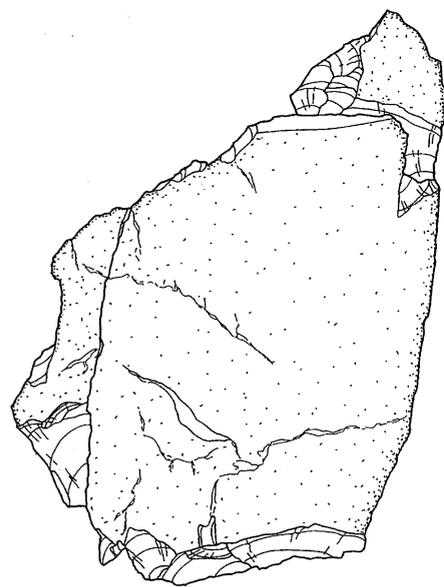


第65図 接合資料 (28)

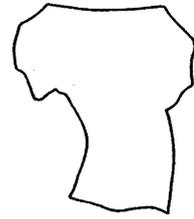
個体28a



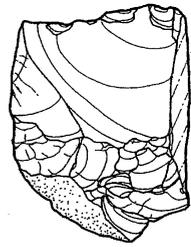
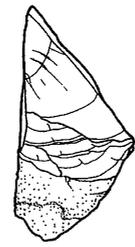
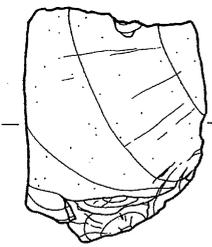
109



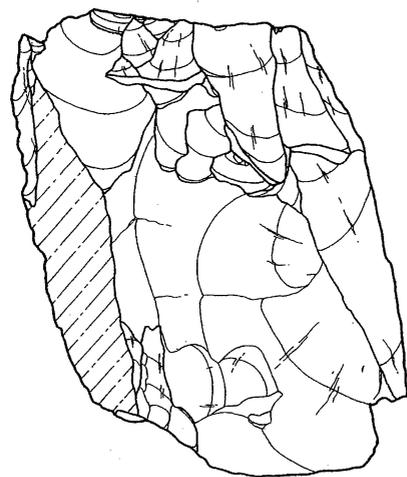
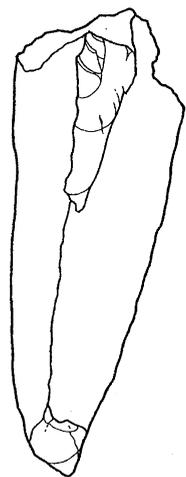
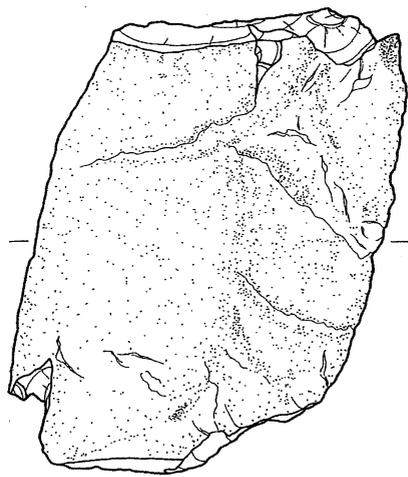
110



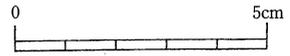
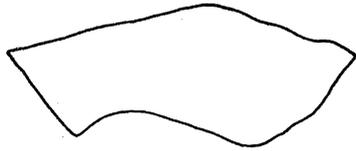
(109+110+111+112)



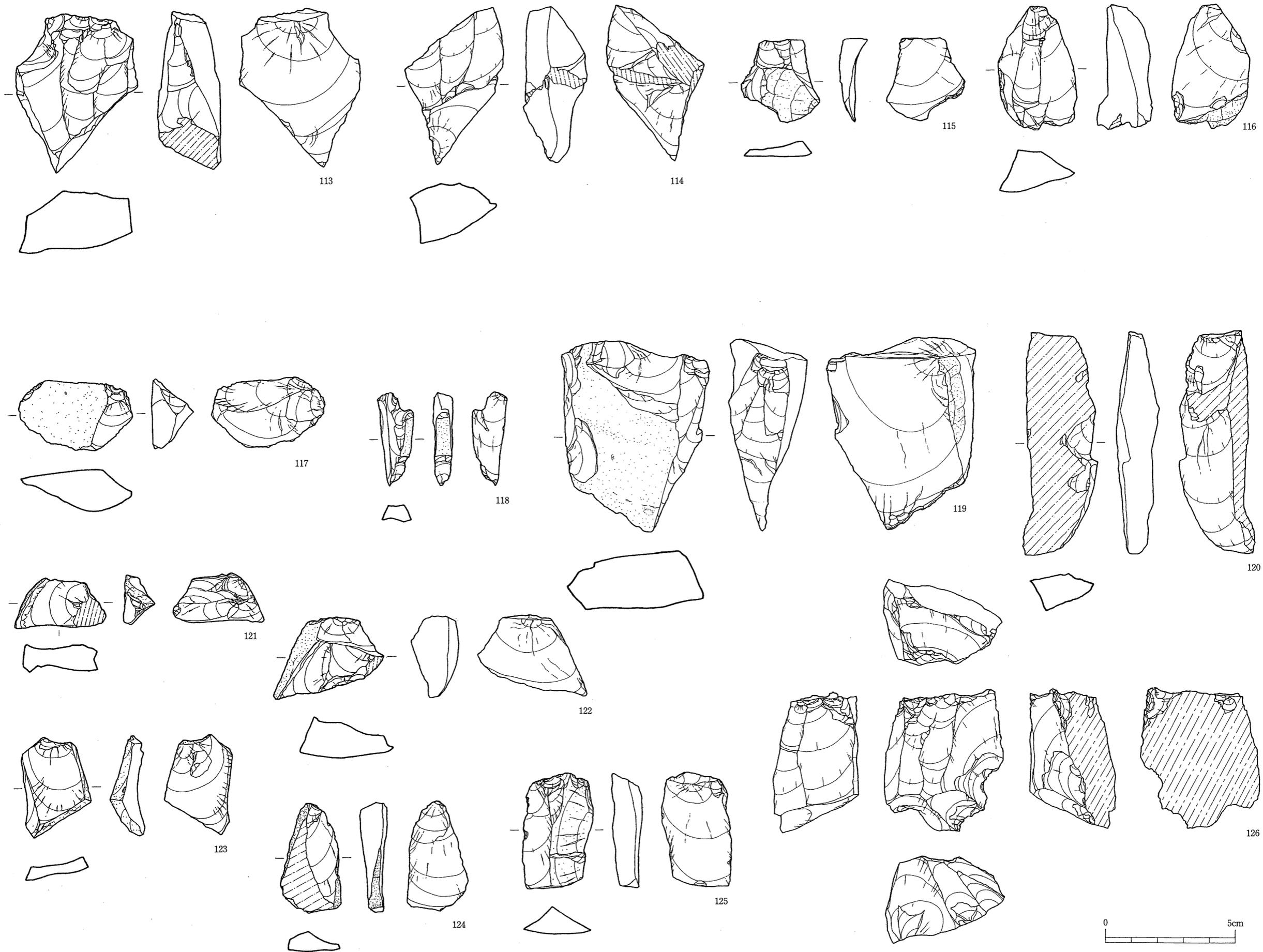
111



112

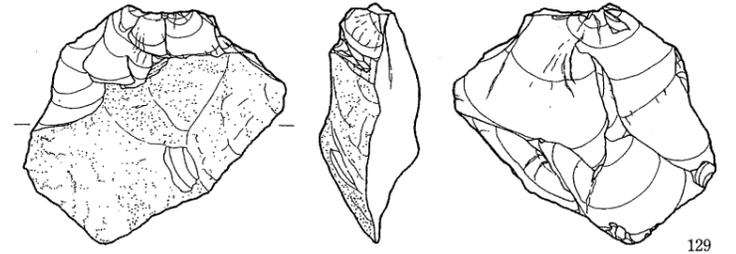
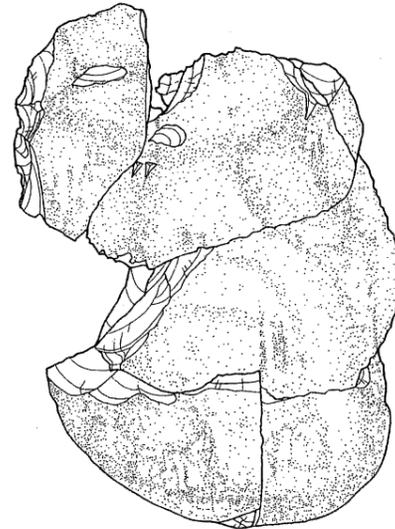
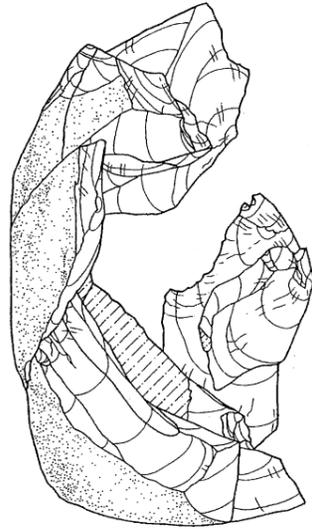
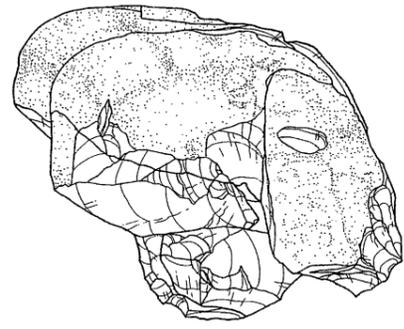


第66図 接合資料 (28) 分割28a、b

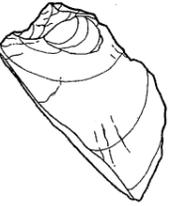
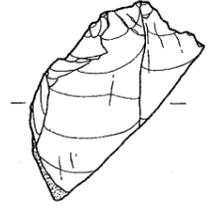


第67図 接合資料 (28) 分割28◎、◎

個体29



129



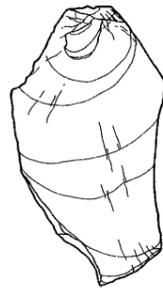
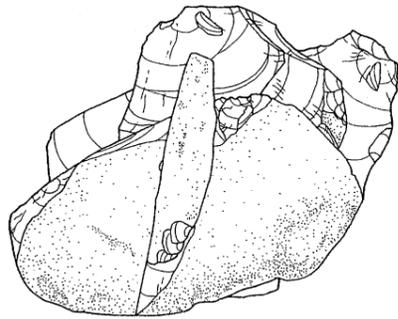
130



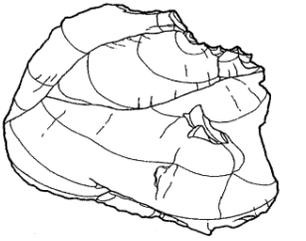
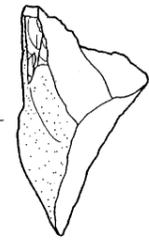
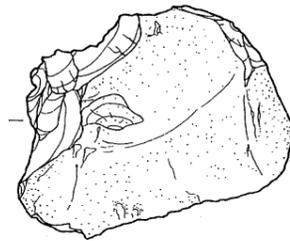
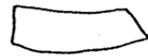
131



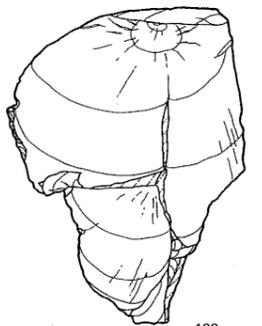
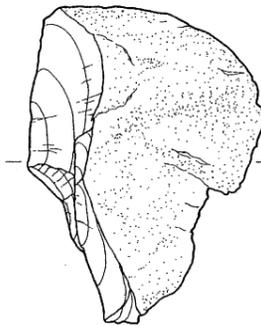
(127+128+129+130+131+132+133+134+135+136+137)



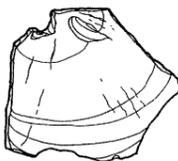
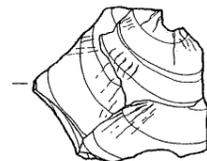
127



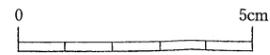
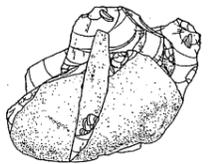
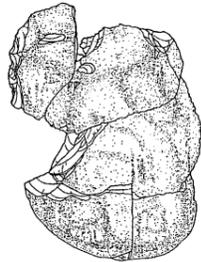
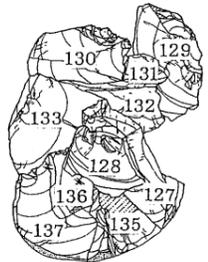
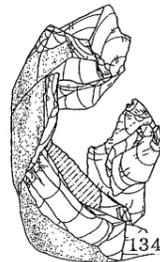
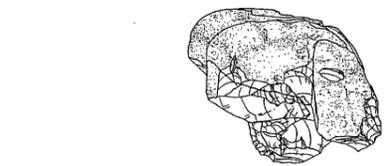
132



133

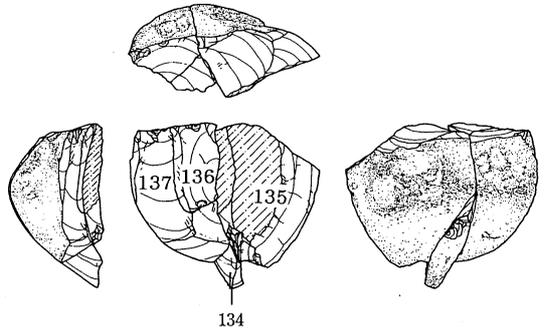
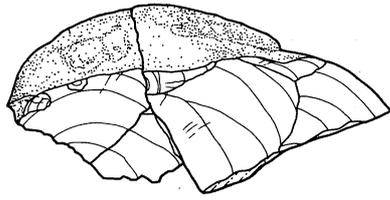


128

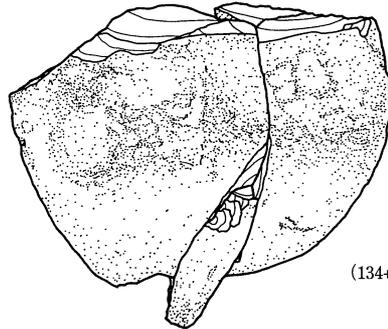
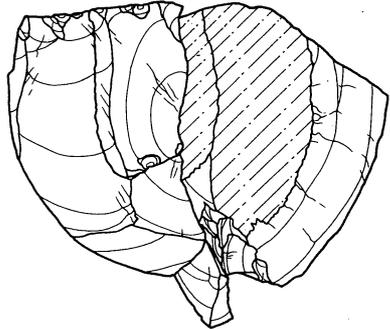
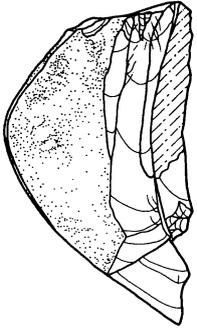


第68図 接合資料(29)分割8

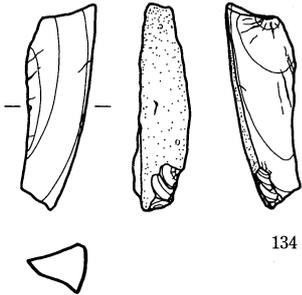
個体29a



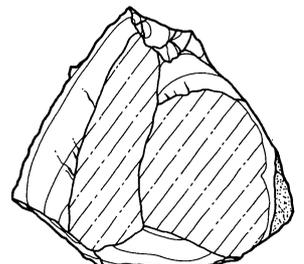
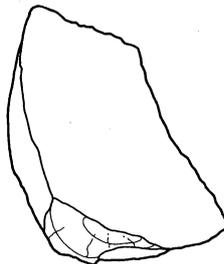
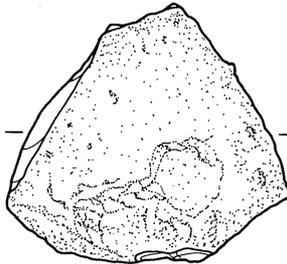
134



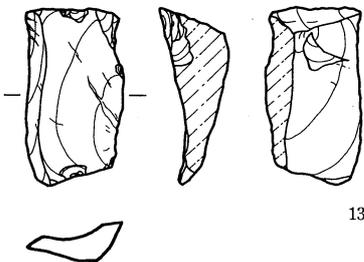
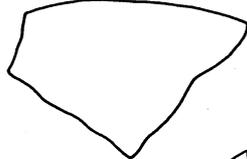
(134+135+136+137)



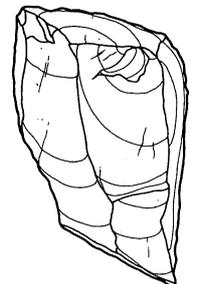
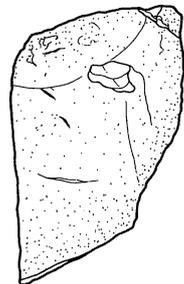
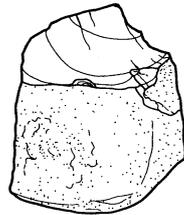
134



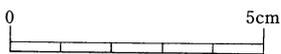
135



136

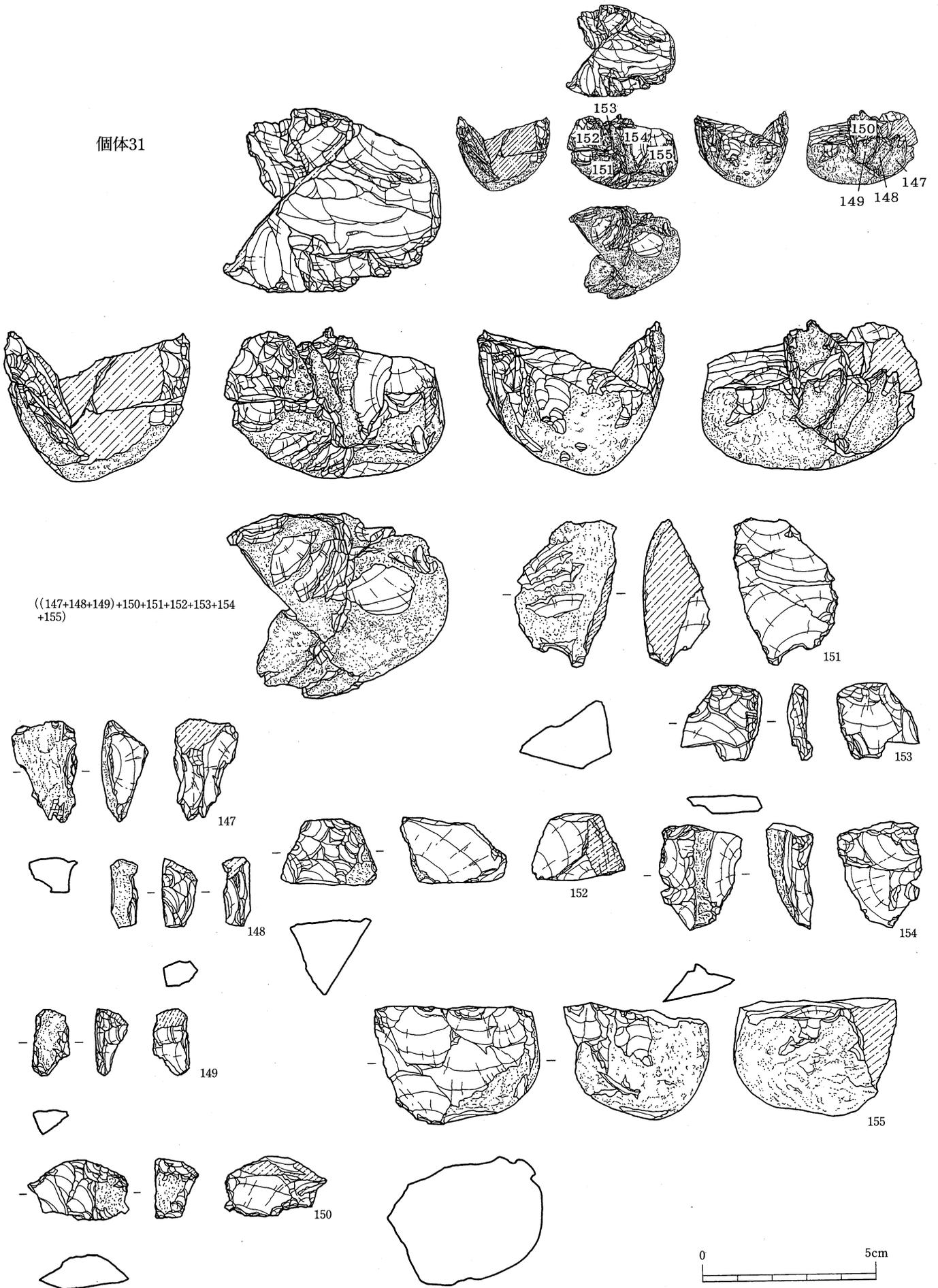


137



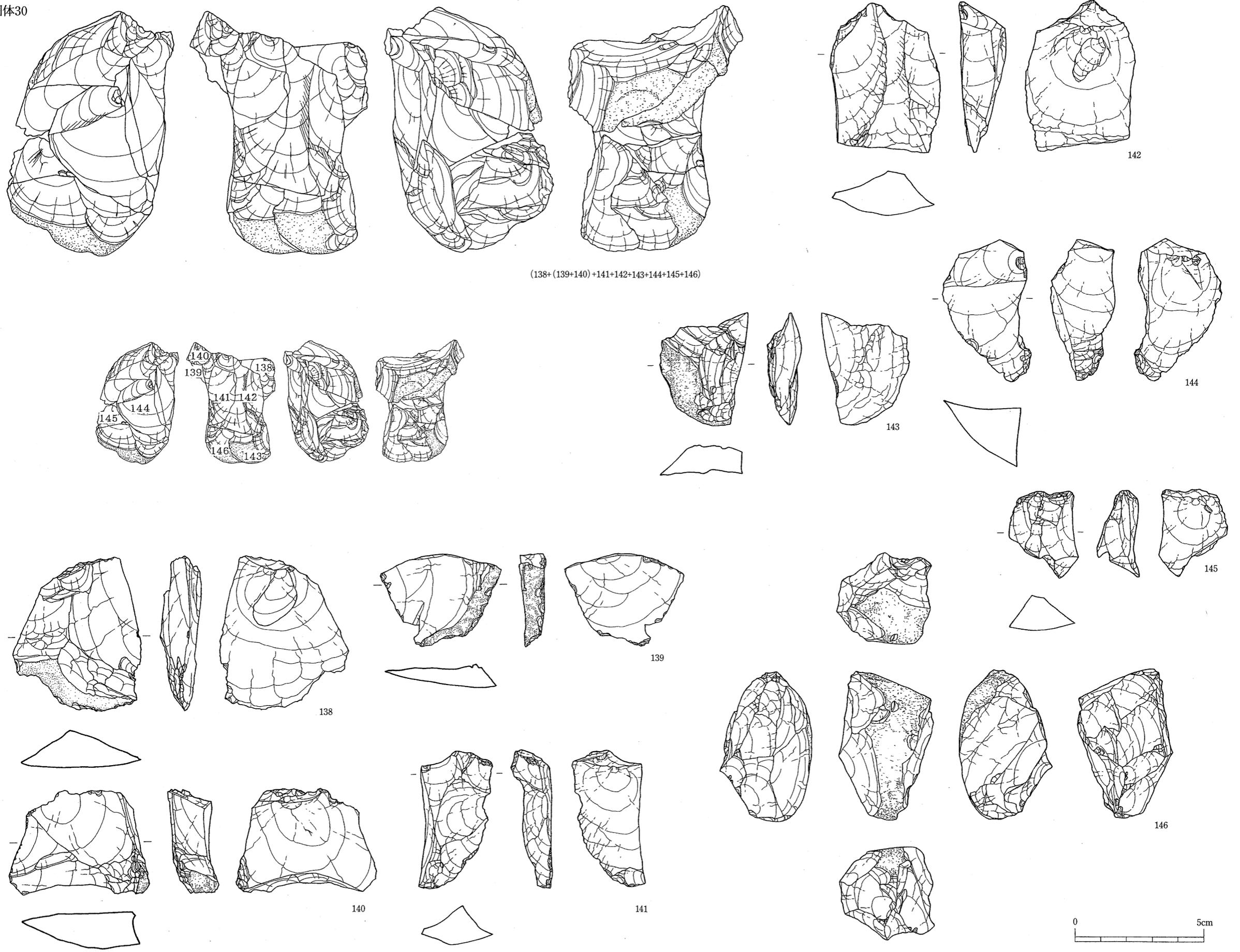
第69図 接合資料 (29) 分割6,7

個体31



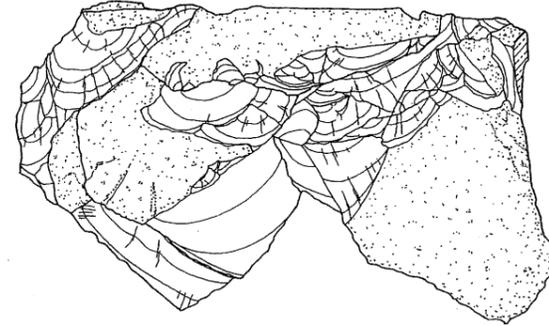
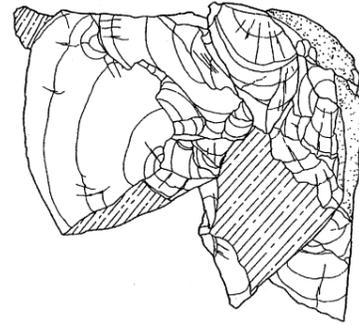
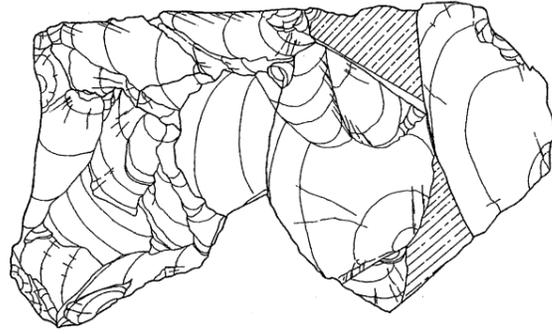
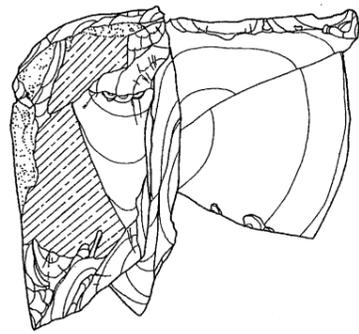
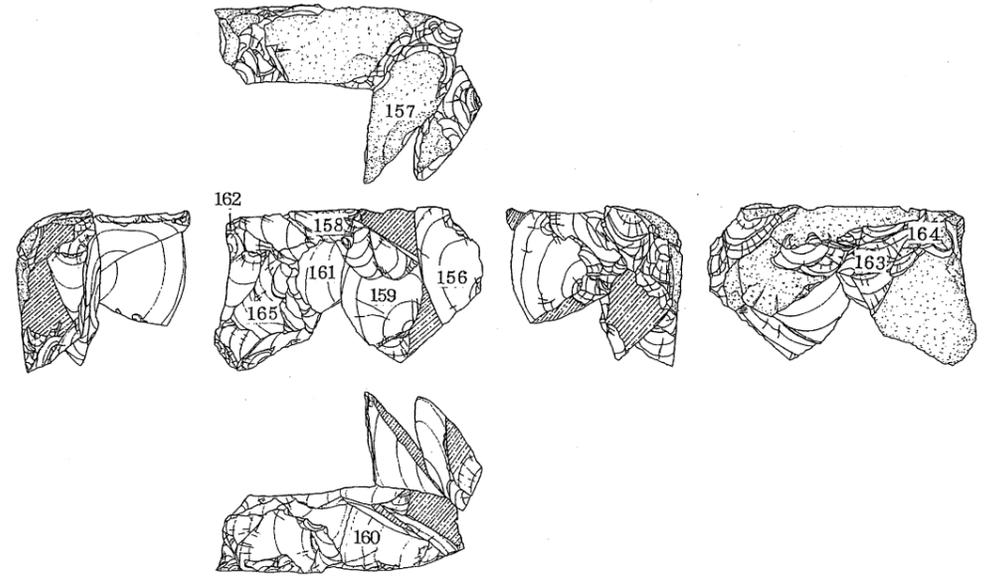
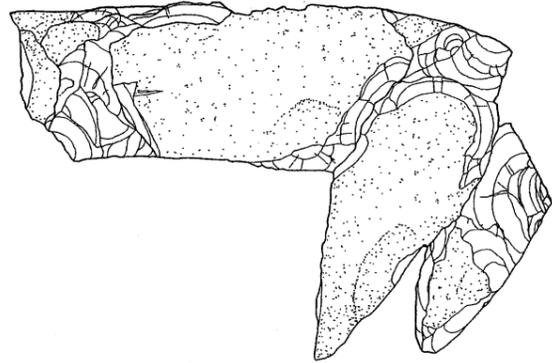
((147+148+149)+150+151+152+153+154+155)

第71図 接合資料 (31) 分割31㉔、㉕

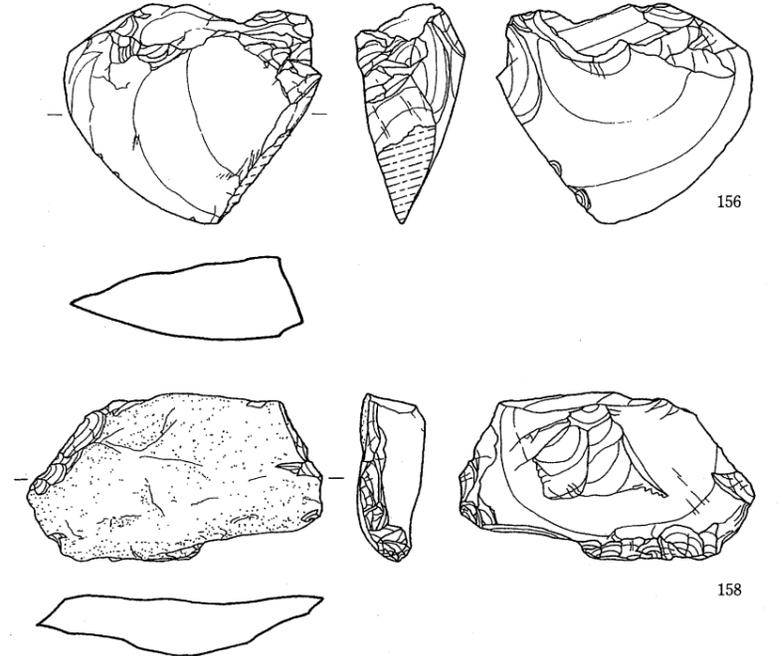
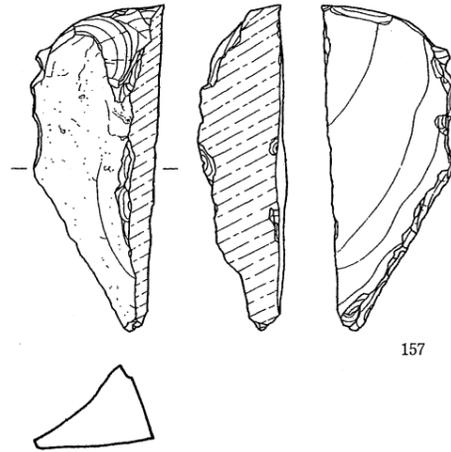
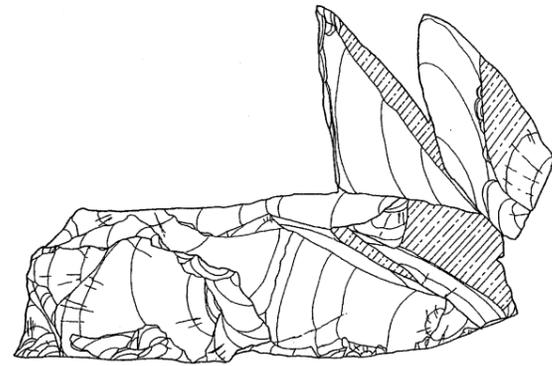


第70図 接合資料 (30)

個体33

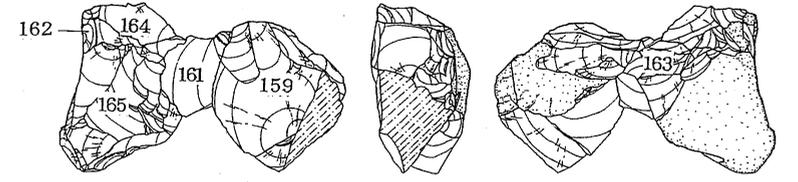
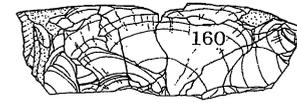
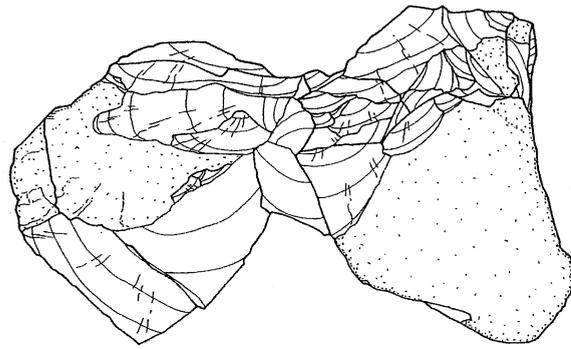
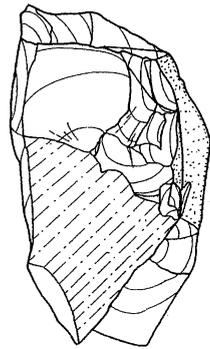
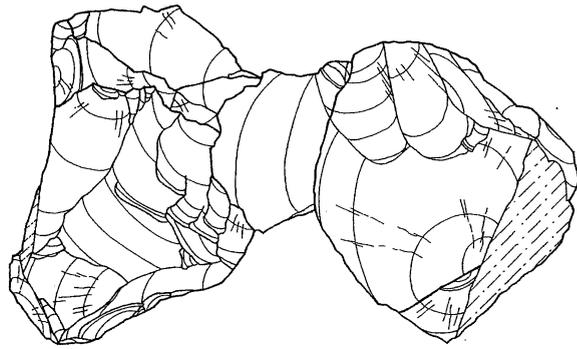
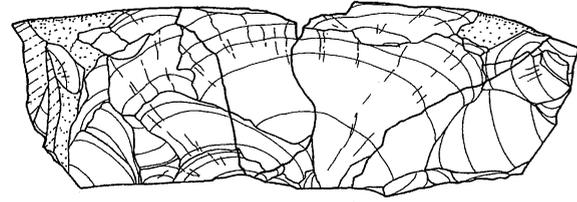


(156+157+158+159+160+161+162+163+164+165)

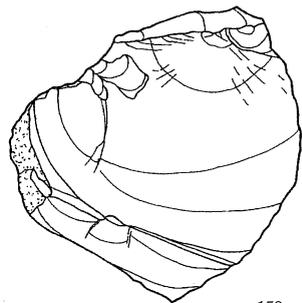
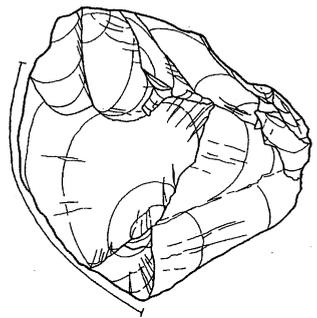
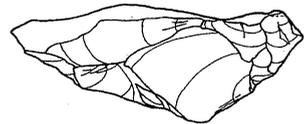


第72図 接合資料 (33) 分割33㉔、㉕

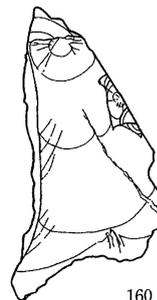
個体33a



(159+160+161+162+163+164+165)



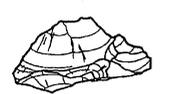
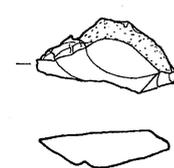
159



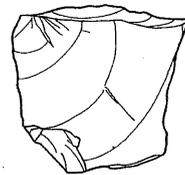
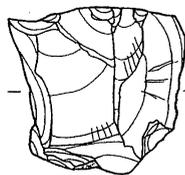
160



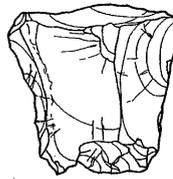
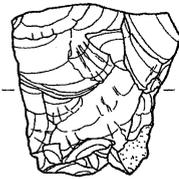
161



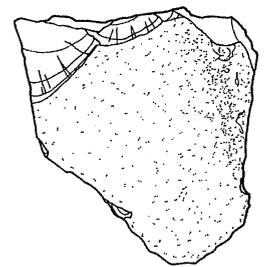
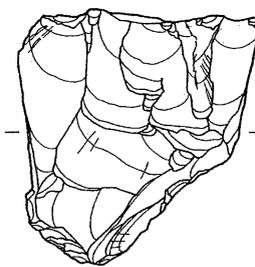
162



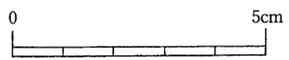
163



164

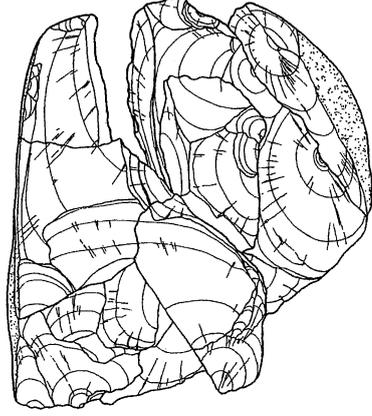
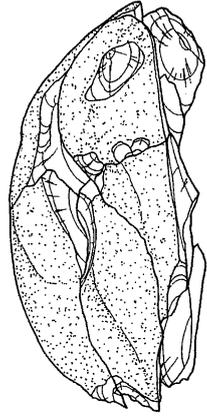
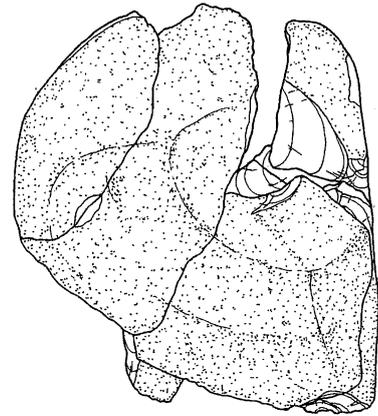
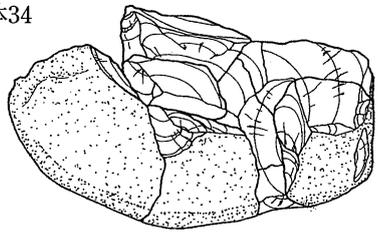


165

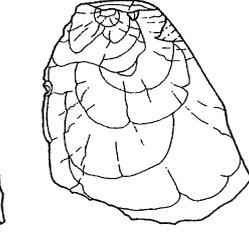
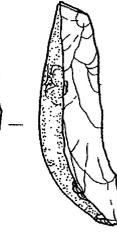
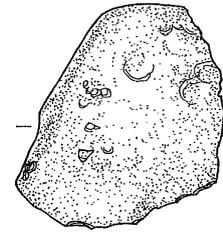
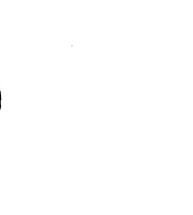
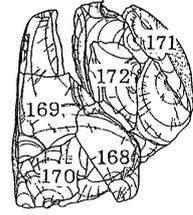
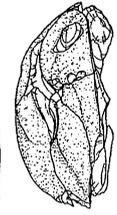
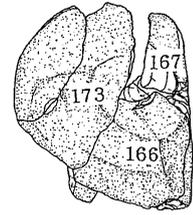
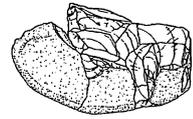


第73図 接合資料 (33) 分割33㊦

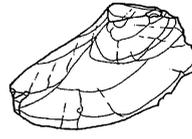
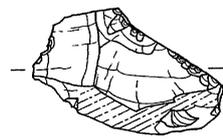
个体34



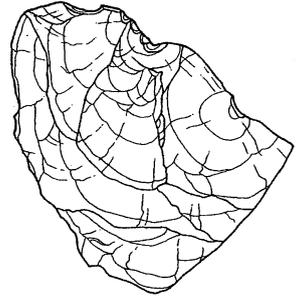
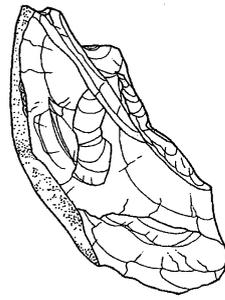
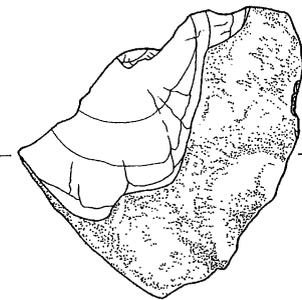
(166+167+168+169+170+171+172+173)



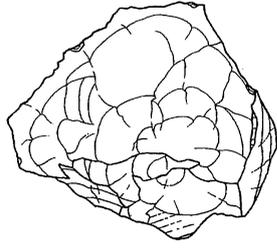
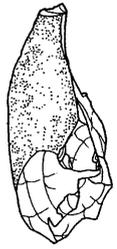
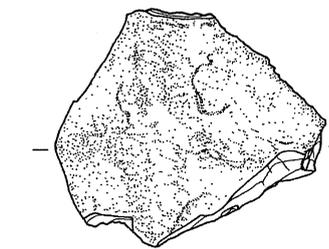
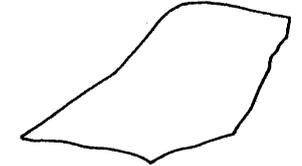
171



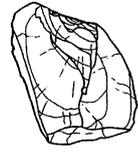
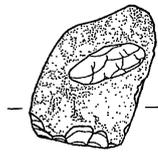
172



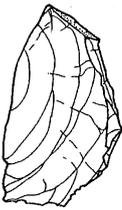
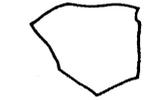
173



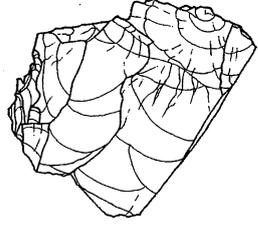
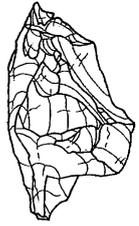
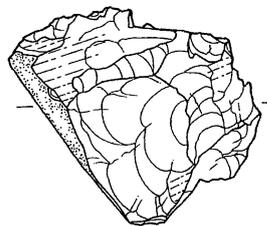
166



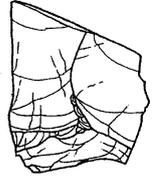
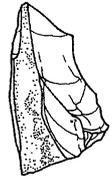
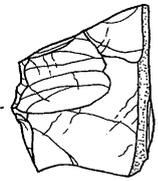
167



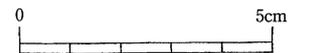
168



170

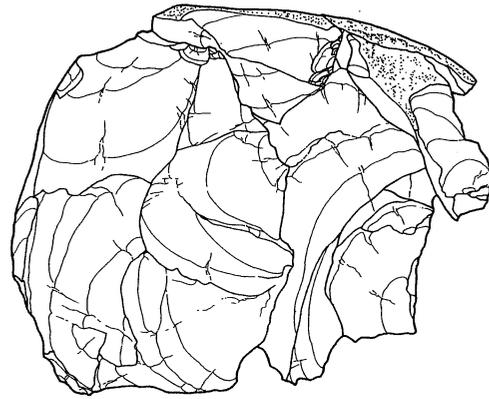
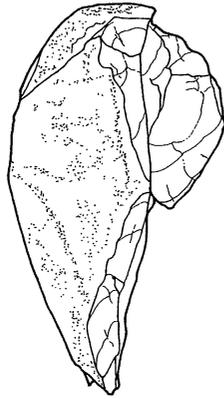
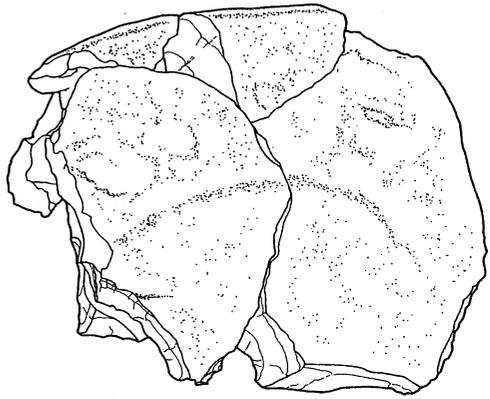
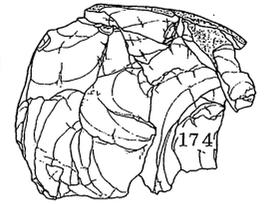
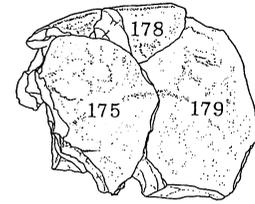
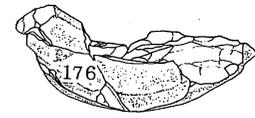
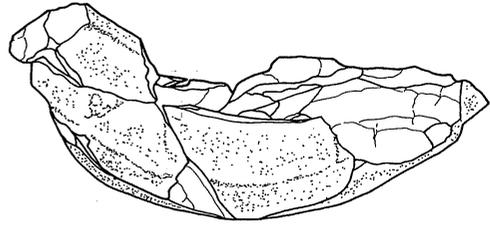


169

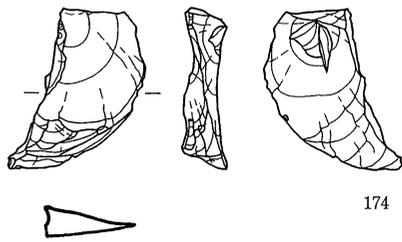


第74图 接合資料 (34) 分割34㉔、㉕

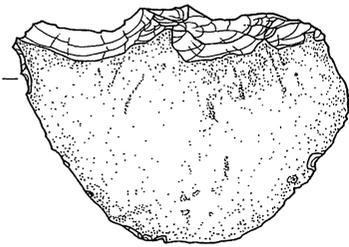
個体35



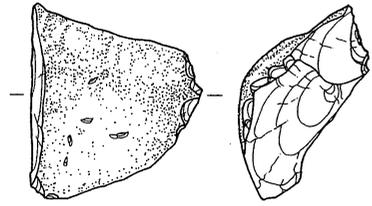
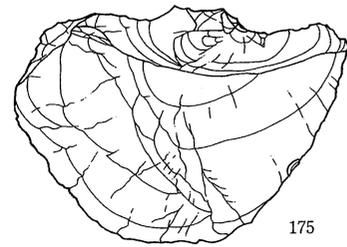
(174+175+176+177+178+179)



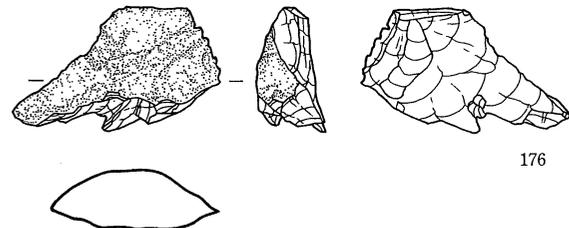
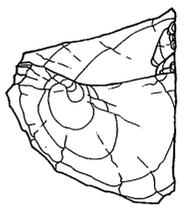
174



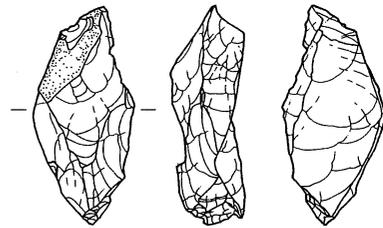
175



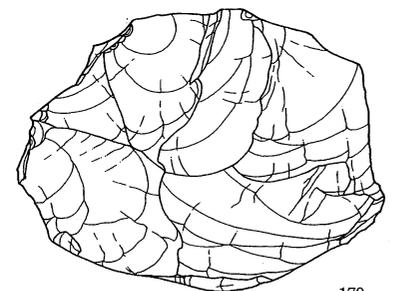
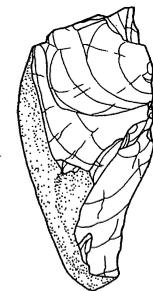
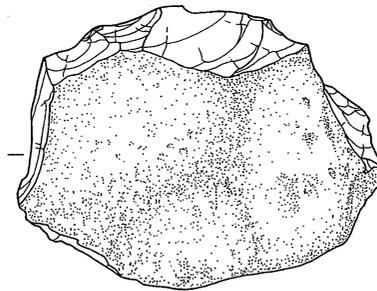
177



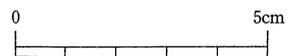
176



177

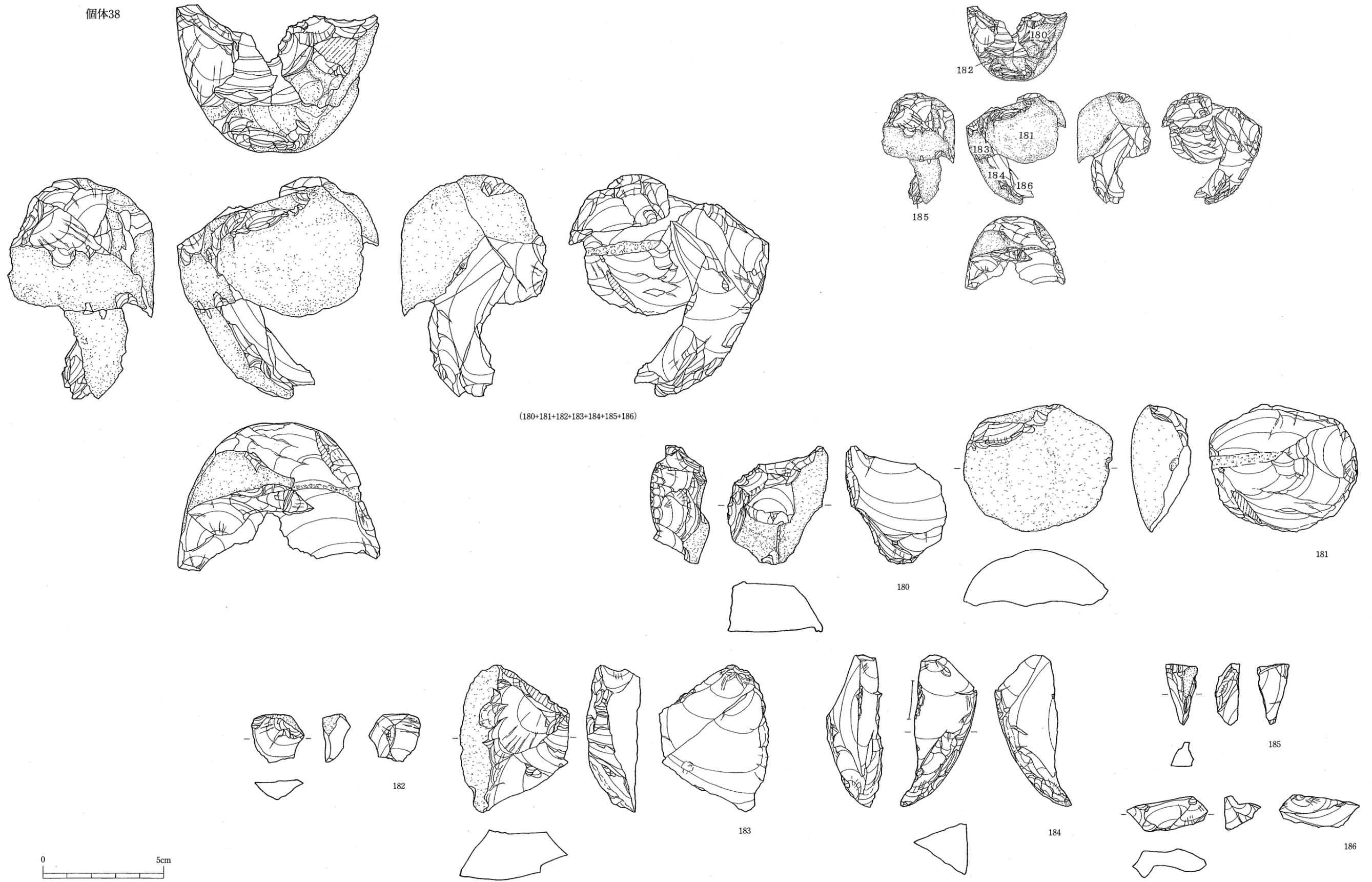


179



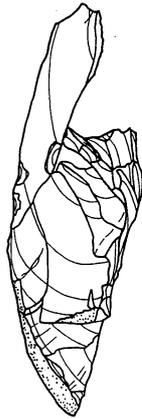
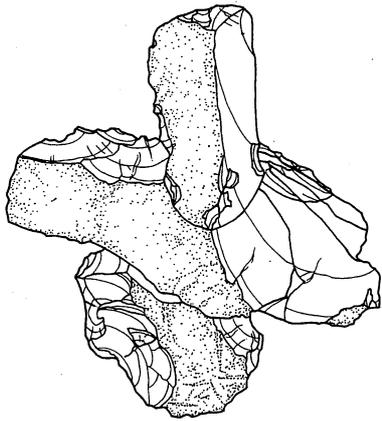
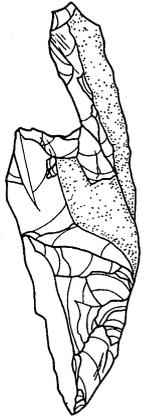
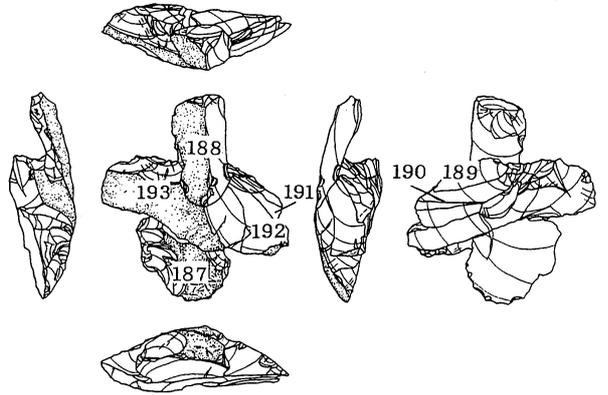
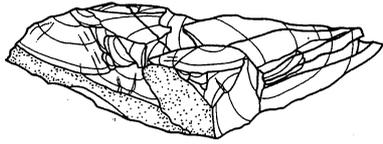
第75図 接合資料 (35)

個体38

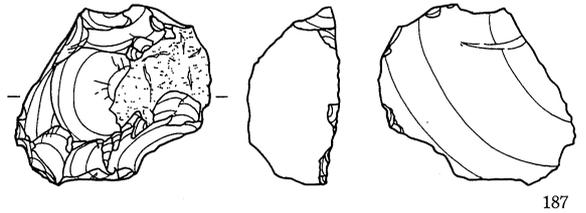
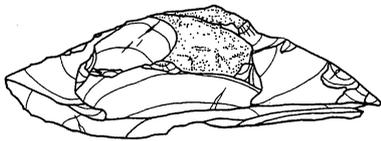


第76図 接合資料 (38)

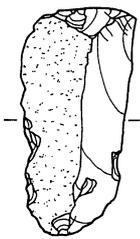
個体39



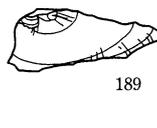
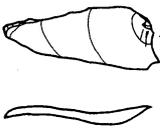
(187+188+189+190+191+192+193)



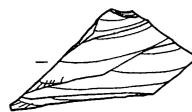
187



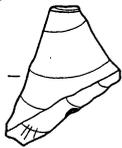
188



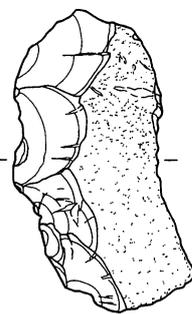
189



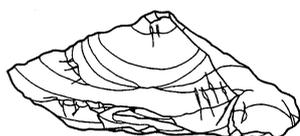
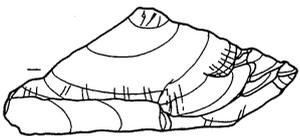
190



191



193

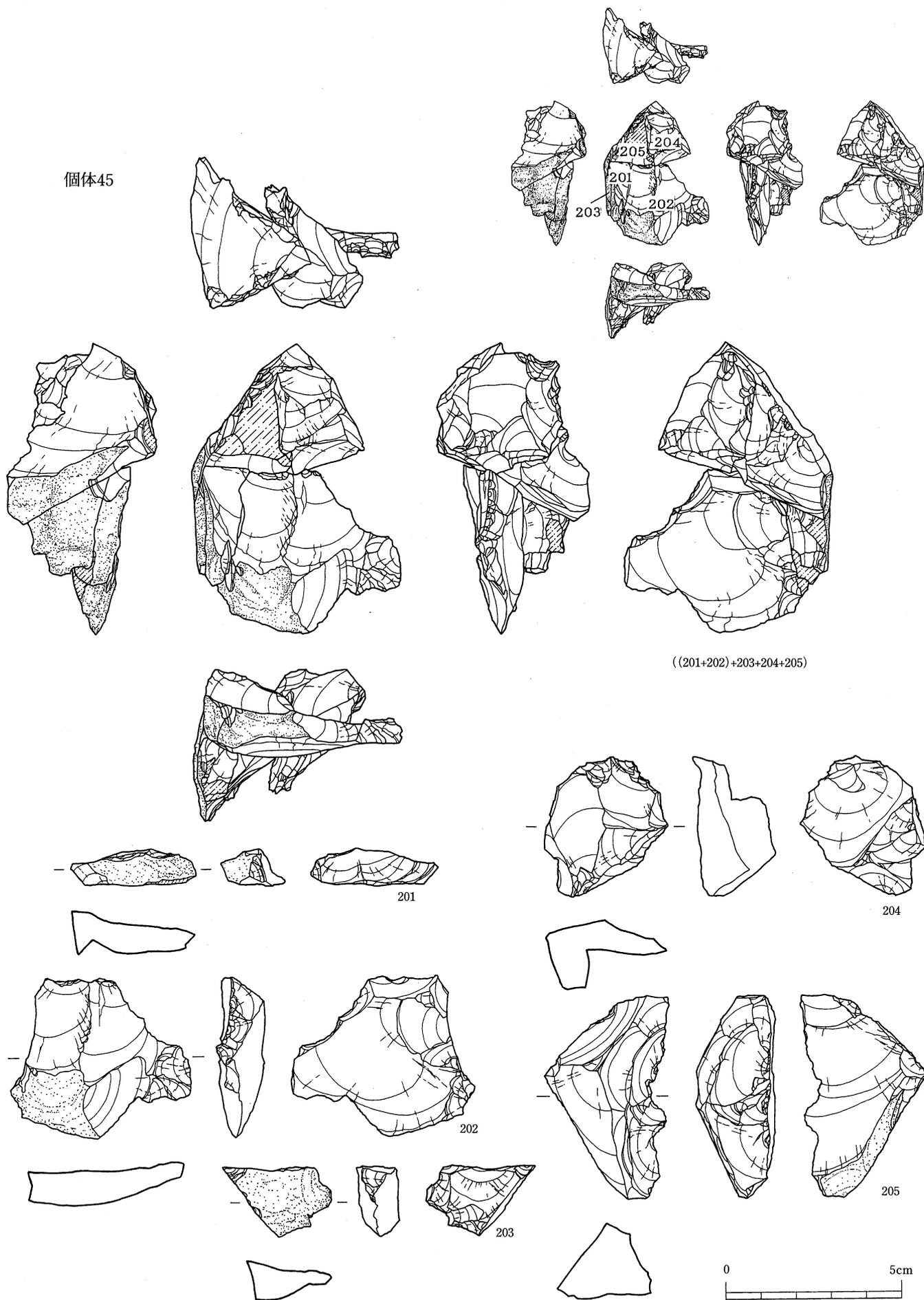


192



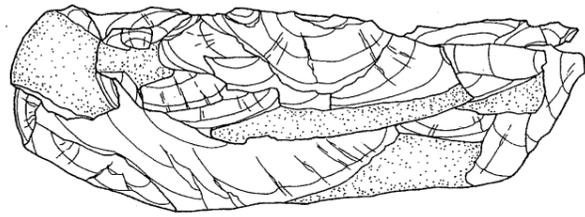
第77図 接合資料 (39)

個体45

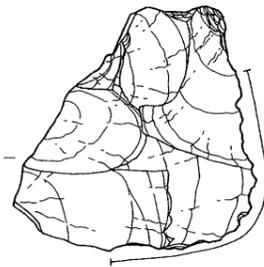
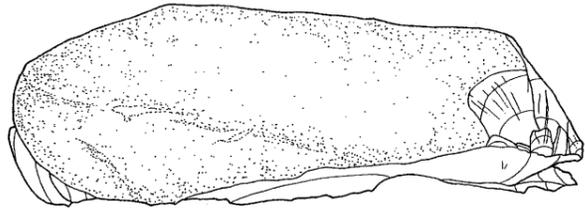
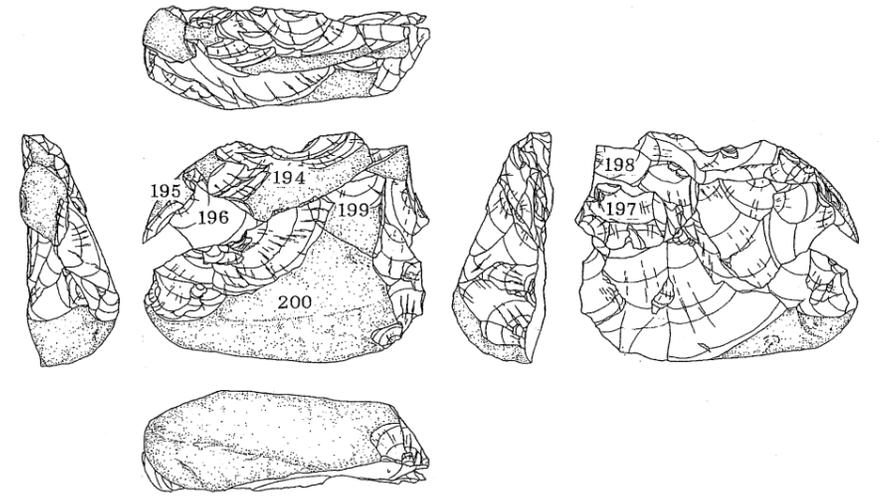
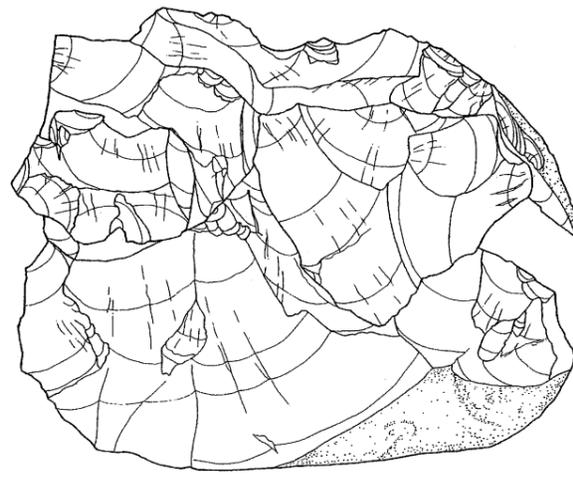
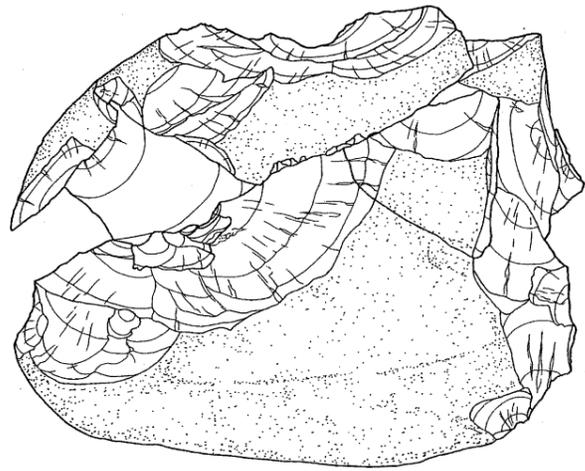


第79図 接合資料 (45) 分割45a、b

個体43



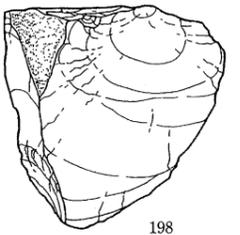
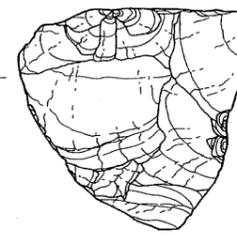
(194+195+196+197+198+199+200)



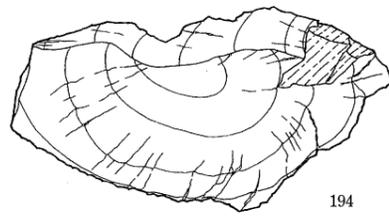
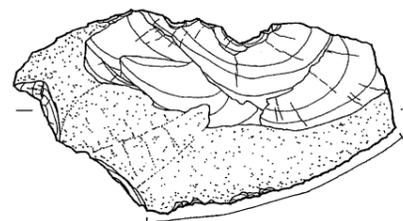
196



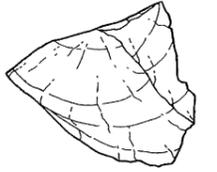
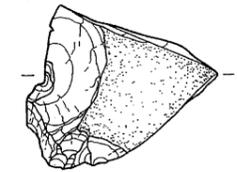
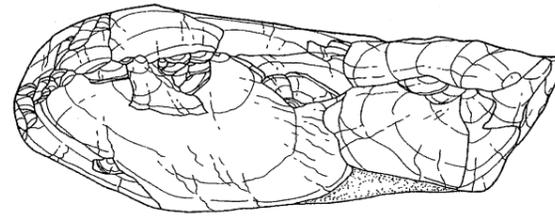
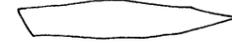
197



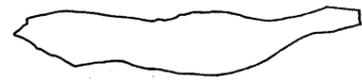
198



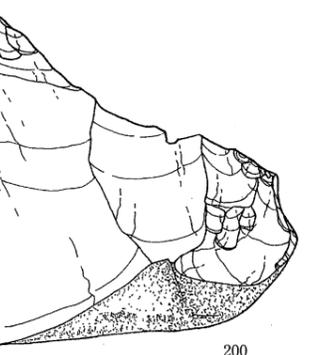
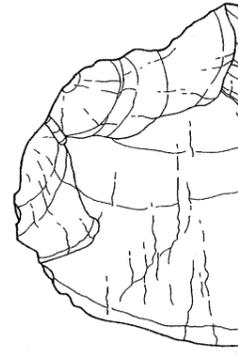
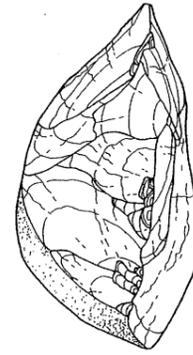
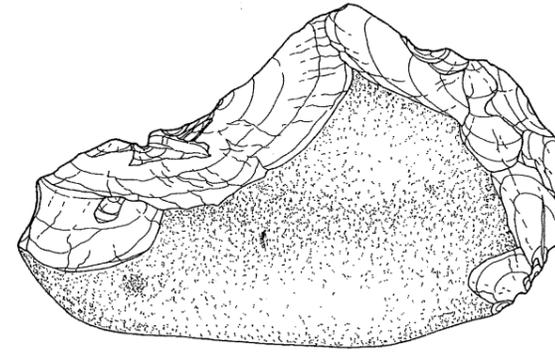
194



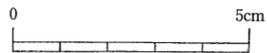
199



195

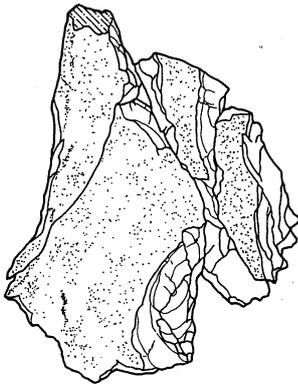
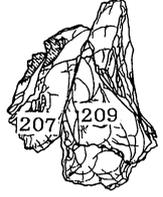
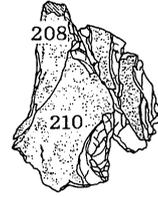
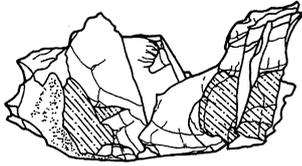


200

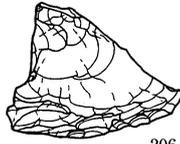
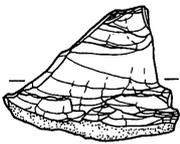


第78図 接合資料 (43)

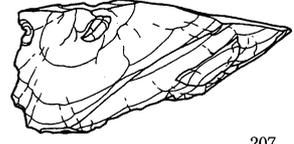
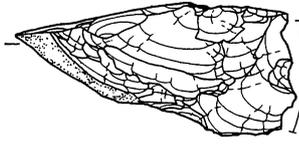
個体48



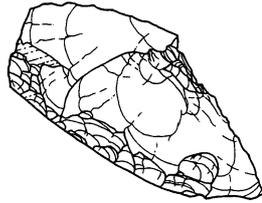
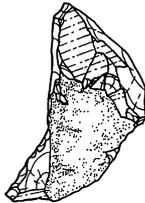
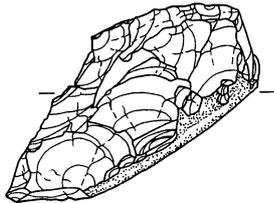
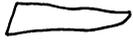
(206+207+208+209+210)



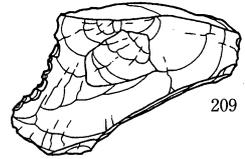
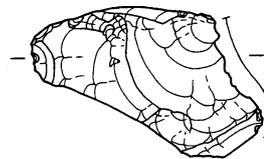
206



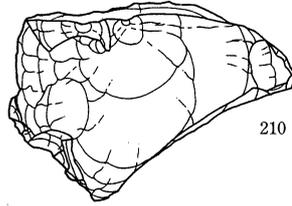
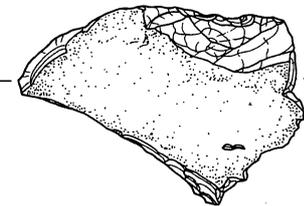
207



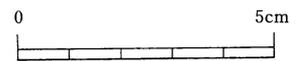
208



209

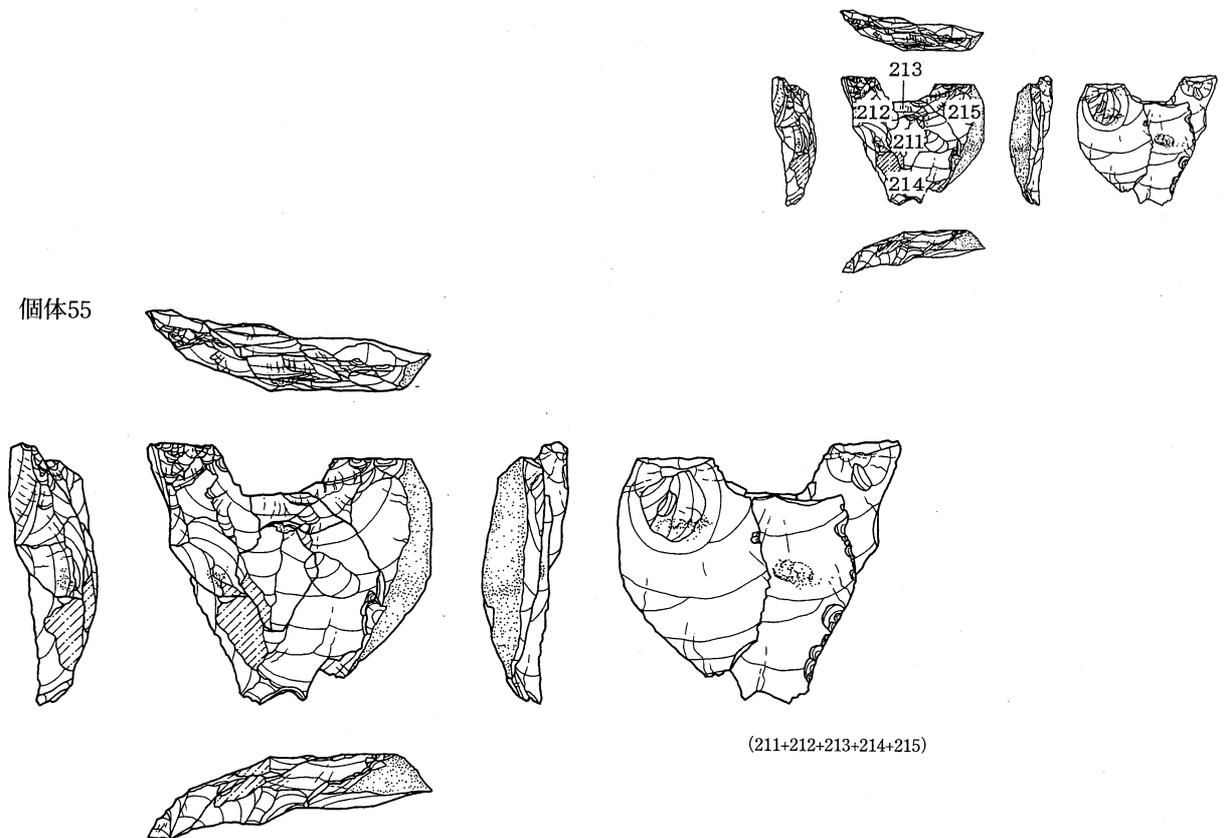


210

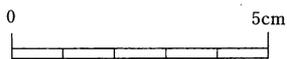
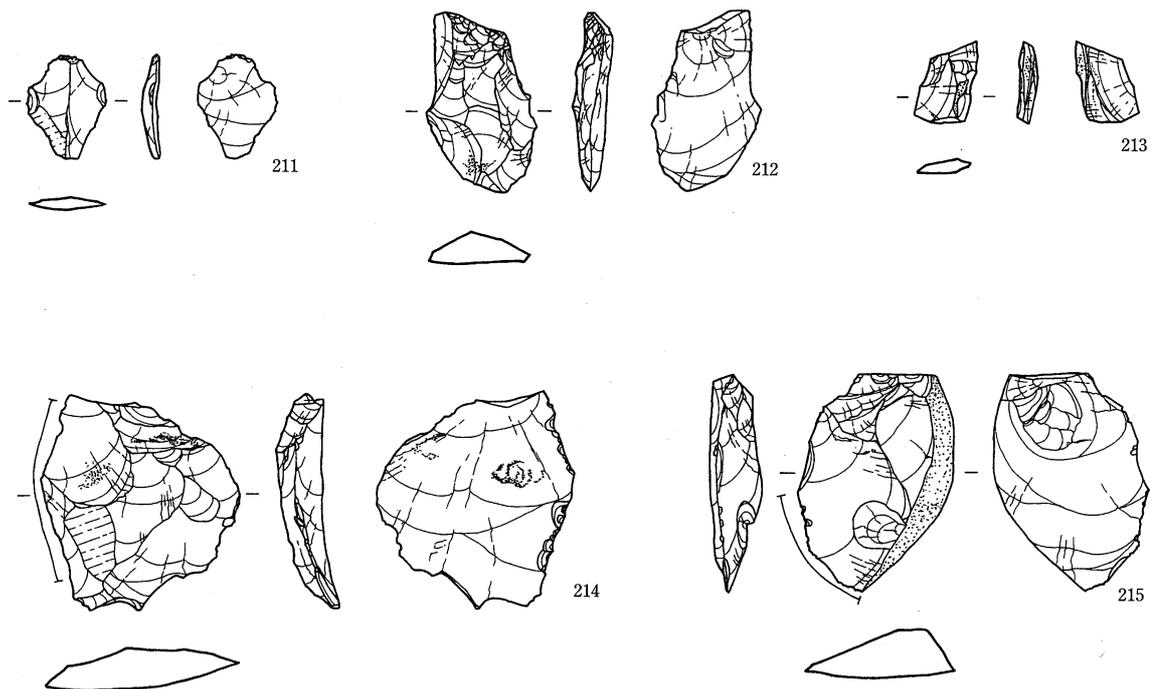


第80図 接合資料 (48)

個体55



(211+212+213+214+215)



第81図 接合資料 (55)

## ナイフ形石器（第82図、第92図216～第97図274、第12表、第13表）

ナイフ形石器は、108点出土した。石材は、流紋岩 f 44点、流紋岩 b 28点、流紋岩 a 11点、流紋岩 c 9点、流紋岩 g 8点、チャート 3点、ホルンフェルス 2点、黒曜石 2点、流紋岩 e 1点である。そのうちの59点を図示してある。それらは、I～IV類に分類され、それぞれが細分される。接合した4点は、接合資料の個体（5）に2点、個体（7）に2点で、図示してある。

石器の分布は、主に遺跡の北部と南西端に広がる（第82図）。

### I類（216～251）

I類は、石器の二側縁に刃潰し加工が施されたものである。この類に属するものは、40点出土し、そのうちの36点を図示してある。

#### I類A

I類Aは、石器の二側縁に刃潰し加工を施して、刃部を斜めに作り出しており、切出形ナイフ形石器とされるものである。

##### I類A①

216～218は、石器の刃部側の基部に、抉入状の刃潰し加工が施されており、狸谷型とされるものである。

##### I類A②

219～221は、A①以外の切出形ナイフ形石器である。

#### I類B

##### I類B①

222～234は、石器に厚みがあり、その二側縁に鋸歯状の刃潰し加工が施されており、基部が尖り気味のものである。

##### I類B②

235～250は、石器に比較的厚みがなく、その二側縁に刃潰し加工が施されており、基部が丸みを帯びるものである。

##### I類B③

251は、石器の二側縁に刃潰し加工が施されており、基部が極端に丸みを帯びるものである。

### II類（252～269）

II類は、石器の一側縁に刃潰し加工が施されたものである。この類に属するものは、51点出土し、そのうちの18点を図示してある。

#### II類A

252～255は、縦長剥片を素材とし、その一側縁に刃潰し加工が施されているものである。

#### II類B

##### II類B①

256～264は、縦長剥片を素材とし、その一側縁に刃潰し加工が施されおり、基部調整がないものである。

##### II類B②

265～267は、縦長剥片を素材とし、その一側縁に刃潰し加工が施されおり、一部に基部調整があるものである。

#### II類C

268、269は、瀬戸内系の横剥ぎ技法の影響のみられる剥片を用い、その背面に底面を残すものである。

#### III類 (270、271)

III類は、石器の一部分に、刃潰し加工が施されたものである。この類に属するものは、6点出土し、そのうちの2点を図示してある。

#### III類A

271は、石器の先端部のみに、刃潰し加工が施されているものである。

#### III類B

270は、石器の基部のみに、刃潰し加工が施されているものである。

#### IV類 (272～274)

IV類は、I～III類に分類されないものである。この類に属するものは、6点出土し、そのうちの3点を図示してある。

#### IV類A

272は、石器の基部の片側に、部分的に刃潰し加工が施されているが、未製品の可能性があるものである。

#### IV類C

273は、欠損したナイフ形石器の先端を、再加工したものである。

#### IV類D

274は、石器の二側縁と下縁の三縁に、刃潰し加工が施されているものである。

#### 台形石器 (第83図、第98図275～第99図302、第14表)

台形石器は、33点出土した。石材は、流紋岩 f 14点、チャート 9点、流紋岩 b 4点、黒曜石 3点、流紋岩 a 1点、流紋岩 c 1点、流紋岩 g 1点である。そのうちの28点を図示してある。それらは、V類に分類され、細分される。遺構内で出土した1点は、第23図9に図示してある。

石器の分布は、北端と南西端の礫群周辺に集中する (第83図)。

#### V類A

275～288は、石器の二側縁に刃潰し加工が施されており、刃部が石器の主軸に対して直行するものである。

#### V類B

289～302は、石器の二側縁に刃潰し加工が施されており、刃部が石器の主軸に対して斜交するものである。295は、石器の裏面に、一側縁から中央にかけて平坦剥離が施されている。

#### 剥片尖頭器 (第84図、第100図303～第106図341、第15表)

剥片尖頭器は、45点出土した。石材は、ホルンフェルス17点、流紋岩 f 8点、流紋岩 a 6点、流紋岩 b 5点、砂岩 4点、流紋岩 c 3点、珪質頁岩 1点、チャート 1点である。そのうちの39点を図

示してある。素材は、縦長剥片が用いられている。それらは、石器に施されている調整加工の部位によって、Ⅳ類A～Cに分類され、さらに細分される。遺構内で出土した2点は、第23図10、11に図示してある。

石器の分布は、主に北端の礫群周辺に集中する（第84図）。

#### Ⅵ類A（303～324、336～341）

Ⅵ類は、石器の基部両側に抉りの調整加工が施されているものである。この類に属するものは、31点出土し、そのうちの28点を図示してある。

##### Ⅴ類A①

Ⅴ類A①は、石器の基部両側に抉りの調整加工が施されているものである。

303～307、340は、石器の表面の基部両側のみに裏面側から抉りの調整加工が施されている。306は、裏面の基部側に平坦剥離が施されている。303、305、306、340は、先端部が欠損している。

##### Ⅴ類A②

Ⅴ類A②は、石器の基部両側に抉りの調整加工とその先端部に調整加工が施されているものである。

313は、石器の表面の基部両側に裏面側から抉りの調整加工が、表面の先端部に表裏両面側から調整加工が施されている。

309～312は、石器の表面の基部両側に裏面側から抉りの調整加工が、表面の先端部に裏面側から調整加工が施されている。310は、先端部が欠損している。

##### Ⅵ類A③

Ⅵ類A③は、石器の基部両側に抉りの調整加工とその一側縁に調整加工が施されているものである。

308、316は、石器の表面の基部両側に裏面側から抉りの調整加工が、一側縁の表面に裏面側から調整加工が施されている。

314、315、317～324、336～339、341は、石器の表面の基部両側に裏面側から抉りの調整加工が、表面の一側縁に裏側から調整加工が施されている。314、317、323、336～339、341は、先端部が欠損している。

#### Ⅵ類B（325～332）

Ⅵ類Bは、石器の基部片側に抉りの調整加工が施されているものである。この類に属するものは、8点出土し、図示してある。

##### Ⅵ類B①

Ⅵ類B①は、石器の基部片側に抉りの調整加工が、もう片側の基部から一側縁にかけて調整加工が施されているものである。

325、327～331は、石器の表面の基部片側に裏面側から抉りの調整加工が、もう片側の基部から一側縁にかけての表面に表裏両面側から調整加工が施されている。325は、石器の裏面の基部に平坦剥離が施されている。329、330は、先端部が欠損している。

##### Ⅵ類B②

326、332は、石器の表面の基部片側のみに、裏面側から抉りの調整加工が施されている。326は、

石器の先端部が欠損している。

#### VI類C (333~335)

VI類Cは、石器の表面の基部両側にわずかな調整加工がみられるものである。この類に属するものは、5点出土し、そのうちの3点を図示してある。

334は、石器の表面の基部両側に調整加工がわずかにみられ、表面の先端部に表裏両面側からの調整加工が施されている。

333、335は、石器の表面の基部両側に裏面側から、その裏面の基部側に平坦剥離に施されている。

#### 三稜尖頭器 (第85図、第107図342~第110図374、第16表)

三稜尖頭器は、57点出土した。石材は、流紋岩 f 17点、流紋岩 b 10点、流紋岩 a 6点、流紋岩 c 6点、ホルンフェルス6点、黒曜石5点、流紋岩 g 2点、チャート2点、流紋岩 e 1点、砂岩1点である。そのうちの33点を図示してある。それらは、石器の形状や加工によって、VII類A、Cに分類され、さらに細分される。遺構内で出土した1点は、第23図12に図示してある。

素材は、出土した57点の内訳をみると、縦長剥片28点、横長剥片28点である。縦長剥片が多く用いられている剥片尖頭器に対して、三稜尖頭器は横長剥片が多く用いられている。

石器の分布は、主に遺跡の北部の礫群周辺に広がる (第85図)。

#### VII類A (342~372)

VII類Aは、石器の形状が紡錘形を呈し、一面加工、二面加工、三面加工、周縁加工のもので、裏面に平坦剥離が施されているものと施されていないものがある。この類に属するものは、42点出土し、そのうちの31点を図示してある。

##### VII類A①

VII類A①は、石器の形状が紡錘形を呈し、一面加工のものである。この類に属しているものは、3点出土し、2点を図示してある。

342、343は、石器の表面の一面に、稜上側からと裏面側から調整加工が施されており、裏面の基部側に平坦剥離が施されている。342は、基部が欠損している。

##### VII類A②

VII類A②は、石器の形状が紡錘形を呈し、二面加工のものである。この類に属しているものは、32点出土し、26点を図示してある。

344~346、348、349、351~355、357、358、360、361、363、364、370は、石器の表面の二面とも、稜上側からと裏面側から調整加工が施されている。そのうちの346、349、351~353、361、370は、石器の裏面の基部に、355、364は、裏面の先端部に、平坦剥離が施されている。352は、稜上に礫面が残る。353、354は先端部が、358、360、363は基部が欠損している。347、356、365、369は、石器の表面の一面に稜上側からと裏面側からの調整加工が、もう一面には裏面側からの調整加工が施されている。そのうちの365、369は、裏面の基部に平坦剥離が施されている。360は、基部が、369は、先端部が欠損している。

350、359、362、371、372は、石器の表面の二面とも、裏面側から調整加工が施されており、350は、裏面に平坦剥離が施されている。

### Ⅶ類A③

Ⅶ類A③は、石器の形状が紡錘形を呈し、三面加工のものである。この類に属するものは、3点出土し、図示してある。

366～368は、石器の表面の二面には、稜上側からと裏面側からの調整加工、そして、裏面は、366は先端部に、367は全体に、368は基部から中央部にかけて、調整加工が施されている。

### Ⅶ類C (373、374)

Ⅶ類Cは、石器の形状が矮小で角錘状を呈し、二面加工のものである。この類に属するものは、2点出土し、図示してある。素材は、2点とも黒曜石である。

373、374は、石器の表面の二面とも、稜上側からと裏面側から調整加工が、裏面に平坦剥離が施されている。

### スクレイパー (第86図、第111図375～第117図413、第17表、第18表)

搔器・削器・入石器は、66点出土した。石材は、流紋岩 f 26点、流紋岩 b 12点、ホルンフェルス10点、流紋岩 g 7点、流紋岩 c 5点、黒曜石3点、流紋岩 e 2点、流紋岩 a 1点である。そのうちの39点を図示してある。接合した削器は2点、接合資料の個体(18)、個体(38)に図示してある。

石器の分布は、主に遺跡の北部に広がり、礫群周辺に集中する(第86図)。

### 搔器 (第111図375～第113図394)

搔器は、27点出土した。石材は、流紋岩 f 15点、流紋岩 b 3点、流紋岩 g 3点、流紋岩 c 2点、ホルンフェルス2点、黒曜石1点である。そのうちの20点を図示してある。それらは、石器の刃部の作出部位によって、Ⅰ類からⅤ類に分類され、さらに細分される。

### Ⅰ類 (375～377)

Ⅰ類は、剥片の長軸上の両端から両側縁、または、一側縁にかけて、調整加工を施して刃部を作り出しているものである。この類に属するものは、3点出土し、図示してある。素材は、縦長剥片、幅広の剥片が用いられている。

376は、剥片の両端から両側縁にかけて、調整加工が施されており、それは、表面の一端と両側縁に施される裏面側からの調整加工、および、裏面のもう一端に施される表面側からの細かな調整加工である。

375は、剥片の両側から一側縁にかけて、調整加工が施されており、それは、表面の両端と両側縁に施される裏面側からの調整加工、および、裏面の一端と一側縁に施される表面側からの調整加工である。表面全体が礫面である。

377は、剥片の表面の両端と一側縁に、裏側面からの調整加工が施されている。

### Ⅱ類 (378～381)

Ⅱ類は、剥片の表面に、剥片の長軸上の一端から両側縁にかけて、裏面側からの調整加工を施して刃部を作り出しているものである。この類に属するものは、6点出土し、そのうちの4点を図示してある。素材は、縦長剥片、幅広の剥片が用いられている。378、379、381は、表面に礫面が残る。381は、刃の突出した形状や剥片の両縁部に細やかな調整加工が施されていることから、石錘

との兼用の可能性も考えられる。

### Ⅲ類 (382~386)

Ⅲ類は、剥片の表面に、剥片の長軸上の一端から一側縁にかけて、裏面側からの調整加工を施して刃部を作り出しているものである。この類に属するものは、6点出土し、そのうちの5点を図示してある。素材は、幅広の剥片が用いられている。383、385、386は、表面に礫面が残る。

### Ⅳ類 (387~392)

Ⅳ類は、剥片の長軸上の一端に、調整加工を施して刃部を作り出しているものである。この類に属するものは、9点出土し、そのうちの6点を図示してある。素材は、縦長剥片が用いられている。表面には、礫面が残る。

388~392は、剥片の表面の一端に、裏側面からの調整加工が施されている。

387は、剥片の裏面の一端に、表面からの調整加工が施されている。

388、389の両側縁と390の一側縁には、使用痕が観察される。

391は、一側縁に礫面が残る。

### Ⅴ類 (393~394)

Ⅴ類は、刃部のみを残して大きく欠損しており、所属不明の搔器である。この類に属するものは、3点出土し、そのうちの2点を図示してある。

394は、石器の形状と施されている調整加工から推測すると、Ⅰ類からⅢ類のいずれかに属することも考えられる。

### 削器 (第114図395~第116図411)

削器は、36点出土した。石材は、流紋岩bが9点、流紋岩fが9点、ホルンフェルスが7点、流紋岩gが4点、流紋岩cが2点、流紋岩eが2点、黒曜石が2点である。そのうちの17点を図示してある。それらは、石器の刃部の作出部位によって、Ⅰ類とⅡ類に分類される。

#### Ⅰ類 (395~402)

Ⅰ類は、剥片の両側縁に、調整加工を施して刃部を作り出しているものである。この類に属するものは、10点出土し、そのうちの8点を図示してある。素材は、縦長剥片、幅広の剥片、横長剥片が用いられている。

395は、剥片の表裏両面の両側縁に、調整加工が施されており、それは、表面に裏面側から、裏面に表面側からの調整加工である。

396~402は、剥片の表面の両側縁に、裏面側からの調整加工が施されている。398~402は、裏面に平坦剥離が施されている。396は、表面に礫面が残る。402は、基部、先端部が欠損している。

#### Ⅱ類 (403~411)

Ⅱ類は、剥片の一側縁に、調整加工を施して刃部を作り出しているものである。この類に属するものは、25点出土し、そのうちの9点を図示してある。素材は、縦長剥片、幅広の剥片が用いられている。

403は、剥片の表裏両面の一側縁に、調整加工が施されており、それは、表面に裏面側から、裏面に表面側からの調整加工である。もう一側縁の裏面に礫面が残る。

404～410は、剥片の表面の一側縁に、裏側面からの調整加工が施されている。404の一側縁には、使用痕が観察される。404、405、407～410は、表面に礫面が残る。

411は、剥片の裏面の一側縁に、表面側からの調整加工が施されており、もう一側縁には、使用痕が観察される。

#### 抉入石器（第117図412、413）

抉入石器は、4点出土した。石材は、流紋岩 f 2点、流紋岩 a 1点、ホルンフェルス 1点である。素材は、全て、縦長剥片が用いられている。そのうち2点を図示してある。それらは、石器の刃部の作出部位によって、Ⅰ類～Ⅲ類に分類される。

##### Ⅰ類（412）

Ⅰ類は、剥片の表面の両側縁に、裏側面からの調整加工を施して作り出した抉りの刃部と、表面の長軸上の一端に、裏面側からの調整加工を施して作り出した搔器の刃部とが併設されるものである。

##### Ⅱ類（413）

Ⅱ類は、剥片の表面の両側縁に、裏面側からの調整加工を施して抉りの刃部を作り出しているものである。その一端は欠損しているため、不明である。

##### Ⅲ類

Ⅲ類は、剥片の表面の一側縁に、裏面側からの調整加工を施して抉りの刃部を作り出しているものである。この類に属するものは2点出土したが、図示していない。

#### 石錐（第87図、第118図414～420、第19表）

石錐は、7点出土し、図示してある。石材は、415が流紋岩 a で、それ以外の6点は黒曜石である。石錐の分布は、遺跡の北端の礫群周辺に集中する（第87図）。

414は、石器の裏面の基部に、415は、裏面の一側縁中央部に、416は、先端部に平坦剥離が施されている。素材は、414、416は縦長剥片、415、417～420は横長剥片が用いられている。415～419は先端部が、420はつまみ部が欠損している。

#### 敲石兼磨石・敲石・磨石・台石（第88図、第119図421～第121図440、第20表）

敲石兼磨石・敲石・磨石・台石は、31点出土した。石材は、砂岩22点、尾鈴酸性岩5点、流紋岩 a 3点、流紋岩 c 1点である。

これらの石器の分布は、主に遺跡の北部と南西端に広がり、礫群周辺に集中する（第88図）。

#### 敲石兼磨石（第119図421～第120図432）

敲石兼磨石は、14点出土した。石材は、砂岩12点、流紋岩 c 1点、尾鈴酸性岩1点である。そのうちの12点を図示してある。それらは、石器の形状から、Ⅰ類～Ⅲ類に分類され、さらに細分される。

##### Ⅰ類（421、424）

Ⅰ類は、石器の形状が偏平な楕円形を呈するもので、その大きさは、拳大程である。この類に属するものは、3点出土し、そのうちの2点を図示してある。それらは、敲打痕と磨面の部位によって細分される。

421は、礫の両側縁、両端、表裏面に、敲打痕と磨面が観察される。

424は、礫の表面と両端に敲打痕が、礫の表裏面に磨面が観察される。

#### II類 (422~423、425~430)

II類は、石器の形状が棒状を呈するもので、その大きさには、ばらつきがある。この類に属するものは、9点出土し、そのうちの8点を図示してある。それらは、敲打痕と磨面の部位によって6つに細分される。

422、427は、礫の両端に敲打痕が、礫の表裏面に磨面が観察される。

428は、礫の一侧縁と両端に敲打痕が、礫の一侧縁と表面に磨面が観察される。

423、435は、礫の両端に敲打痕が、礫の一侧縁、両端または一端、表面の各々に磨面が観察される。

426は、礫の一侧縁と両端に敲打痕が、礫の一端に磨面が観察される。

429は、礫の一端に敲打痕が、礫の表面に磨面が観察される。

430は、礫の一端に、敲打痕と磨面が観察される。その一端から一侧縁にかけては、欠損しているため不明である。

#### III類 (431、432)

III類は、石器の形状が不整形のもので、その大きさは、拳大程と比較的小型である。この類に属するものは、2点出土し、図示してある。

431、432は、礫の側縁の三隅に敲打痕が、礫の一侧縁と表裏面に磨面が観察される。

#### 敲石 (第120図433~第121図438)

敲石は、13点出土した。石材は、流紋岩 a 3点、尾鈴酸性岩 2点である。そのうちの6点を図示してある。それらは、石器の形状によって、I類、II類に分類され、さらに細分される。

#### I類 (433、435)

I類は、石器の形状が偏平な楕円形を呈するもので、その大きさは、拳大程である。この類に属するものは、2点出土し、図示してある。2点は、敲打痕の部位によって細分される。

433は、礫の両側縁、両端、表面に、敲打痕が観察される。その表面は、大部分が欠損しているため不明である。

435は、礫の両端に、敲打痕が観察される。

#### II類 (434、436~438)

II類は、石器の形状が棒状を呈するもので、その大きさは、ばらつきがある。この類に属するものは、11点出土し、そのうちの4点を図示してある。それらは、敲打痕の部位によって2つに細分される。

434、436、437は、礫の両端に、敲打痕が観察される。

438は、礫の一端に、敲打痕が観察され、礫の裏面全体にススが付着している。

#### 磨石 (第121図439)

磨石は、3点出土した。石材は、尾鈴酸性岩 2点、砂岩 1点である。そのうちの1点を図示してある。

439は、石器の形状が偏平な楕円形を呈するもので、礫の表裏面に、磨面が観察される。その大

きさは、拳大よりやや小さめである。

#### 台石（第121図440）

台石は、1点出土し、図示してある。石材は、砂岩である。

440は、石器の形状が直方体を呈するもので、礫の表面に、浅い窪みが観察される。その大きさは、人頭よりやや小さめである。

#### 二次加工のある剥片（第89図、第122図441～第123図451、第21表、第22表）

二次加工のある剥片は、二次加工の施される不定形の石器を取り扱った。

二次加工のある剥片は、64点出土した。石材は、流紋岩 f 25点、流紋岩 b 14点、流紋岩 a 10点、ホルンフェルス 5点、流紋岩 e 3点、黒曜石 3点、流紋岩 g 2点、流紋岩 c 1点、珪質頁岩 1点である。そのうちの11点を図示してある。遺構内で出土した1点は、第23図15に図示してある。素材は、縦長剥片や幅広の剥片が多く用いられている。442、444～446は、表面に礫面が残る。それらは、二次加工が施されている部位によって6つに細分できる。

石器の分布は、主に遺跡の北部と南西端に広がり、礫群周辺に集中する（第89図）。

441は、剥片の表面の両側縁には裏側面からの調整加工が、そして、裏面の一侧縁には表面からの調整加工が施されている。

442、443は、剥片の表面の両側縁に、裏面側からの調整加工が施されている。442は、表面に礫面が残る。444～446は、表面に礫面が残る。

444、447は、剥片の表面の一侧縁に、裏側面からの調整加工が施されている。444のもう一侧縁と445の一端には、使用痕が観察される。444～446は、表面に礫面が残る。

448は、剥片の裏面の一侧縁に、表面側からの調整加工と平坦剥離が施されており、もう一侧縁には、使用痕が観察される。

449は、剥片の表面の一端と一侧縁に、裏面側からの調整加工が施されている。

450は、剥片の表面の一端から一侧縁にかけて、裏面側からの細かな調整加工が施されている。

451は、剥片の表面の一端に裏面からの調整加工が施されている。

#### 使用痕のある剥片（第90図、第124図452～第125図460、第23表、第24表）

使用痕のある剥片は、119点出土した。石材は、流紋岩 f 66点、流紋岩 b 17点、流紋岩 g 12点、流紋岩 a 9点、ホルンフェルス 6点、流紋岩 c 4点、流紋岩 e 4点、砂岩 1点である。そのうちの9点を図示してある。接合した31点のうちの18点を接合資料に図示しており、遺構内で出土した1点は第23図17に図示してある。素材は、縦長剥片、幅広の剥片が多く用いられている。それらは、使用痕が観察される部位によって5つに細分される。

石器の分布は、主に遺跡の北部と南西端に広がり、礫群周辺に集中する（第90図）。

452は、剥片の一端から両側縁にかけて、使用痕が観察される。

453は、剥片の一端から一侧縁にかけて、使用痕が観察される。

454は、剥片の両側縁に、使用痕が観察される。

455、459は、剥片の一侧縁に、使用痕が観察される。

460は、剥片の表面が礫面で、剥片の一端に使用痕が観察される。

接合資料に図示してある17点の内訳は、個体(1) 3点、個体(5) 1点、個体(7) 2点、個体(12) 1点、個体(21) 1点、個体(33) 2点、個体(38) 1点、個体(43) 2点、個体(48) 2点、個体(55) 2点である。

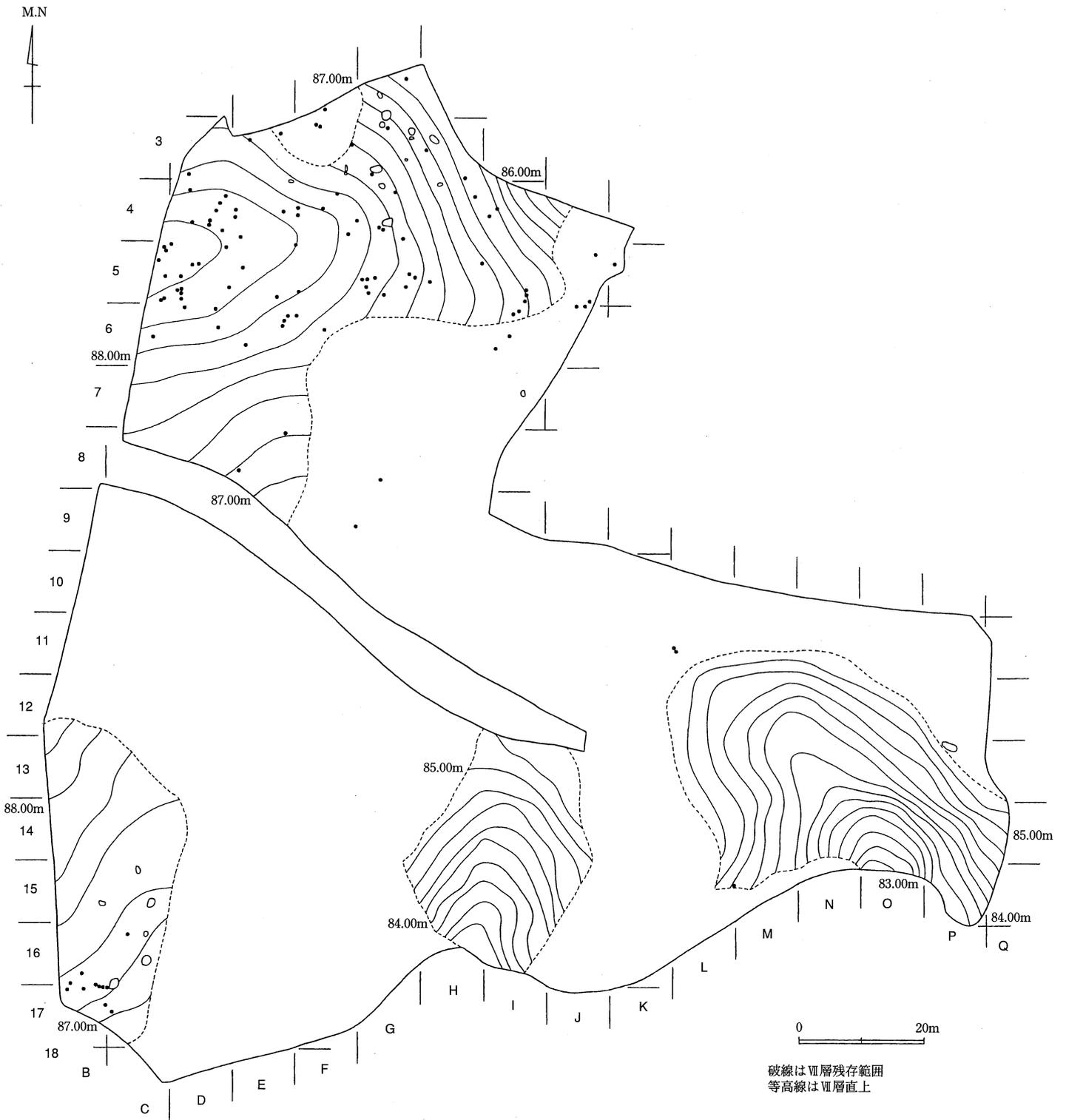
**石核(第91図、第126図461～第131図483、第25表～第27表)**

石核は、119点が出土した。石材は、流紋岩 f 44点、流紋岩 g 25点、流紋岩 b 16点、流紋岩 a 10点、チャート 6点、流紋岩 c 5点、ホルンフェルス 5点、流紋岩 e 3点、黒曜石 2点、尾鈴酸性岩 2点、砂岩 1点である。そのうちの23点を図示してある。

石器の分布は、主に遺跡の北部と南西端に広がり、礫群周辺に集中する(第91図)。

461～483は、打面と作業面を頻繁に移転しており、形態的には多面体を呈する。これらの石核の剥離面観察から、縦長剥片、幅広の剥片が多く剥離されていることが理解される。

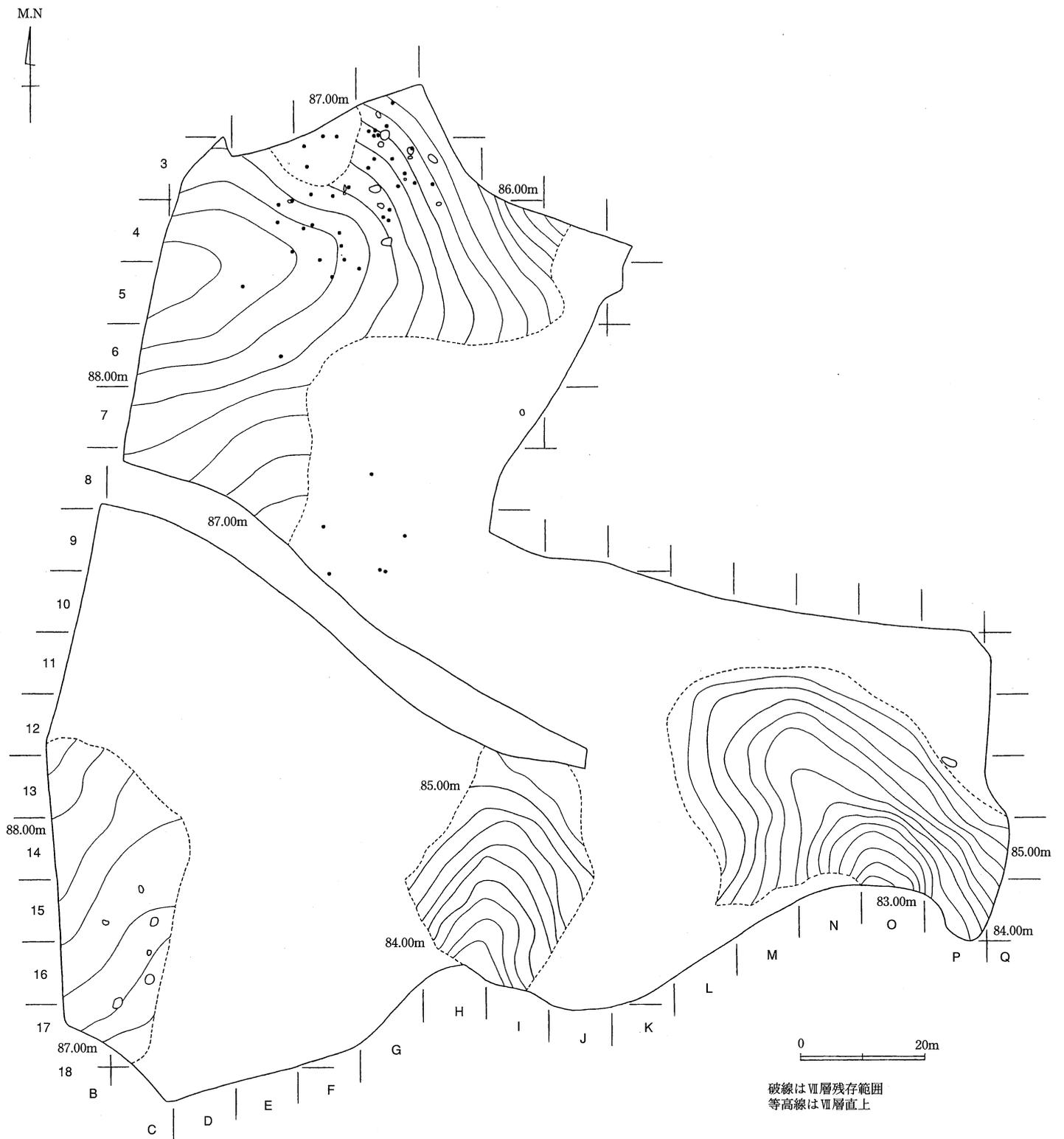
接合した64点のうちの26点は、接合資料に図示してある。その内訳は、個体(1) 6点、個体(5) 1点、個体(6) 1点、個体(7) 1点、個体(12) 1点、個体(21) 1点、個体(28) 3点、個体(29) 2点、個体(30) 1点、個体(31) 1点、個体(33) 1点、個体(34) 2点、個体(35) 1点、個体(39) 1点、個体(43) 1点、個体(45) 1点である。



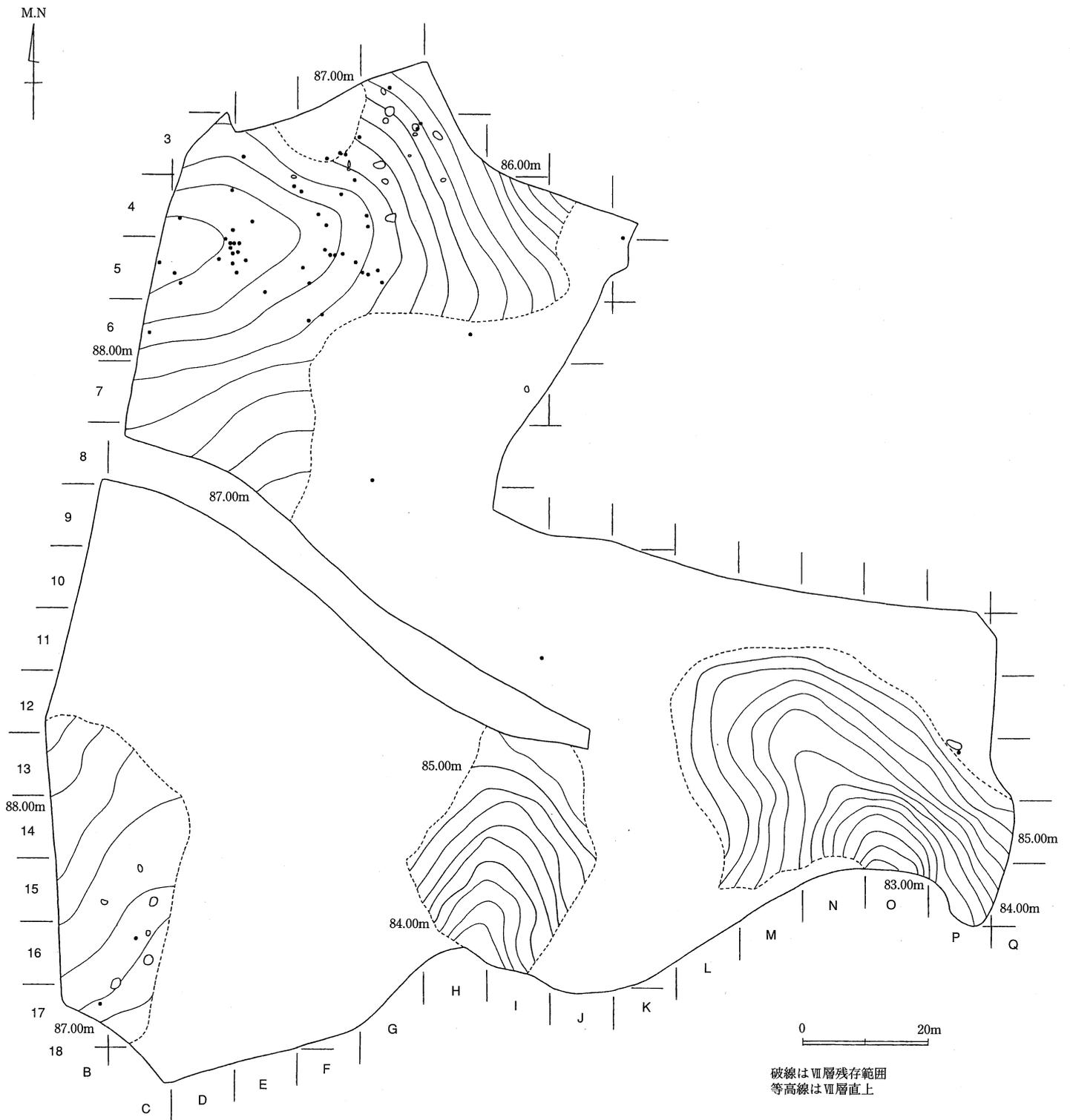
第82図 遺物分布図（ナイフ形石器）



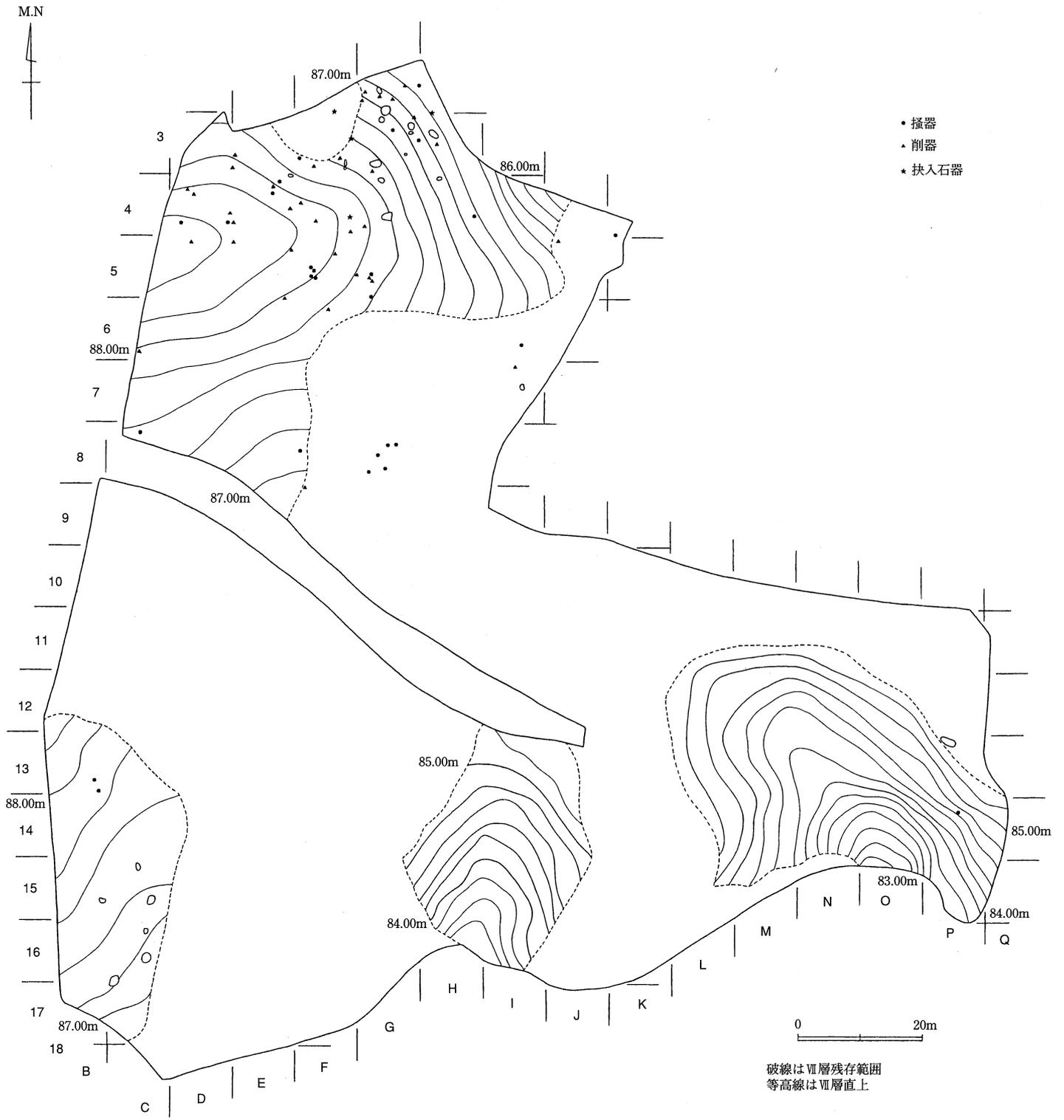
第83図 遺物分布図（台形石器）



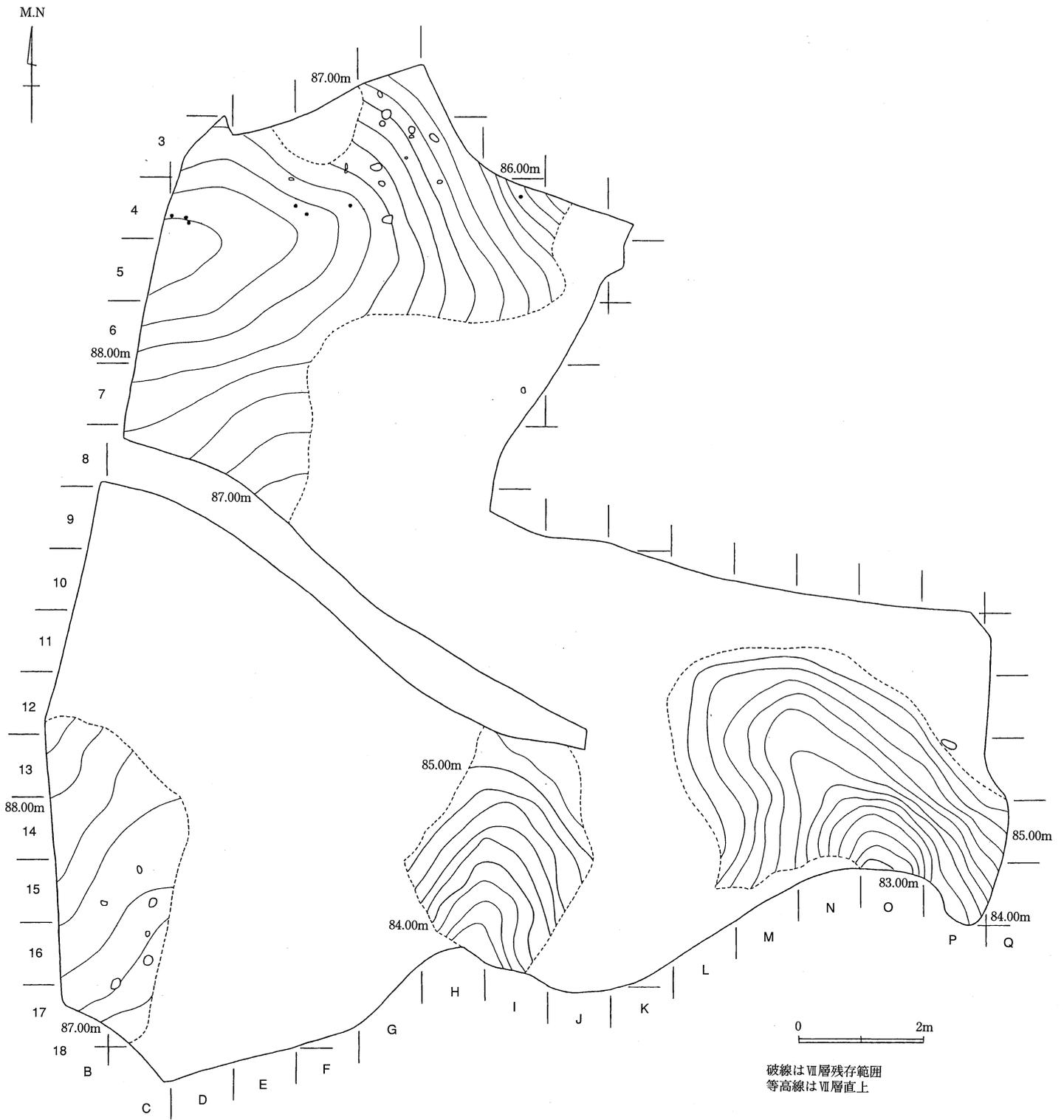
第84図 遺物分布図（剥片尖頭器）



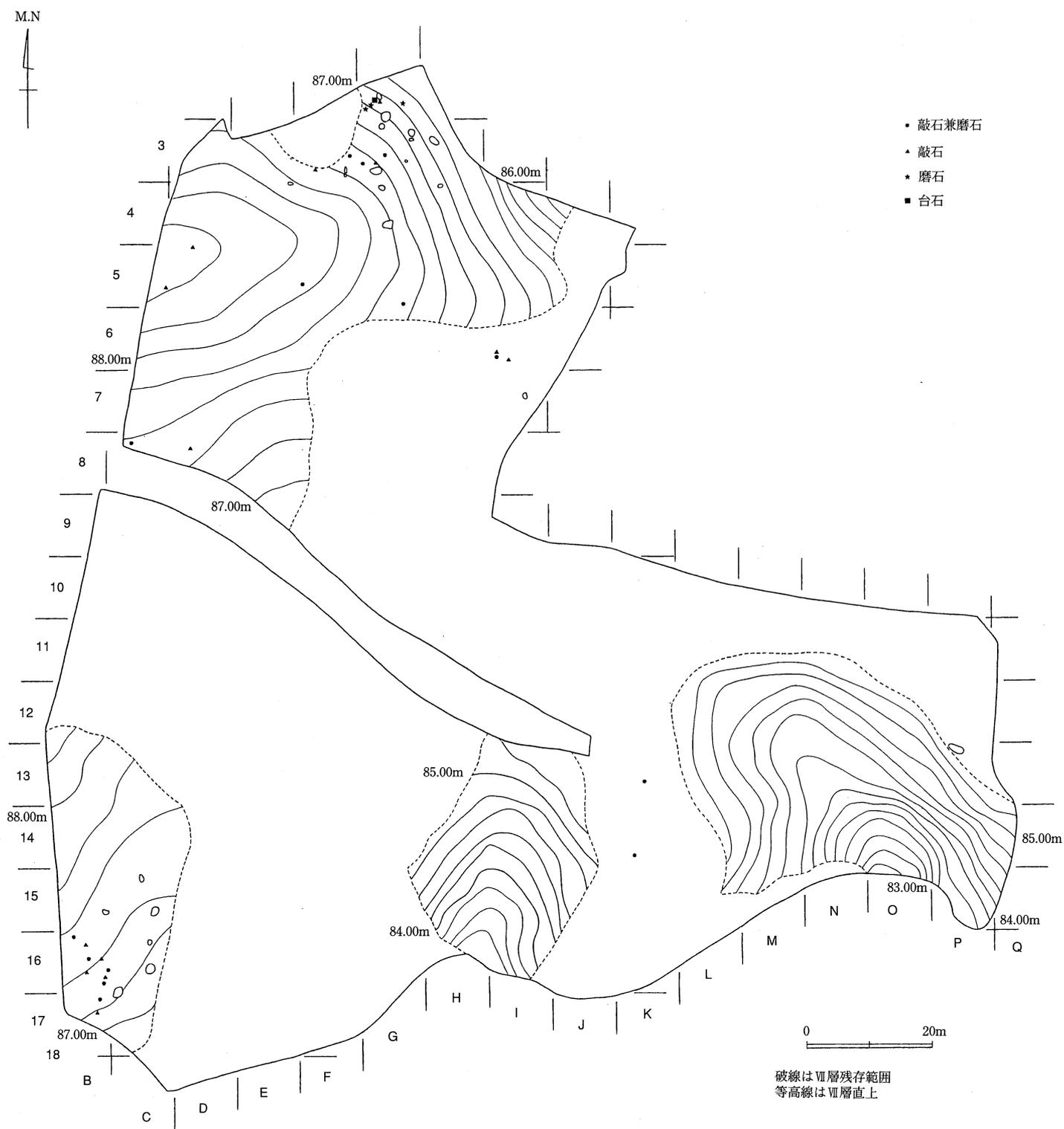
第85図 遺物分布図 (三稜尖頭器)



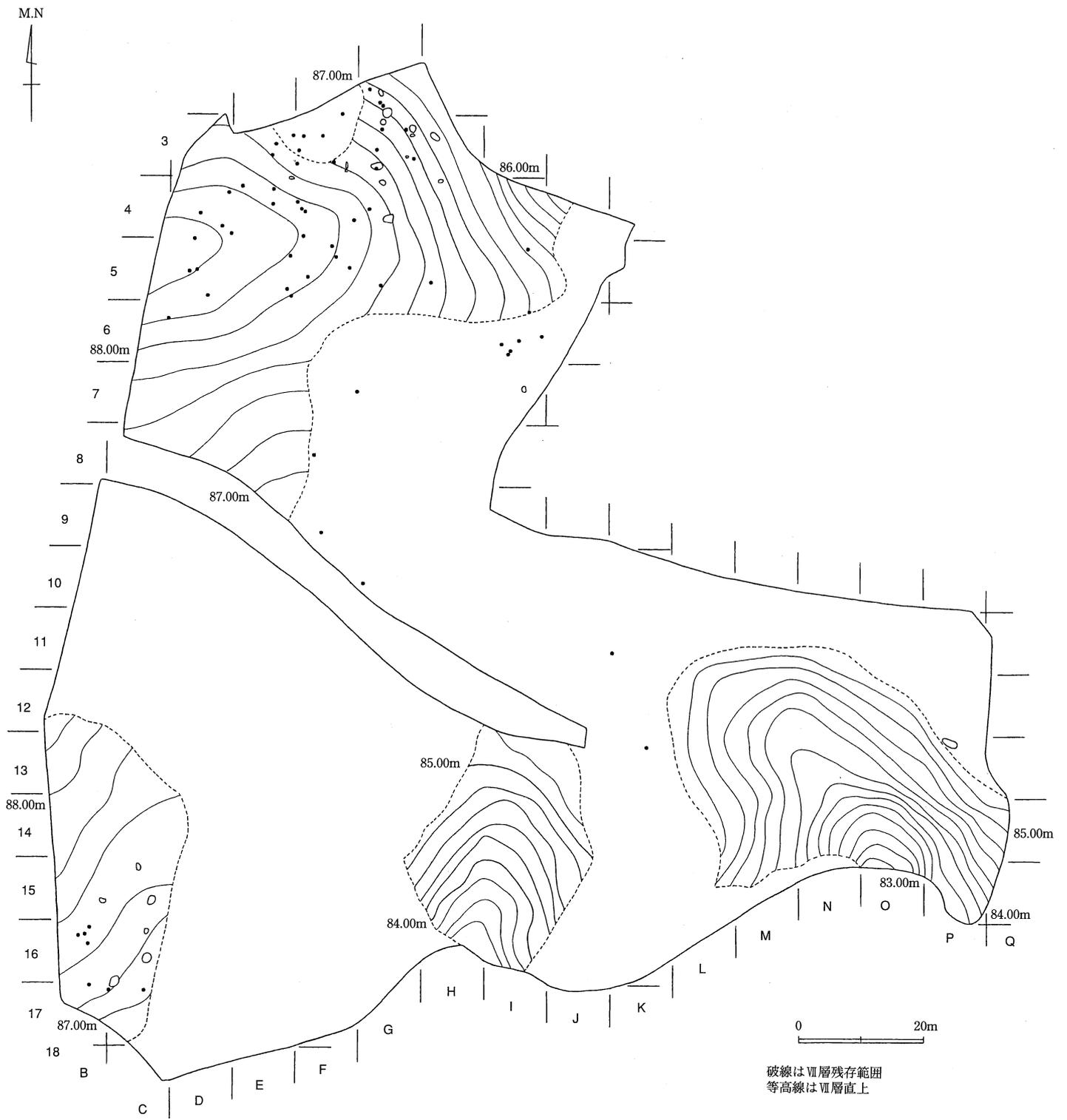
第86図 遺物分布図 (スクレイパー)



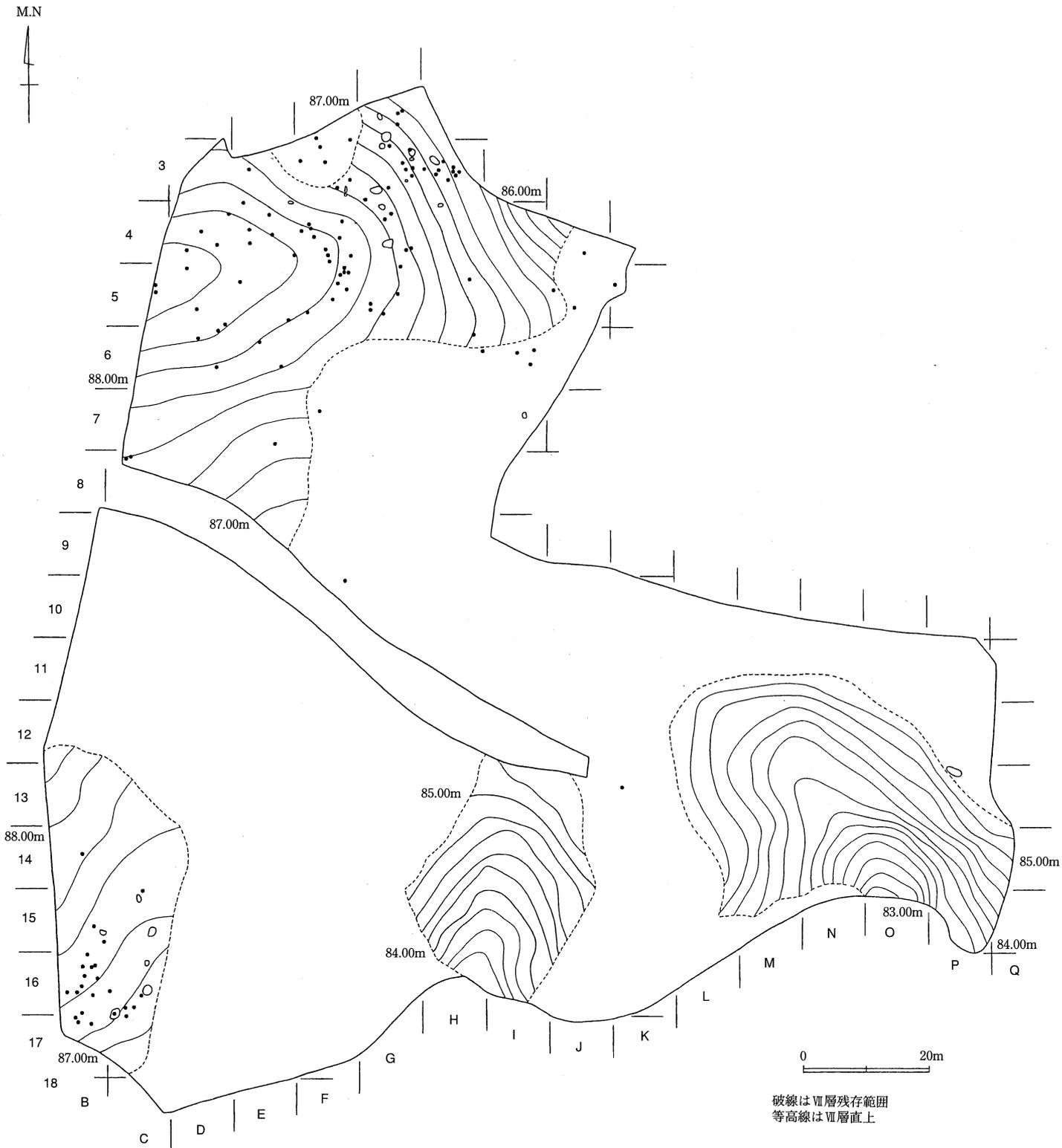
第87図 遺物分布図（石錐）



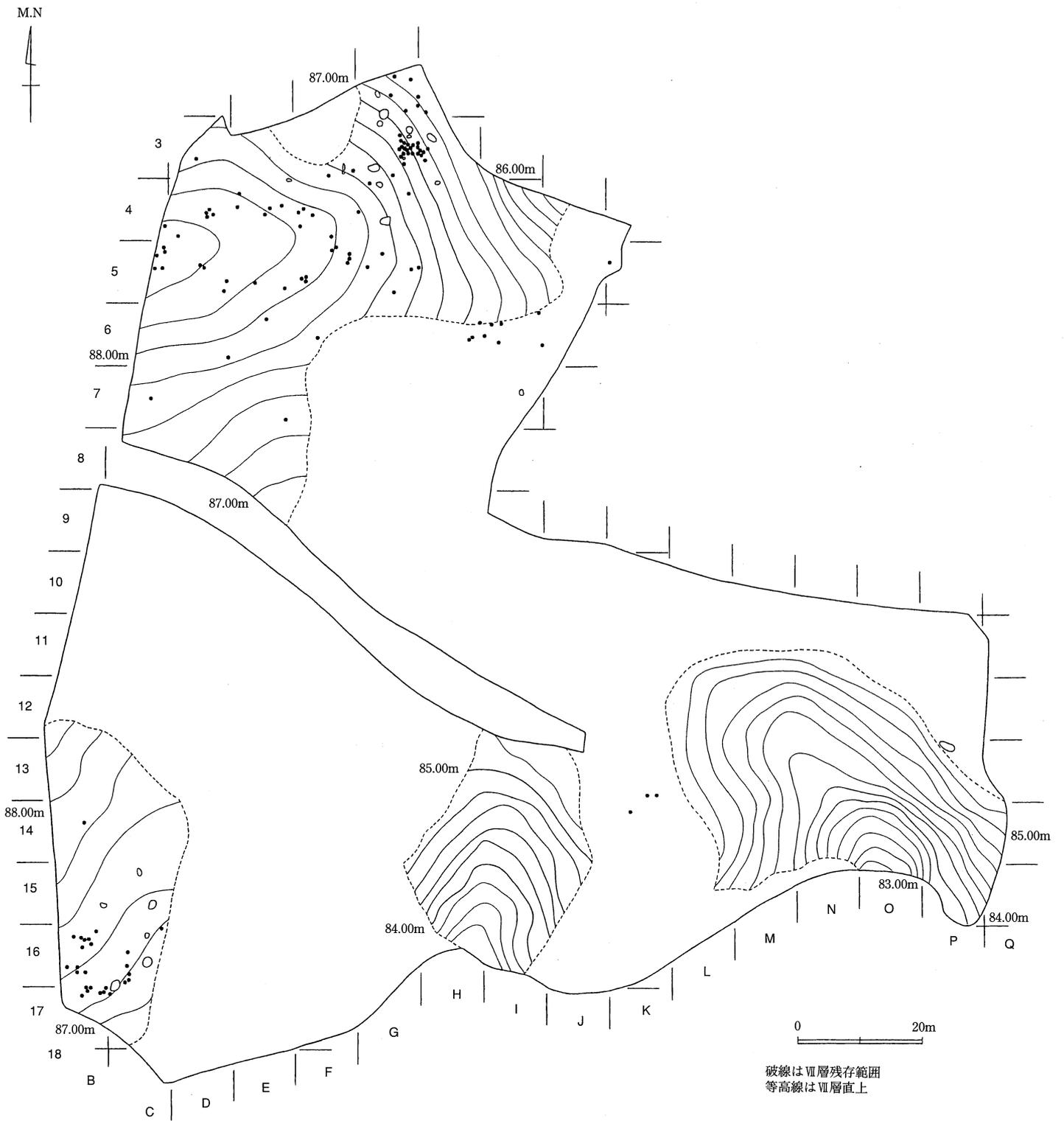
第88図 遺物分布図（敲石兼磨石、敲石、磨石、台石）



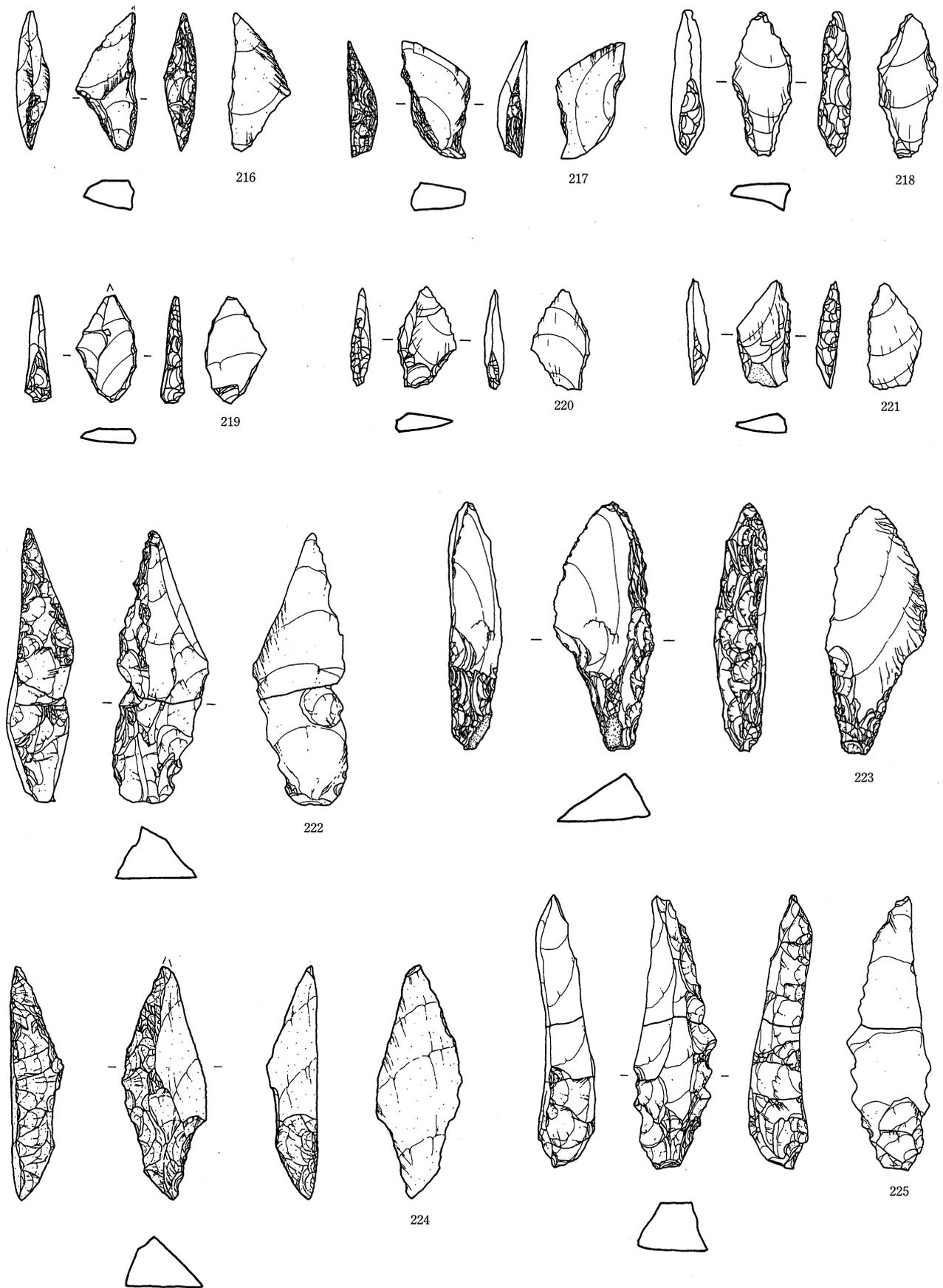
第89図 遺物分布図（二次加工のある剥片）



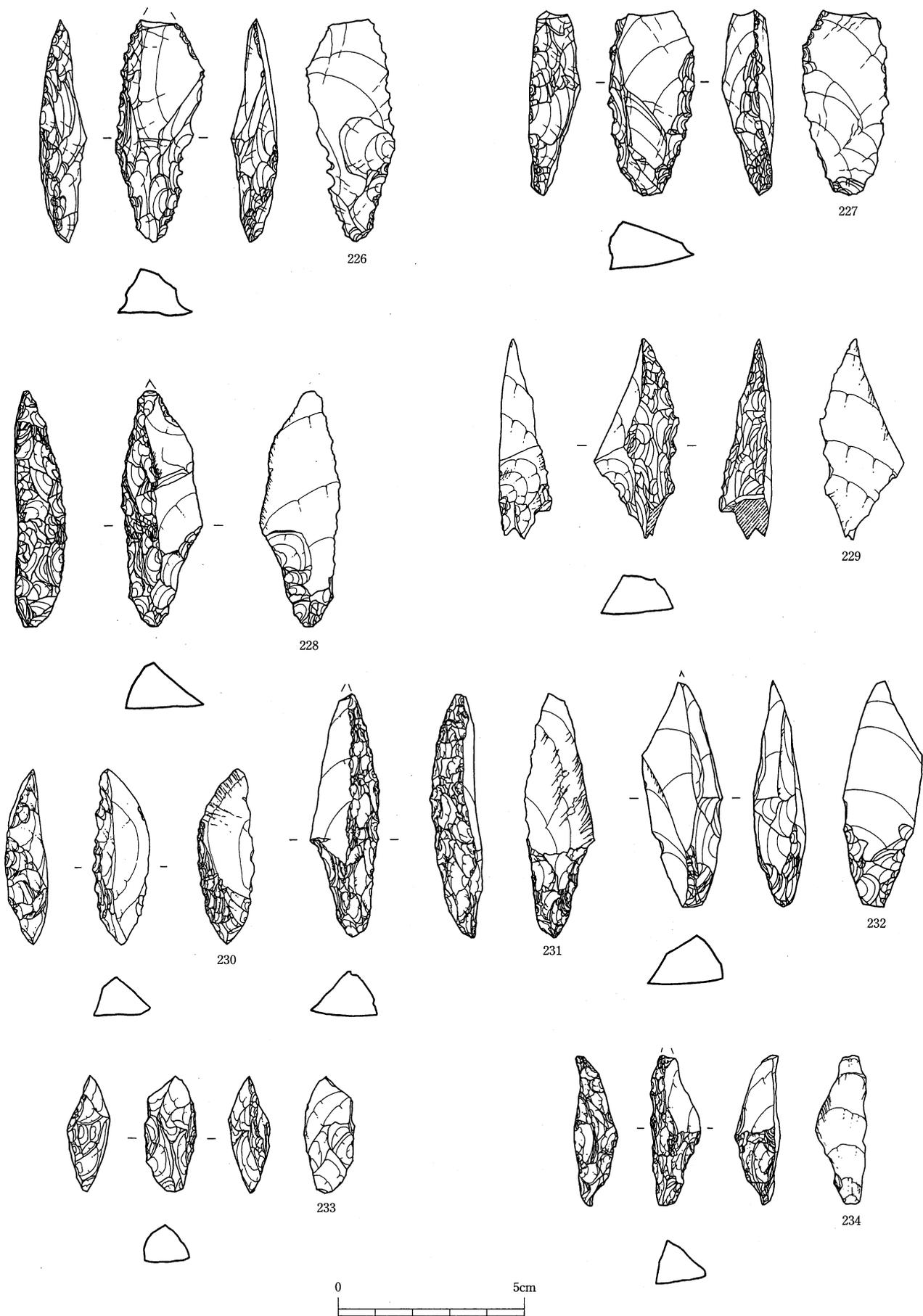
第90図 遺物分布図（使用痕のある剥片）



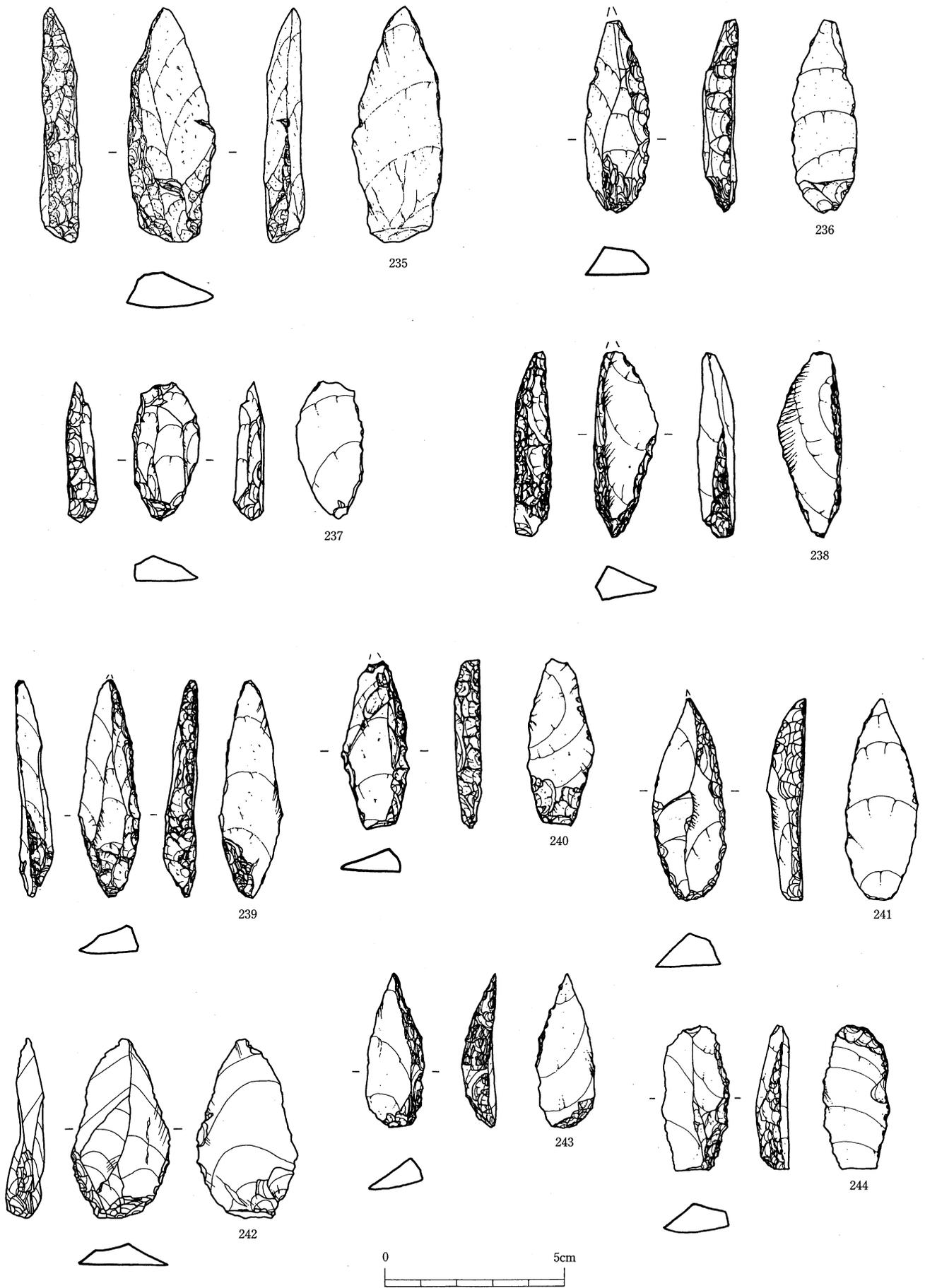
第91図 遺物分布図 (石核)



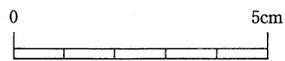
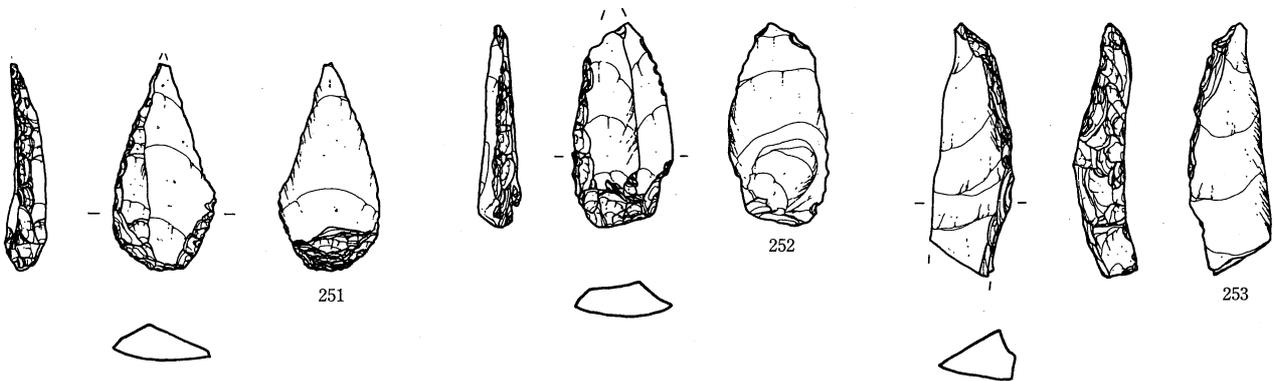
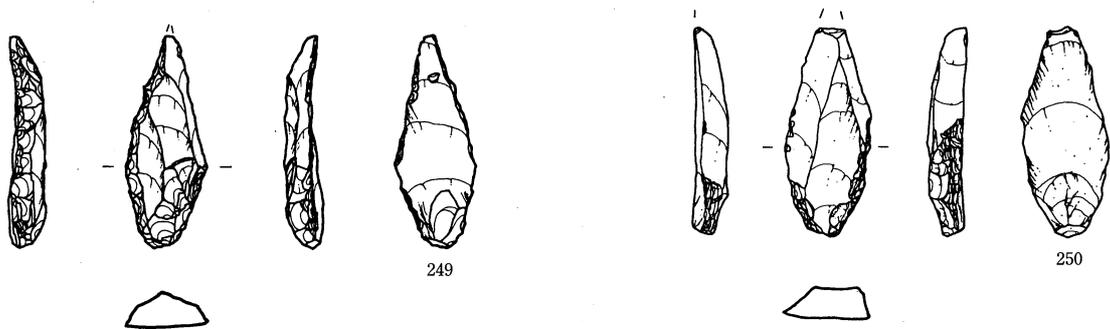
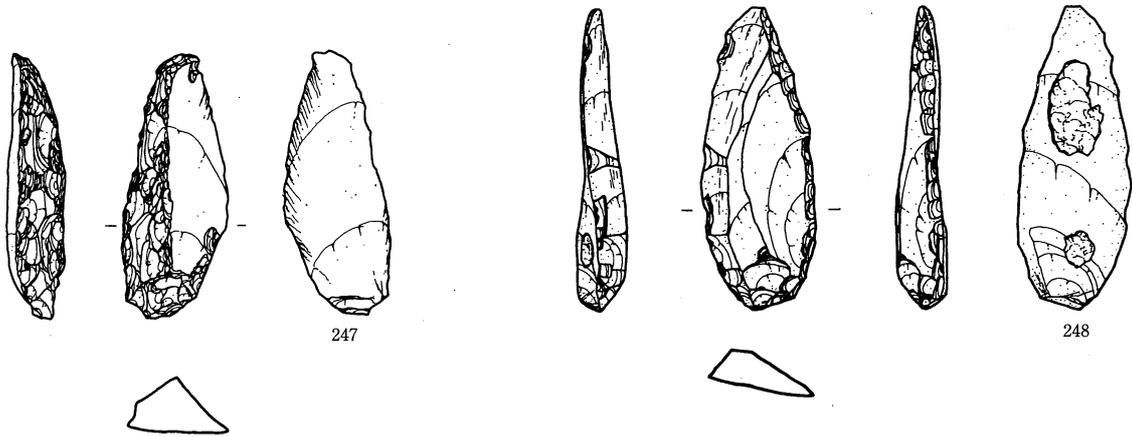
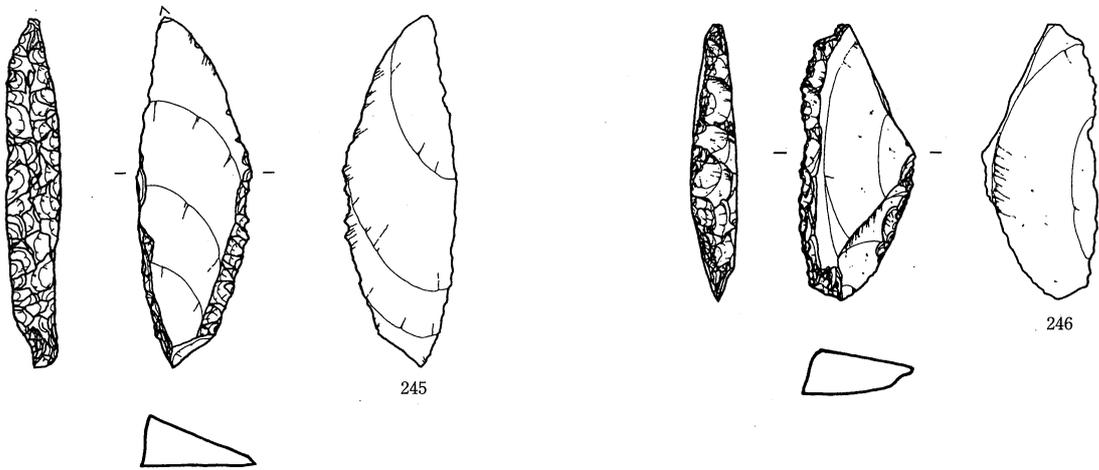
第92図 石器実測図 (ナイフ形石器)



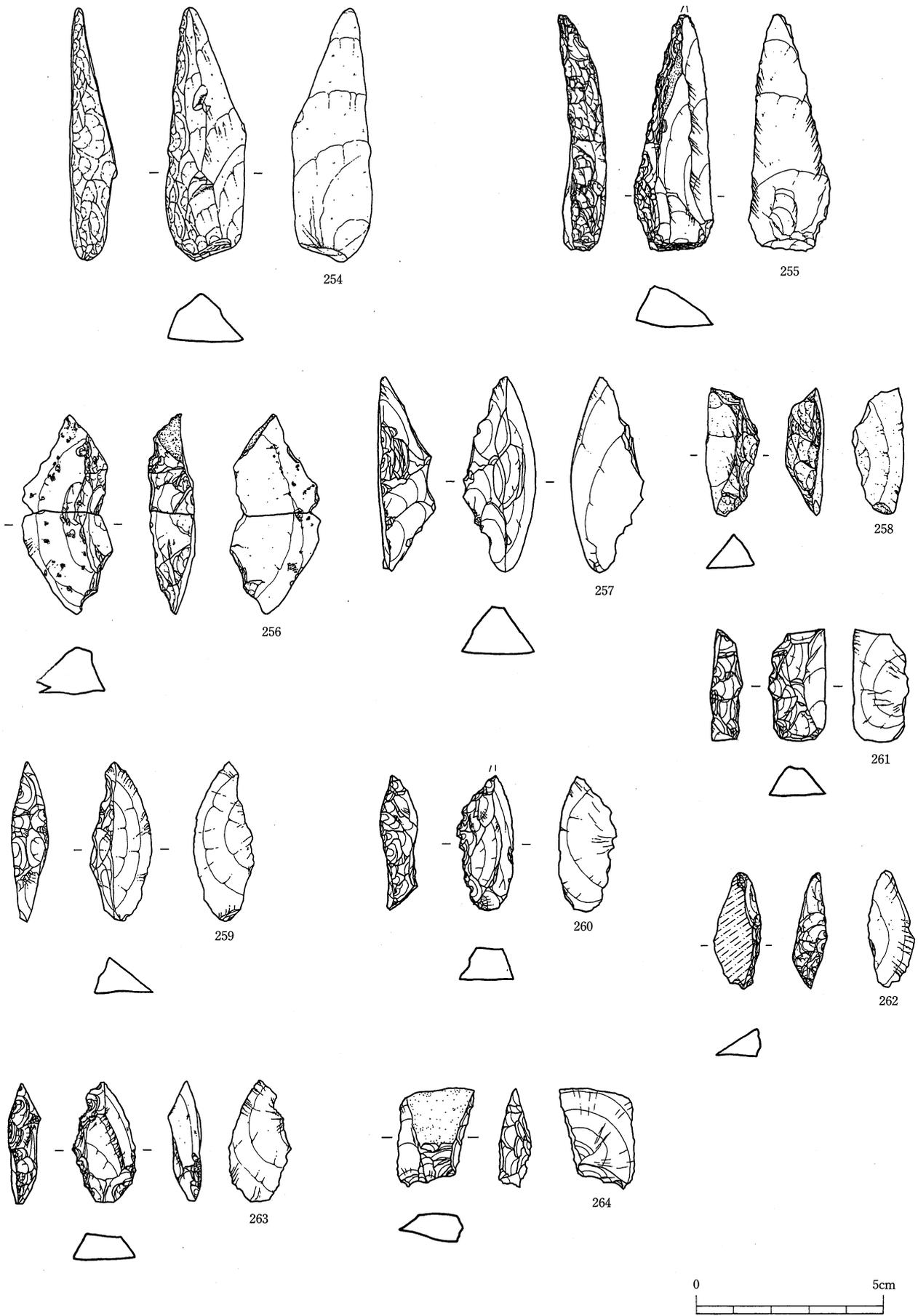
第93図 石器実測図 (ナイフ形石器)



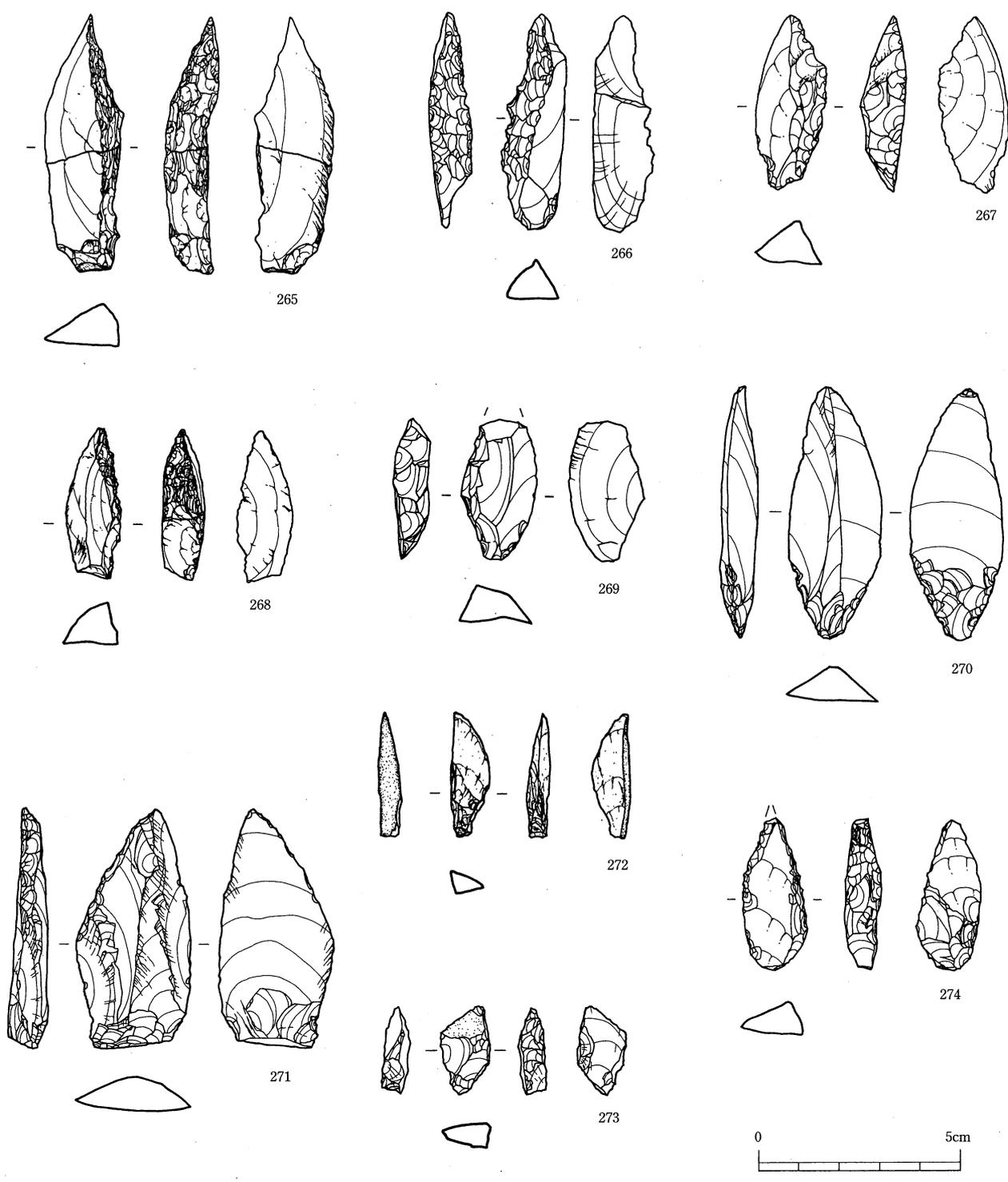
第94図 石器実測図 (ナイフ形石器)



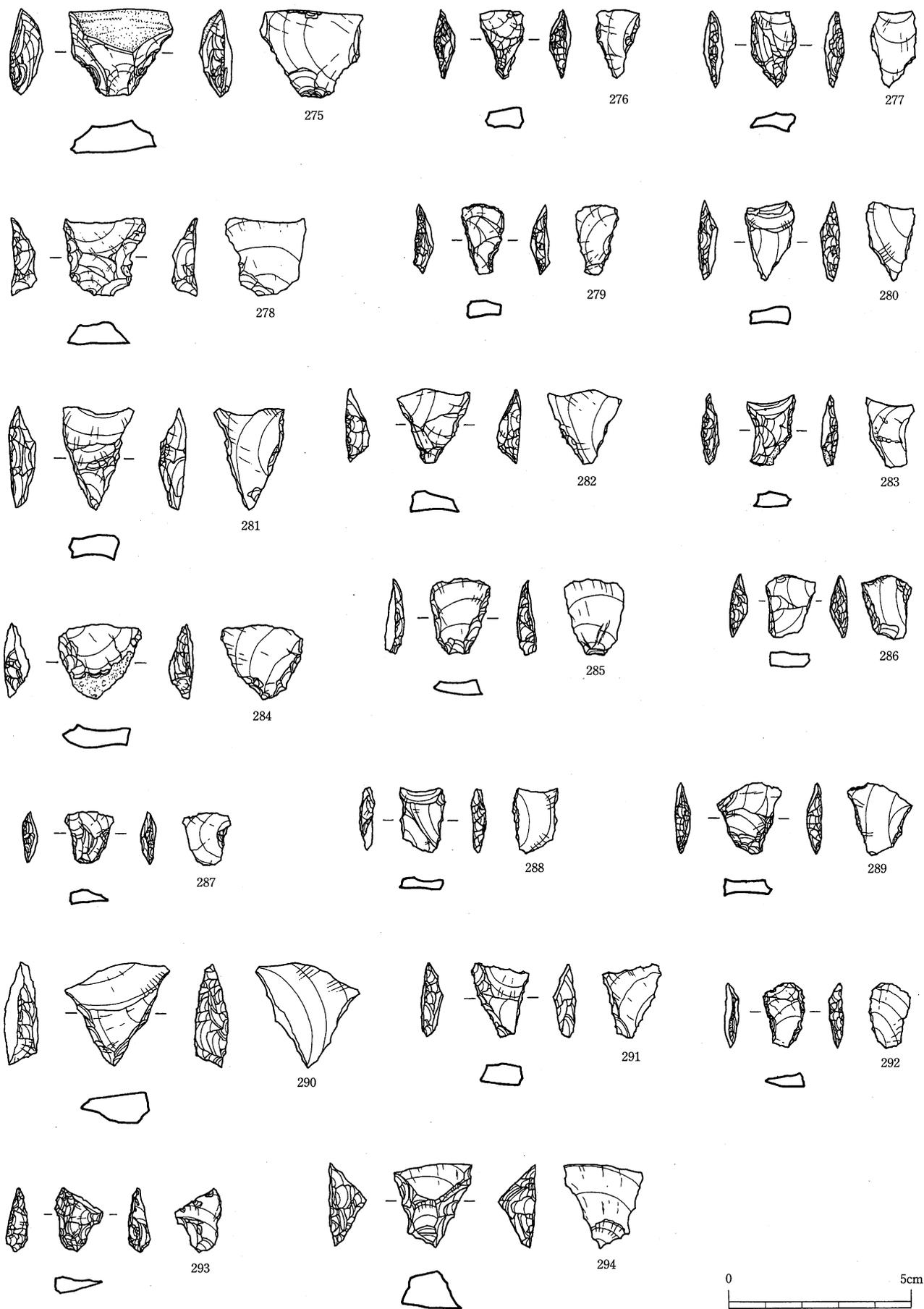
第95図 石器実測図 (ナイフ形石器)



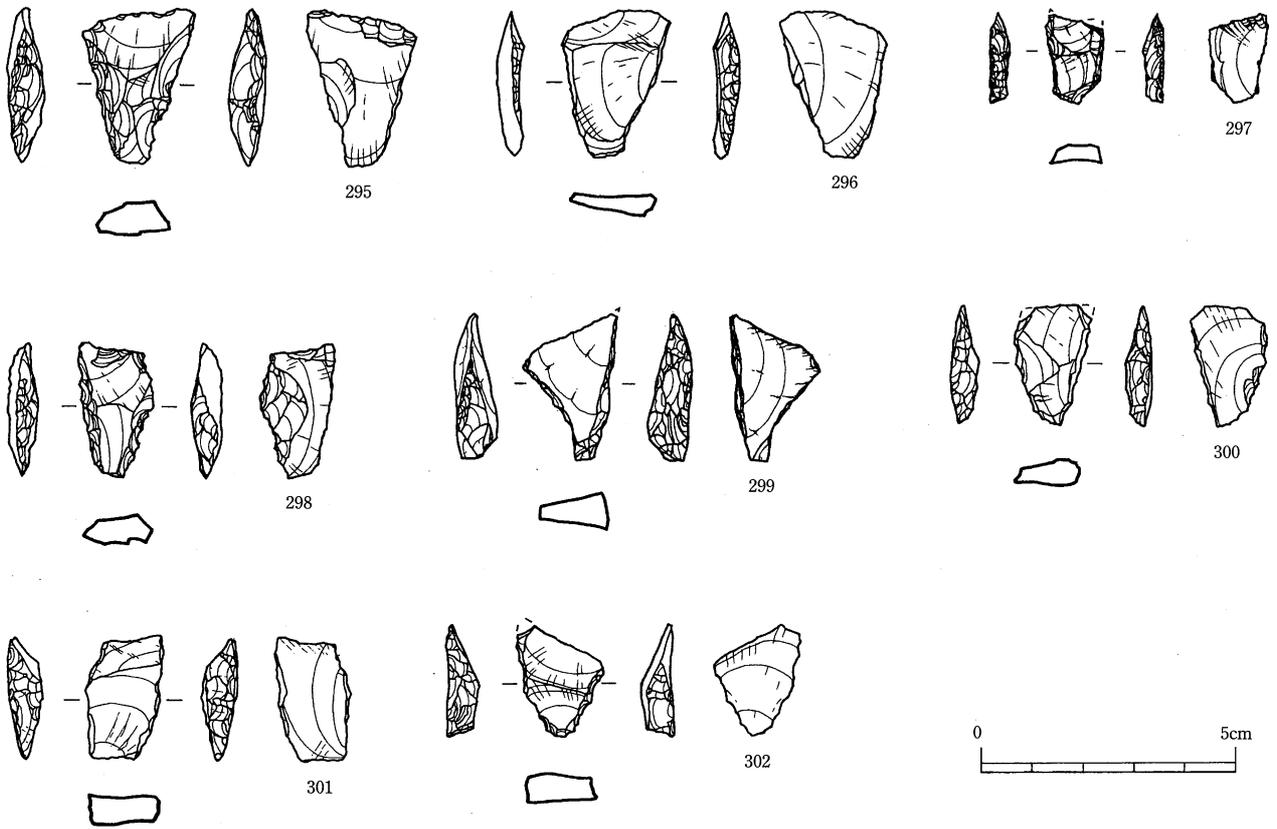
第96図 石器実測図 (ナイフ形石器)



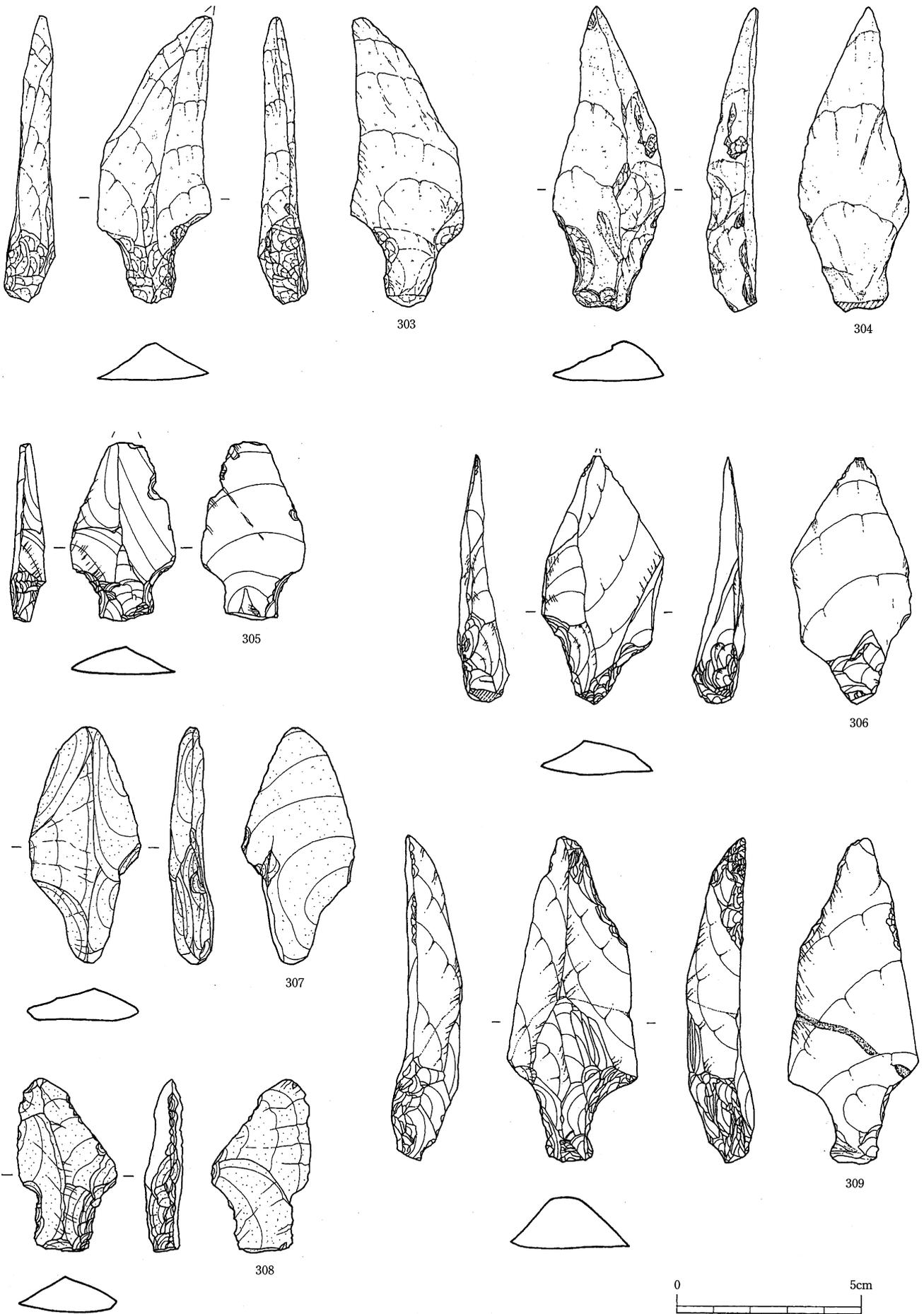
第97図 石器実測図（ナイフ形石器）



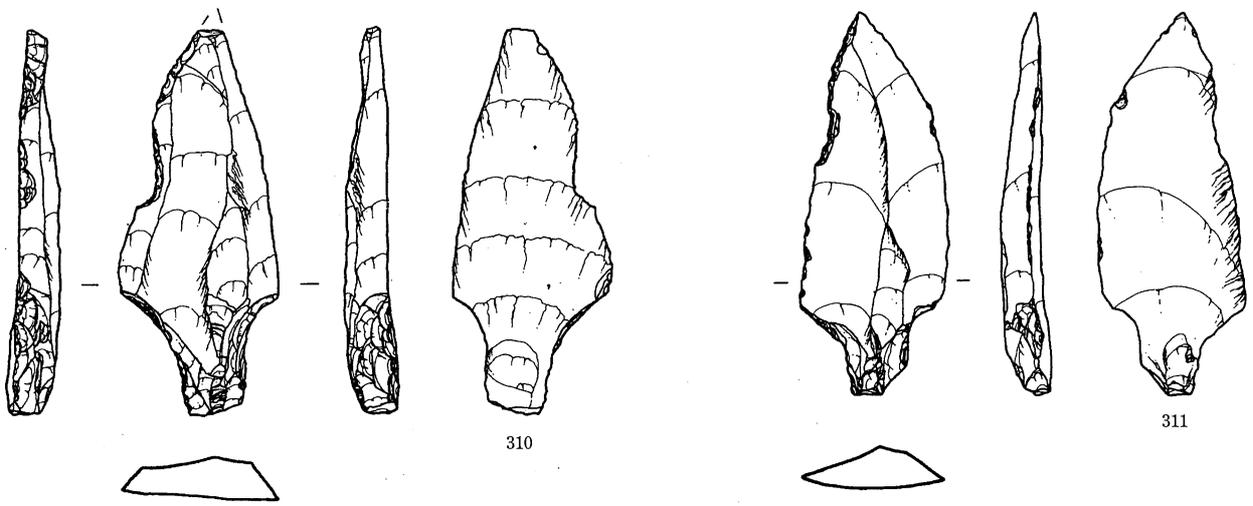
第98图 石器实测图（台形石器）



第99图 石器实测图（台形石器）

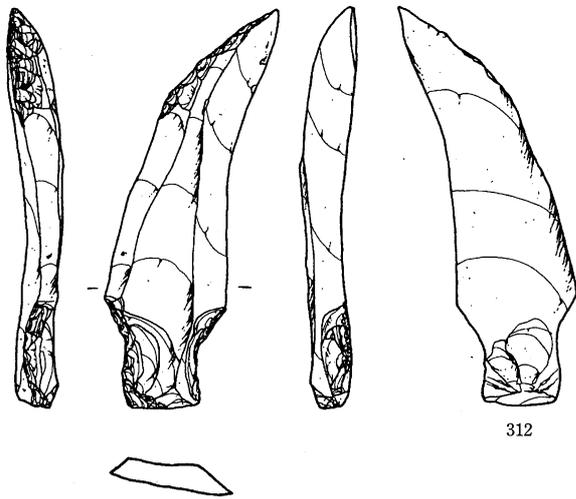


第100图 石器实测图 (剥片尖頭器)



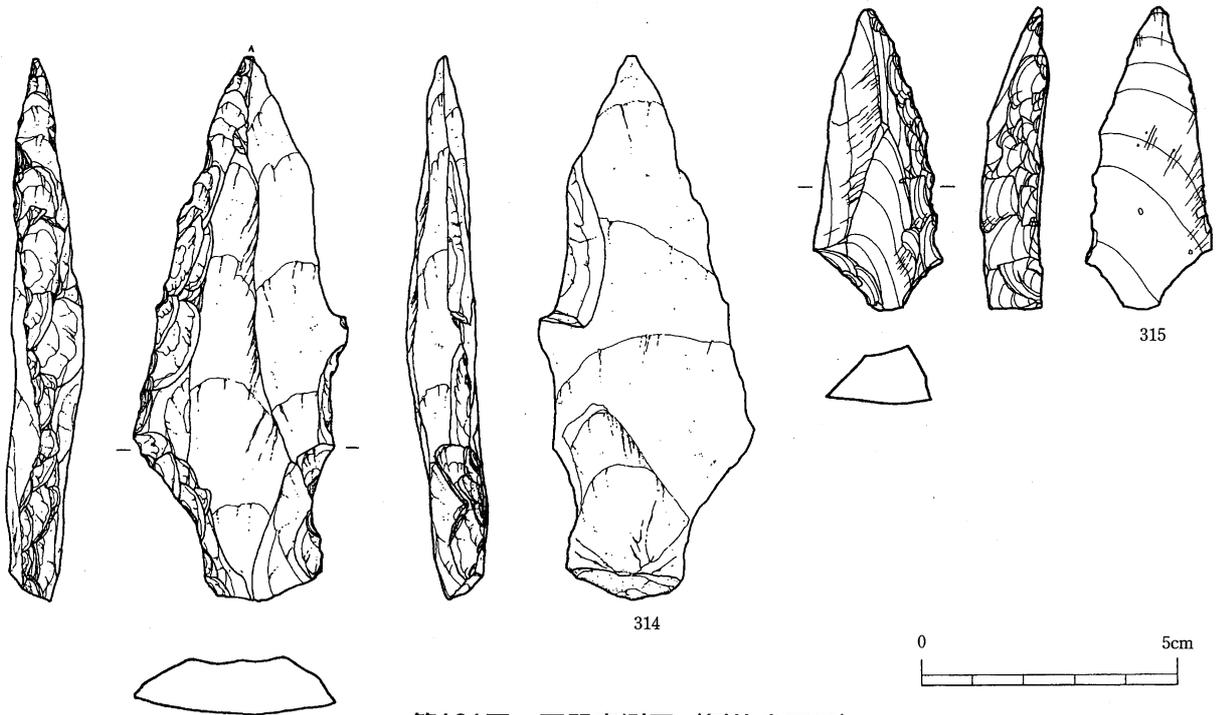
310

311



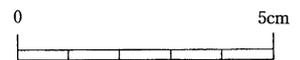
312

313

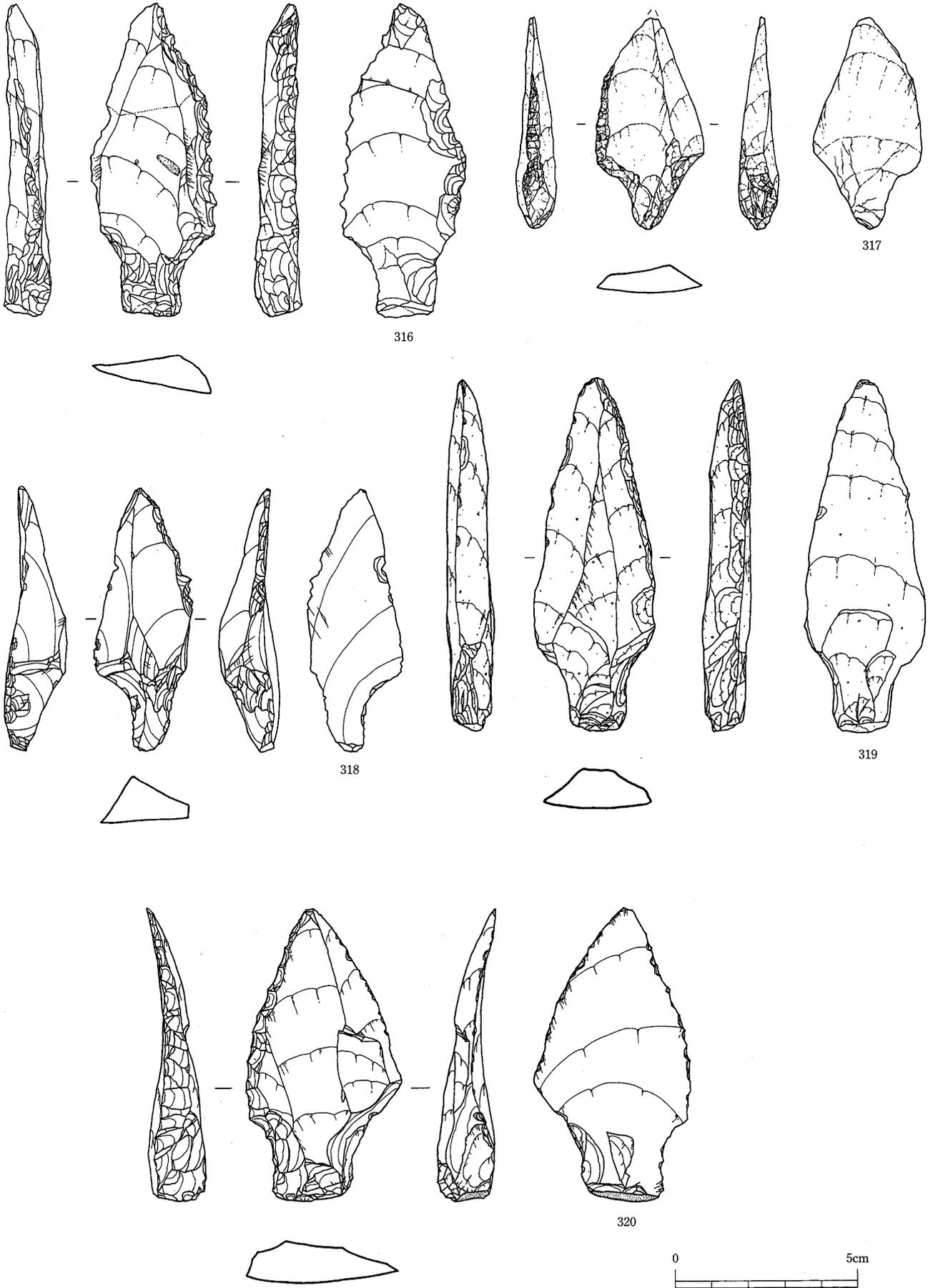


314

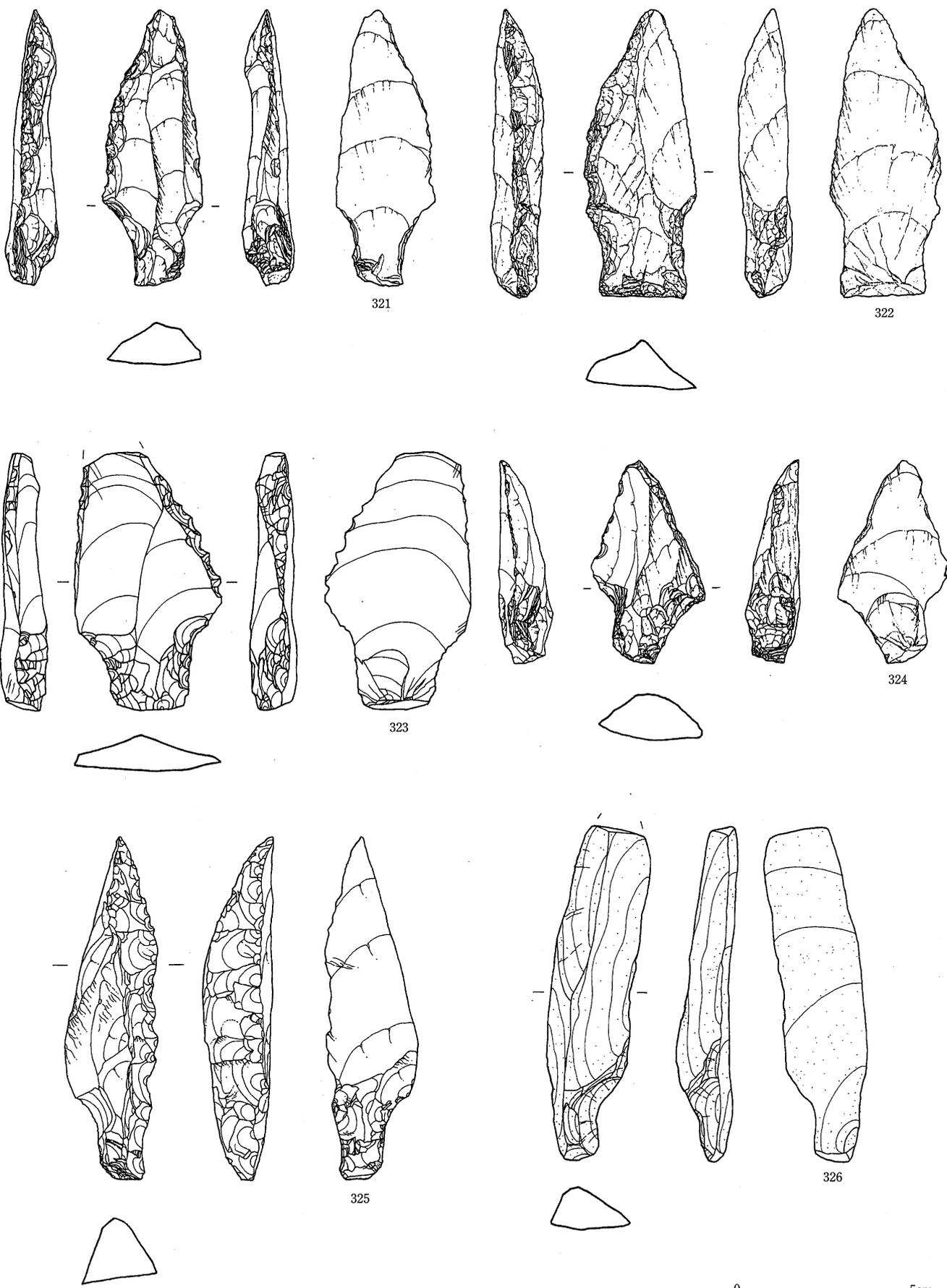
315



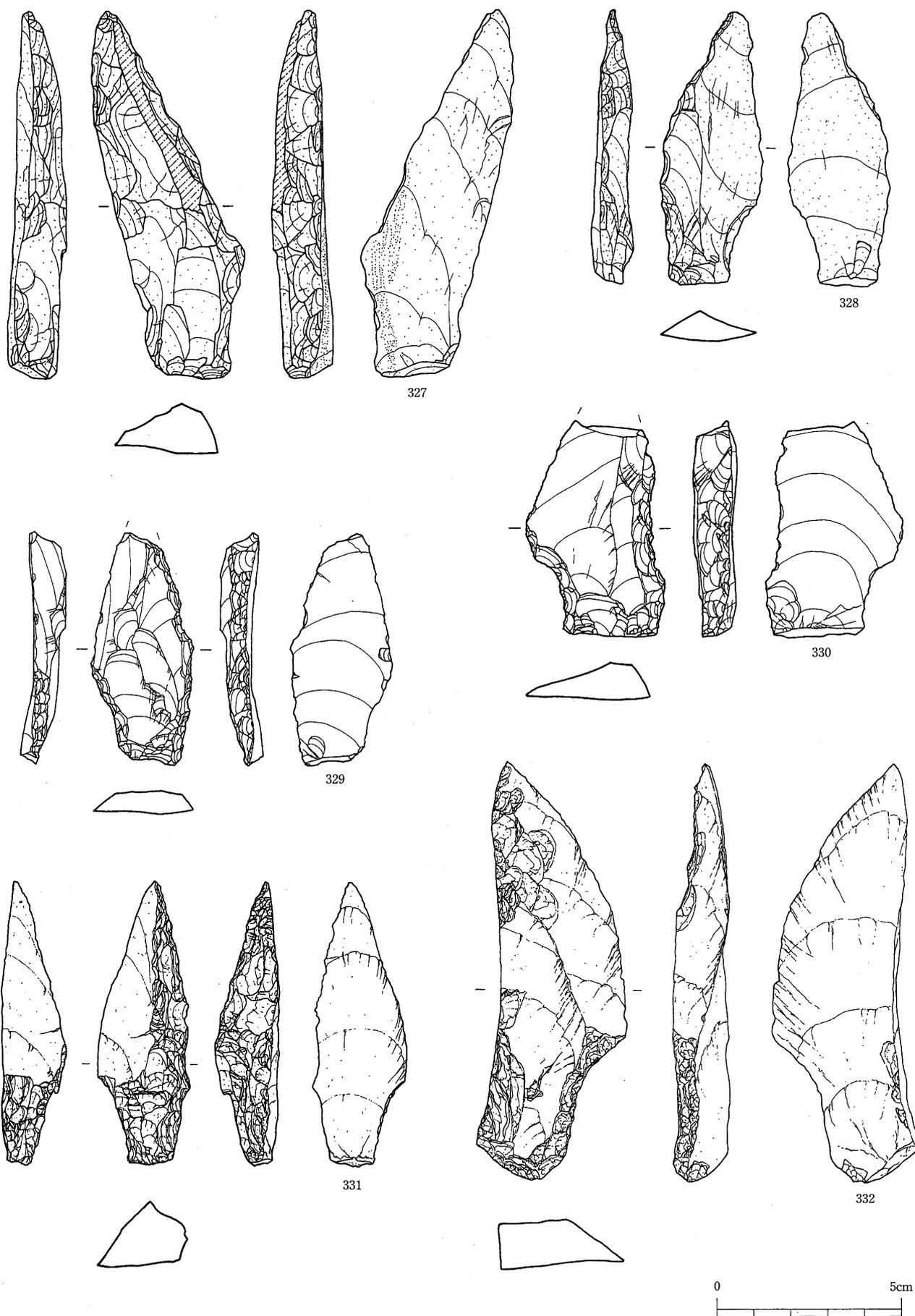
第101图 石器实测图 (剥片尖头器)



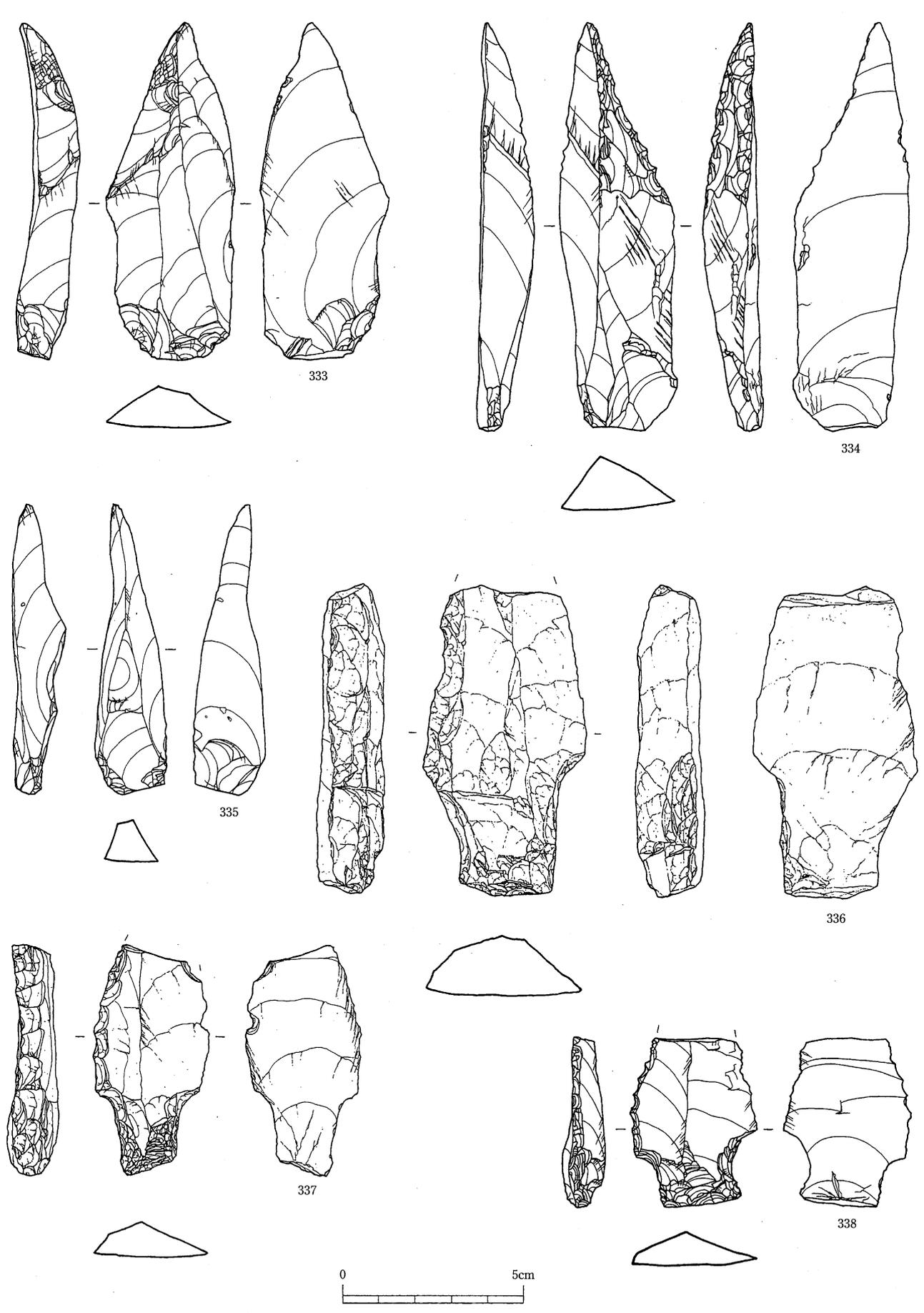
第102图 石器实测图 (剥片尖头器)



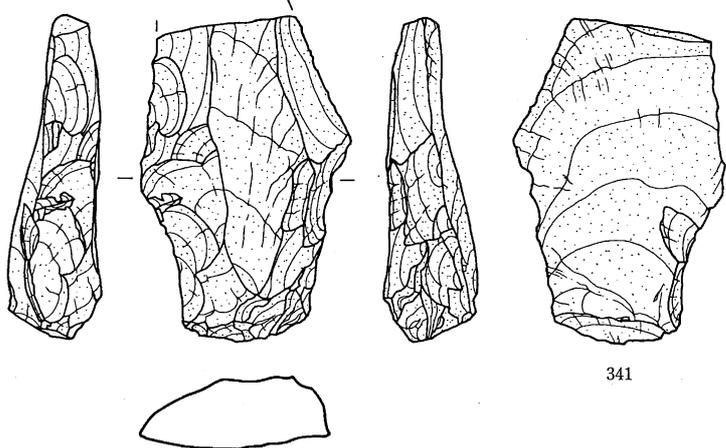
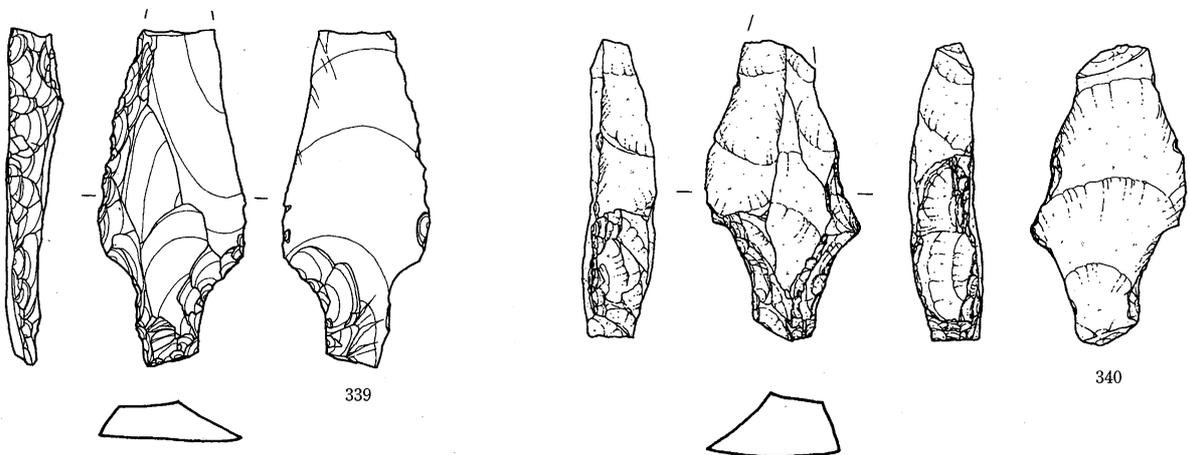
第103図 石器実測図 (剥片尖頭器)



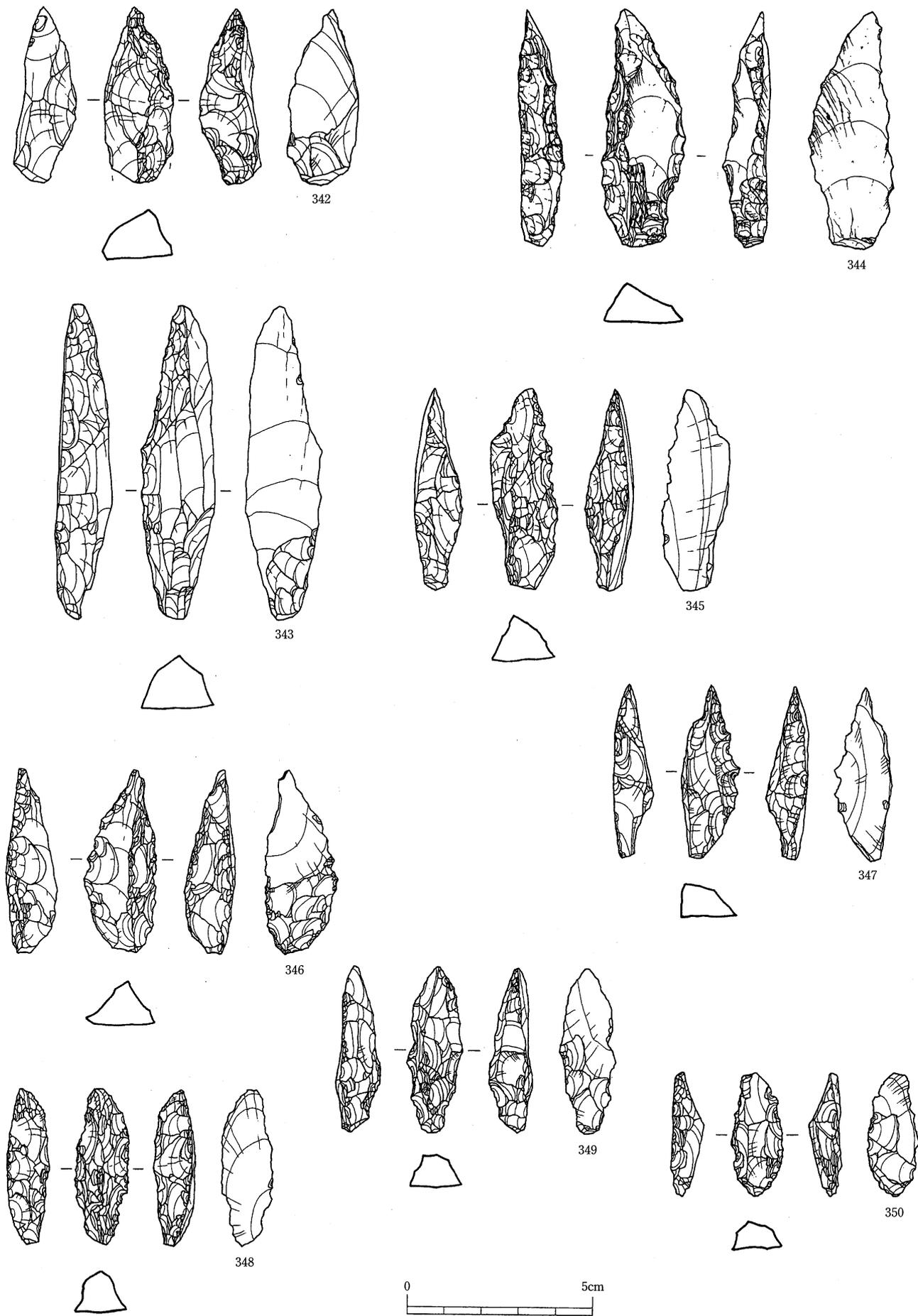
第104图 石器实测图 (剥片尖头器)



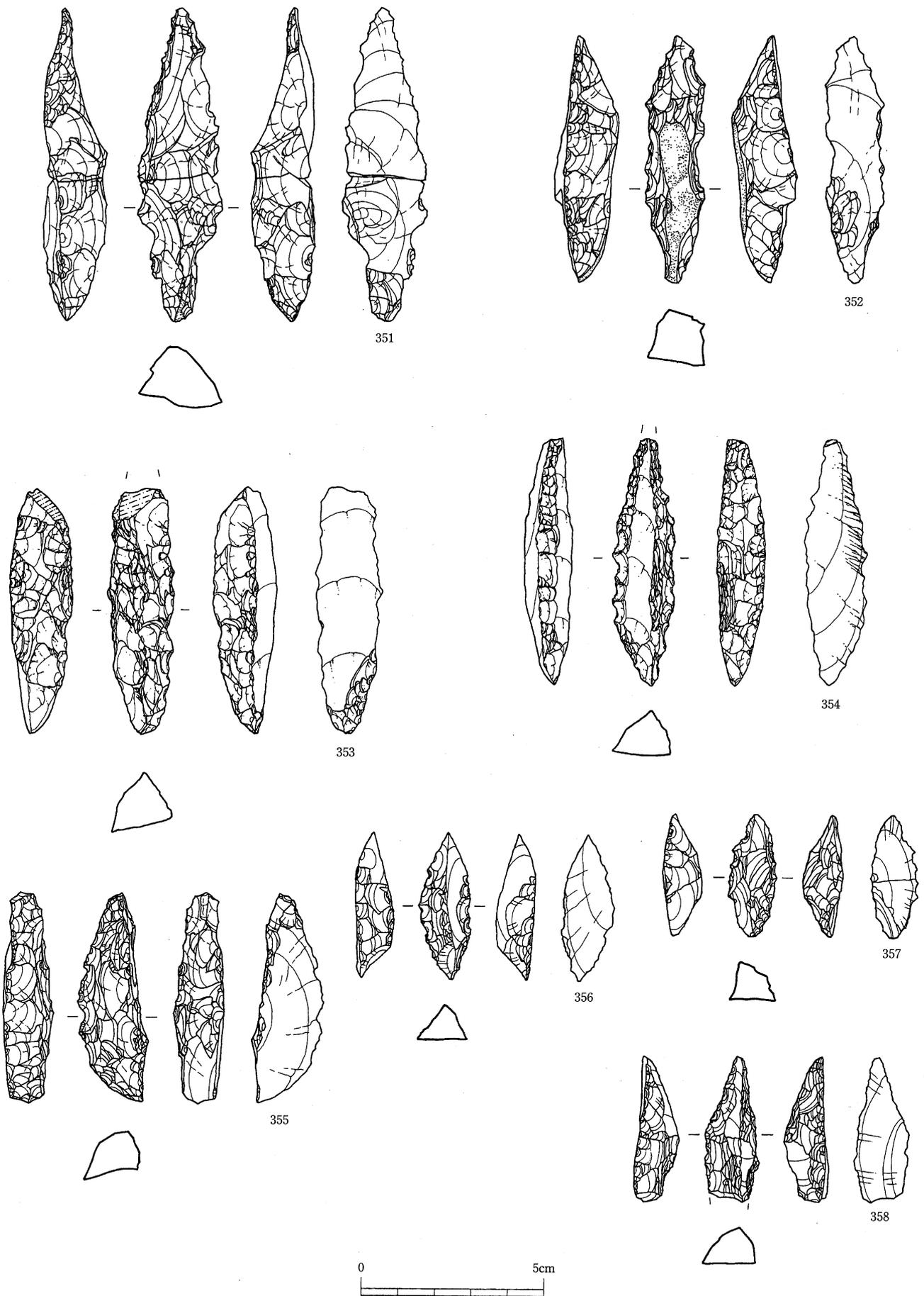
第105图 石器实测图 (剥片尖頭器)



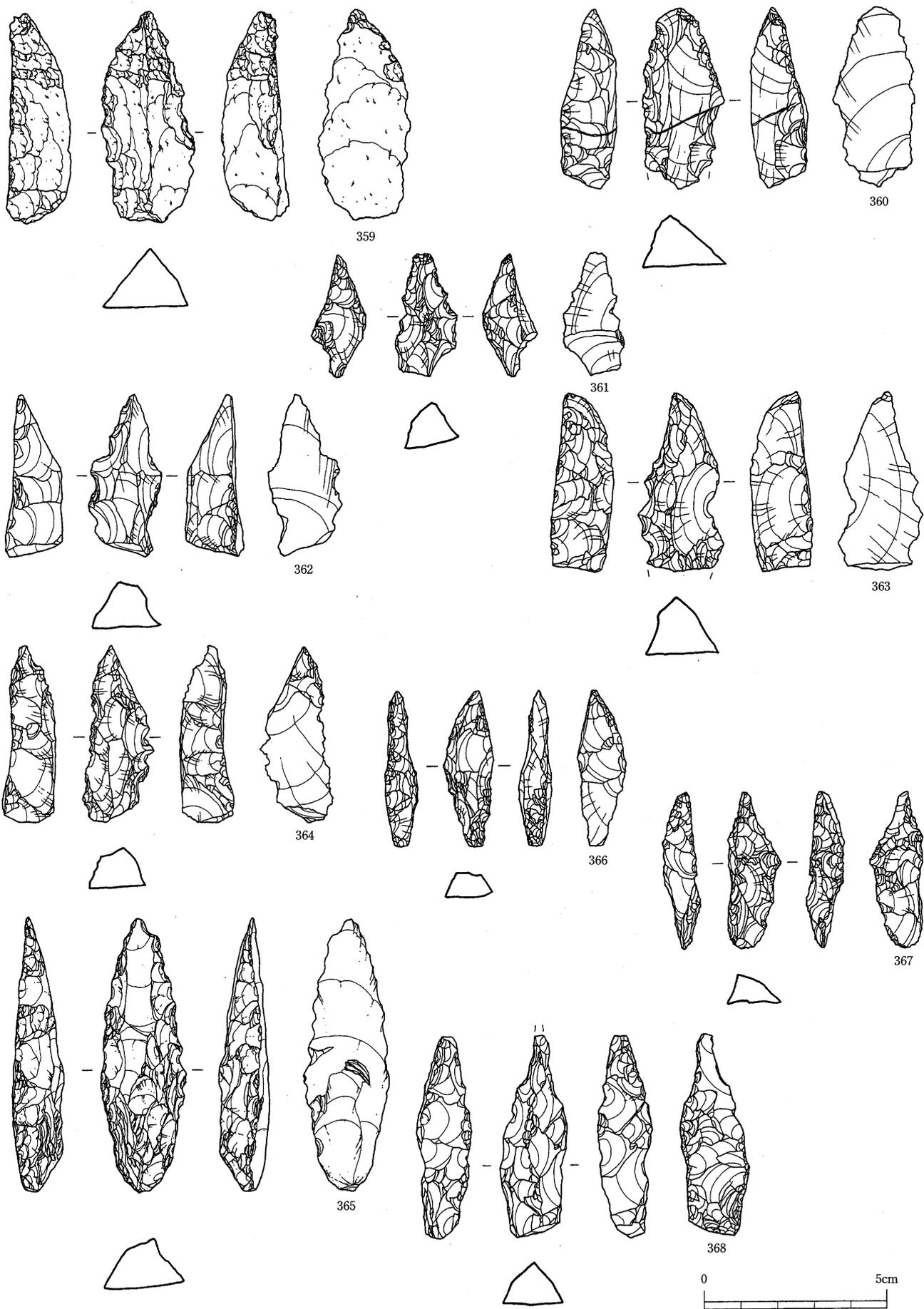
第106图 石器实测图 (剥片尖头器)



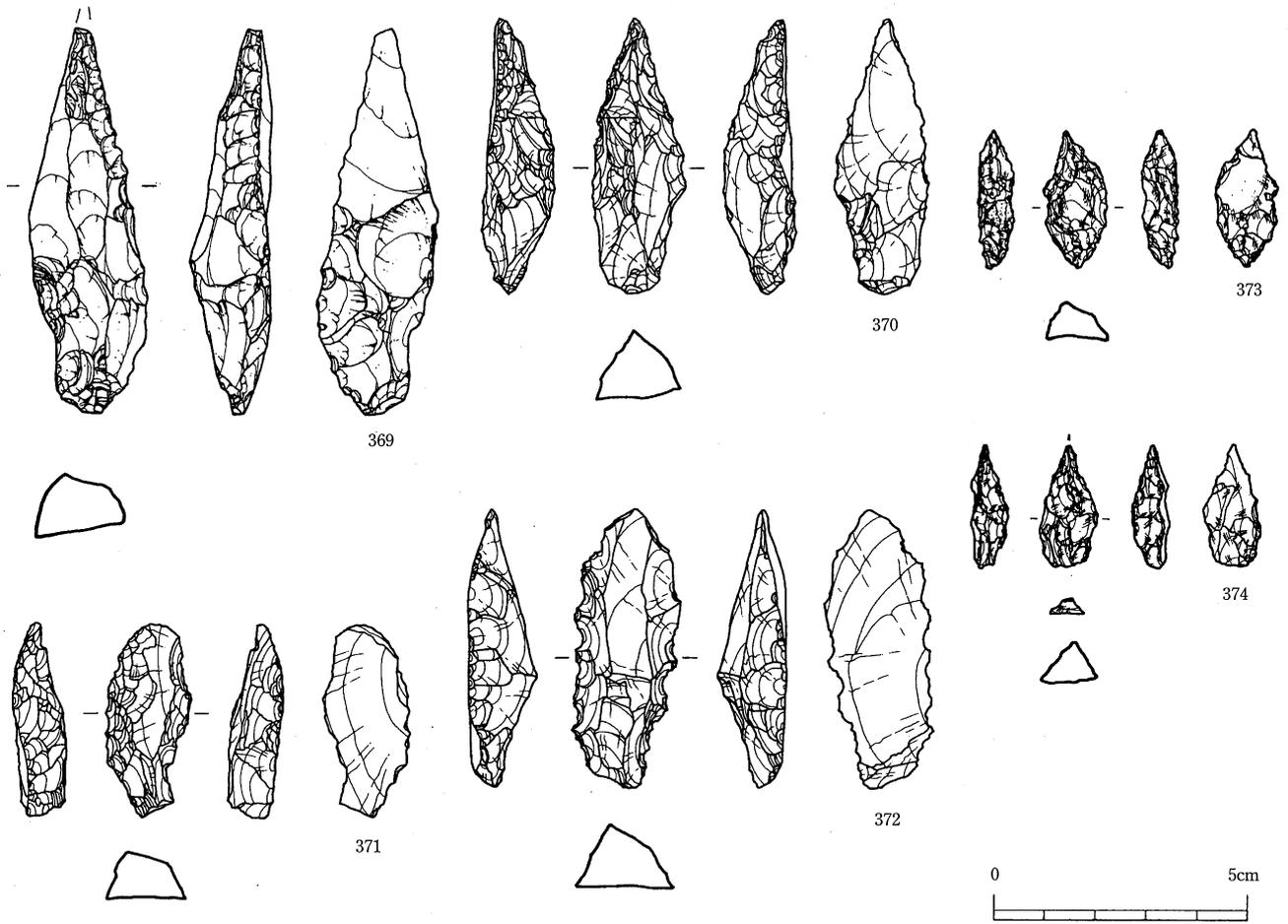
第107图 石器实测图（三稜尖頭器）



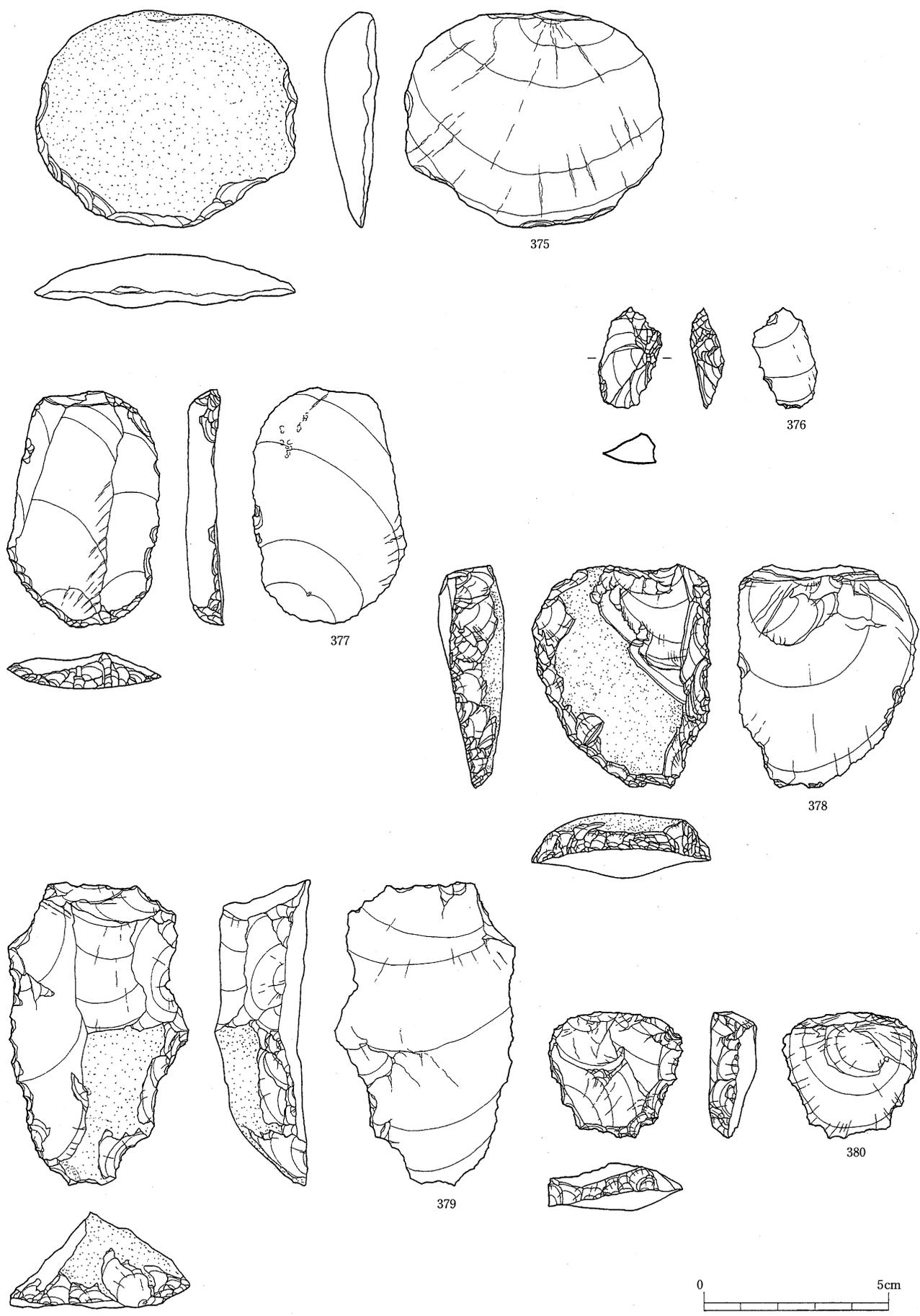
第108图 石器实测图 (三稜尖頭器)



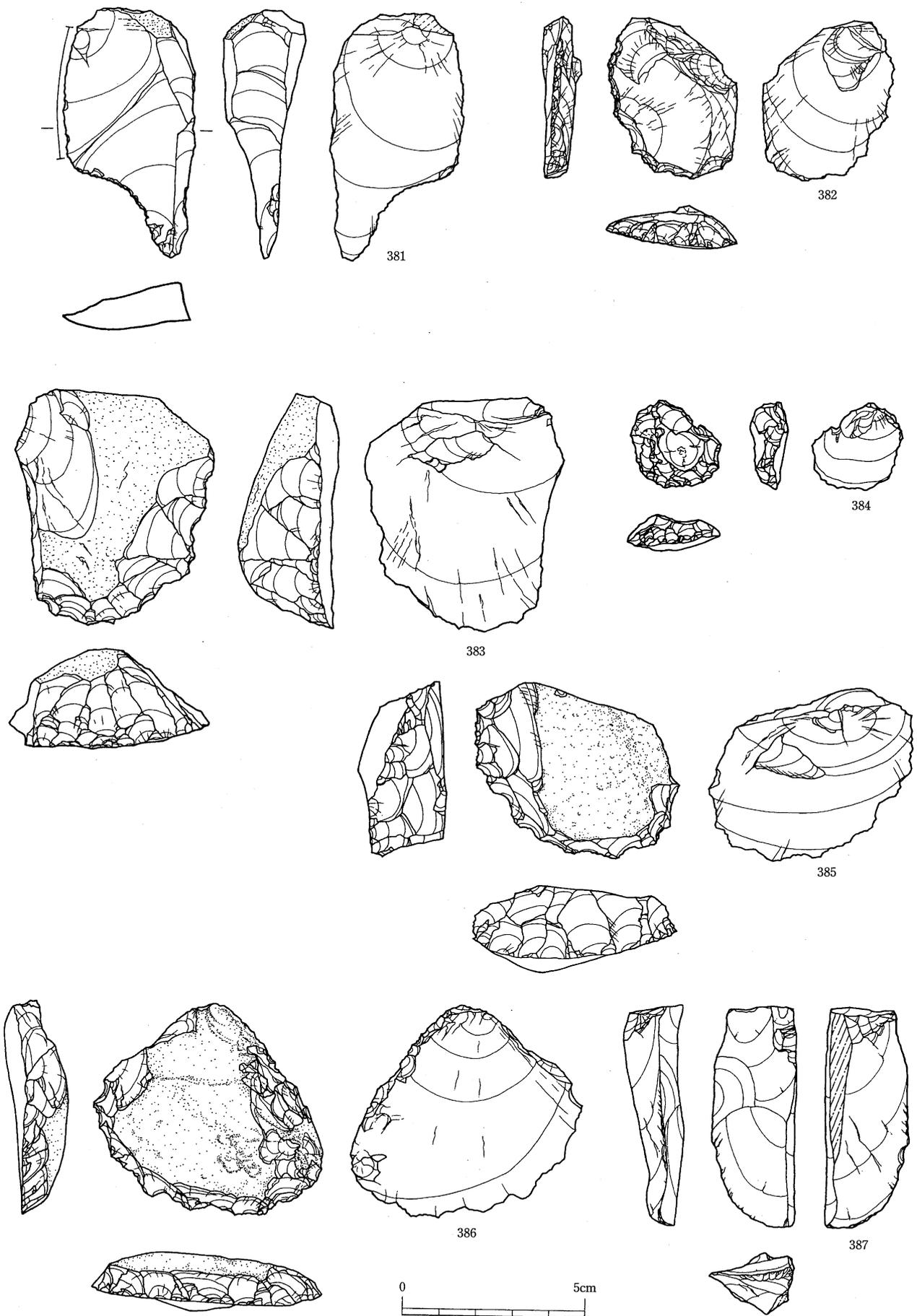
第109图 石器实测图 (三稜尖頭器)



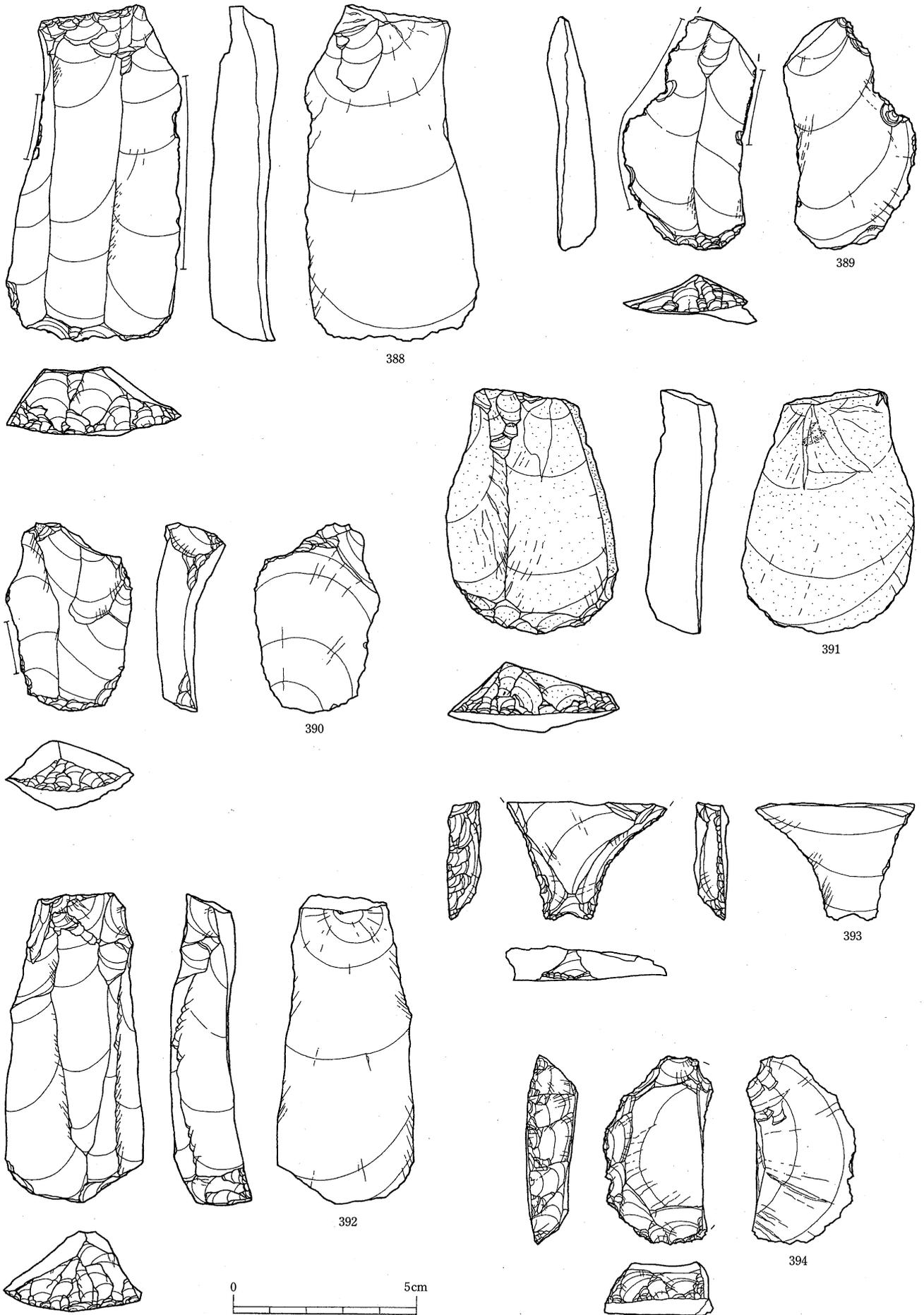
第110图 石器实测图 (三稜尖頭器)



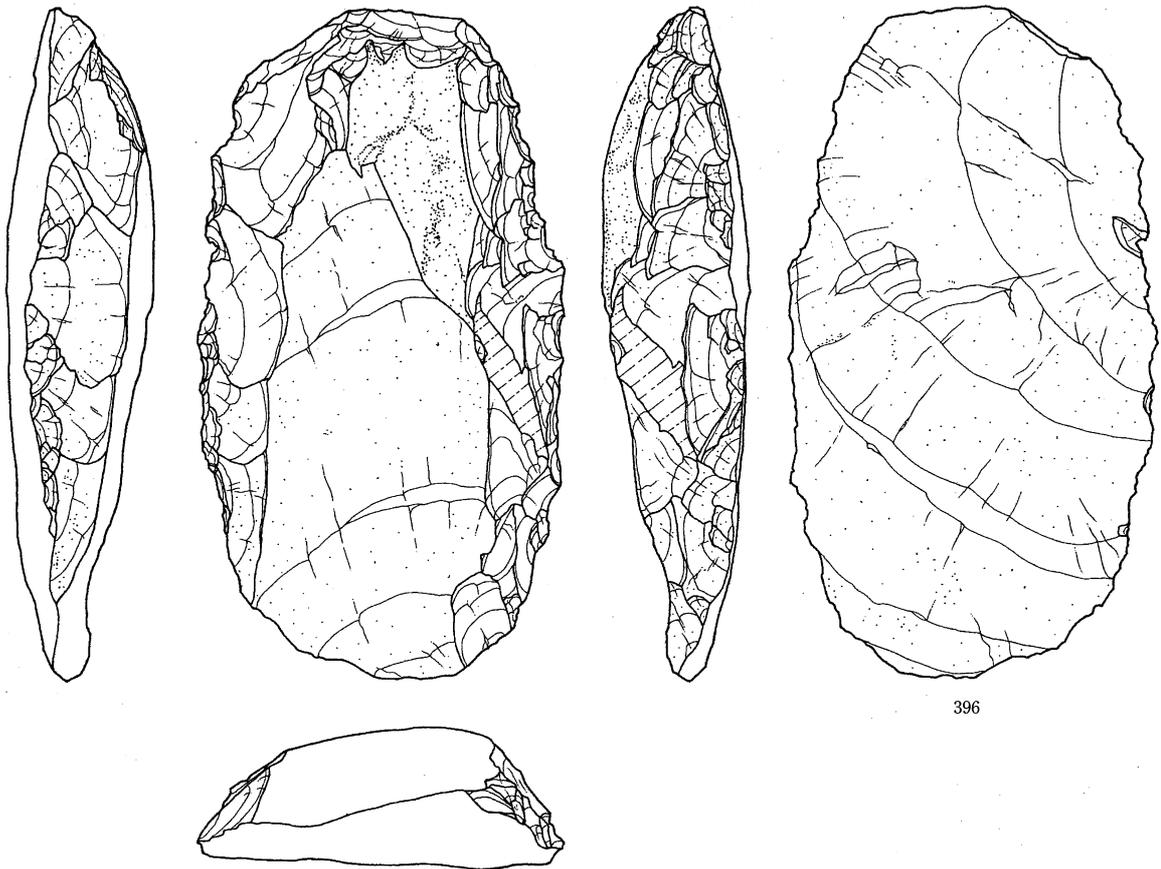
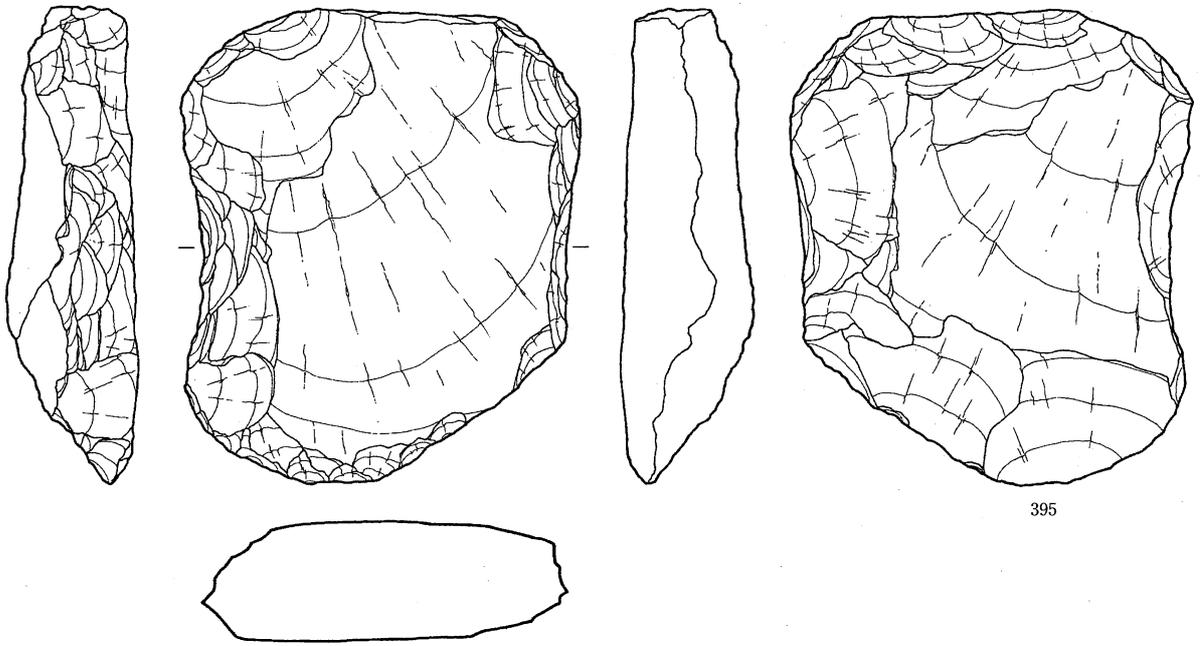
第111图 石器实测图 (搔器)



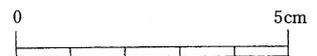
第112图 石器实测图 (搔器)

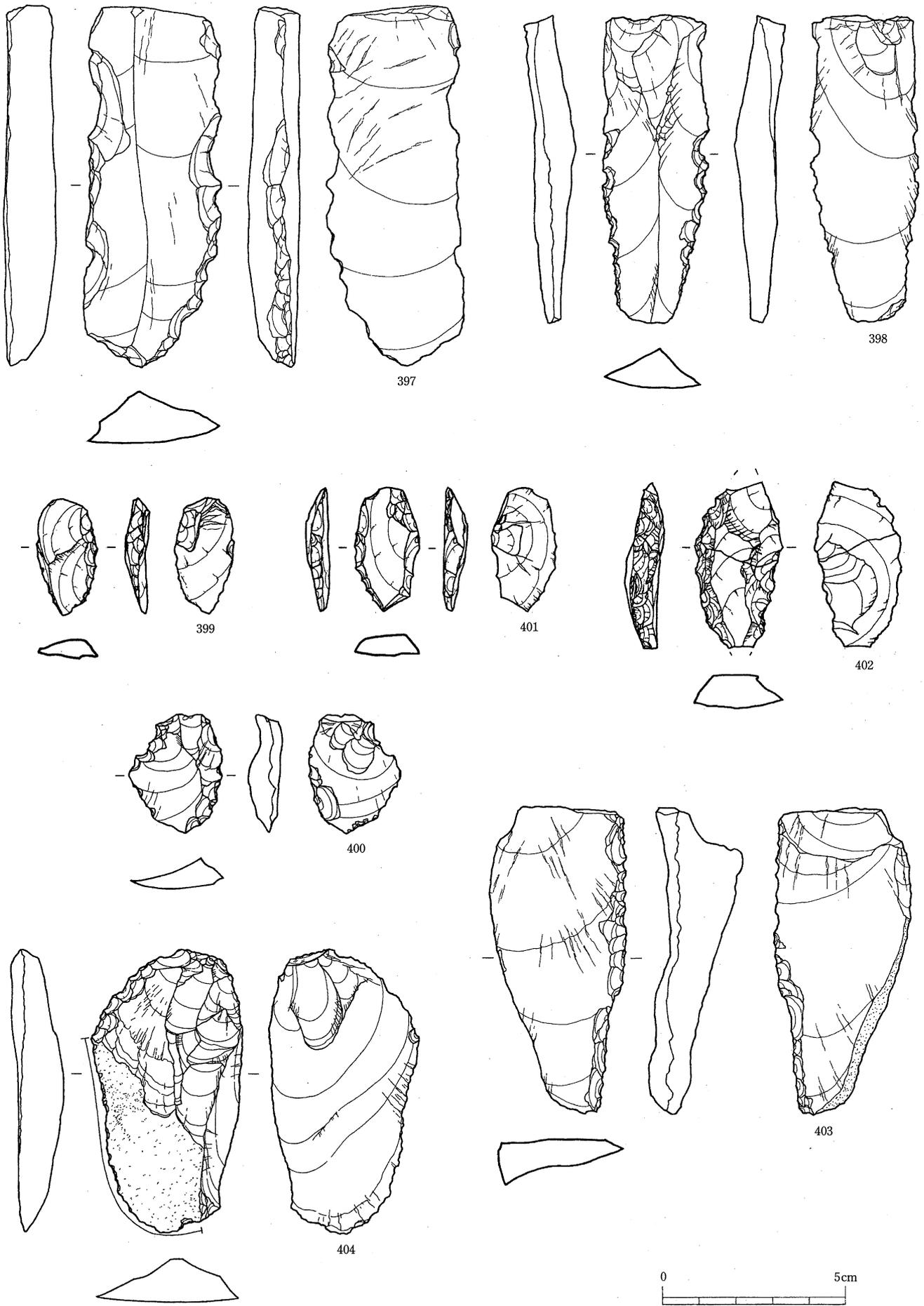


第113图 石器实测图 (搔器)

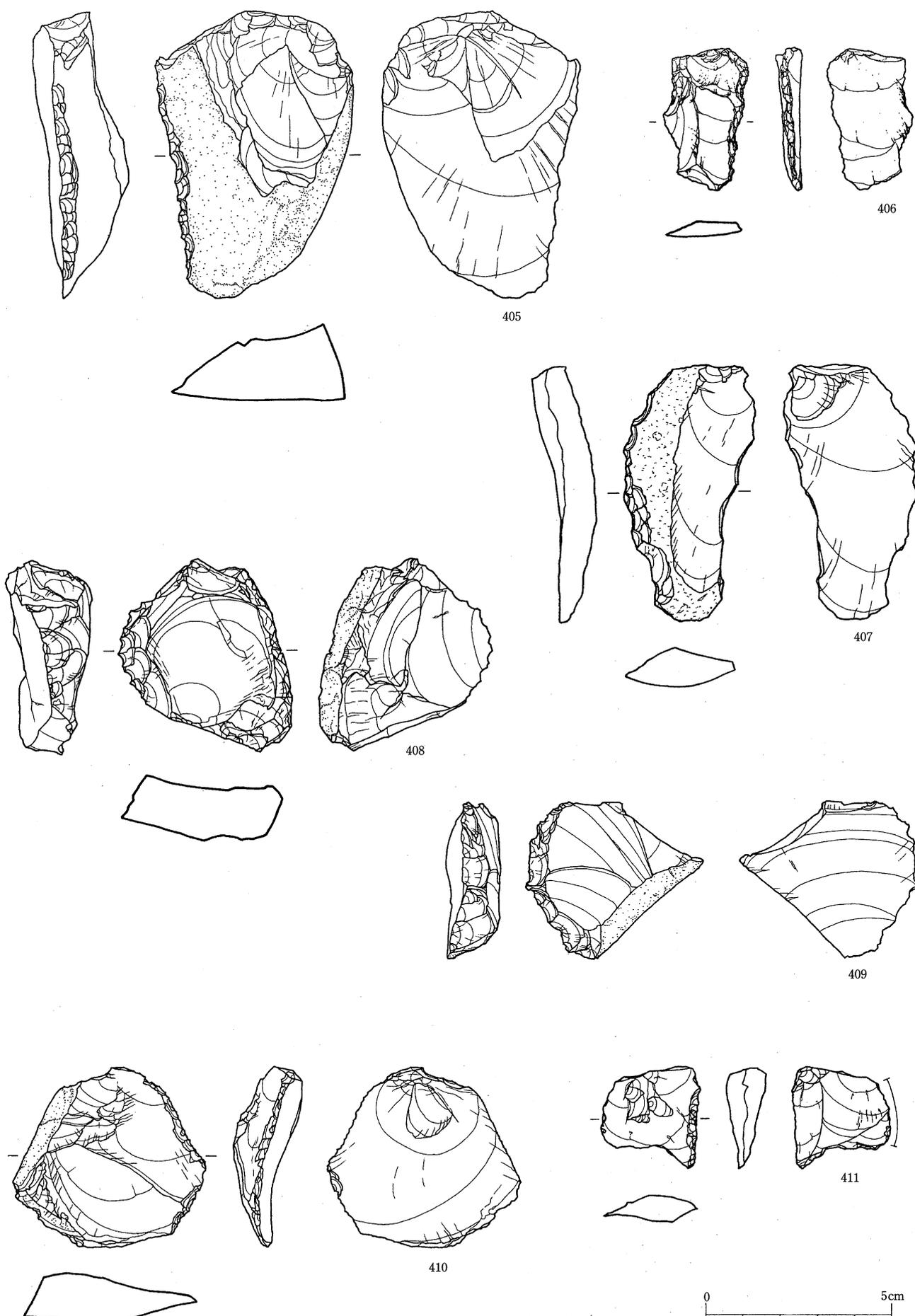


第114图 石器实测图 (削器)



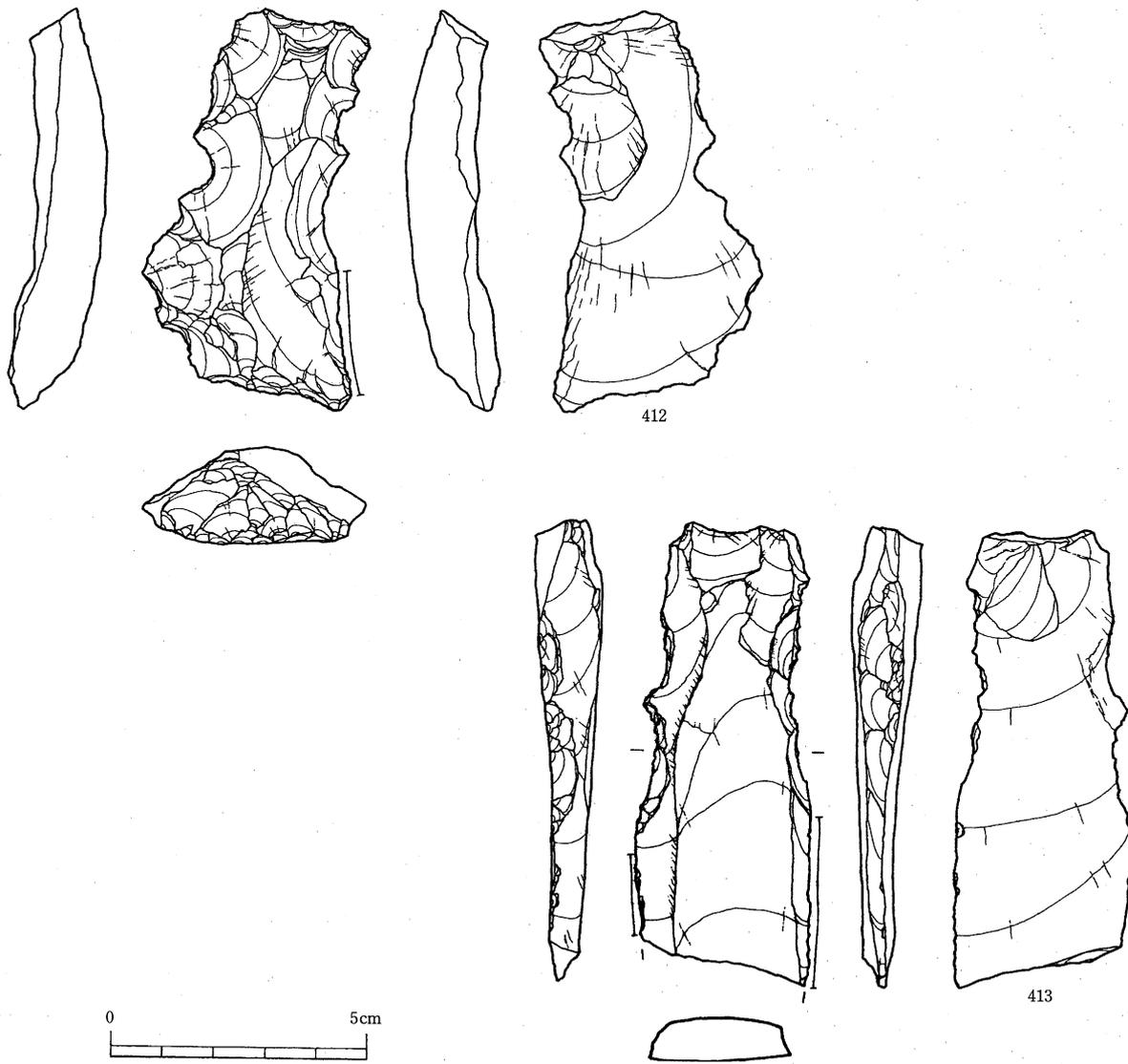


第115图 石器实测图 (削器)

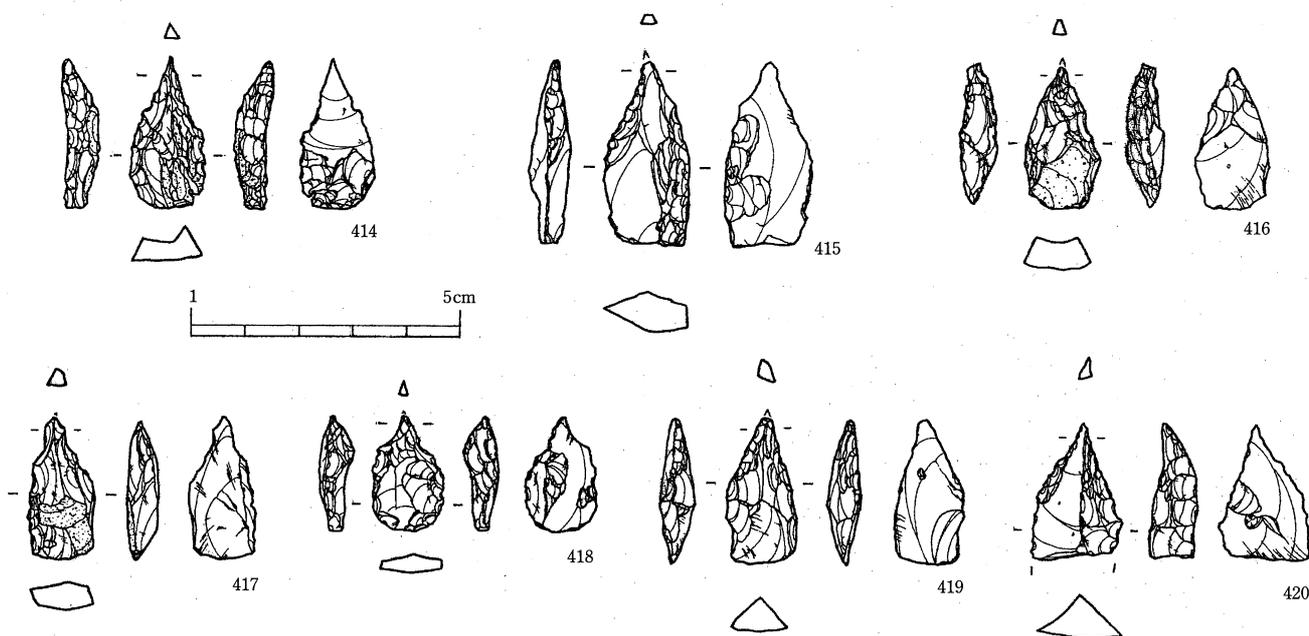


第116图 石器实测图 (削器)

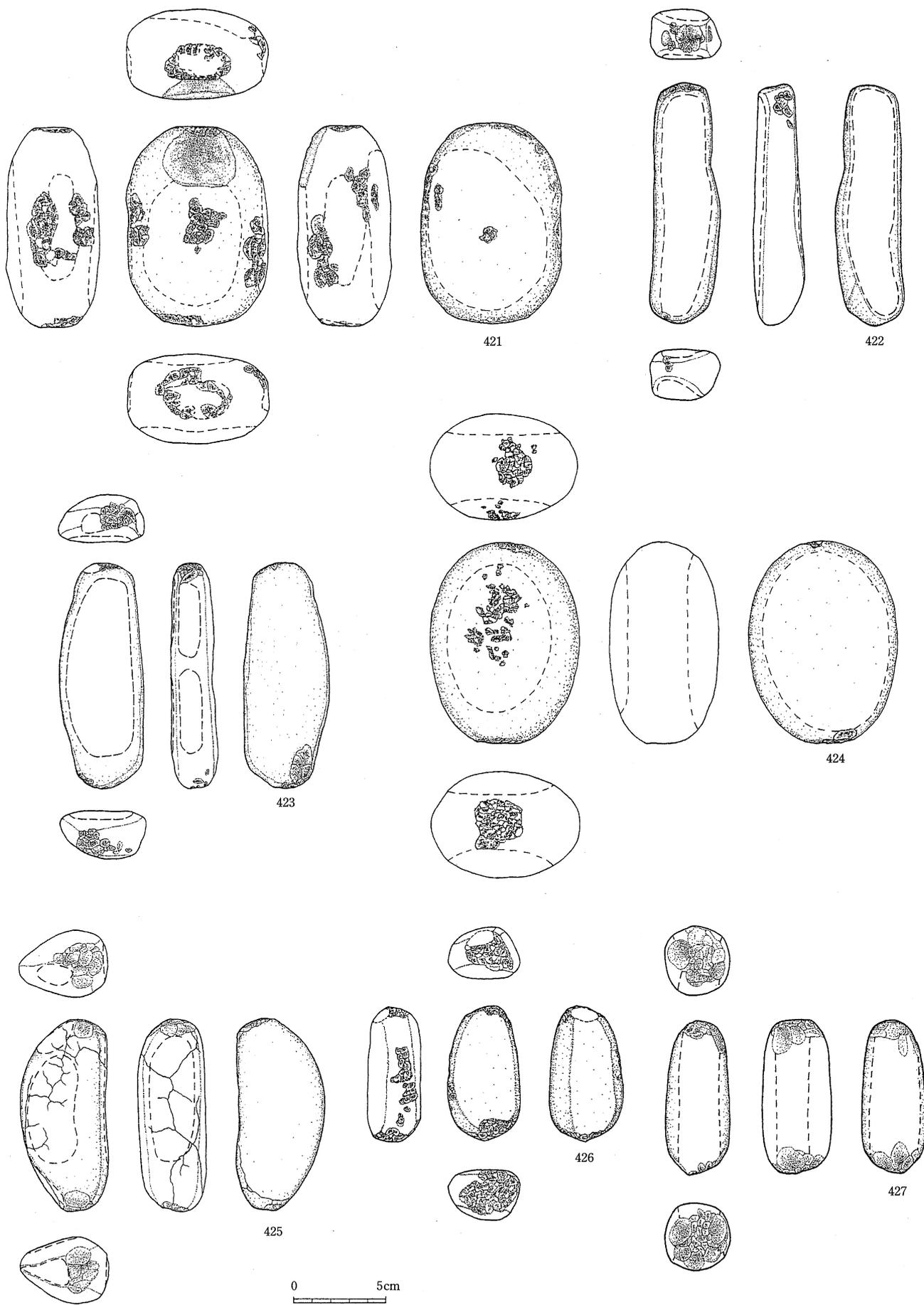
0 5cm



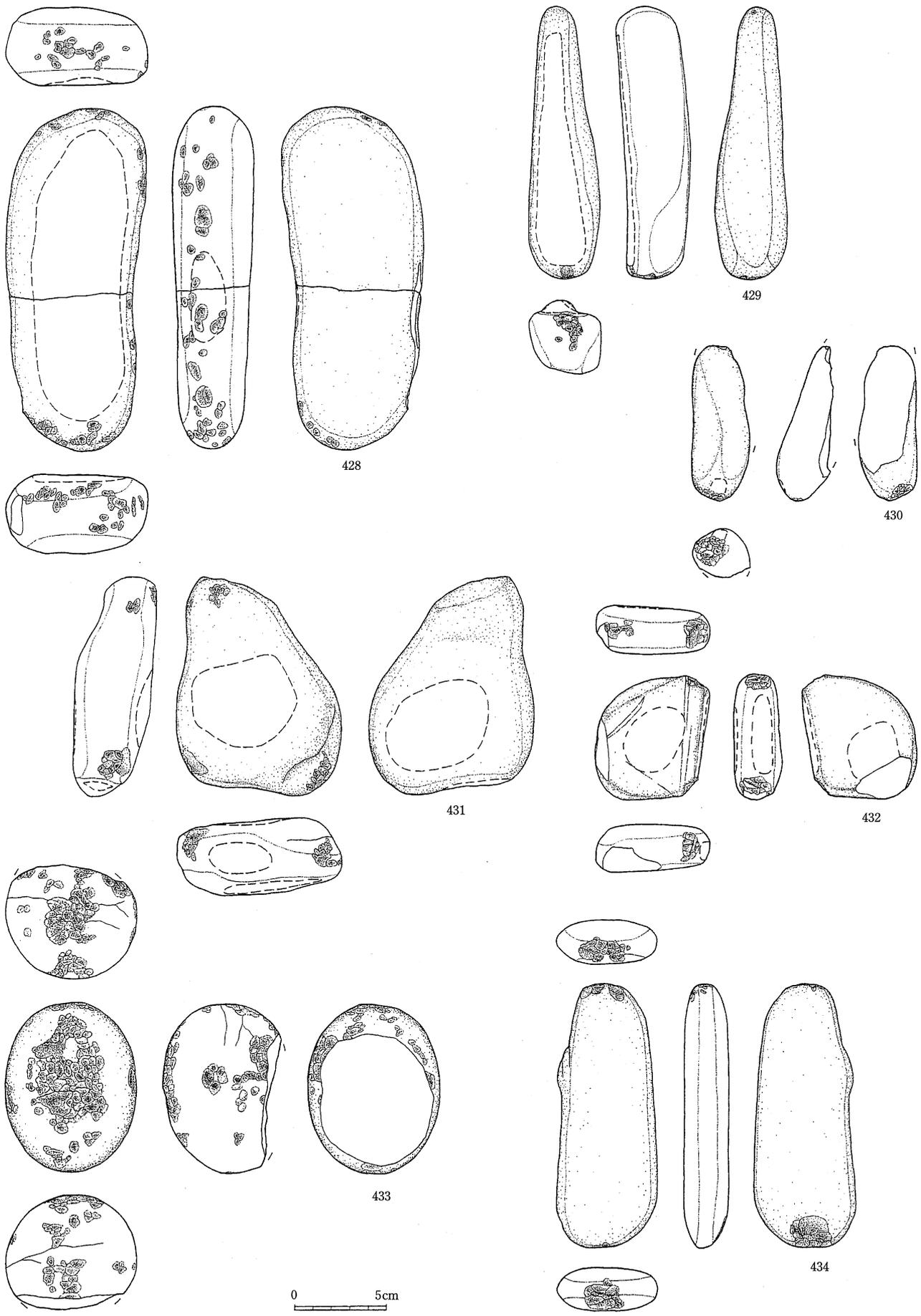
第117图 石器实测图 (石錐)



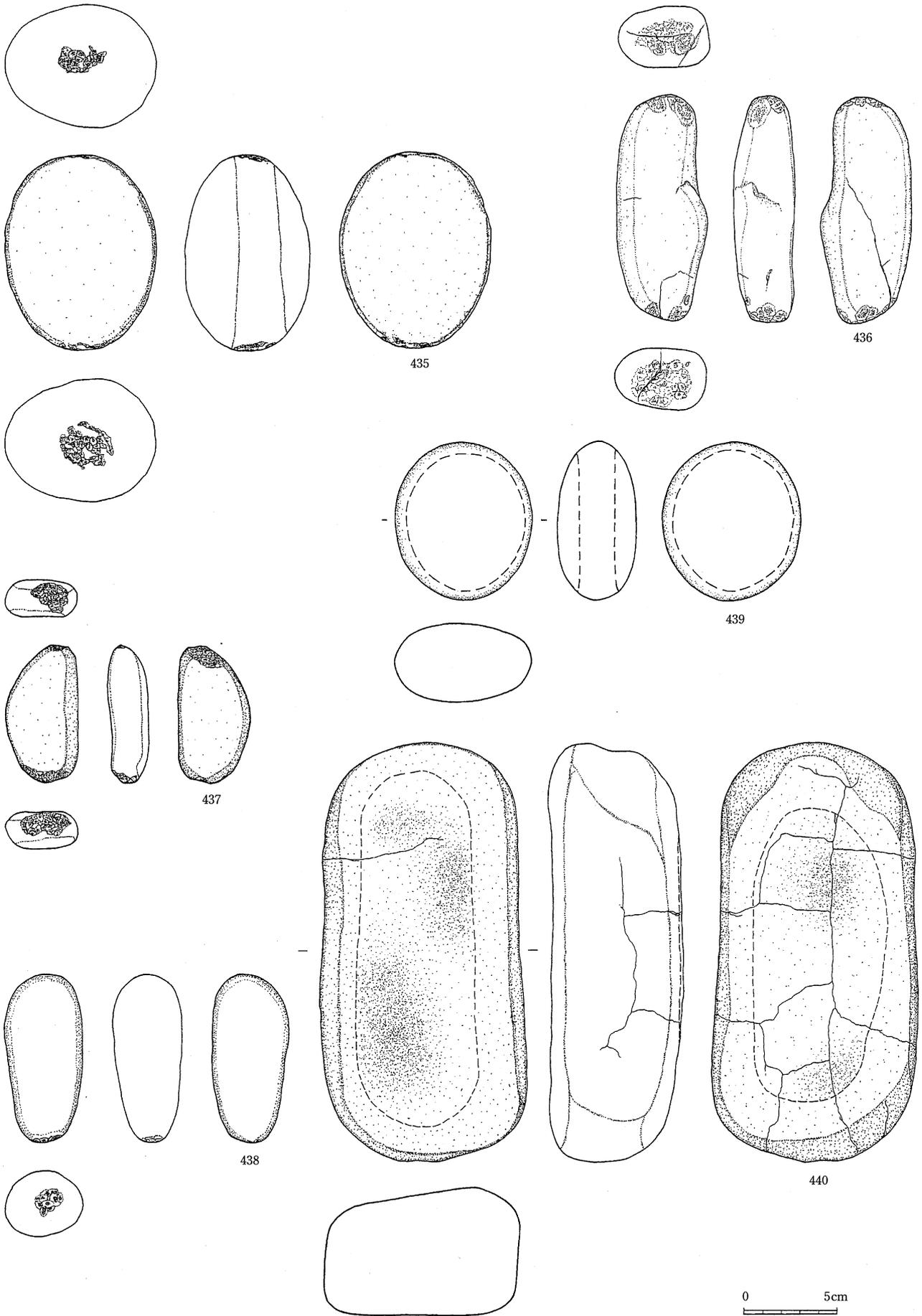
第118图 石器实测图 (石錐)



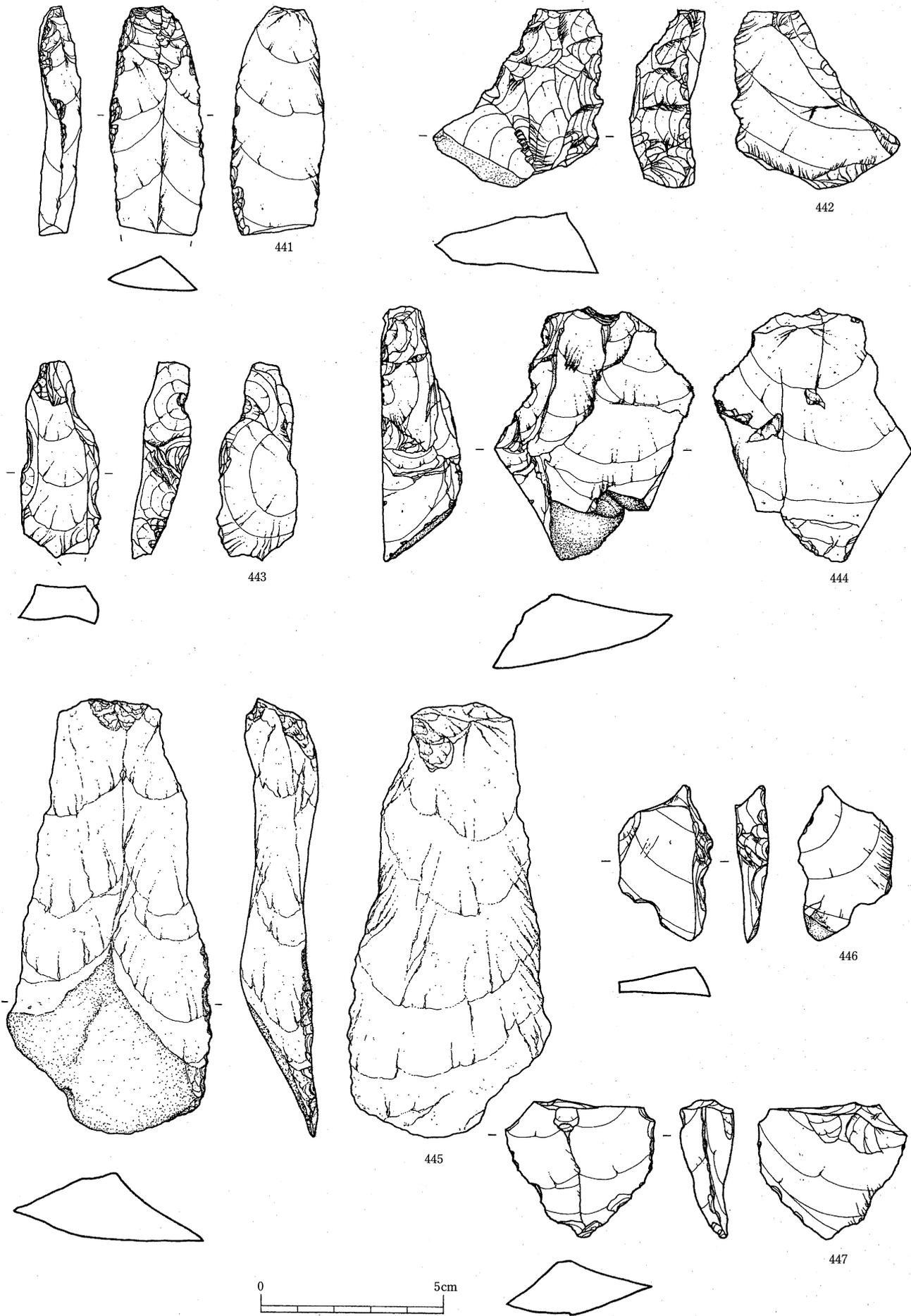
第119図 石器実測図 (敲石兼磨石)



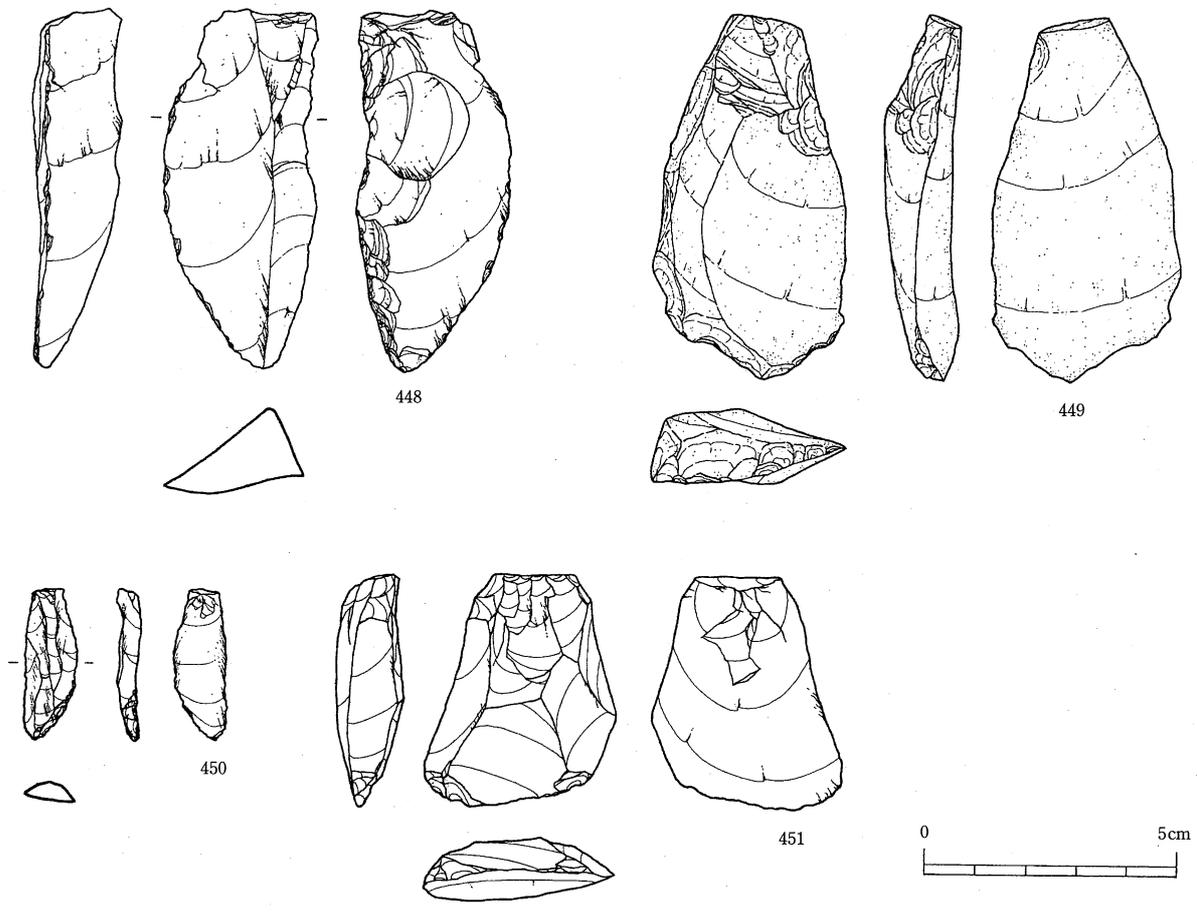
第120图 石器实测图（敲石兼磨石、敲石）



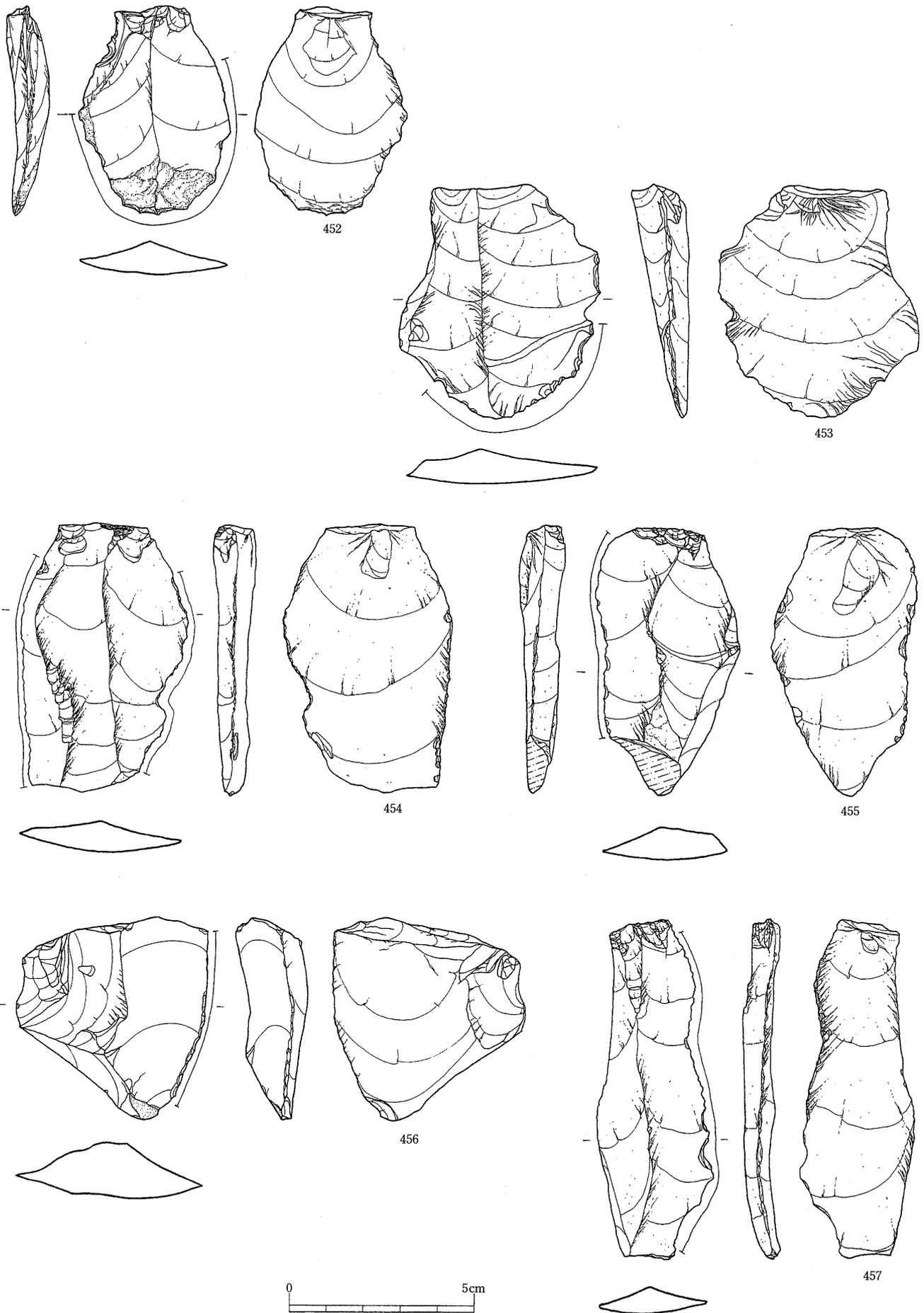
第121图 石器实测图（敲石、磨石、台石）



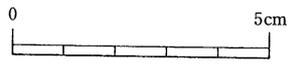
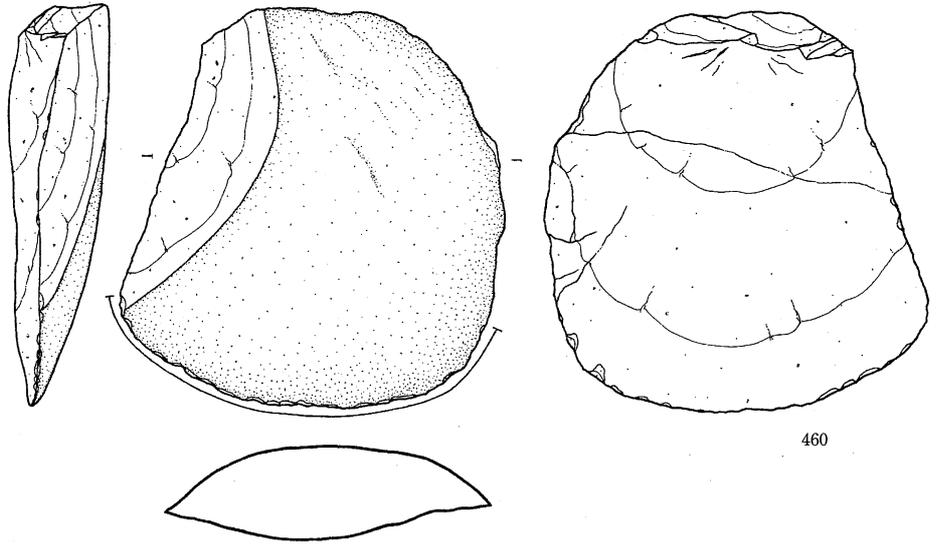
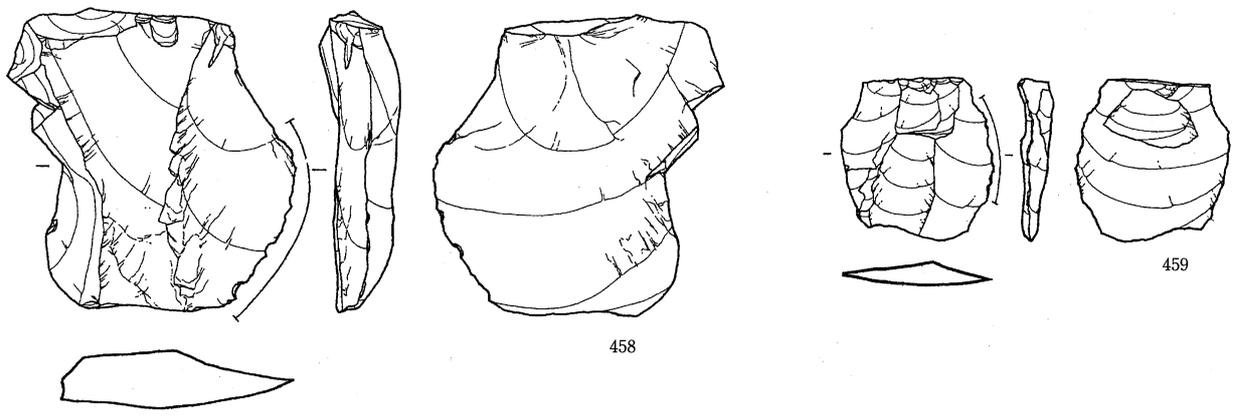
第122図 石器実測図（二次加工のある剥片）



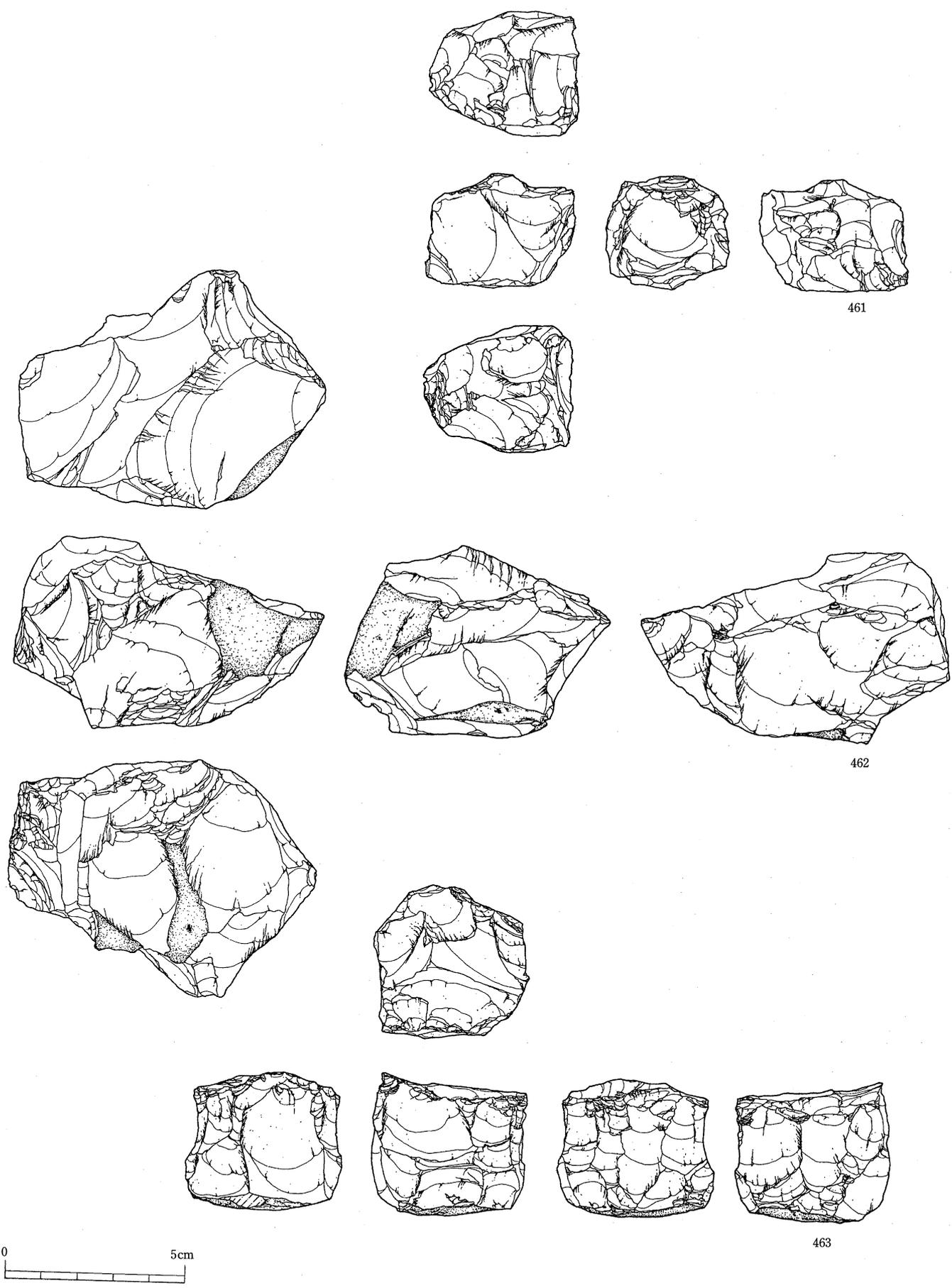
第123図 石器実測図（二次加工のある剥片）



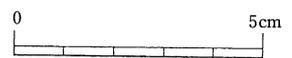
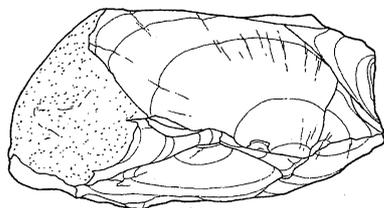
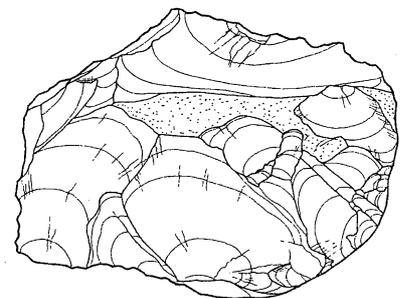
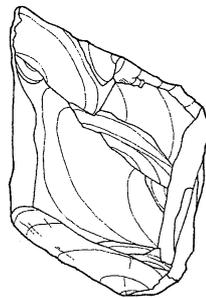
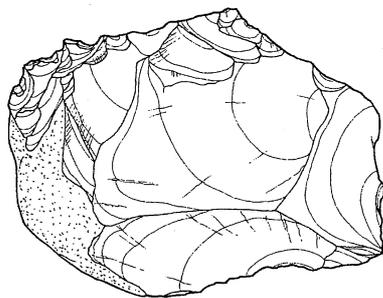
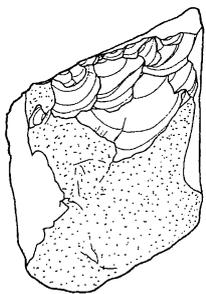
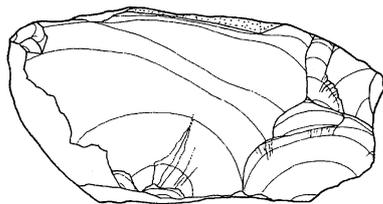
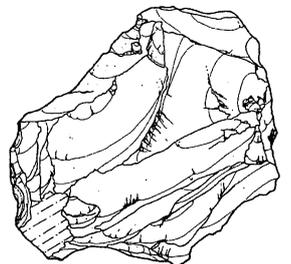
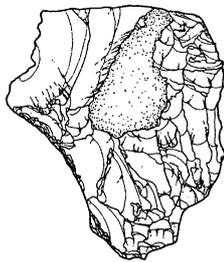
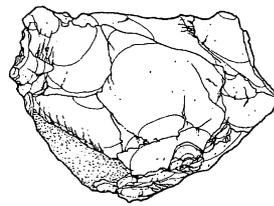
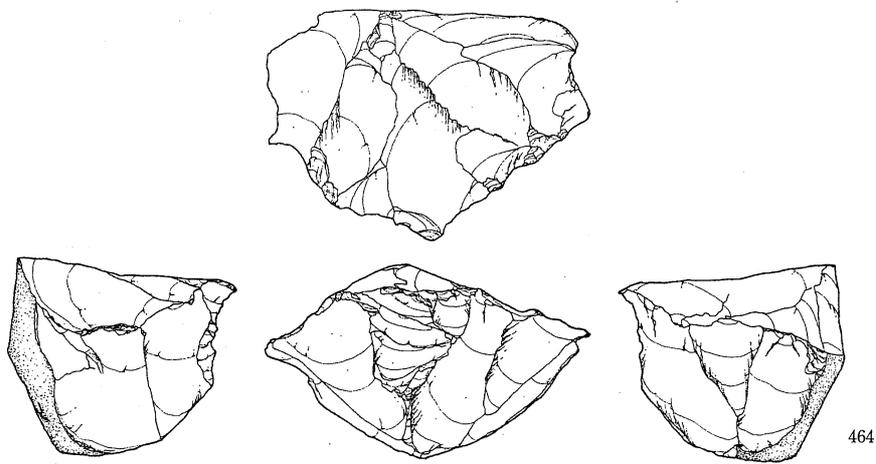
第124図 石器実測図（使用痕のある剥片）



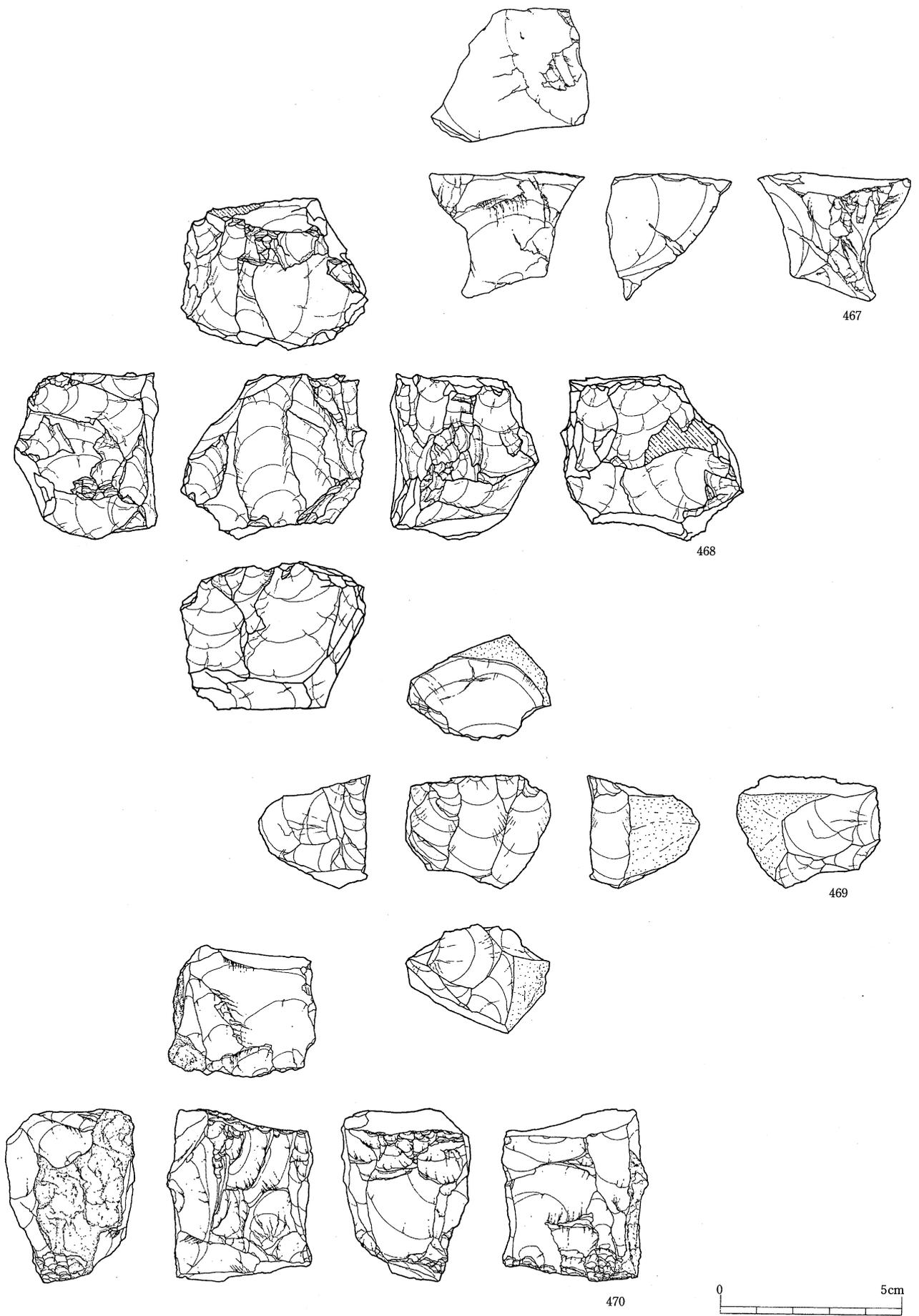
第125図 石器実測図（使用痕のある剥片）



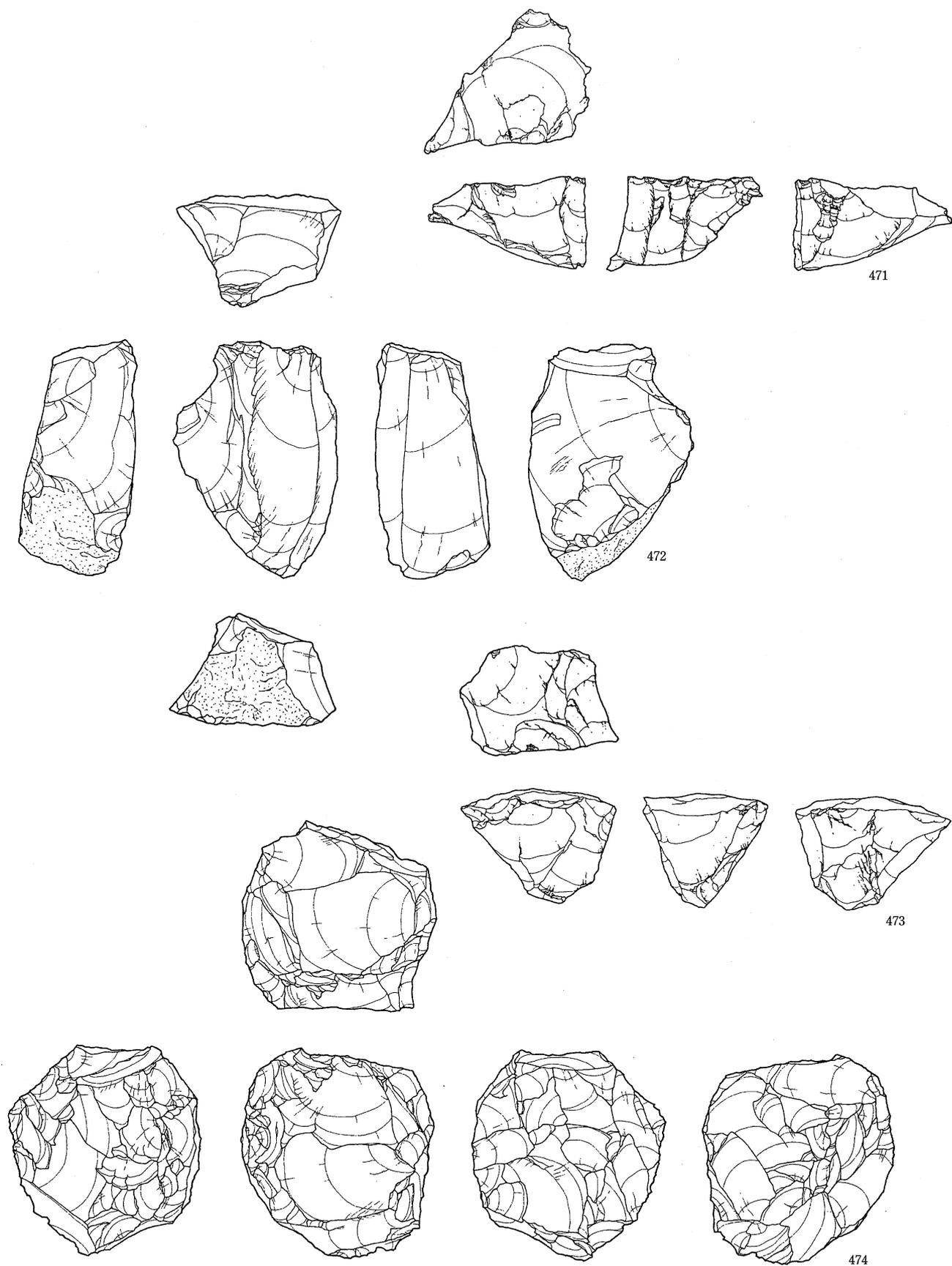
第126图 石器实测图 (石核)



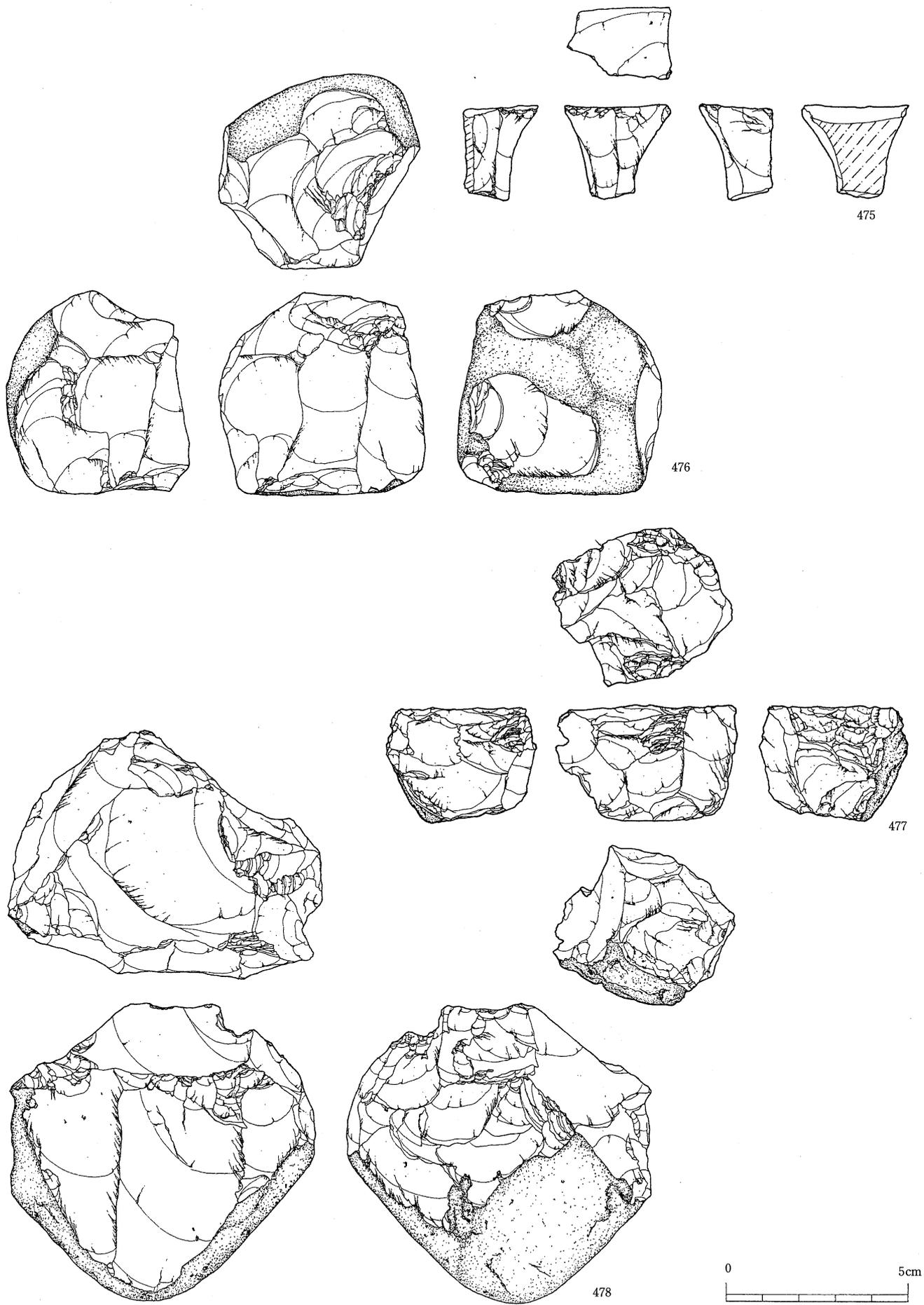
第127图 石器实测图 (石核)



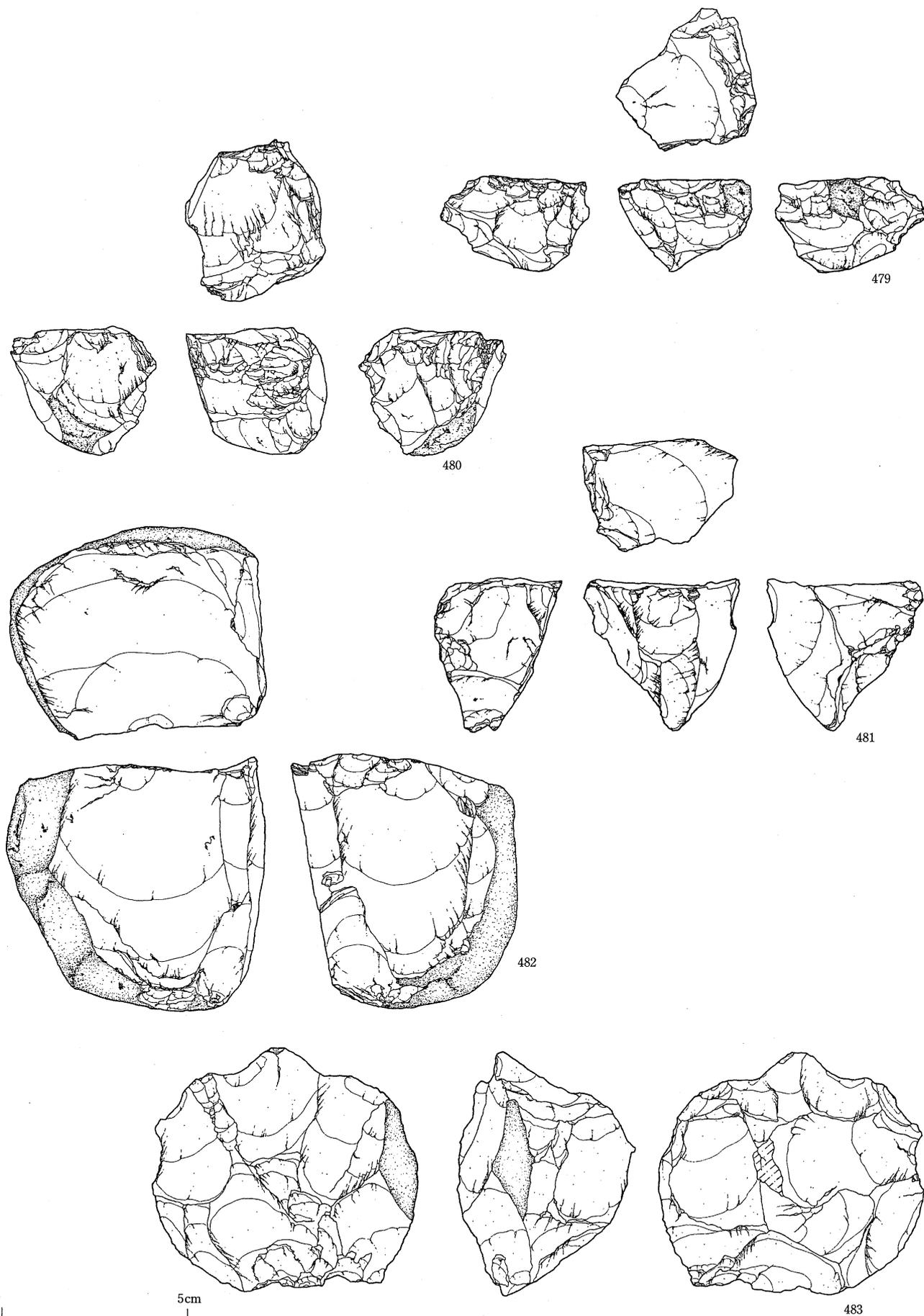
第128图 石器实测图 (石核)



第129图 石器实测图 (石核)



第130图 石器实测图 (石核)



第131图 石器实测图 (石核)

表8 石器計測表(1)

接合個体	図No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	ブロック	注記
1	26	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩 g	5.18	7.58	2.38	73.10	12	1450
1	27	剥片				C	VI	H・3	流紋岩 g	6.96	5.20	3.40	95.70	12	408
1	28	石核	-	-	-	C	VIII	H・3	流紋岩 g	8.78	7.50	2.25	139.10		3134
1	29	剥片				C	SI13	G・3	流紋岩 g	6.15	6.02	2.30	86.40		SI13④
1	30	剥片				C	VIII	G・3	流紋岩 g	5.15	6.52	2.20	85.90		1390
1	31	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩 g	7.20	6.20	2.58	105.50	12	1335
1	32	剥片				C			流紋岩 g	4.75	3.05	2.69	23.20		
1	33	剥片				C	VIII	G・3	流紋岩 g	4.80	5.75	2.45	60.20	12	1301
1	34	剥片				C	VIII	G・3	流紋岩 g	8.60	2.25	2.10	34.20	12	3136
1	35	剥片				C	VIII	G・3	流紋岩 g	4.10	2.85	1.78	16.70	12	3140
1	36	剥片				C	VIII	G・3	流紋岩 g	2.00	2.98	0.96	6.60	12	1305-2
1	37	剥片				C	VIII	G・3	流紋岩 g	6.58	3.60	2.32	55.00	12	1305-1
1	38	使用痕剥片	-	-	-	C	VI	H・3	流紋岩 g	7.70	3.25	1.45	33.40	12	301
1	39	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩 g	7.70	7.00	3.60	178.50	12	1308
1	40	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩 g	5.58	2.95	3.80	22.80		1475
1	41	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩 g	6.15	3.10	3.15	25.80	12	3155
1	42	使用痕剥片	-	-	-	C	VI	H・3	流紋岩 g	5.92	2.67	2.80	30.30	13	424
1	43	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩 g	5.80	5.28	2.42	64.70	12	3148
1	44	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩 g	8.68	6.70	3.75	155.30	12	1327
1	45	使用痕剥片	-	-	-	C	VI	G・3	流紋岩 g	4.60	4.30	1.55	24.70	12	508
1	46	剥片				C	VI	H・3	流紋岩 g	3.10	3.72	1.55	11.50	12	263
1	47	剥片				C	VI	H・3	流紋岩 g	4.08	4.72	1.86	26.90	12	439
1	48	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩 g	6.36	5.98	3.80	149.90		1379
1	49	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩 g	2.40	7.70	3.30	45.60	12	3159
1	50	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩 g	4.28	3.30	2.69	25.90	12	3195
1	51	剥片				C	VI	H・3	流紋岩 g	4.91	2.63	1.90	19.80	12	450
1	52	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩 g	4.45	3.02	2.47	16.30	12	1449
1	53	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩 g	6.05	3.73	2.05	35.50	12	3143
1	54	剥片				C	VIII	G・3	流紋岩 g	3.60	3.80	1.62	26.70	12	1338
2	55	剥片				C	SI13	G・3	流紋岩 g	8.30	4.20	3.92	82.40		SI13⑥
2	56	剥片				C	VI	H・3	流紋岩 g	6.02	3.88	1.95	31.00	12	265
5	57	剥片				B	IX	B・16	流紋岩 b	6.62	3.38	1.75	26.40	19	40
5	58	ナイフ形石器	I	A	②	B	IX	B・17	流紋岩 b	3.00	1.70	0.80	2.90		132
5	59	ナイフ形石器	II	B	①	B	VIII	B・16	流紋岩 b	3.30	2.10	1.05	4.70	20	668
5	60	剥片				B	IX	B・17	流紋岩 b	3.86	3.28	1.53	5.00	20	196
5	61	剥片				B	VIII	B・16	流紋岩 b	3.95	3.75	1.30	13.90	20	793
5	62	剥片				B	IX	B・16	流紋岩 b	6.05	4.90	2.25	32.60	20	123
5	63	剥片				B	IX	B・17	流紋岩 b	3.15	3.00	1.20	5.80	20	194
5	64	剥片				B	VIII	B・17	流紋岩 b	3.75	4.22	1.65	18.60		669
5	65	剥片				B	X	B・17	流紋岩 b	4.10	4.28	1.40	14.50	20	4
5	66	剥片				B	VIII	B・17	流紋岩 b	3.45	2.05	0.88	3.70	20	680
5	67	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩 b	2.95	3.50	0.90	6.10	20	794
5	68	石核	-	-	-	B	IX	B・17	流紋岩 b	7.30	7.25	3.00	104.90	20	198
6	69	剥片				B	VIII	B・16	流紋岩 c	3.60	3.10	1.95	14.30	18	95
6	70	剥片				B	VIII	B・16	流紋岩 c	2.86	2.50	1.45	7.40	18	80
6	71	石核	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩 c	4.20	4.40	3.40	63.20	18	164
7	72	剥片				B	VIII	C・15	流紋岩 b	4.90	6.29	1.80	29.80		755
7	73	剥片				B	VIII	B・16	流紋岩 b	3.10	3.19	0.97	7.80	20	549
7	74	剥片				B	IX	B・17	流紋岩 b	2.75	3.70	1.70	15.50		131
7	75	剥片				B	VIII	B・17	流紋岩 b	5.10	3.70	1.60	28.40	20	674

表9 石器計測表(2)

7	76	ナイフ形石器	II	B	①	B	VIII	B・17	流紋岩b	6.70	1.90	1.00	4.00	20	829
7	77	剥片				B	IX	B・16	流紋岩b	3.96	3.68	1.12	12.60	19	144
7	78	使用痕剥片	-	-	-	B	IX	B・16	流紋岩b	4.10	4.00	1.20	10.40	19	149
7	79	剥片				B	VIII	B・17	流紋岩b	2.20	4.50	1.40	8.90	20	817
7	80	使用痕剥片	-	-	-	B	IX	B・17	流紋岩b	5.00	3.90	1.50	17.40	20	124
7	81	剥片				B	VIII	B・17	流紋岩b	3.90	4.40	1.70	19.60	20	388
7	82	剥片				B	VIII	B・16	流紋岩b	4.05	5.67	1.95	23.00	20	789
7	83	剥片				B	VIII	C・16	流紋岩b	4.74	4.27	2.82	59.90		1096
7	84	ナイフ形石器	II	B	①	B	VIII	B・16	流紋岩b	3.70	1.70	1.10	4.50	20	788
7	85	剥片				B	IX	B・16	流紋岩b	3.26	3.17	1.22	11.40	20	110
7	86	剥片				B	VIII	B・16	流紋岩b	3.68	3.13	1.01	5.60	20	785
7	87	剥片				B	VIII	C・16	流紋岩b	5.10	3.30	1.90	19.80		765
7	88	剥片				B	IX	B・17	流紋岩b	2.30	2.95	1.25	5.50	20	197
7	89	石核	-	-	-	B	IX	B・17	流紋岩b	6.65	5.85	4.35	148.40	20	195
10	90	剥片				C	VIII	C・5	流紋岩a	3.05	3.95	1.30	11.30	2	3365
10	91	剥片				C	VIII	D・5	流紋岩a	2.51	2.40	0.90	3.00	2	2299-1
10	92	使用痕剥片				C	VIII	D・6	流紋岩a	2.55	3.70	1.00	5.80		211
10	93	剥片				C	VIII	D・5	流紋岩a	1.80	2.50	0.85	2.20	2	2299-2
10	94	剥片				C	VIII	C・5	流紋岩a	4.61	3.10	1.42	11.10	2	3363
10	95	剥片				C	VIII	C・5	流紋岩a	4.15	4.16	4.28	13.60	2	943
12	96	剥片				C	VIII	F・5	流紋岩g	3.28	3.00	1.25	11.30	8	521
12	97	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩g	5.40	2.60	1.10	8.80	8	2819
12	98	石核	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩g	6.90	4.75	4.40	120.40	8	2773
18	99	剥片				C	VIII	F・4	流紋岩b	5.18	2.52	1.68	19.80		69
18	100	剥片				C	VIII	G・5	流紋岩b	4.72	2.02	1.40	8.90	10	1599
18	101	剥片				C	VIII	G・5	流紋岩b	1.80	2.75	0.95	3.60	10	1623
18	102	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	F・5	流紋岩b	3.30	4.10	1.90	34.30		3262
21	103	剥片				C	VIII	F・5	流紋岩b	5.45	3.30	2.05	15.90	8	3266
21	104	剥片				C	VIII	F・5	流紋岩b	4.16	4.56	1.66	17.30	8	520
21	105	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩b	5.40	5.90	1.50	19.20		740
21	106	剥片				C	VIII	F・5	流紋岩b	4.29	4.03	0.94	10.50	8	568
21	107	剥片				C	VIII	G・5	流紋岩b	3.45	3.86	2.36	17.40		1572
21	108	石核	-	-	-	C	VIII	D・6	流紋岩b	8.80	12.40	6.55	846.30		212
28	109	剥片				C	VI	H・3	流紋岩g	3.60	3.24	1.15	13.90	13	372
28	110	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	4.98	3.97	6.21	84.60	12	1303
28	111	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩g	4.75	3.64	2.40	39.00	12	3154
28	112	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	9.30	8.10	3.45	215.10	12	1339
28	113	剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	6.08	4.73	2.50	63.20	12	1337
28	114	剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	6.05	3.85	2.55	36.40	12	1336
28	115	剥片				C	VI	H・3	流紋岩g	3.20	3.05	1.15	5.40	13	393
28	116	剥片				C	VI	H・3	流紋岩g	4.80	3.05	2.20	27.30	12	403
28	117	剥片				C	VIII	G・3	流紋岩g	2.73	4.40	1.65	17.30	12	3127
28	118	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩g	3.62	1.40	0.78	3.10	13	1433
28	119	剥片				C	VIII	G・3	流紋岩g	7.40	5.84	3.11	122.70	12	1340
28	120	剥片				C	VI	H・3	流紋岩g	8.46	3.00	1.70	32.00	13	434
28	121	剥片				C	VI	H・3	流紋岩g	1.92	3.52	1.25	7.00	13	368
28	122	剥片				C	VI	H・3	流紋岩g	3.15	4.28	1.80	16.50	13	413
28	123	剥片				C	VI	H・3	流紋岩g	3.90	2.70	1.33	7.20	13	369
28	124	剥片				C	VI	H・3	流紋岩g	4.25	4.39	1.08	8.70	13	467
28	125	剥片				C	VI	G・3	流紋岩g	4.45	2.80	1.20	14.40	12	266
28	126	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	5.40	4.60	3.35	72.30	12	1313

表10 石器計測表(3)

29	127	剥片				C	VIII	G・5	流紋岩b	6.00	3.30	1.42	25.50	10	1610
29	128	剥片				C	VIII	E・5	流紋岩b	3.31	3.75	1.16	10.00		318
29	129	剥片				C	VIII	D・5	流紋岩b	5.05	5.68	2.13	43.40		869
29	130	剥片				C	VIII	G・5	流紋岩b	4.26	3.70	2.05	15.70	10	1624
29	131	剥片				C	VIII	D・5	流紋岩b	1.81	2.35	0.72	2.20		412
29	132	剥片				C	VIII	D・5	流紋岩b	4.98	5.95	2.83	55.00		424-2
29	133	剥片				C	VIII	F・5	流紋岩b	6.83	5.13	1.90	53.40		3294
29	134	剥片				C	VIII	D・5	流紋岩b	4.15	1.48	1.18	5.30		867
29	135	石核	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩b	5.25	5.60	4.38	90.50		424-1
29	136	剥片				C	VIII	E・5	流紋岩b	3.51	1.95	1.40	6.30		2412
29	137	石核	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩b	5.55	3.46	4.15	51.20		866
30	138	剥片				B	VIII	B・17	流紋岩f	5.95	5.00	1.60	36.20		1076
30	139	剥片				B	VIII	C・16	流紋岩f	3.60	4.70	1.05	12.30	21	419
30	140	剥片				B	VIII	C・17	流紋岩f	4.00	5.40	1.95	31.80	21	901
30	141	剥片				B	VIII	C・16	流紋岩f	5.30	2.93	1.61	15.40		726
30	142	剥片				B	VIII	C・16	流紋岩f	5.78	4.34	1.84	42.20	21	421
30	143	剥片				B	VIII	C・17	流紋岩f	4.32	3.47	1.37	15.70	21	453
30	144	剥片				B	VIII	C・16	流紋岩f	5.50	3.30	2.55	30.30	21	944
30	145	剥片				B	VIII	C・16	流紋岩f	3.35	2.66	1.68	9.50	21	932
30	146	石核	-	-	-	B	VIII	C・16	流紋岩f	5.75	3.75	3.65	67.40		730
31	147	剥片				B	VIII	B・16	チャート	3.00	1.77	1.38	5.60	18	89
31	148	剥片				B	VIII	B・16	チャート	2.05	1.05	0.80	2.10	18	329
31	149	剥片				B	VIII	B・16	チャート	1.98	1.11	0.96	1.50	18	116
31	150	剥片				B	VIII	B・16	チャート	1.78	2.95	1.30	6.40	18	75
31	151	剥片				B	VIII	B・16	チャート	4.35	2.95	1.91	19.70		187
31	152	剥片				B	VIII	B・16	チャート	1.98	2.80	3.05	13.10	18	163
31	153	剥片				B	VIII	B・16	チャート	2.22	2.35	0.72	3.10	18	157
31	154	剥片				B	VI	B・16	チャート	3.12	2.41	1.38	7.00	18	453
31	155	石核	-	-	-	B	VIII	B・16	チャート	3.50	4.78	4.20	78.00	18	109
33	156	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩f	4.70	5.50	2.34	51.50	12	3149
33	157	剥片				C	VI	H・3	流紋岩f	6.95	2.86	1.90	31.10	13	488
33	158	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩f	3.60	6.33	1.49	34.30	13	415
33	159	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	5.85	5.80	2.40	62.50	12	1314
33	160	剥片				C	VI	H・3	流紋岩f	5.80	3.00	2.88	33.10	12	404
33	161	使用痕剥片	-	-	-	C	VI	H・3	流紋岩f	3.20	2.70	0.75	4.80	13	485
33	162	剥片				C	VIII	G・3	流紋岩f	1.50	2.82	0.82	2.50	12	1316
33	163	剥片				C	VI	G・3	流紋岩f	3.35	3.56	1.31	17.30	12	505
33	164	剥片				C	VIII	H・3	流紋岩f	3.40	3.40	1.61	19.90	13	1456
33	165	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	5.15	4.90	3.33	83.60	12	1312
34	166	剥片				C	VIII	D・4	流紋岩g	4.76	5.34	2.10	34.90	3	2348
34	167	剥片				C	VIII	D・4	流紋岩g	2.80	2.52	2.01	15.00	3	459
34	168	剥片				C	VIII	D・4	流紋岩g	4.01	2.42	2.06	16.20	3	1072
34	169	剥片				C	VIII	D・4	流紋岩g	3.40	2.85	1.95	17.80	3	1033
34	170	石核	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩g	4.40	4.98	2.52	36.00	3	1025
34	171	剥片				C	VIII	D・4	流紋岩g	4.45	4.20	1.60	24.40	3	2350
34	172	剥片				C	VIII	D・4	流紋岩g	2.50	3.76	1.10	9.30	3	2360
34	173	石核	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩g	5.80	5.63	4.32	62.20		404
35	174	剥片				C	VIII	C・5	流紋岩f	3.20	2.80	0.91	4.30	1	893
35	175	剥片	-	-	-	C	VIII	C・5	流紋岩f	4.75	6.75	2.10	51.10	1	917
35	176	剥片				C	VIII	D・5	流紋岩f	2.53	4.17	1.38	8.10	1	842
35	177	剥片				C	VIII	D・5	流紋岩f	4.40	2.05	1.50	9.90	1	164

表11 石器計測表(4)

35	178	剥片				C	VIII	D・3	流紋岩f	3.90	3.40	2.65	18.50		2385
35	179	石核	-	-	-	C	VIII	C・5	流紋岩f	5.72	7.40	2.70	106.20	1	908
38	180	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	G・5	流紋岩b	5.00	4.20	2.40	35.70	10	1603
38	181	剥片				C	VIII	G・8	流紋岩b	5.31	6.26	2.52	84.70		2231
38	182	剥片				C	VIII	G・5	流紋岩b	2.02	2.22	1.16	3.60	10	1609
38	183	剥片				C	VIII	I・5	流紋岩b	6.08	4.60	2.26	56.00		1989
38	184	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	H・6	流紋岩b	5.30	3.20	2.40	27.60		1724
38	185	剥片				C	VIII	G・5	流紋岩b	2.54	1.35	1.08	2.50	10	2998
38	186	剥片				C	VIII	G・5	流紋岩b	1.40	3.30	1.55	4.30		1584
39	187	剥片				B	VIII	B・17	流紋岩g	3.62	3.92	1.83	22.90	21	409
39	188	剥片				B	VIII	C・16	流紋岩g	4.58	2.29	1.05	10.10	21	969
39	189	剥片				B	VIII	C・17	流紋岩g	1.26	3.08	0.52	1.10	21	902
39	190	剥片				B	VI	C・17	流紋岩g	2.08	3.70	0.60	2.70		350
39	191	剥片				B	VI	B・17	流紋岩g	2.80	2.29	0.80	2.70	21	489
39	192	剥片				B	VIII	B・17	流紋岩g	2.60	5.80	2.01	16.50	21	880
39	193	石核	-	-	-	B	VIII	C・17	流紋岩g	6.08	3.61	2.16	30.00	21	887
43	194	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・15	ホルンフェンス	4.33	8.16	1.75	41.00		42
43	195	剥片				B	VIII	C・16	ホルンフェンス	2.65	3.42	1.00	8.90	21	664
43	196	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	C・16	ホルンフェンス	5.16	5.22	1.18	26.50	21	471
43	197	剥片				B	VIII	C・16	ホルンフェンス	3.88	2.80	0.66	5.00	21	472
43	198	剥片				B	VIII	C・16	ホルンフェンス	4.75	4.75	1.60	30.60	21	934
43	199	剥片				B	VIII	C・16	ホルンフェンス	3.48	4.10	1.40	16.20		939
43	200	石核	-	-	-	B	VIII	C・16	ホルンフェンス	7.25	11.90	4.00	367.60	21	663
45	201	剥片				C	VIII	E・4	流紋岩c	1.10	3.62	1.87	5.30	5	2458
45	202	剥片				C	VIII	E・4	流紋岩c	4.70	5.20	1.40	28.50	5	2454
45	203	剥片				C	VIII	E・4	流紋岩c	2.04	3.11	1.25	6.50		387
45	204	剥片				C	VIII	E・4	流紋岩c	4.10	3.58	2.40	19.50	5	2461
45	205	石核	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩c	5.90	3.60	2.30	35.70	5	2457
48	206	剥片				C	VIII	G・5	流紋岩b	2.70	3.50	1.15	5.80	10	157
48	207	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩b	2.70	5.55	1.75	13.40	8	744
48	208	剥片				C	VIII	G・5	流紋岩b	4.00	5.05	2.80	23.30	10	1587
48	209	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・6	流紋岩b	3.00	4.50	1.10	9.40		2180
48	210	剥片				C	VIII	I・6	流紋岩b	5.65	5.65	1.10	22.70		1919
55	211	剥片				B	VIII	B・16	流紋岩f	2.08	1.58	0.38	0.70	19	286
55	212	剥片				B	VIII	B・16	流紋岩f	3.65	2.18	0.81	4.70		545
55	213	剥片				B	VIII	B・16	流紋岩f	1.65	1.30	0.41	0.70	18	154
55	214	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	4.30	3.90	1.00	12.10	18	151
55	215	使用痕剥片	-	-	-	B	VI	B・16	流紋岩f	4.40	3.10	1.10	12.10		448

表12 石器計測表(5)

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
58	ナイフ形石器	I	A	②	B	IX	B・17	流紋岩b	3.00	1.70	0.80	2.90	5		132
59	ナイフ形石器	II	B	①	B	VIII	B・16	流紋岩b	3.30	2.10	1.05	4.70	5	20	668
76	ナイフ形石器	II	B	①	B	VIII	B・17	流紋岩b	6.70	1.90	1.00	4.00	7	20	829
84	ナイフ形石器	II	B	①	B	VIII	B・16	流紋岩b	3.70	1.70	1.10	4.50	7	20	788
216	ナイフ形石器	I	A	①	B	VIII	C・16	流紋岩g	3.70	1.62	0.85	3.70			773
217	ナイフ形石器	I	A	①	C	VIII	E・6	流紋岩c	3.15	1.85	0.80	3.20			2121
218	ナイフ形石器	I	A	①	C	VIII	D・4	流紋岩f	3.90	1.60	0.90	4.80			2369
219	ナイフ形石器	I	A	②	C	VIII	E・8	流紋岩f	2.90	1.65	0.70	2.10			148
220	ナイフ形石器	I	A	②	C	VIII	F・6	流紋岩a	2.70	1.55	0.55	1.80			2125
221	ナイフ形石器	I	A	②	C	VIII	F・3	流紋岩f	2.90	1.40	0.65	2.10			3317
222	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	I・5	流紋岩f	7.35	2.55	1.70	21.70			1970
223	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	D・6	流紋岩a	6.73	2.70	1.42	18.00			1
224	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	G・4	流紋岩a	6.30	2.25	1.35	14.50			2944
225	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	E・5	流紋岩f	7.35	2.25	1.60	19.40			329
226	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	D・5	流紋岩f	6.20	2.40	1.30	13.50			2285
227	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	F・3	流紋岩b	5.10	2.40	1.40	15.90			117
228	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	D・5	流紋岩f	6.50	2.20	1.40	15.40			879
229	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	G・5	流紋岩b	5.50	2.32	1.40	10.00		10	2997
230	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	C・5	チャート	4.80	1.55	1.10	6.60		1	896
231	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	D・5	流紋岩f	6.70	1.90	1.33	12.00			2283
232	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	G・3	流紋岩f	6.20	2.15	1.43	14.10			1277
233	ナイフ形石器	I	B	①	C	VI	C・5	チャート	3.20	1.48	1.10	3.90			141
234	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	G・4	流紋岩f	4.10	1.38	1.20	4.70			2977
235	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	F・3	ホルンフェルス	6.50	2.45	1.15	16.80			2530
236	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	H・5	流紋岩a	5.30	1.80	1.00	8.60			1699
237	ナイフ形石器	I	B	②	C	VI	H・3	流紋岩f	3.88	1.90	0.80	6.10		12	409
238	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	H・5	流紋岩f	5.20	1.80	1.00	7.90			3043
239	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	J・5	流紋岩f	6.12	1.78	0.91	8.00			2004
240	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	E・5	流紋岩b	4.70	1.85	0.70	5.60			298
241	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	I・4	流紋岩a	5.75	2.00	0.95	8.00			2079
242	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	E・3	流紋岩f	5.06	2.78	1.07	11.20			2503
243	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	G・3	流紋岩f	4.30	1.65	0.90	4.50			2873
244	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	H・4	流紋岩b	4.00	1.85	0.80	6.20			3021
245	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	E・4	流紋岩b	6.95	2.29	1.05	14.00		5	357
246	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	G・5	流紋岩f	5.40	2.30	0.90	10.10		10	1592
247	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	G・5	流紋岩g	5.20	2.10	1.13	10.20		10	160
248	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	E・4	流紋岩a	6.00	2.25	1.00	9.90			391
249	ナイフ形石器	II	B	①	C	⑨	E・4	流紋岩g	3.35	1.70	0.90	3.50		4	10
250	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	F・2	流紋岩f	4.15	1.70	0.70	5.20			2538
251	ナイフ形石器	I	B	③	C	VIII	J・5	流紋岩f	4.05	2.00	0.81	4.30			2058
252	ナイフ形石器	II	A	-	C	VIII	C・5	流紋岩f	4.00	1.95	0.83	5.30			2189
253	ナイフ形石器	II	A	-	C	VIII	D・5	流紋岩b	5.00	1.70	1.00	6.90			2282
254	ナイフ形石器	II	A	-	C	VIII	D・5	ホルンフェルス	6.88	2.20	1.28	17.10			877
255	ナイフ形石器	II	A	-	C	VIII	I・4	流紋岩f	6.50	2.18	1.25	14.40			2080
256	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	I・5	流紋岩f	5.45	2.45	1.30	12.50			1978
257	ナイフ形石器	II	B	①	C	VI	E・4	流紋岩f	5.35	2.00	1.55	11.40		4	154
258	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	D・4	流紋岩b	3.50	1.40	1.00	3.40			1057
259	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	I・6	流紋岩b	4.35	1.68	1.00	4.00		14	1892
260	ナイフ形石器	II	B	①	B	VIII	B・17	流紋岩f	3.67	1.50	1.00	5.00			401
261	ナイフ形石器	II	B	①	B	VIII	B・17	流紋岩a	3.10	1.50	0.82	4.40			1041
262	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	F・6	流紋岩g	3.18	1.25	0.90	2.40		11	2163
263	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	I・6	流紋岩f	3.30	1.72	0.90	3.80		14	1870
264	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	G・5	流紋岩f	2.20	2.10	0.90	4.20			1657
265	ナイフ形石器	II	B	②	C	VIII	D・5	流紋岩g	6.38	1.95	1.35	12.20			2323

表13 石器計測表(6)

266	ナイフ形石器	II	B	②	D	VI	L・11	流紋岩f	5.40	1.55	1.10	6.20			805-1
267	ナイフ形石器	II	B	②	C	VI	D・4	流紋岩f	4.40	1.70	1.10	5.90			147
268	ナイフ形石器	II	C	-	B	VIII	C・17	流紋岩b	3.75	1.40	1.05	4.50		21	890
269	ナイフ形石器	II	C	-	C	VIII	D・6	流紋岩f	3.50	1.85	0.95	5.50			42
270	ナイフ形石器	III	B	-	C	VIII	G・5	流紋岩g	6.30	2.33	0.92	11.90			1655
271	ナイフ形石器	III	A	-	C	VIII	F・9	流紋岩c	6.00	2.86	1.00	15.80			2273
272	ナイフ形石器	IV	A	-	C	VIII	F・4	流紋岩a	3.10	1.00	0.56	1.30			2738
273	ナイフ形石器	IV	C	-	B	VIII	C・17	チャート	2.20	1.20	0.70	1.70			1122
274	ナイフ形石器	IV	D	-	C	VIII	E・6	流紋岩g	3.76	1.62	0.90	4.20			266
	ナイフ形石器	I	B	②	C	VI	E・6	流紋岩b	4.20	1.60	0.70	4.10			24-2
	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	I・6	流紋岩a	3.50	1.70	0.90	4.50		15	1742
	ナイフ形石器	I	B	①	C	VIII	I・6	流紋岩c	2.70	1.75	1.00	3.70		14	1907
	ナイフ形石器	I	B	②	C	VIII	J・6	流紋岩b	7.05	2.00	0.70	12.00			2002
	ナイフ形石器	II	A	-	C	VIII	H・3	流紋岩g	4.45	2.20	0.80	7.90			1480
	ナイフ形石器	II	A	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	3.50	1.60	1.10	6.50			2795
	ナイフ形石器	II	B	①	B	VIII	B・17	流紋岩b	2.70	1.45	0.80	2.70		21	980
	ナイフ形石器	II	B	①	B	IX	B・17	流紋岩a	3.50	1.80	0.95	6.00		21	66
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VI	C・6	流紋岩c	2.50	1.35	0.50	1.50			546
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	F・4	流紋岩f	3.40	1.80	0.55	3.00			98
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	G・5	流紋岩b	3.25	2.35	1.10	7.10		10	159
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	F・4	流紋岩b	4.30	2.05	1.55	12.50		6	687
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	D・5	流紋岩f	4.10	1.70	1.00	5.30			847
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	D・5	流紋岩a	4.65	2.05	1.20	8.50			864
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	C・5	流紋岩f	4.10	1.45	0.85	3.90		1	930
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	C・5	流紋岩f	3.95	1.50	1.35	6.30		2	941
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	C・5	流紋岩b	4.10	1.80	0.95	6.50		2	942
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	D・4	流紋岩f	2.80	1.75	1.00	4.20		3	994
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	D・4	流紋岩f	2.90	1.45	0.80	3.40			997
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	D・4	流紋岩f	3.65	2.00	0.90	6.30		4	1047
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	G・4	流紋岩c	2.55	1.15	0.70	2.60			1561
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	G・5	流紋岩b	4.50	2.20	1.00	9.60			1617
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	I・5	流紋岩b	3.20	1.55	0.60	3.10			1985
	ナイフ形石器	II	B	②	C	VIII	J・6	流紋岩c	4.35	1.25	0.70	4.50			2001
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	K・5	流紋岩f	3.90	1.75	0.60	4.00			2048
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	E・6	流紋岩e	3.50	1.40	0.60	2.90			2119
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	G・8	流紋岩c	5.40	2.30	1.05	9.70			2237
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	D・4	流紋岩b	2.60	1.80	1.00	4.70		4	2342
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	D・4	流紋岩b	4.25	1.55	1.00	5.60		3	2355
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	D・3	流紋岩f	3.15	1.55	0.95	3.60			2396
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	G・5	流紋岩f	2.90	1.75	0.90	4.40			2989
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	F・4	流紋岩f	2.80	1.65	1.10	3.90			3257
	ナイフ形石器	II	B	①	C	VIII	E・3	流紋岩b	3.95	2.00	0.70	5.30			3310
	ナイフ形石器	III	B	-	A	IX	L・15	流紋岩b	4.00	1.45	1.10	5.80			L15・2
	ナイフ形石器	III	B	-	C	VIII	F・4	流紋岩f	4.95	2.00	1.40	12.00			93
	ナイフ形石器	III	B	-	C	VIII	D・6	流紋岩f	5.55	2.75	0.85	12.50			217
	ナイフ形石器	III	B	-	C	VIII	G・4	流紋岩b	3.70	1.45	0.70	3.10			2975
	ナイフ形石器	IV	C	-	C	VIII	G・2	流紋岩b	2.95	1.70	0.45	2.20			3205
	ナイフ形石器	IV	D	-	C	VIII	F・4	流紋岩b	2.90	1.75	0.90	4.10		6	830-1
	ナイフ形石器	IV	D	-	C	VIII	G・5	流紋岩f	4.60	2.30	0.60	6.50		10	1665
	ナイフ形石器	VIII	A	①	C	VI	F・5	黒曜石	1.80	1.20	0.30	0.50		9	544
	ナイフ形石器	VIII	A	①	C	VI	E・8	黒曜石	2.30	1.30	0.65	2.00			586
	ナイフ形石器	VIII	A	①	C	VIII	D・5	流紋岩c	3.20	1.85	1.00	5.50			2288
	ナイフ形石器	VIII	A	①	C	VIII	D・5	流紋岩f	2.90	1.85	0.90	4.20		2	3356
	ナイフ形石器	VIII	A	③	D	VI	L・11	流紋岩c	3.00	1.85	0.60	3.80			805-2

表14 石器計測表(7)

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
9	台形石器	V	A	—	C	SI18	G・3	黒曜石	2.60	1.50	1.75	2.70			SI18①
275	台形石器	V	A	—	B	VIII	B・16	流紋岩b	2.40	2.80	0.90	5.10			162
276	台形石器	V	A	—	B	VI	C・17	チャート	1.90	1.20	0.60	1.10			361
277	台形石器	V	A	—	C	VIII	G・5	流紋岩f	2.10	1.25	0.55	1.20			1651
278	台形石器	V	A	—	C	VIII	F・4	流紋岩g	2.20	2.25	0.70	3.20		6	716
279	台形石器	V	A	—	B	VIII	B・16	流紋岩f	1.90	1.15	0.50	0.90			238
280	台形石器	V	A	—	B	VIII	C・16	流紋岩f	2.20	1.85	0.55	1.40		21	970
281	台形石器	V	A	—	C	VIII	J・4	流紋岩f	2.80	1.95	0.70	2.90			2098
282	台形石器	V	A	—	B	VIII	B・16	流紋岩f	2.05	2.00	0.60	1.80		18	88
283	台形石器	V	A	—	C	VIII	H・3	黒曜石	1.95	1.30	0.50	1.00			1428
284	台形石器	V	A	—	C	VIII	G・2	チャート	2.10	2.25	0.70	2.80			1177
285	台形石器	V	A	—	C	VIII	D・4	流紋岩f	2.10	1.65	0.60	1.60			962
286	台形石器	V	A	—	B	VIII	C・16	流紋岩f	1.75	1.35	0.45	1.10		21	868
287	台形石器	V	A	—	B	VIII	B・16	チャート	1.45	1.30	0.40	0.60		18	103
288	台形石器	V	A	—	C	⑨	E・3	流紋岩f	1.80	1.25	0.40	0.90			E3
289	台形石器	V	B	—	B	VIII	C・16	チャート	2.00	1.80	0.40	1.20			762
290	台形石器	V	B	—	B	IX	B・16	流紋岩b	2.85	2.85	0.90	4.70			158
291	台形石器	V	B	—	B	VIII	C・17	チャート	2.05	1.60	0.60	1.40		21	430
292	台形石器	V	B	—	B	VIII	B・16	流紋岩f	1.80	1.15	0.40	0.80		18	205
293	台形石器	V	B	—	B	VIII	C・16	チャート	1.80	1.30	0.60	0.90		21	910
294	台形石器	V	B	—	C	VI	G・3	流紋岩f	2.30	2.15	1.05	3.30			513
295	台形石器	V	B	—	C	VIII	G・3	波紋岩b	3.10	2.20	0.80	4.10			1290
296	台形石器	V	B	—	C	VIII	G・2	流紋岩f	2.90	2.10	0.55	2.30			1234
297	台形石器	V	B	—	B	VIII	C・16	黒曜石	1.75	1.15	0.40	0.70		21	867
298	台形石器	V	B	—	C	VIII	H・3	流紋岩f	2.65	1.45	0.60	2.30			1477
299	台形石器	V	B	—	B	VIII	B・16	波紋岩f	2.87	1.80	0.80	2.60		20	368
300	台形石器	V	B	—	C	VIII	D・5	流紋岩a	2.40	1.50	0.55	1.50			852
301	台形石器	V	B	—	C	VIII	C・4	波紋岩b	2.50	1.50	0.70	2.80		2	3368
302	台形石器	V	B	—	C	VIII	F・4	流紋岩c	2.20	1.70	0.70	1.90			100
	台形石器	V	B	—	B	VI	C・16	チャート	1.40	1.30	0.30	0.50			328
	台形石器	V	A	—	B	VIII	C・16	チャート	1.50	1.05	0.35	0.70			1017
	台形石器	V	A	—	C	VIII	G・4	波紋岩f	2.45	1.95	0.70	2.50			1533
	台形石器	V	B	—	C	VIII	H・3	チャート	2.30	1.80	0.45	2.00		13	3009

表15 石器計測表(8)

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
10	剥片尖頭器	VI	A	①	C	SI13	G・3	ホルンフェルス	7.35	3.00	1.90	26.20			SI13②
11	剥片尖頭器	VI	A	③	C	SI21	E・4	流紋岩f	5.35	2.80	9.50	9.00			SI21①
303	剥片尖頭器	VI	A	①	C	VIII	G・2	ホルンフェルス	7.90	3.05	1.35	21.00			1205
304	剥片尖頭器	VI	A	①	C	VIII	G・8	ホルンフェルス	8.33	3.00	1.40	24.70			2230
305	剥片尖頭器	VI	A	①	C	VIII	G・3	流紋岩a	4.91	2.85	0.97	9.70			G3
306	剥片尖頭器	VI	A	①	C	VIII	F・3	流紋岩f	6.82	3.25	1.40	17.30		7	2579
307	剥片尖頭器	VI	A	①	C	VIII	G・3	ホルンフェルス	6.56	3.08	1.25	15.40		12	3176
308	剥片尖頭器	VI	A	②	C	VIII	E・4	ホルンフェルス	4.80	2.75	1.03	10.20		5	2442
309	剥片尖頭器	VI	A	②	C	VIII	F・3	流紋岩a	8.92	3.50	1.85	40.00			2519
310	剥片尖頭器	VI	A	②	C	VIII	F・3	流紋岩b	7.55	3.10	1.05	18.40			2532
311	剥片尖頭器	VI	A	②	C	VIII	F・4	流紋岩f	7.55	2.90	0.95	14.00		6	2676
312	剥片尖頭器	VI	A	②	C	VIII	G・9	流紋岩f	7.90	3.50	1.10	15.00			3374
313	剥片尖頭器	VI	A	②	C	VIII	F・3	ホルンフェルス	7.85	2.30	1.28	15.70			1088
314	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	F・5	流紋岩a	10.70	4.20	1.50	49.10		8	2931
315	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	G・3	流紋岩c	5.98	2.55	1.40	16.50			1291
316	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	G・3	流紋岩f	8.75	3.45	1.30	32.00		12	1309
317	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	G・3	砂岩	5.85	2.95	1.10	12.10			2883
318	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	F・4	流紋岩b	7.42	2.72	1.75	21.10			746
319	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	F・4	ホルンフェルス	9.85	3.34	1.30	38.90		6	2688
320	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	G・2	流紋岩f	8.20	4.30	1.55	37.90			1201
321	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	G・4	ホルンフェルス	7.60	2.70	1.40	21.00			2943
322	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	F・9	ホルンフェルス	7.95	2.95	1.40	30.40			3349
323	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	G・2	流紋岩a	7.15	4.00	1.30	29.60			1252
324	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VI	H・3	流紋岩c	5.56	3.08	1.48	17.20			399
325	剥片尖頭器	VI	B	①	C	VIII	G・2	流紋岩b	9.40	2.50	1.90	33.80			2870
326	剥片尖頭器	VI	B	②	C	VIII	G・3	ホルンフェルス	9.18	2.85	1.72	28.80			2885
327	剥片尖頭器	VI	B	①	C	VIII	E・4	ホルンフェルス	10.20	4.20	1.61	47.10			1161
328	剥片尖頭器	VI	B	①	C	VIII	G・4	ホルンフェルス	7.60	2.80	1.20	17.70			1535
329	剥片尖頭器	VI	B	①	C	VIII	F・2	流紋岩b	6.45	2.80	1.25	16.10			2539
330	剥片尖頭器	VI	B	①	C	VIII	E・6	流紋岩a	6.00	3.78	1.20	24.30			2122
331	剥片尖頭器	VI	B	①	C	VIII	G・4	砂岩	7.75	2.50	1.75	24.60			2951
332	剥片尖頭器	VI	B	②	C	VIII	G・9	ホルンフェルス	11.50	4.00	1.55	57.20			3375
333	剥片尖頭器	VI	C	①	C	VIII	F・3	流紋岩f	9.60	3.58	1.75	42.20			1103
334	剥片尖頭器	VI	C	②	C	VIII	G・3	流紋岩b	11.45	3.25	1.69	45.30			1267
335	剥片尖頭器	VI	C	②	C	VIII	E・5	流紋岩c	8.10	2.00	1.50	17.00			2408
336	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	F・10	ホルンフェルス	8.70	4.55	1.85	92.00			3344
337	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	E・4	砂岩	6.45	3.20	1.40	24.20			2416
338	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	G・2	珪質頁岩	4.80	3.50	1.20	17.90			1224
339	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	G・2	流紋岩a	6.73	2.92	1.15	17.60			1206
340	剥片尖頭器	VI	A	①	C	VIII	F・4	砂岩	5.90	2.55	1.45	22.00			2714
341	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	G・9	ホルンフェルス	6.55	4.20	1.90	47.70			2251
	剥片尖頭器	VI	A	③	C	VIII	F・4	流紋岩f	6.80	2.85	0.70	18.50			2703
	剥片尖頭器	VI	C	②	C	VIII	F・2	ホルンフェルス	7.50	2.55	1.00	15.30			2537
	剥片尖頭器	VI	C	②	C	VIII	F・4	ホルンフェルス	11.30	2.95	1.10	39.10			2719
	剥片尖頭器	VIII	B	③	C	VIII	G・5	チャート	3.20	2.70	1.05	7.50			1571

表16 石器計測表(9)

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
12	三稜尖頭器	VIII	C	③	C	SI13	G・3	流紋岩b	4.45	2.50	1.75	15.60			SI13①2
342	三稜尖頭器	VII	A	①	C	VIII	F・3	流紋岩f	4.90	1.90	1.70	12.40		7	1111
343	三稜尖頭器	VII	A	①	C	VIII	G・8	ホルンフェンス	8.70	2.05	1.55	25.10			2256
344	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	G・5	流紋岩f	6.50	2.30	1.30	15.00		10	1585
345	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	D・5	流紋岩f	5.60	1.80	1.30	10.00			420
346	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	D・5	流紋岩f	5.10	1.95	1.40	11.00			417
347	三稜尖頭器	VII	A	②	D	VIII	I・11	チャート	4.80	1.60	1.10	6.80		22	538
348	三稜尖頭器	VII	A	②	D	IX	P・13	流紋岩f	4.30	1.40	1.15	6.30			856
349	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	E・5	流紋岩a	4.60	1.55	1.20	6.70			482
350	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	F・4	流紋岩b	3.40	1.40	0.90	3.40			785
351	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	D・5	流紋岩b	10.80	2.40	1.80	25.10		1	892
352	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	E・5	流紋岩f	6.90	1.65	1.75	17.00			331
353	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	D・5	流紋岩f	6.90	1.85	1.80	19.00			2286
354	三稜尖頭器	VII	A	②	B	VIII	C・16	流紋岩c	6.85	1.70	1.30	13.00			736
355	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	D・5	流紋岩f	5.90	2.00	1.40	14.60			443
356	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	E・4	流紋岩f	4.10	1.40	1.10	4.60			2471
357	三稜尖頭器	VII	A	②	B	VIII	B・17	流紋岩b	3.45	1.30	1.10	3.70			1061
358	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	F・3	流紋岩f	4.10	1.50	1.25	5.60		7	1116
359	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII		黒曜石	5.80	2.52	1.80	18.30			一括
360	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	G・5	ホルンフェルス	5.10	2.25	1.60	15.80		10	1591
361	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	F・5	流紋岩g	3.40	1.70	1.50	5.20			3267
362	三稜尖頭器	VII	A	②	C	IV	F・5	流紋岩a	4.50	2.00	1.50	10.40		8	199
363	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	D・5	流紋岩f	5.00	2.35	1.75	17.40			3351
364	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	D・5	流紋岩f	4.90	2.00	1.50	11.10			2320
365	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	F・5	流紋岩c	7.60	2.38	1.32	19.00			605
366	三稜尖頭器	VII	A	③	C	VIII	E・5	黒曜石	4.30	1.40	0.90	4.30			3304
367	三稜尖頭器	VII	A	③	C	VIII	F・4	黒曜石	4.40	1.50	1.05	4.20			97
368	三稜尖頭器	VII	A	③	C	VIII	E・5	流紋岩b	5.60	1.85	1.50	11.00			4
369	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	F・3	流紋岩c	7.60	2.35	1.60	18.30		7	2553
370	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	C・6	チャート	5.50	1.90	1.50	11.10			2200
371	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	G・5	流紋岩f	3.90	1.70	1.10	6.00		10	1622
372	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	G・5	流紋岩c	5.60	2.10	1.40	11.60		10	158
373	三稜尖頭器	VII	C	-	C	VI	F・4	黒曜石	2.70	1.20	0.70	1.80		6	236
374	三稜尖頭器	VII	C	-	C	VIII	E・4	黒曜石	2.50	1.15	0.70	1.30			1148
	三稜尖頭器	VII	A	①	C	VI	C・5	ホルンフェンス	3.10	1.35	0.85	3.20		1	335
	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	D・5	流紋岩b	3.10	1.50	1.50	5.60			414
	三稜尖頭器	VII	A	④	C	VIII	F・5	流紋岩b	3.45	2.50	1.45	9.40		8	496
	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	F・5	流紋岩a	4.95	2.00	1.10	9.10		8	551
	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	F・5	流紋岩c	6.70	2.45	1.20	21.80		9	614
	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	D・4	流紋岩b	4.50	2.50	1.85	14.90			1003
	三稜尖頭器	VII	A	④	C	VIII	G・3	ホルンフェンス	4.55	1.70	1.30	10.40			1397
	三稜尖頭器	VII	A	④	C	VIII	G・4	流紋岩a	5.30	1.70	1.20	11.10			1552
	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	D・4	流紋岩f	4.60	1.70	0.70	5.30			2328
	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	E・3	流紋岩a	5.40	1.90	1.30	12.30			2490
	三稜尖頭器	VII	A	②	C	VIII	F・3	流紋岩a	6.35	2.10	1.30	16.70			3172
	三稜尖頭器	VII	B	-	C	VIII	D・4	流紋岩b	4.95	1.70	0.85	7.30			1058
	三稜尖頭器	VII	B	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	5.40	2.65	1.40	12.30			1193
	三稜尖頭器	VIII	C	③	C	VIII	F・6	流紋岩e	3.40	1.70	1.05	5.80			39
	三稜尖頭器	VIII	C	①	C	VIII	F・6	流紋岩f	4.75	2.00	1.75	13.60			271
	三稜尖頭器	VIII	C	③	C	VIII	D・5	流紋岩g	3.10	2.20	1.55	8.60			418
	三稜尖頭器	VIII	C	①	C	VIII	E・5	ホルンフェンス	3.50	1.70	1.35	5.70			485
	三稜尖頭器	VIII	C	③	C	VIII	F・4	ホルンフェンス	5.15	4.50	2.20	51.00			758
	三稜尖頭器	VIII	C	③	C	VIII	G・4	流紋岩f	4.00	3.35	1.45	16.00			1546
	三稜尖頭器	VIII	C	①	C	VIII	H・6	砂岩	3.30	1.90	1.05	5.50			1723
	三稜尖頭器	VIII	C	③	C	VIII	K・4	黒曜石	2.50	1.45	0.80	2.60			2105
	三稜尖頭器	VIII	C	①	C	VIII	F・4	流紋岩c	2.00	1.60	1.10	2.90			2727
	三稜尖頭器	VIII	C	①	C	VIII	F・5	流紋岩b	3.30	1.60	1.20	4.70		8	2838

表17 石器計測表(10)

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
102	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	F・5	流紋岩b	3.30	4.10	1.90	34.30	18		3262
180	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	G・5	流紋岩b	5.00	4.20	2.40	35.70	38	10	1603
375	スクレイパー	搔器	I	-	C	VIII	G・3	ホルンフェンス	6.00	7.20	1.50	68.30			1374
376	スクレイパー	搔器	I	-	C	VIII	C・8	流紋岩g	2.80	1.75	0.90	2.70		16	131
377	スクレイパー	搔器	I	-	C	VIII	G・8	流紋岩c	6.55	4.20	1.05	25.80			2242
378	スクレイパー	搔器	II	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	6.20	4.95	1.80	60.00			3163
379	スクレイパー	搔器	II	-	C	VIII	K・4	流紋岩f	8.50	4.90	2.60	95.50			2108
380	スクレイパー	搔器	II	-	C	VIII	I・6	流紋岩f	3.50	3.70	1.30	16.20		15	1791
381	スクレイパー	搔器	II	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	6.80	3.70	2.30	41.80		12	3126
382	スクレイパー	搔器	III	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	4.40	3.60	1.10	15.40		9	599
383	スクレイパー	搔器	III	-	C	VIII	G・5	流紋岩g	6.60	5.50	2.70	97.30		10	1594
384	スクレイパー	搔器	III	-	C	VIII	F・5	黒曜石	2.40	2.50	1.00	5.10		9	594
385	スクレイパー	搔器	III	-	C	VIII	D・4	流紋岩b	4.90	5.65	2.40	59.70			989
386	スクレイパー	搔器	III	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	5.35	6.35	1.60	58.80		9	597
387	スクレイパー	搔器	IV	-	C	VIII	F・3	流紋岩f	6.05	2.33	1.70	19.10			1079
388	スクレイパー	搔器	IV	-	C	VIII	G・8	流紋岩f	9.30	4.80	1.90	91.00			2229
389	スクレイパー	搔器	IV	-	C	VIII	E・4	流紋岩g	6.50	3.60	1.40	19.00			2435
390	スクレイパー	搔器	IV	-	C	VIII	G・8	流紋岩f	5.30	3.45	1.95	24.10			2264
391	スクレイパー	搔器	IV	-	C	VIII	G・8	ホルンフェンス	6.80	4.70	2.00	57.90			2236
392	スクレイパー	搔器	IV	-	C	VIII	G・8	流紋岩f	8.60	3.75	2.25	72.30			2232
393	スクレイパー	搔器	V	-	C	VIII	F・8	流紋岩f	3.30	3.40	0.90	11.00			630
394	スクレイパー	搔器	V	-	C	VIII	G・5	流紋岩f	3.00	5.20	1.40	25.70			2614
395	スクレイパー	削器	I	-	C	VIII	G・2	ホルンフェンス	8.82	7.45	2.45	212.10			1237
396	スクレイパー	削器	I	-	C	VIII	G・3	ホルンフェンス	12.50	6.85	2.75	252.10			1396
397	スクレイパー	削器	I	-	C	VIII	I・7	ホルンフェンス	10.00	3.80	1.40	62.00			2217
398	スクレイパー	削器	I	-	C	VIII	G・3	ホルンフェンス	3.00	8.60	1.95	24.70			2920
399	スクレイパー	削器	I	-	C	VIII	F・4	流紋岩b	3.20	1.65	0.70	2.50		6	67
400	スクレイパー	削器	I	-	C	VIII	D・5	流紋岩f	3.30	2.60	0.95	5.60			438
401	スクレイパー	削器	I	-	C	VIII	E・6	黒曜石	3.50	1.80	0.65	3.60			296
402	スクレイパー	削器	I	-	C	VIII	F・6	流紋岩g	4.60	2.40	1.10	10.10			272
403	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	E・3	流紋岩f	8.50	3.80	2.40	55.20			2386
404	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	7.90	4.70	1.50	38.20			1217
405	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	D・4	流紋岩g	7.85	5.40	2.65	94.70		4	49
406	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	F・4	流紋岩b	3.85	2.30	0.75	4.30		6	53
407	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	E・5	流紋岩b	3.60	7.10	1.70	26.80			490
408	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	G・5	流紋岩b	5.35	4.75	2.35	44.40		10	1666
409	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	D・4	流紋岩b	4.30	4.90	1.55	24.60			2330
410	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	F・3	流紋岩c	4.90	5.30	1.90	33.40		7	1113
411	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	F・9	黒曜石	2.80	2.75	1.05	5.60			625
412	スクレイパー	挟入石器	I	-	C	VIII	H・3	流紋岩f	8.00	4.40	1.90	43.20			1422
413	スクレイパー	挟入石器	II	-	C	VIII	F・4	流紋岩f	9.20	3.50	1.40	40.90			2721
	スクレイパー	搔器	II	-	C	VIII	D・4	流紋岩b	5.90	3.05	1.40	20.70			967
	スクレイパー	搔器	II	-	C	VIII	H・4	流紋岩f	12.25	6.95	2.10	184.00			3022
	スクレイパー	搔器	III	-	A	IX	P・14	流紋岩b	4.15	3.30	0.90	10.70			P14・1
	スクレイパー	搔器	IV	-	B	VIII	B・13	流紋岩f	4.25	3.30	1.65	19.40			18
	スクレイパー	搔器	IV	-	C	VIII	E・4	流紋岩c	4.45	3.95	1.40	20.60			2429
	スクレイパー	搔器	IV	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	4.30	3.85	1.10	17.70		9	2758
	スクレイパー	搔器	IV	-	B	VIII	B・13	流紋岩f	2.85	5.40	1.60	26.60			19
	スクレイパー	削器	I	-	C	VIII	C・6	ホルンフェンス	6.25	4.85	2.15	50.70			209
	スクレイパー	削器	I	-	C	VIII	E・5	流紋岩g	8.15	3.80	1.45	41.60			486
	スクレイパー	削器	II	-	C	VI	E・6	流紋岩e	2.90	2.15	0.90	4.60			381
	スクレイパー	削器	II	-	C	VI	G・2	流紋岩e	6.85	5.30	2.60	97.60			524
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	F・5	流紋岩b	5.60	3.50	1.55	29.20		8	566
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	D・4	流紋岩b	4.35	3.70	0.80	12.20			1007
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	F・3	ホルンフェンス	5.30	3.25	1.05	17.60			1087

表18 石器計測表(11)

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合体	ブロック	注記
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	G・2	流紋岩c	5.80	7.00	1.60	69.60			1173
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	6.75	5.65	2.90	103.80			1186
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	G・4	流紋岩f	2.35	2.75	1.20	9.50			1547
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	J・5	流紋岩f	7.15	5.70	1.55	63.80			2037
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	D・4	ホルンフェンス	11.05	4.40	1.70	82.60			2368
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	E・4	流紋岩c	13.10	8.20	2.00	249.70			2432
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	E・3	流紋岩f	9.20	5.95	2.35	156.30			2491
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	F・4	流紋岩g	9.80	5.50	3.00	152.00			2718
	スクレイパー	削器	II	-	C	VIII	H・3	流紋岩f	9.15	9.65	3.25	266.80		13	3008
	スクレイパー	挟入石器	III	-	C	VIII	F・3	ホルンフェンス	6.55	3.10	0.95	16.40			3171
	スクレイパー	挟入石器	III	-	C	VIII	F・2	流紋岩a	8.40	3.10	1.15	24.70			3332
419	石錐	-	-	-	C	VI	I・4	黒曜石	2.70	1.30	0.70	1.70			380
417	石錐	-	-	-	C	VIII	F・4	黒曜石	2.70	1.30	0.60	1.60		6	66
418	石錐	-	-	-	C	VIII	D・4	黒曜石	2.10	1.30	0.65	1.30			471
416	石錐	-	-	-	C	VIII	F・4	黒曜石	2.70	1.40	0.70	2.00		6	675
415	石錐	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩a	3.50	1.60	0.80	3.40			753
414	石錐	-	-	-	C	VIII	D・4	黒曜石	2.80	1.40	0.70	1.80			960
420	石錐	-	-	-	C	VIII	D・4	黒曜石	2.55	1.70	0.90	2.20			999
421	敲石兼磨石	I	-	-	B	VIII	B・16	砂岩	11.15	7.75	5.10	679.00		18	96
422	敲石兼磨石	II	-	-	C	VIII	F・3	砂岩	13.40	3.85	2.80	215.70			1123
423	敲石兼磨石	II	-	-	B	VIII	B・17	砂岩	12.60	4.65	2.60	227.50		21	646
424	敲石兼磨石	I	-	-	C	VIII	G・3	砂岩	11.20	8.15	6.00	769.20			1360
425	敲石兼磨石	II	-	-	C	VIII	I・6	砂岩	10.70	4.80	3.70	248.60		15	1753
426	敲石兼磨石	II	-	-	C	VIII	G・3	砂岩	7.45	3.95	2.90	123.20			1272
427	敲石兼磨石	II	-	-	C	VIII	G・5	砂岩	8.60	3.60	3.80	176.00			2992
428	敲石兼磨石	II	-	-	B	VIII	B・16	砂岩	18.90	7.70	4.50	1033.10			745
429	敲石兼磨石	II	-	-	B	VIII	B・16	砂岩	15.10	3.90	4.00	285.30			640
430	敲石兼磨石	II	-	-	B	VIII	B・16	砂岩	8.60	3.15	2.90	78.40		18	587
431	敲石兼磨石	III	-	-	C	VIII	C・8	流紋岩c	12.10	9.05	4.30	653.60		16	247
432	敲石兼磨石	III	-	-	A	IX	K・14	砂岩	6.90	6.15	2.65	165.10			K14・8
433	敲石	I	-	-	C	VIII	C・5	砂岩	9.40	7.20	6.40	532.80		1	167
434	敲石	II	-	-	C	VIII	F・3	砂岩	14.50	5.45	2.40	296.20			2514
435	敲石	I	-	-	B	VIII	B・16	尾鈴酸性岩	10.80	8.20	6.70	786.30		18	111
436	敲石	II	-	-	C	VIII	I・6	砂岩	12.40	5.00	3.35	275.40		15	1927
437	敲石	II	-	-	C	VIII	I・6	砂岩	7.60	3.90	2.20	85.70		15	1751
438	敲石	II	-	-	B	VIII	B・16	砂岩	9.20	4.20	3.70	197.40			643
439	磨石	-	-	-	C	VIII	G・2	尾鈴酸性岩	8.70	7.50	4.30	411.00			1236
440	台石	-	-	-	C	VIII	G・2	砂岩	23.05	11.25	7.30	3200.00			1189
	敲石兼磨石	I	-	-	A	VIII	K・13	尾鈴酸性岩	12.80	12.10	6.60	1200.00			K13・16
	敲石兼磨石	II	-	-	C	VIII	F・5	砂岩	5.25	4.65	3.20	111.30		9	607
	敲石	II	-	-	C	VIII	D・5	砂岩	8.75	5.65	3.75	242.10			440
	敲石	II	-	-	C	VIII	G・2	砂岩	14.45	6.15	2.65	342.50			1192
	敲石	II	-	-	C	VIII	G・3	砂岩	7.75	5.55	3.50	208.30			1363
	敲石	II	-	-	B	VIII	B・16	尾鈴酸性岩	9.90	4.10	3.60	232.30		19	570
	敲石	II	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩a	11.05	4.80	3.95	266.00			630
	敲石	II	-	-	B	VIII	B・17	流紋岩a	14.60	4.75	4.40	417.50			1036
	敲石	II	-	-	C	VIII	D・8	流紋岩a	12.70	5.30	3.10	312.40			248
	磨石	-	-	-	C	VIII	G・2	砂岩	14.30	4.30	2.90	239.20			1174
	磨石	-	-	-	C	VIII	G・2	尾鈴酸性岩	10.90	6.20	3.55	351.50			1256

表19 石器計測表(12)

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
15	二次加工剥片	-	-	-	C	S118	G・3	流紋岩a	7.85	2.40	1.15	16.60			S118②
441	二次加工剥片	-	-	-	D	IX	K・13	流紋岩b	6.28	2.55	1.15	16.40			839
442	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	4.90	4.60	2.05	34.20		12	1302
443	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩a	5.45	2.20	1.55	15.30		8	502
444	二次加工剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩b	6.95	5.40	2.15	56.30		18	122
445	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・9	ホルンフェルス	12.00	5.60	2.10	101.90			3347
446	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	I・5	流紋岩b	4.30	2.60	0.90	7.50			2413
447	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩e	3.72	4.05	1.50	15.40		14	1851
448	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	7.18	3.05	1.75	29.30			1163
449	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	I・6	ホルンフェルス	7.25	3.80	1.50	41.40		15	1762
450	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	黒曜石	3.03	1.05	0.50	1.10			1269
451	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	E・3	流紋岩f	4.70	3.80	1.40	23.00			2500
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩b	2.25	1.55	0.90	3.00	148		844
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩g	5.60	3.45	1.10	18.10		1	163
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩b	6.40	5.00	1.30	31.00		3	1011
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩f	4.45	2.40	0.40	5.80		5	2441
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩f	2.80	2.85	0.85	7.60		6	702
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩a	3.20	2.40	0.55	4.40		6	2656-1
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	ホルンフェルス	15.80	5.45	1.85	166.4		6	2657
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩f	5.20	1.80	0.90	6.80		7	1105
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩a	4.45	2.55	0.60	5.80		8	546
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	5.20	4.80	1.50	27.90		9	602
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	G・5	流紋岩b	2.50	2.80	0.70	4.20		10	2995
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩f	4.15	4.10	1.50	30.80		15	1750
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩f	5.65	2.90	1.20	19.50		15	1763
	二次加工剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	3.60	3.10	0.80	6.50		18	85
	二次加工剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	3.25	1.90	0.50	2.80		18	105
	二次加工剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	3.65	3.40	0.95	7.60		18	600
	二次加工剥片	-	-	-	B	VIII	B・17	流紋岩f	3.15	3.75	0.40	5.90		20	394
	二次加工剥片	-	-	-	B	VIII	C・17	流紋岩f	2.40	2.65	0.70	3.90		21	999
	二次加工剥片	-	-	-	B	VIII	C・17	流紋岩f	5.70	5.60	1.50	44.70			958
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	E・5	流紋岩f	5.20	2.45	1.60	15.80			7
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩b	3.20	3.50	1.00	10.70			188
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・8	黒曜石	3.00	1.00	0.55	1.10			292
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	E・5	流紋岩e	5.70	3.25	1.40	20.30			300
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩b	3.30	2.15	1.40	9.00			871
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩f	3.80	2.15	1.45	10.40			987
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩f	4.70	2.15	1.55	13.70			1056
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩c	5.60	8.15	2.50	80.30			1159
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	G・2	珪質頁岩	6.40	2.95	1.40	34.10			1185
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	G・2	流紋岩a	3.80	2.55	1.00	7.20			1199
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩b	9.60	4.40	2.15	80.20			1371
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	G・4	ホルンフェルス	7.80	4.45	1.60	72.10			1539
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩b	4.35	2.05	0.60	5.00			1817
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩f	7.90	5.95	1.40	71.00			1820
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	I・5	流紋岩e	6.05	4.30	1.30	39.30			1962
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	C・6	流紋岩f	4.00	4.40	0.80	13.80			2191
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	G・10	流紋岩f	7.65	5.35	0.85	24.70			2276
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	D・4	ホルンフェルス	4.80	2.55	0.70	7.90			2333
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩a	11.40	3.95	1.60	58.80			2431
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	E・3	流紋岩b	5.65	3.20	1.80	33.70			2499
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	E・3	流紋岩f	7.35	3.10	0.60	12.30			2507
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩a	8.05	4.65	1.80	65.10			2513
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩b	10.65	4.15	0.90	38.10			2521

表20 石器計測表(13)

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩f	6.30	4.95	1.00	33.40			2525
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩f	2.60	1.80	0.60	4.00			2535
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・2	流紋岩f	5.50	3.50	1.70	26.00			2540
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩a	7.90	4.90	1.20	37.20			2700
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	黒曜石	2.20	1.30	0.70	1.50			2768
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩b	5.45	3.30	1.55	17.70			2876
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	H・5	流紋岩a	6.35	1.90	1.05	8.10			3045
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩b	9.55	5.60	1.75	59.80			3259
	二次加工剥片	-	-	-	C	VIII	F・7	流紋岩f	8.40	4.40	1.80	51.60			3338
	二次加工剥片	-	-	-	D	IX	K・11	流紋岩a	3.80	2.35	0.80	8.20			835

表21 石器計測表(14)

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
17	使用痕剥片	-	-	-	C	SI13	G・3	流紋岩f	7.40	3.70	1.00	20.40			SI13③
38	使用痕剥片	-	-	-	C	VI	H・3	流紋岩g	7.70	3.25	1.45	33.40	1	12	301
42	使用痕剥片	-	-	-	C	VI	H・3	流紋岩g	5.92	2.67	2.80	30.30	1	13	424
45	使用痕剥片	-	-	-	C	VI	G・3	流紋岩g	4.60	4.30	1.55	24.70	1	12	508
67	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩b	2.95	3.50	0.90	6.10	5	20	794
78	使用痕剥片	-	-	-	B	IX	B・16	流紋岩b	4.10	4.00	1.20	10.40	7	19	149
80	使用痕剥片	-	-	-	B	IX	B・17	流紋岩b	5.00	3.90	1.50	17.40	7	20	124
92	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・6	流紋岩a	2.55	3.70	1.00	5.80	10		211
97	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩g	5.40	2.60	1.10	8.80	12	8	2819
105	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩b	5.40	5.90	1.50	19.20	21		740
159	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	5.85	5.80	2.40	62.50	33	12	1314
161	使用痕剥片	-	-	-	C	VI	H・3	流紋岩f	3.20	2.70	0.75	4.80	33	13	485
184	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	H・6	流紋岩b	5.30	3.20	2.40	27.60	38		1724
194	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・15	ホルンフェルス	4.33	8.16	1.75	41.00	43		42
196	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	C・16	ホルンフェルス	5.16	5.22	1.18	26.50	43	21	471
207	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩b	2.70	5.55	1.75	13.40	48	8	744
209	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・6	流紋岩b	3.00	4.50	1.10	9.40	48		2180
214	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	4.30	3.90	1.00	12.10	55	18	151
215	使用痕剥片	-	-	-	B	VI	B・16	流紋岩f	4.40	3.10	1.10	12.10	55		448
452	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・6	流紋岩b	5.80	4.15	1.20	18.90			261
453	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・5	流紋岩b	6.40	5.45	1.55	30.90			332
454	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩b	7.50	4.55	1.20	29.80			2545
455	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩a	7.35	3.95	1.25	24.40			1408
456	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	5.60	5.23	2.00	42.90			1239
457	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩c	9.30	3.10	1.01	18.00			2531
458	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	5.90	5.75	1.60	43.50			1219
459	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	C・16	流紋岩f	3.15	2.95	0.50	4.40		21	909
460	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・5	ホルンフェルス	7.95	7.55	1.95	116.30			2402
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	6.80	3.75	1.90	43.10	4	18	147
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	3.45	1.70	0.55	3.00	4		234
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩a	4.60	5.00	1.40	24.20	13		388
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩g	3.90	5.40	1.40	20.40	23		1121
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・5	流紋岩f	4.40	2.45	0.90	6.30	26		1645
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩f	3.20	3.55	0.95	11.40	53		381
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	5.50	6.70	2.40	82.20	84	9	619
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・4	ホルンフェルス	3.95	3.45	0.85	11.60	91		1563
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩e	5.30	4.00	1.00	22.10	99	14	1860
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩a	5.65	3.40	2.00	22.10	103		2482
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	J・5	流紋岩b	6.00	5.55	1.10	28.30	105		2015
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	C・17	流紋岩e	5.15	3.45	0.60	10.90	119	21	482-2
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩g	4.05	6.20	1.25	34.90	151	8	526
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	C・5	流紋岩e	7.25	5.10	1.70	52.00		1	907
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	C・5	流紋岩f	5.80	4.40	1.10	24.80		1	931
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩f	4.35	2.00	0.90	6.80		3	1008
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩f	9.25	3.70	0.95	35.60		5	2453
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩f	5.05	2.50	1.00	9.90		6	725
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩f	6.90	3.60	1.45	28.50		6	778
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩f	2.95	3.10	0.50	4.00		6	814
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩f	3.80	4.55	0.95	10.10		6	2682
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩f	5.35	4.90	1.60	44.70		7	3331
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	3.65	1.75	0.40	28.60		8	512
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	4.00	3.80	0.55	7.50		8	514
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩g	2.20	1.90	0.55	2.80		8	2783
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・5	流紋岩g	4.50	5.10	1.10	23.40		10	162
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・5	流紋岩f	3.55	1.80	0.95	4.20		10	3002
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	3.95	4.15	0.85	12.50		12	1344
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	4.90	3.00	1.10	14.10		12	1347
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	H・3	流紋岩f	2.95	2.00	0.65	3.90		13	1430
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	H・3	流紋岩f	4.00	1.80	0.65	4.30		13	1459

表22 石器計測表(15)

	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	H・3	流紋岩f	3.60	4.15	0.90	13.60		13	1461
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	H・3	流紋岩f	4.35	2.70	0.60	5.70		13	1462
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	H・3	流紋岩c	2.60	2.70	0.60	3.80		13	1466
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	H・3	流紋岩f	7.30	5.60	2.85	99.50		13	3007
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	C・8	流紋岩g	3.60	2.80	1.00	8.40		16	139
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	C・8	流紋岩f	3.45	2.10	0.55	4.20		16	2209
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	5.40	3.20	0.90	11.20		18	93
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩g	2.95	2.20	0.75	4.00		18	129
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	4.70	3.00	0.85	2.30		18	602
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	3.55	2.00	0.90	5.10		19	253
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	4.80	3.30	0.90	13.80		19	290
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・17	流紋岩f	7.15	3.60	1.30	27.50		20	384
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	C・16	流紋岩c	5.00	6.30	1.60	36.00		21	935
	使用痕剥片	-	-	-	A	VIII	K・13	砂岩	4.50	4.80	1.15	31.50			K13・22
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・14	流紋岩b	3.20	2.60	0.50	4.00			34
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・15	流紋岩g	8.15	5.65	2.30	86.80			38
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	B・17	流紋岩f	2.95	1.90	0.90	3.40			392
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	C・15	流紋岩f	4.65	4.00	0.80	13.90			526
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	C・16	流紋岩a	6.90	5.25	1.40	31.60			723
	使用痕剥片	-	-	-	B	VIII	C・16	流紋岩f	7.70	3.50	1.05	7.50			739
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・7	流紋岩f	3.20	2.60	0.70	5.20			36
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・4	流紋岩f	8.25	4.95	1.40	56.60			130
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩a	2.90	2.50	0.55	3.70			187
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩f	4.50	1.95	1.35	7.60			192
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・6	流紋岩b	3.50	2.70	0.65	8.80			267
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・7	流紋岩f	4.95	3.10	0.65	5.10			290
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩a	10.30	4.60	1.50	68.40			669
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩f	5.55	3.95	0.85	16.70			756
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩b	8.00	3.45	1.10	33.80			854
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩f	5.10	3.70	1.10	18.70			991
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩f	2.45	2.65	0.45	2.70			1004
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・2	流紋岩g	3.90	2.35	0.65	5.30			1076
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩f	5.30	2.45	0.70	9.00			1130
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	4.55	3.70	1.45	20.30			1405
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・5	流紋岩f	8.65	5.70	2.25	88.50			1567
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・5	流紋岩f	5.00	3.80	0.80	18.50			1619
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩f	1.80	2.85	0.50	2.20			1842
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩f	4.20	2.15	0.55	3.30			1922
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	J・5	流紋岩f	7.15	3.80	1.15	37.00			2026
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	K・5	流紋岩f	5.50	2.30	0.60	5.30			2047
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	J・4	流紋岩f	4.25	4.50	1.20	21.50			2097
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・6	流紋岩f	2.15	2.55	0.45	2.40			2177
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・6	流紋岩f	4.05	1.55	0.90	4.20			2184
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・10	流紋岩c	6.60	4.85	1.55	52.70			2275
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩f	3.85	4.35	1.15	16.90			2379
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩b	4.50	2.60	0.95	10.00			2434
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩f	4.15	1.80	0.95	4.20			2487
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩a	6.25	4.10	1.55	24.70			2524
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩e	4.10	3.80	0.50	8.50			2708
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・4	ホルンフェルス	6.20	2.10	0.55	6.70			2726
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	1.45	2.30	0.55	1.50			2762
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	4.90	4.20	1.10	18.50			2922
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・4	流紋岩f	8.80	3.80	1.40	39.20			2947
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・4	流紋岩a	7.05	3.40	0.60	9.50			2953
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	H・5	ホルンフェルス	3.80	2.35	1.15	8.10			3030
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	H・6	流紋岩f	7.35	2.40	0.90	13.70			3228
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	2.65	3.45	0.60	3.90			3235
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	E・3	流紋岩b	3.45	2.70	1.35	12.80			3309
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	5.50	3.25	1.10	14.60			F5
	使用痕剥片	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩b	5.50	3.00	1.00	12.70			G3

表23 石器計測表(16)

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
28	石核	-	-	-	C	VIII	H・3	流紋岩g	8.78	7.50	2.25	139.10	1		3134
31	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	7.20	6.20	2.58	105.50	1	12	1335
39	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	7.70	7.00	3.60	178.50	1	12	1308
44	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	8.68	6.70	3.75	155.30	1	12	1327
48	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	6.36	5.98	3.80	149.90	1		1379
53	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	6.05	3.73	2.05	35.50	1	12	3143
68	石核	-	-	-	B	IX	B・17	流紋岩b	7.30	7.25	3.00	104.90	5	20	198
71	石核	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩c	4.20	4.40	3.40	63.20	6	18	164
89	石核	-	-	-	B	IX	B・17	流紋岩b	6.65	5.85	4.35	148.40	7	20	195
98	石核	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩g	6.90	4.75	4.40	120.40	12	8	2773
108	石核	-	-	-	C	VIII	D・6	流紋岩b	8.80	12.40	6.55	846.30	21		212
110	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	4.98	3.97	6.21	84.60	28	12	1303
112	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	9.30	8.10	3.45	215.10	28	12	1339
126	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩g	5.40	4.60	3.35	72.30	28	12	1313
135	石核	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩b	5.25	5.60	4.38	90.50	29		424-1
137	石核	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩b	5.55	3.46	4.15	51.20	29		866
146	石核	-	-	-	B	VIII	C・16	流紋岩f	5.75	3.75	3.65	67.40	30		730
155	石核	-	-	-	B	VIII	B・16	チャート	3.50	4.78	4.20	78.00	31	18	109
165	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	5.15	4.90	3.33	83.60	33	12	1312
170	石核	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩g	4.40	4.98	2.52	36.00	34	3	1025
173	石核	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩g	5.80	5.63	4.32	62.20	34		404
179	石核	-	-	-	C	VIII	C・5	流紋岩f	5.72	7.40	2.70	106.20	35	1	908
193	石核	-	-	-	B	VIII	C・17	流紋岩g	6.08	3.61	2.16	30.00	39	21	887
200	石核	-	-	-	B	VIII	C・16	ホルンフェルス	7.25	11.90	4.00	367.60	43	21	663
205	石核	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩c	5.90	3.60	2.30	35.70	45	5	2457
461	石核	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩g	3.20	4.10	3.45	60.00		19	270
462	石核	-	-	-	A	VIII	K・13	流紋岩f	5.40	8.55	7.40	281.80		23	K13・8
463	石核	-	-	-	B	VIII	C16	流紋岩f	3.90	4.30	4.40	106.80			735
464	石核	-	-	-	B	IX	B・17	流紋岩f	3.90	6.50	4.65	104.00		20	81
465	石核	-	-	-	C	VIII	K・5	流紋岩f	5.30	5.40	4.45	112.60			2045
466	石核	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩f	5.95	7.65	4.10	188.30		14	1876
467	石核	-	-	-	B	VIII	B・17	流紋岩a	3.50	4.25	3.45	39.00		21	708
468	石核	-	-	-	C	VIII	E・7	流紋岩f	4.70	5.20	4.20	125.20			147
469	石核	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩g	3.20	4.00	3.10	37.50		3	1024
470	石核	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩b	4.70	3.55	4.05	99.70		6	658
471	石核	-	-	-	C	VIII	D・5	流紋岩b	2.50	4.20	4.20	27.40			880
472	石核	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩f	6.40	4.40	3.15	89.10		7	1094
473	石核	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	3.10	4.20	3.30	32.00		8	557
474	石核	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩g	5.60	5.20	5.15	183.10		6	724
475	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	2.60	2.90	2.00	12.40		12	3133
476	石核	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩g	5.60	5.60	5.40	228.40		4	2479
477	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	3.20	5.00	4.10	77.60			2910
478	石核	-	-	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	8.15	8.35	6.75	446.80			3179
479	石核	-	-	-	C	VIII	G・5	流紋岩g	2.60	4.00	3.65	34.10			1582
480	石核	-	-	-	C	VIII	G・5	流紋岩f	3.50	3.80	4.00	65.50			3213
481	石核	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	4.20	4.20	3.00	51.00		19	284
482	石核	-	-	-	C	㊟	E・4	流紋岩f	6.85	7.00	6.00	418.40			2
483	石核	-	-	-	C	VIII	C・7	砂岩	6.60	7.20	4.80	179.40			218

表24 石器計測表(17)

	石核	-	-	-	A	VIII	K・13	流紋岩f	7.45	9.20	2.60	153.30	104	23	K13・12
	石核	-	-	-	A	IX	K・14	ホルンフェルス	7.80	9.95	2.50	251.90	27	23	K14・4
	石核	-	-	-	B	VI	B・16	チャート	2.90	4.40	3.00	37.40	3	18	477
	石核	-	-	-	B	VIII	B・14	流紋岩f	3.95	3.25	2.80	121.90			25
	石核	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩f	6.70	5.05	4.30	142.80	41	18	101
	石核	-	-	-	B	VIII	B・16	チャート	3.30	6.75	5.00	111.50	3	18	104
	石核	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩c	4.85	4.75	4.10	38.70		18	135
	石核				B	VIII	B・16							19	271
	石核				B	VIII	B・16							19	272
	石核				B	VIII	B・16	流紋岩f					122	19	272
	石核				B	VIII	B・16	流紋岩a					126	19	273
	石核				B	VIII	B・16	流紋岩a					76	19	274
	石核				B	VIII	B・16							19	275
	石核				B	VIII	B・16							19	276
	石核				B	VIII	B・16							19	277
	石核				B	VIII	B・16							19	278
	石核	-	-	-	B	VIII	B・16	流紋岩a	2.75	4.10	3.25	40.10	36	19	291-1
	石核	-	-	-	B	VIII	C・16	チャート	3.35	3.70	1.70	22.10	40	19	301
	石核	-	-	-	B	VIII	C・16	尾鈴酸性岩	2.60	4.15	3.40	36.00	32	21	462
	石核	-	-	-	B	VIII	B・17	流紋岩a	5.30	4.30	2.30	41.20	14	21	703
	石核	-	-	-	B	VIII	B・17	流紋岩a	4.65	3.40	2.10	23.60	14	21	710
	石核	-	-	-	B	VIII	C・16	流紋岩e	6.80	5.90	2.05	61.80	119		742
	石核	-	-	-	B	VIII	C・16	流紋岩g	3.45	3.10	2.55	32.50		21	933
	石核	-	-	-	B	IX	B・16	流紋岩b	6.35	4.90	3.85	108.60		18	167
	石核	-	-	-	B	IX	B・17	流紋岩b	7.75	4.20	3.50	89.70		20	199
	石核	-	-	-	C	VI	G・2	流紋岩a	3.40	3.45	2.90	37.80	98		279
	石核	-	-	-	C	VI	H・3	流紋岩f	5.85	4.45	1.85	46.90	93	12	401
	石核	-	-	-	C	VI	H・3	流紋岩f	5.95	6.15	2.40	99.50	94	12	441
	石核	-	-	-	C	VIII	E・6	黒曜石	2.30	3.05	1.70	11.40			262
	石核	-	-	-	C	VIII	E・5	流紋岩f	4.60	4.50	3.10	79.50	166		303
	石核	-	-	-	C	VIII	E・5	流紋岩e	6.60	4.80	3.10	120.00			338
	石核	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩f	5.60	2.80	1.45	21.50	141	5	367
	石核	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩b	3.00	3.45	2.65	28.00	16		480
	石核	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩a	3.40	4.75	2.20	29.20		8	504
	石核	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩b	6.30	6.10	3.45	132.20	149	8	508
	石核	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩f	3.20	7.15	3.10	60.60	145	9	600
	石核	-	-	-	C	VIII	F・5	黒曜石	4.15	4.60	3.05	44.70		8	642
	石核	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩f	6.55	5.40	2.00	82.20	25	6	691
	石核	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩a	4.50	6.15	4.50	112.40	11	6	714
	石核	-	-	-	C	VIII	C・5	ホルンフェルス	4.15	6.30	1.60	42.50	137		934
	石核	-	-	-	C	VIII	C・5	流紋岩b	3.50	3.90	1.70	16.80	147	2	951
	石核	-	-	-	C	VIII	C・4	流紋岩b	3.40	3.15	1.35	13.20	16	2	957
	石核	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩f	4.25	4.10	2.80	44.80		3	1071
	石核	-	-	-	C	VIII	E・4	流紋岩a	4.80	5.95	3.10	88.30		5	1156
	石核	-	-	-	C	VIII	G・2	尾鈴酸性岩	9.50	12.00	5.20	611.00			1221
	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	チャート	4.50	5.20	4.10	139.30		12	1293
	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	4.65	3.50	1.90	40.40	20	12	1311
	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	5.70	5.25	2.20	41.10	61	12	1315
	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	4.00	5.75	2.20	52.10	20	12	1329

表25 石器計測表(18)

	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	チャート	3.50	3.45	2.80	32.30		12	1350
	石核	-	-	-	C	VIII	G・2	流紋岩g	6.60	3.60	2.35	54.00			1415
	石核	-	-	-	C	VIII	H・2	流紋岩f	3.60	4.10	3.40	58.10	22		1421
	石核	-	-	-	C	VIII	H・3	流紋岩f	6.05	4.90	2.40	70.00		12	1448
	石核	-	-	-	C	VIII	G・4	流紋岩b	7.20	8.00	6.15	403.10	65		1507
	石核	-	-	-	C	VIII	G・4	流紋岩a	3.95	3.30	1.15	14.70			1527
	石核	-	-	-	C	VIII	G・4	流紋岩f	5.85	4.05	2.10	32.90			1542
	石核	-	-	-	C	VIII	G・5	流紋岩c	9.60	12.00	11.25	1400.00			1577
	石核	-	-	-	C	VIII	G・5	ホルンフェルス	6.30	8.00	2.90	144.50	58		1654
	石核	-	-	-	C	VIII	H・6	流紋岩f	6.30	3.20	2.10	36.90			1718
	石核	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩f	8.50	11.20	7.50	775.80			1734
	石核	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩c	2.95	3.45	2.55	16.70		15	1745
	石核	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩f	4.15	5.90	2.85	61.30			1816
	石核	-	-	-	C	VIII	I・6	流紋岩e	7.95	4.70	3.95	137.30	56	14	1877
	石核	-	-	-	C	VIII	I・6	ホルンフェルス	6.15	6.50	4.70	197.50			1930
	石核	-	-	-	C	VIII	F・6	流紋岩f	4.30	5.80	1.80	42.20	52	11	2137-1
	石核	-	-	-	C	VIII	C・5	流紋岩f	4.10	4.70	1.80	29.30	37	2	2305
	石核	-	-	-	C	VIII	D・4	流紋岩g	3.90	3.30	2.60	28.20		3	2346
	石核	-	-	-	C	VIII	D・3	流紋岩a	5.05	5.40	2.50	69.50			2393
	石核	-	-	-	C	VIII	F・4	流紋岩g	4.75	3.60	2.35	38.20			2709
	石核	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩b	4.50	5.20	2.50	54.80		9	2751
	石核	-	-	-	C	VIII	F・5	流紋岩b	6.40	6.45	3.65	128.20		9	2755
	石核	-	-	-	C	VIII	G・5	流紋岩g	5.80	5.60	2.85	88.10	59		2990
	石核	-	-	-	C	VIII	G・3	流紋岩f	5.65	5.40	2.60	72.70	62	12	3129
	石核	-	-	-	C	VIII	H・3	流紋岩f	5.20	3.30	3.00	36.80	96	12	3152
	石核	-	-	-	C	VIII	F・3	流紋岩g	4.65	9.10	4.15	263.20	23		3167
	石核	-	-	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	4.15	5.35	4.10	134.90			3206
	石核	-	-	-	C	VIII	G・2	流紋岩f	8.00	6.45	3.35	157.90			3209
	石核	-	-	-	C	VIII	H・6	流紋岩g	3.90	5.75	2.90	59.40			3229
	石核	-	-	-	C	VIII	H・6	流紋岩f	2.55	4.05	3.10	24.10	200		3243

### 第3節 旧石器時代終末第Ⅲ石器文化の遺構と遺物

小林軽石火山灰降灰以降の文化層で、小林軽石火山灰残存範囲のVIb層にあたる。小林軽石火山灰降灰から細石器文化期にかけてと考えられる土坑26基を検出し、遺構内から敲石兼磨石1点と剥片2点が出土した。また、細石器文化期の遺物は、細石核5点、細石刃6点が出土した。

遺跡の削平されていた中央部分においては、遺構は削平されていた面からの検出で、遺物は不明である。

#### (1)遺構

##### 土坑（第28表、第132図～第138図）

26基の土坑を検出した。それらの内容は、底面に小穴があるものが15基、小穴がないものが11基で、小穴は陥し穴の杭穴と考えられる。土坑は、遺跡の南西部を除く全域に分布し、2基または3基が接近していたり、等間隔で並んでいたりする。小穴がない土坑のうち、分布状況、土坑の深さ、土坑の断面形等から、陥し穴の可能性のあるものも考えられる。

検出したすべての土坑は、埋土が一致する。埋土は、小林軽石火山灰が密に入る硬質の黒褐色土が主で、縄文時代早期のVIa層は混入していない。SC8の埋土中から敲石兼磨石1点（第140図484）、SC16の埋土中に剥片2点（第140図485、486）が出土した（第29表）。484の敲石兼磨石は、石器の形状が偏平な楕円形を呈し、敲打痕が礫の両側縁に、磨面が礫の表裏面に観察される。石材は、砂岩である。485は、縦長剥片を素材とし、石材は流紋岩fである。486は、幅広の剥片を素材とし、石材は流紋岩aである。

小林軽石火山灰が残存している範囲において、小林軽石火山灰降灰後のVIb層で、土坑2基（SC8・SC24）の掘り込みを断面で確認した。

また、SC9内下部の埋土を放射性炭素年代測定したところ、細石器文化期に属する可能性が高い結果が出た。

以上のようなことから、いずれの土坑も、小林軽石火山灰降灰以降から細石器文化期までのものと考えられる。なお、SC1～SC26の詳細は第28表の通りである。

#### (2)遺物

細石器文化期の遺物は、細石核も5点、細石刃が6点が出土し、図示してある。

細石器は、遺物の北西部と南西端に分布する。（第139図）。

##### 細石核（第140図487～491、第31表）

出土した細石核5点は、全て野岳・休場型細石核であり、石材は、黒曜石2点、流紋岩f2点、流紋岩b1点である。

細石核の分布は、遺跡の北西部に集中し、その周辺には細石刃も分布する。

487は、分割礫を素材とし、剥離面打面で、打面調整はなく、側面調整が観察される。作業面が円周にみられ、剥出された刃数は11本と考えられる。石材は、流紋岩fである。

488は、分割礫を素材とし、剥離面打面で、打面調整はない。作業面が円周にみられ、剥出された刃数は15本と考えられる。石材は、流紋岩fである。

489は、分割礫を素材とし、剥離面打面で、打面調整が観察される。打面作業面の裏面に調整剥

離がみられ、剥出された刃数は7本と考えられる。石材は、流紋岩bである。

490は、自然面が残る小型の角礫を素材とし、剥離面打面で、打面調整が観察される。下端からの調整が片面にみられ、剥出された刃数は5本と考えられる。石材は、黒曜石である。

491は、自然面が残る小型の角礫を素材とし、自然打面で、わずかな打面調整と側面調整が観察される。表裏面に作業面がみられ、剥出された刃数は9本と考えられる。石材は、黒曜石である。

細石刃（第140図492～497、第31表）

出土した細石刃は6点である。石材は、黒曜石は2点、流紋岩a 1点、流紋岩b 1点、流紋岩f 1点、チャート1点である。

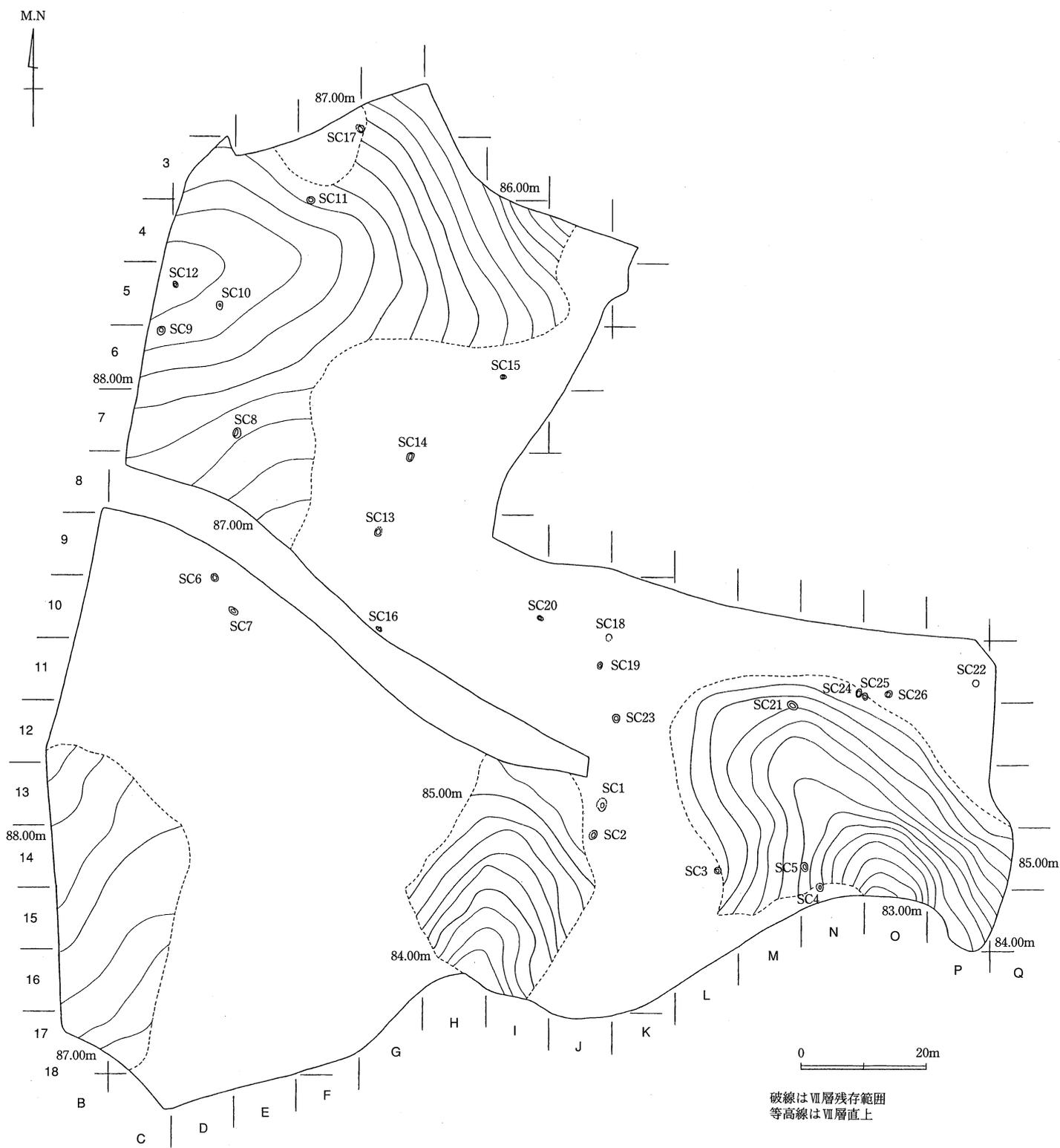
細石刃の分布は、遺跡の北西部で細石核が出土した周辺に4点、遺跡の南西端に2点である。

492は、使用のために裏面の一側縁に連続して極浅形細部調整が施されており、先端部が欠損している。石材は、黒曜石である。

493、494は、先端部が欠損しており、石材は、493が流紋岩b、494がチャートである。

495は、両側縁が欠損しており、石材は、黒曜石である。

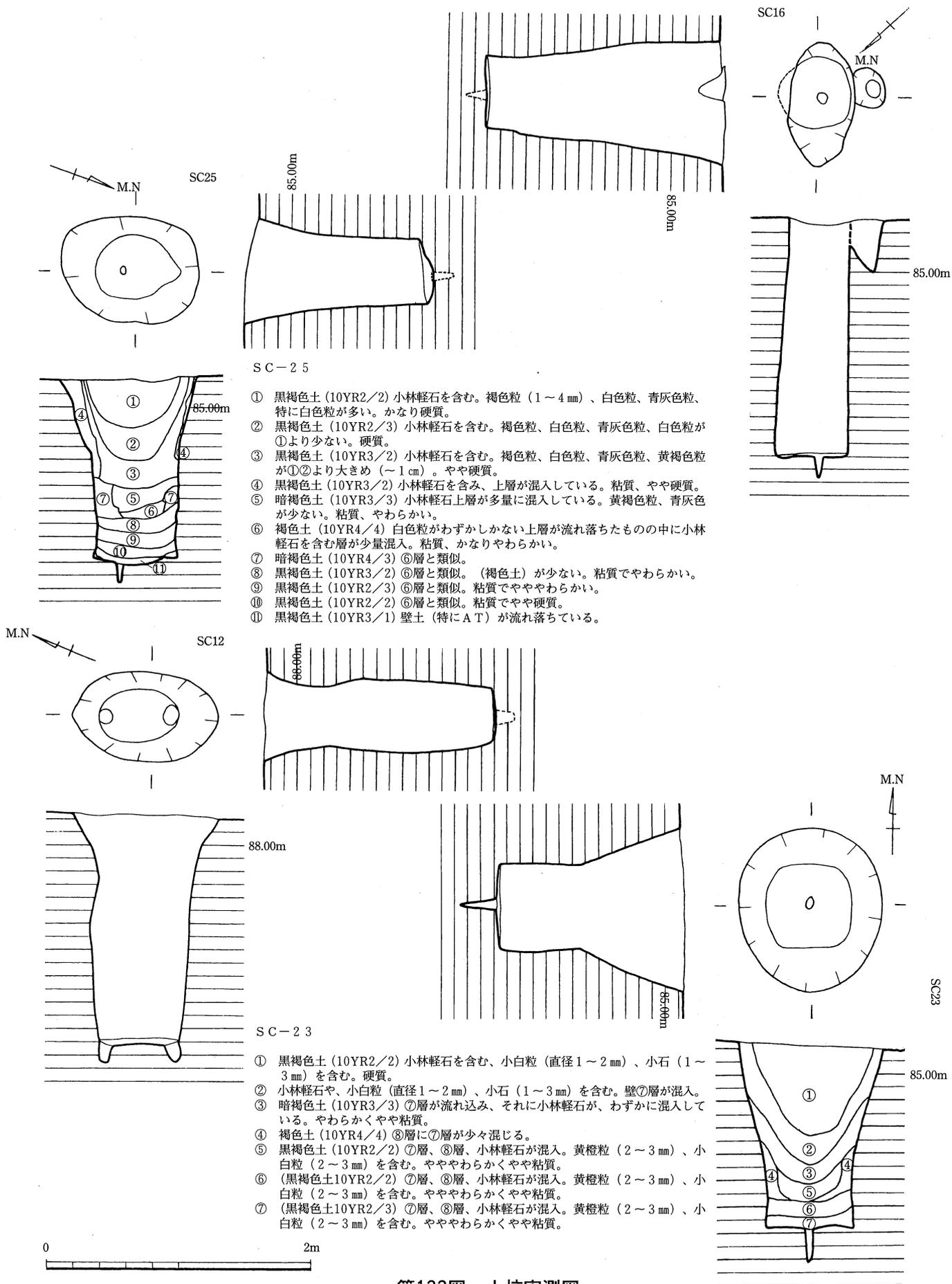
496、497は完形で、石材は、496が流紋岩a、497が流紋岩fである。



第132図 遺構配置図 (旧石器時代終末第Ⅲ石器文化)

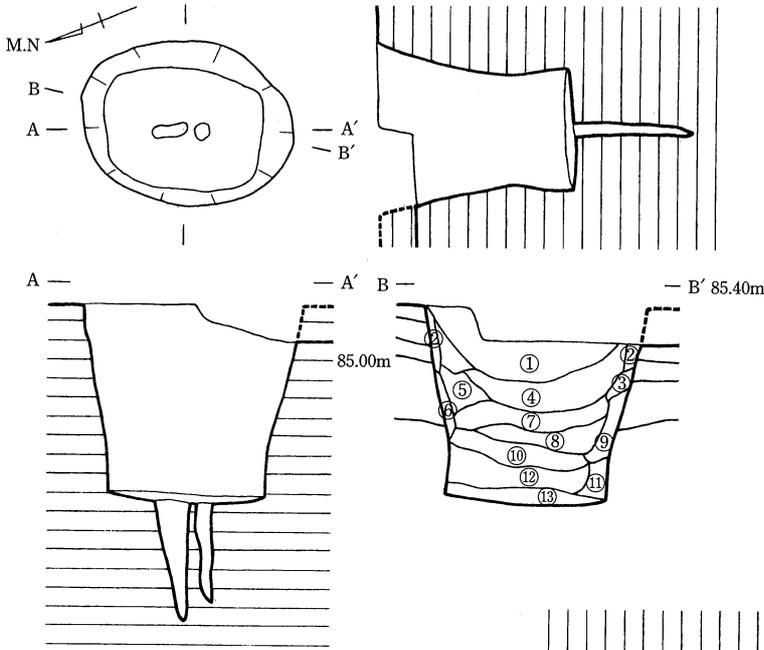
表26 土拡計測表

連構番号	グリッド名	検出面	形態・構造・規模				底面の小穴数・形態・規模				遺物混入	備考			
			平面形	底面形	断面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	数	形態			配列	長軸 (cm)	短軸 (cm)
SC16	G10	XIV層上部	長楕円形	円形	長方形	95	44	180	1	円形	中央	9	8	16	検出面上は削平
SC23	K12	VII層下部	楕円形	隅丸方形	くびれ形	125	109	130	1	楕円形	中央	10	6	29	埋土断面図
SC25	N11~O11	VIIb層下部	楕円形	楕円形	くびれ形	104	79	142	1	楕円形	中央	6.5	4.5	18	埋土断面図
SC12	D5	VIIb層下部	楕円形	楕円形	くびれ形	110	68	178	2	楕円形	主軸上両端	12~15	10~11	17.5~21	掘り込み面検出・埋土断面図
SC24	N11	VIIb層下部	楕円形	隅丸長方形	くびれ形	114	86	107	2	円形・不整形	主軸上中央	9~19	7	52~63	掘り込み面検出・埋土断面図
SC2	J14	VII層下部	楕円形	隅丸長方形	逆台形	153	120	82	3	楕円形	三隅	20~24	10~12	6~7	
SC4	N14~N15	VIIb層下部	楕円形	隅丸長方形	長方形	130	103	145	3	円形	主軸上	9~10	9	20~22	
SC14	G7~G8	XI層下部	長楕円形	隅丸長方形	逆台形	146	100	74	6	円形	列・対称	5~6	5~6	7~11	検出面上は削平
SC13	G9	XI層下部	楕円形	楕円形	逆台形	140	98	96	7	楕円形	主軸上	5~10	4~6	7.5~35	検出面上は削平
SC9	C6	VIIb層下部	円形	円形	逆台形	130	123	142	9	円形	主軸上・円・対称	3~5.5	3~5	7~17	
SC20	H10	XI層上部	隅丸長方形	隅丸長方形	長方形	82	54	103	9	楕円形	主軸上・対称	3~5	2~3.5	10~33	検出面上は削平
SC8	D7~E7	VIIb層下部	楕円形	隅丸長方形	逆台形	160	118	121	10	楕円形	主軸上・長楕円・対称	3~6	3~5	10~25	掘り込み面検出・埋土断面図
SC21	M12	VIIb層下部	隅丸長方形	隅丸長方形	丸底逆台形	160	109	120	10	楕円形	対称	3~8.5	2.5~6	10~17	
SC10	D5	VIIb層下部	楕円形	円形	丸底逆台形	129	119	129	15	楕円形	主軸上・対称	4~7	4~6	6~21	
SC11	F3~F4	VII層下部	楕円形	楕円形	逆台形	123	111	98	16	円形	楕円	2~5	2~5	5~11	検出面上は削平
SC1	J13	VII層下部	楕円形	楕円形	逆台形	215	150	207	0	-	-	-	-	-	埋土断面図
SC7	D10~E10	XII層下部	長楕円形	隅丸長方形	長方形	158	95	186	0	-	-	-	-	-	検出面上は削平
SC5	M14~N14	VIIb層下部	楕円形	隅丸長方形	長方形	155	100	170	0	-	-	-	-	-	
SC26	O11	VIII層上部	楕円形	隅丸長方形	くびれ形	117	91	146	0	-	-	-	-	-	
SC3	L14	VIII層上部	不整形楕円形	円形	逆台形	115	100	110	0	-	-	-	-	-	
SC18	J10~J11~K10	VIII層上部	楕円形	円形	くびれ形	98	83	95	0	-	-	-	-	-	
SC6	D9~D10	XII層下部	楕円形	楕円形	逆台形	130	108	94	0	-	-	-	-	-	検出面上は削平
SC17	F2~G2	VIII層下部	楕円形	楕円形	逆台形	142	101	93	0	-	-	-	-	-	検出面上は削平
SC19	J11	VIII層上部	楕円形	楕円形	逆台形	97	73	55	0	-	-	-	-	-	
SC22	P11	VIII層上部	円形	円形	くびれ形	102	91	47	0	-	-	-	-	-	検出面上は削平
SC15	I6	⑨層下部	楕円形	隅丸長方形	逆台形	90	59	21	0	-	-	-	-	-	検出面上は削平



第133図 土坑実測図

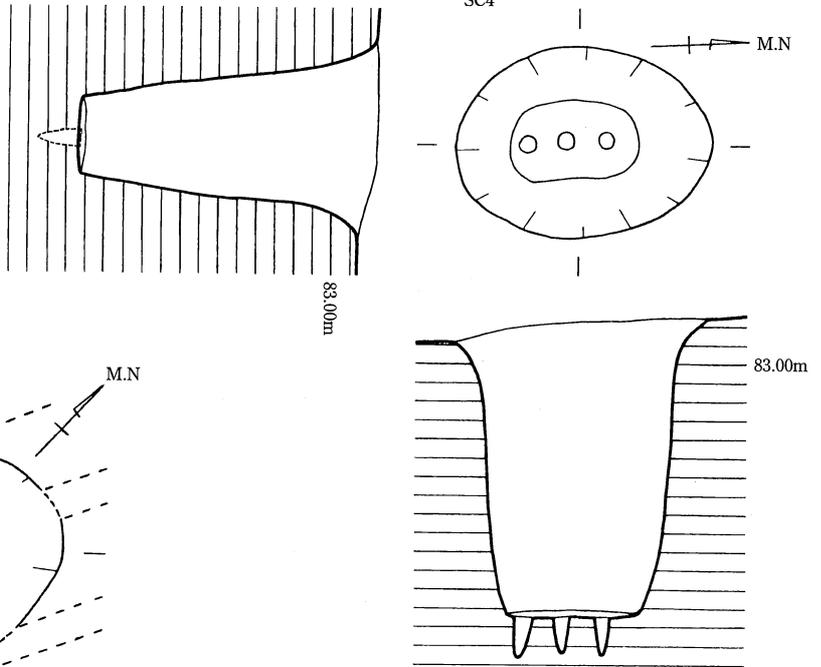
SC24



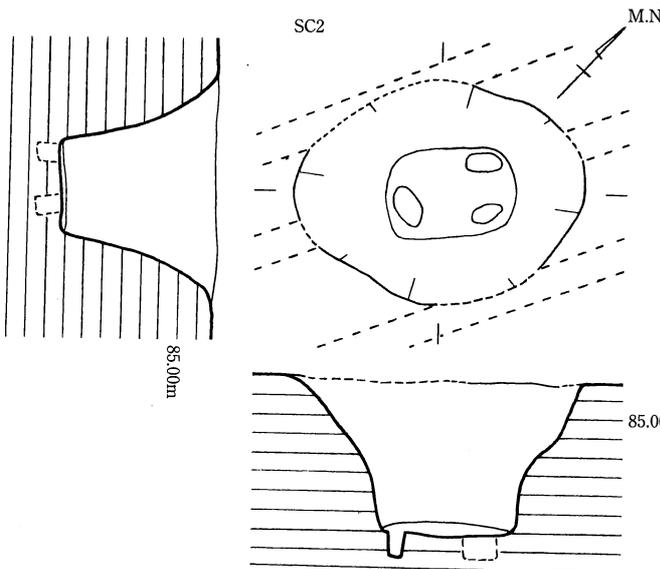
SC-24

- ① 黒褐色土 (10YR2/2) 小林軽石を含む。黄褐色粒 (2~3mm) 青灰色粒、白色粒多め。かなり硬質。
- ② 黒褐色土 (10YR3/2) 小林軽石を含む層。上層の褐色土が混入。青灰色粒、白色粒は少ない。やや硬質。
- ③
- ④ 黒褐色土 (10YR3/2) 小林軽石を含む層。黄褐色粒 (①層よりやや大きめの2~5mm) 青灰色粒、白色粒のより少なめ。かなり硬質。
- ⑤ 黒褐色土 (10YR2/3) 小林軽石を多く含む。④層の埋土に上層が混入。まだらがある。硬質。
- ⑥ 暗褐色土 (10YR4/3) 褐色土に黄褐色土 (2~3mm)、小白粒、少量の小林軽石が混入。やわらかくやや粘質、パサパサ。
- ⑦ 黒褐色土 (10YR3/2) 小林軽石を含む、黄褐色粒、青灰色粒、白色粒が④層より小さく少ない。また⑩層が少量混入している。硬質。
- ⑧ 暗褐色土 (10YR3/3) ⑦層と小林軽石を含む⑩層の粘質の褐色粒が多く混入している。やや硬質。
- ⑨ 暗褐色土 (10YR4/3) 小林軽石を少量混入。やわらかくやや粘質。パサパサ。
- ⑩ 褐色土 (10YR4/4) 小林軽石を少量混入。やわらかくやや粘質。
- ⑪ 暗褐色土 (10YR4/3) 褐色土粒、小白色粒、小青灰色粒がほんのわずかに混入。炭化物 (1~2mm) 少量含む。やわらかくやや粘質。
- ⑫ 暗褐色土 (10YR3/3) 褐色土粒、小白色粒、小青灰色粒がほんのわずかに混入。やややわらかい。やや粘質。
- ⑬ 黒褐色土 (10YR2/3) 褐色土粒、小白色粒、小青灰色粒がほんのわずかに混入。炭化物 (1~2mm) 硬質。

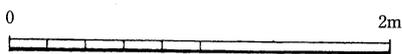
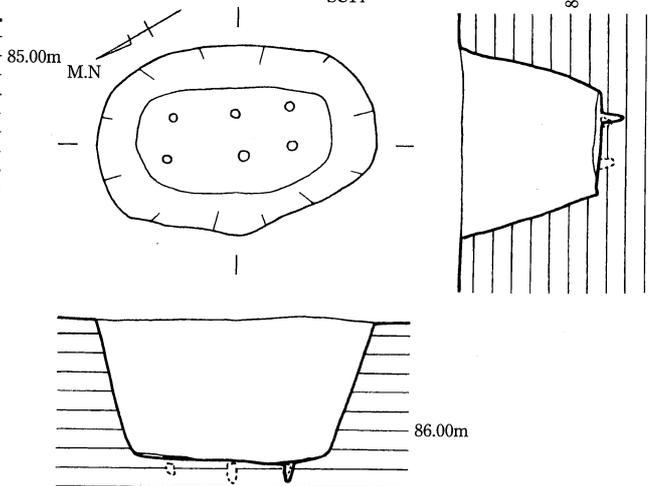
SC4



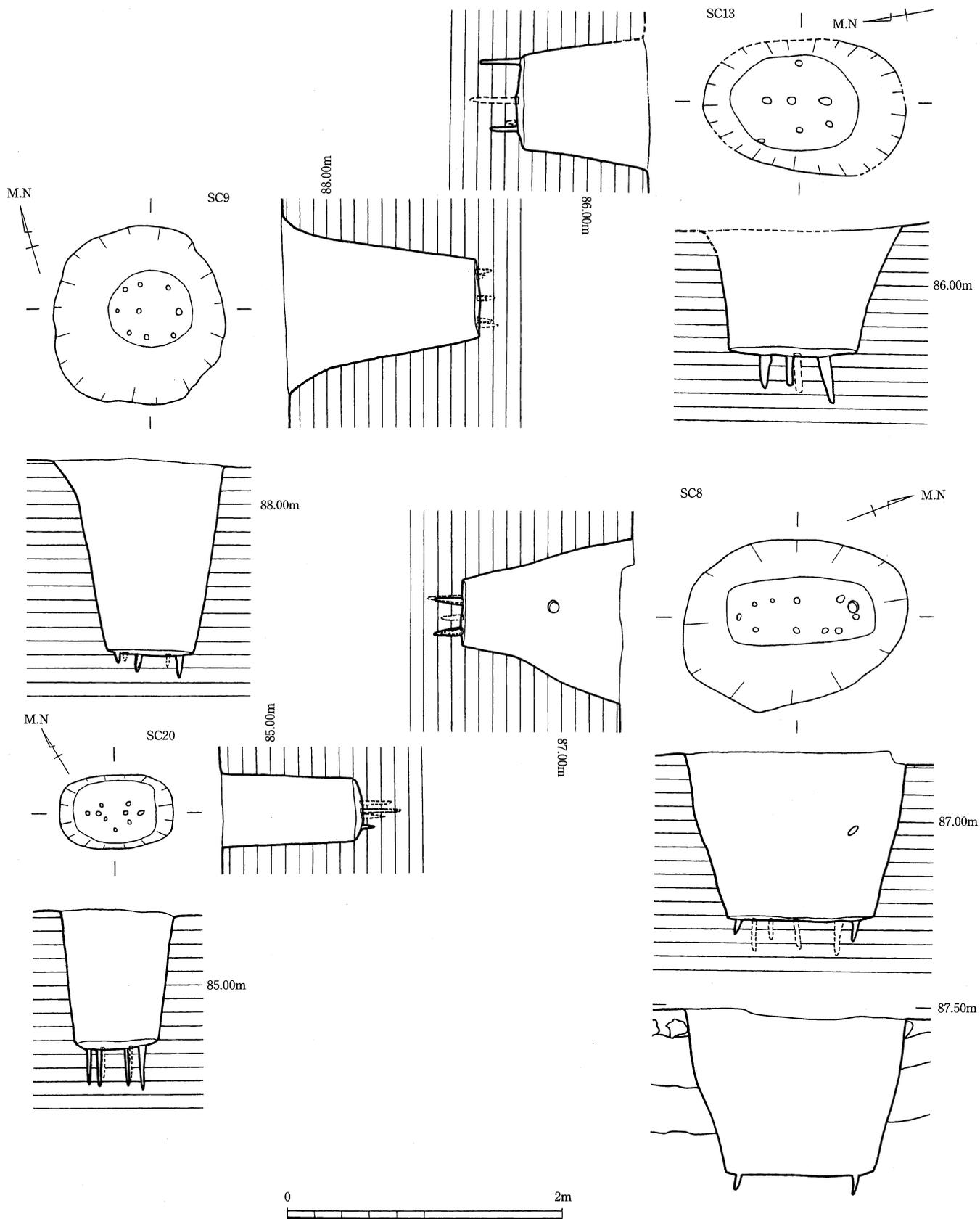
SC2



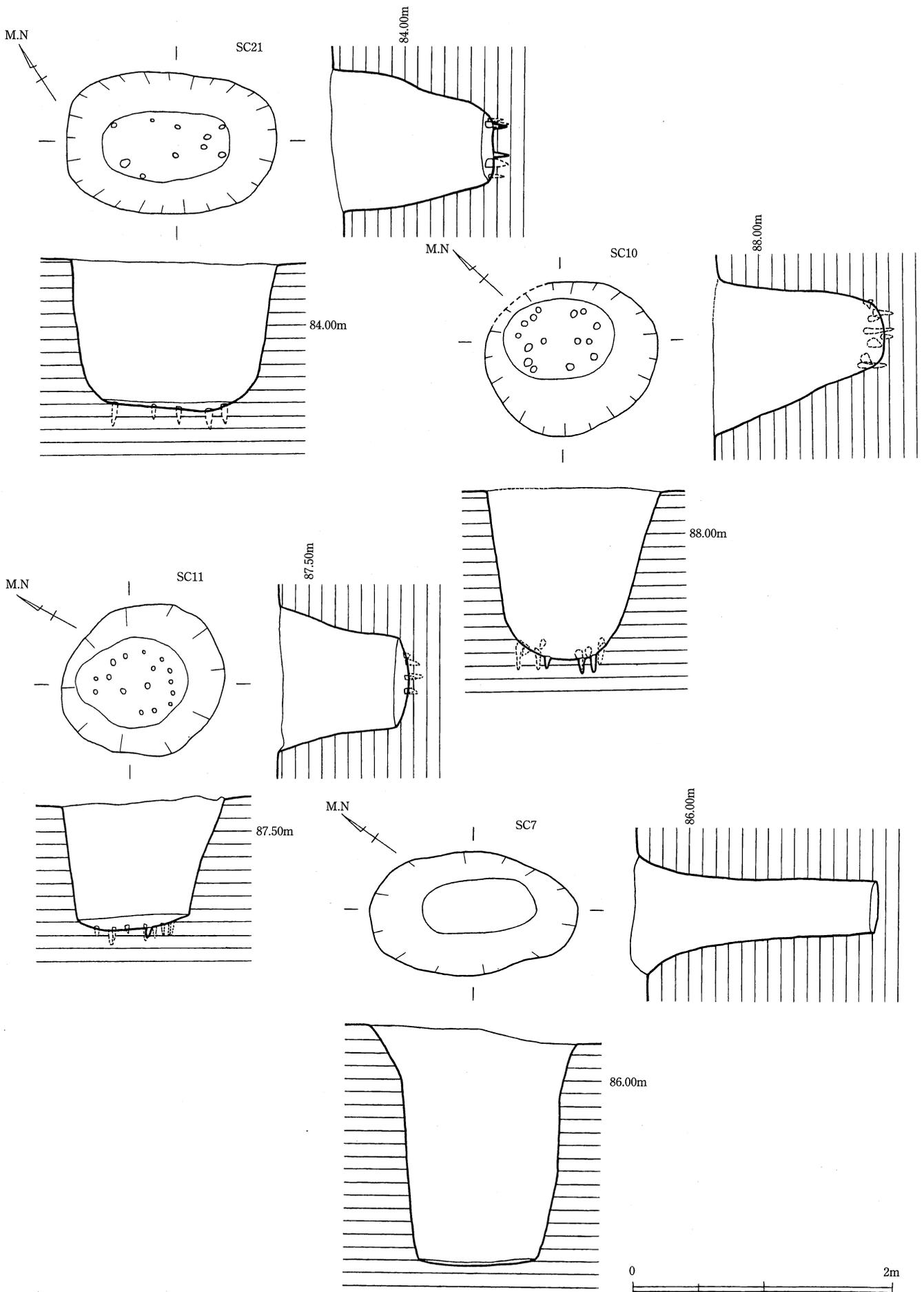
SC14



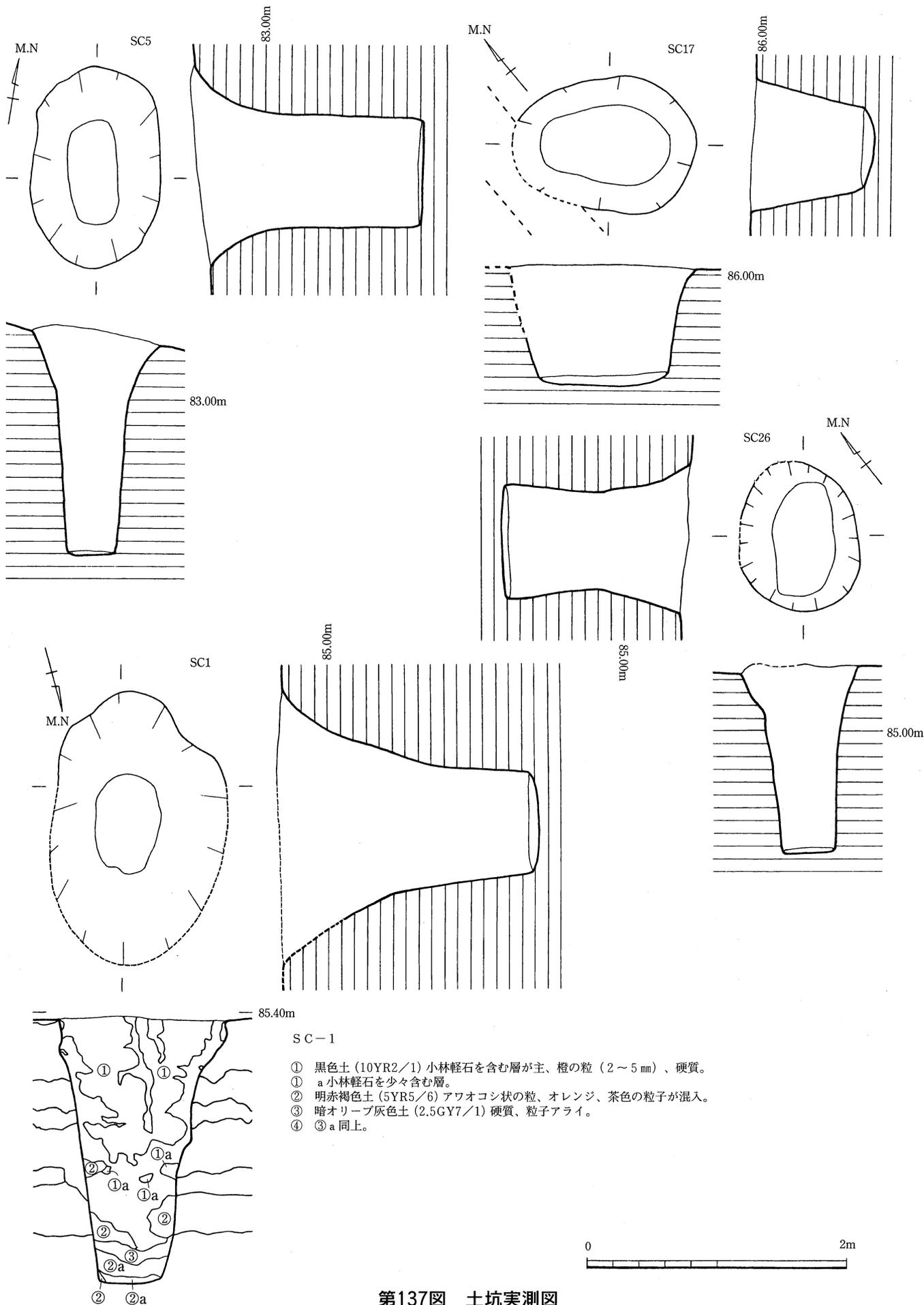
第134図 土坑実測図



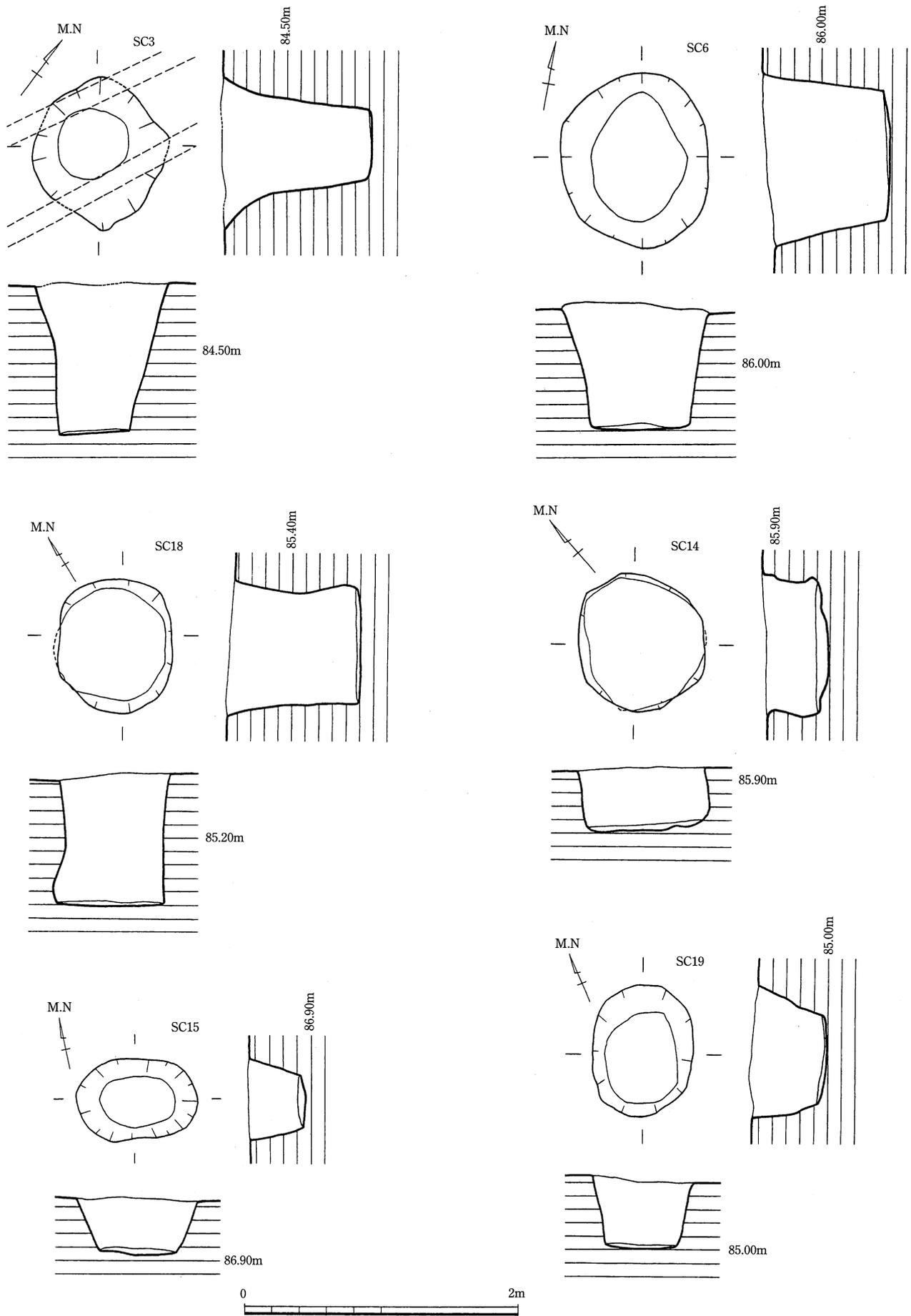
第135图 土坑实测图



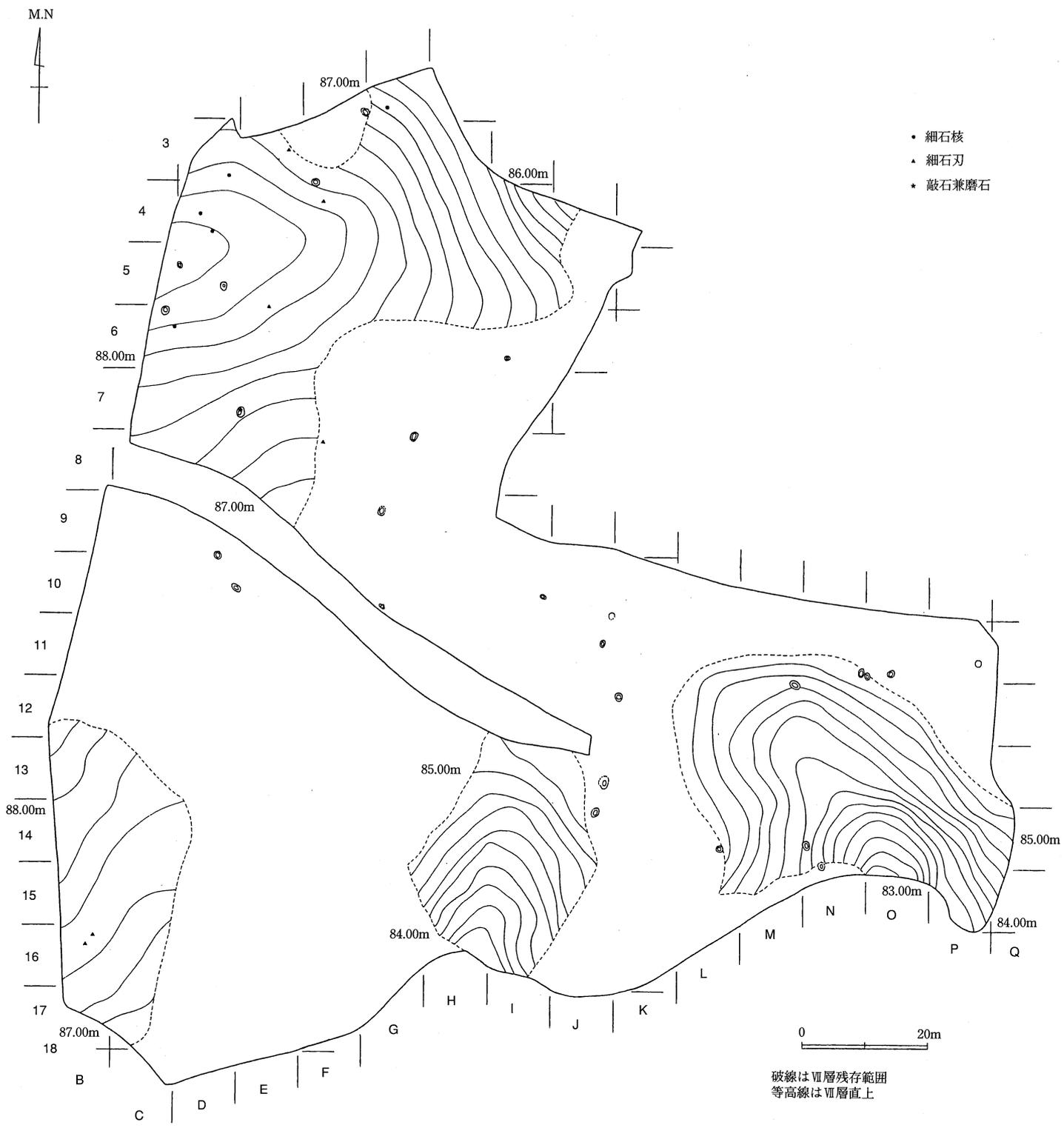
第136图 土坑实测图



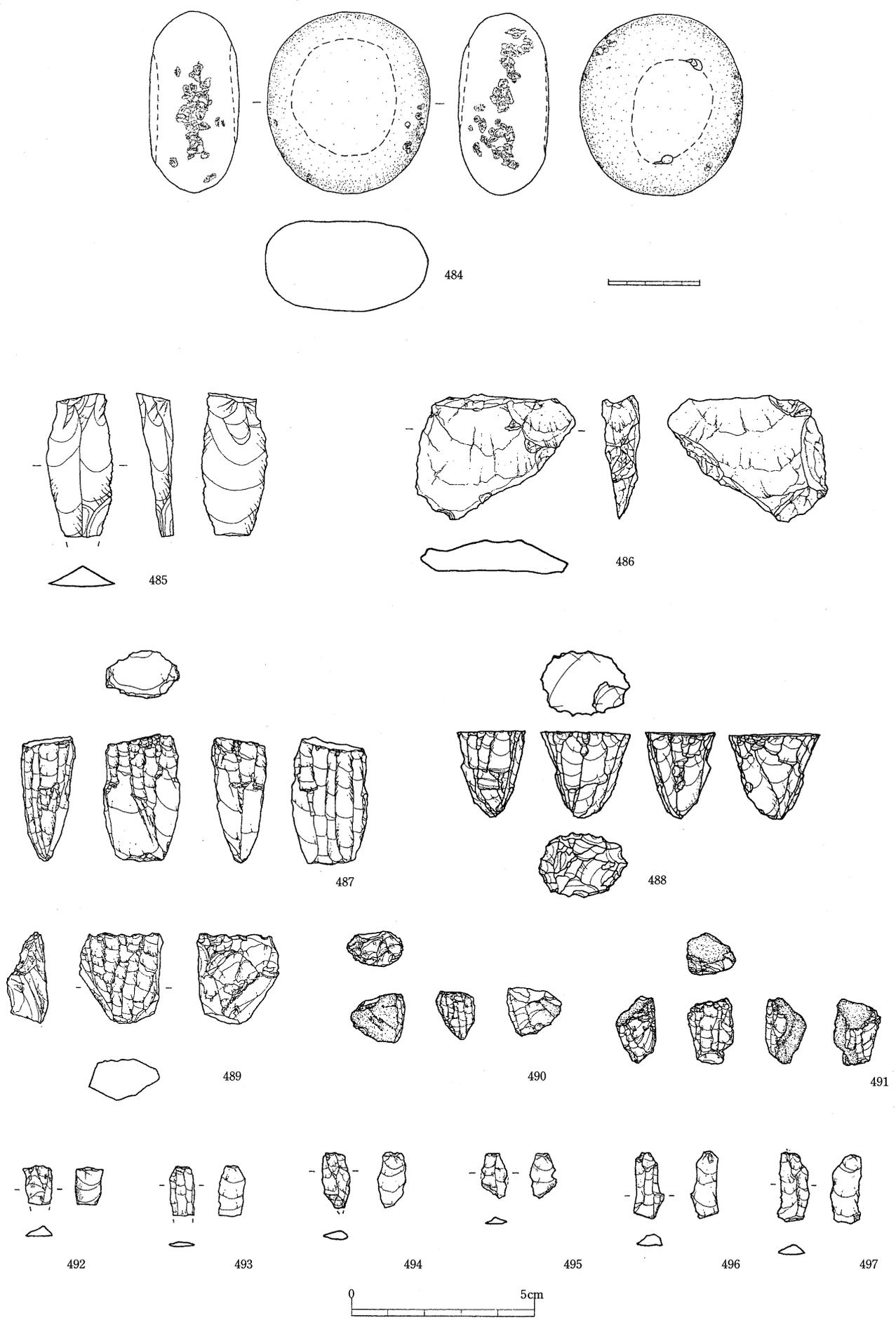
第137図 土坑実測図



第138图 土坑实测图



第139図 遺物分布図（細石核、細石刃、敲石兼磨石）



第140図 石器実測図 (敲石兼磨石、剥片、細石核、細石刃)

表27 石器別計測表

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
487	細石核				C	VI	D・4	流紋岩f	3.55	2.10	1.45	11.90			146
488	細石核				C	VIII	D・4	流紋岩f	2.40	2.50	1.90	10.00			45
489	細石核				C	VI	G・2	流紋岩b	2.50	2.30	1.10	7.60			294
490	細石核				C	VIII	C・6	黒曜石	1.35	1.50	1.05	1.50			196
491	細石刃				C	㊟	D・3	黒曜石	1.80	1.25	1.10	2.20			24
492	細石核				C	VI	E・6	黒曜石	1.05	0.75	0.25	0.10			553
493	細石刃				C	VIII	F・4	流紋岩b	1.35	0.70	0.10	0.10			82
494	細石刃				B	VIII	B・16	チャート	1.50	0.75	0.25	0.10			184
495	細石刃				C	VIII	F・8	黒曜石	1.20	0.70	0.20	0.10			3098
496	細石刃				C	VIII	E・3	流紋岩a	1.85	0.85	0.30	0.20			2501
497	細石刃				B	VIII	B・16	流紋岩f	1.90	0.85	0.25	0.30			120

表28 石材別数量表

器種	計(%)	流紋岩							ホルンフェルス	砂岩	黒曜石	チャート	尾鈴酸性岩	珪質頁岩	石英
		a	b	c	d	e	f	g							
細石核	5(41.7)	3(60.0)							0(0)	0(0)	2(40.0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		0	1	0	0	0	0	2	0						
細石刃	6(50.0)	3(50.0)							0(0)	0(0)	2(33.3)	1(16.7)	0(0)	0(0)	0(0)
		1	1	0	0	0	0	1	0						
敲石・磨石	1(8.3)	0(0)							0(0)	1(100)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
		0	0	0	0	0	0	0	0						
石器総計	12(85.7)	6(50.0)							0(0)	1(8.35)	4(33.3)	1(8.35)	0(0)	0(0)	0(0)
		1	2	0	0	0	0	3	0						
剥片	2(14.3)														
総計	14														

表29 石器計測表

図版No.	器種	分類1	分類2	分類3	区	層位	グリッド	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚み(cm)	重さ(g)	接合個体	ブロック	注記
484	敲石兼磨石				C	SC8	E・7	砂岩	10.00	8.95	5.00	63.45			SC8①
485	剥片				C	SC16	G・10	流紋岩f	4.00	1.80	1.00	4.40			SC16②
486	剥片				C	SC16	G・10	流紋岩a	3.50	4.35	1.00	11.90			SC16①

---

---

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第58集

# 上ノ原遺跡

(第I分冊 旧石器時代編)

東九州自動車道建設(西都～清武間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書XIV

発行年月日 平成14年3月

編集・発行 宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎県宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地  
電 話 0985-36-1171 (代表)

印 刷 株式会社 宮崎南印刷

〒880-0911 宮崎県宮崎市田吉350-1  
電 話 0985-51-2745

---

---